

小樽市委託事業
令和 6 年度 若者就職マッチング支援事業
実績報告書

令和 7 年 2 月 2 8 日
株式会社オー・プラン

= 目 次 =

本 編

I. はじめに	 P	1
（1）業務目的	 P	1
（2）実施期間	 P	1
（3）業務内容	 P	1
II. 高校生等に対する支援について		
（1）たくさん企業見学ツアー	 P	3
（2）出前企業説明会	 P	7
III. 調査・分析・検討課題		
（1）調査結果	 P	17
（2）分析・評価と考察	 P	194
（3）検討課題	 P	203
IV. 参 考		
（1）事業の実施状況について	 P	206
（2）実施内容一覧	 P	207
（3）参考文献	 P	209
（4）謝辞	 P	209

Ⅰ. はじめに

小樽市においては、平成 21 年度から主に高校生の就職に向けた実践力を早い段階から向上させ、正規雇用につなげるための取組や地元企業への定着促進を進めている。さらに令和元年度からは、地元企業における人材不足の解消にも目を向け、『若者就職マッチング支援事業』として実施している。対象を小樽市内・外の大学生まで広げたほか、市内企業と若者のマッチング機会充実のため、「企業出前説明会」の開催など各事業の実施をしてきた。令和 4 年度から参加生徒・学生が一日に数社を見学する「企業見学バスツアー」を実施することで、参加者の企業理解と就職への意識向上を図った。また、令和 5 年度は「一歩差がつく！新社会人講座」を加えた 4 つの企画を行ったが、令和 6 年度は事業内容の見直しを行い、一つの業務内容に対してより効果的な事業を展開できるように「たくさん企業見学ツアー」と「企業出前説明会」の二項目のみを実施した。昨年に引き続き、対象は市内の高校・大学だけではなく札幌圏の大学・専門学校等も対象とした。

(1) 業務目的

主に市内の高校、大学等において就職を希望する生徒及び学生（以下、「就職希望の若者」という）の就職率向上及び地元定着を図るとともに、札幌圏の大学等へ通う市内外在住の学生の市内への就職を促進するため、業務目的を以下のとおり設定する。

- ① 就職希望の若者及び進路指導担当教諭などの学校職員が、市内企業に対する理解及び認識を深めるとともに、わかりやすい市内企業情報を提供することを目的とする。
- ② 市内企業に対し、人材確保のための機会を提供することを目的とする。

(2) **実施期間** 令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 2 月 28 日まで。

(3) 業務内容

① 「たくさん企業見学ツアー」

中型バスを使用し、銭函地区や朝里地区、築港地区などの企業を見学するツアーを企画・実施する。一度にたくさんの企業を見学することで、紙面だけでは得られない多くの情報を一日で入手し、様々な企業を比較・検討することができる。

② 「企業出前説明会」

企業をより良く知ってもらうために、企業が高校や大学等に出向き、業務内容などを説明する出前説明会を学校・企業と調節し、学校内で実施。複数の企業の話を一度に聞くことで、学生に対して企業理解を深めることができ、将来の就職先として比較・検討することができる。

以上、2つの企画内容を実施。

II. 高校生等に対する支援について

事業対象となる市内高等学校 7 校（北海道小樽桜陽・北海道小樽水産・北海道小樽潮陵（定時制）・北海道小樽未来創造（全日制・定時制）・小樽明峰・小樽双葉・北照）と小樽商科大学、北海道職業能力開発大学校、および札幌圏の大学・専門学校計 4 校（北海道教育大学・北星学園大学・札幌商工会議所附属専門学校・経専北海道観光専門学校（2025 年 4 月より「札幌デジタル&どうぶつ・医療・観光専門学校」と名称変更））を個別訪問して、事業周知・各学校と情報交換を行った。また、今回個別訪問を行わなかった札幌圏の大学については、本事業案内とチラシを送信し、周知を行った。

（１）たくさん企業見学ツアー

中型バスを使用して一度にたくさんの企業を見学することで、短時間に紙面だけでは得られない多くの情報を入手し、様々な企業を比較・検討することができる。第 1 回は 4 社、第 2 回は 3 社、市内企業を見学するツアーを実施した。企業のエリアは限定せず、銭函から朝里、築港、小樽中心地まで幅広いエリアにある企業を見学した。参加者の対象は、市内高校・大学、札幌圏の大学及び専門学校に在籍する学生とした。

参加者募集時には、市内高校には案内書面とチラシ・ポスターを配布し、市内大学・札幌圏の大学・専門学校にはメールで案内書面とチラシを送信し、学生への周知をお願いした。また、第 2 回において SNS 広告（Instagram・Facebook）を使用した周知を本年度から実施。さらに、大学生・専門学校生からの申込手段として Google フォームを使用し、申込時のハードルを下げる取り組みを行った。

なお、本年度より、本企画は朝から一日かけて見学を行うツアーとなり、学生には昼食が無料で振る舞われた。また、企業見学だけではなく、就職する上での必要な身だしなみやマナーなどを身につけることを目的として、社会人マナーセミナーも実施した。

〈第 1 回たくさん企業見学ツアー〉

日 時 令和 6 年 8 月 7 日（水）8：50～15：30

参加者数 北照高等学校 3 年生 2 名

北海道小樽水産高等学校 1 年生 2 名

3 年生 1 名 計 5 名

参加企業 ・ さくら食品株式会社
・ 株式会社北源
・ 株式会社温泉宏楽園
・ 株式会社光合金製作所

内 容 小樽市内の企業 4 社を回る企業見学ツアーを実施した。当日はそれぞれの企業で、会社概要の説明を受け、施設内や工場見学を行った。また、昼食時にはフリーアナウンサーの石橋八千代氏をお招きし、社会人マナーセミナーも実施した。今回の企業見学ツアーでは、当初計 8 名の学生が参加を予定していたが、連絡の行き違いにより北海道

小樽水産高等学校の生徒 3 名が当日欠席となった。また、同高校の 2 名は途中参加となり、株式会社北源の工場見学から参加となった。

さくら食品株式会社では、動画視聴と会社概要のご説明をいただき、その後工場見学を行った。実際にアイスを製造するためのタンクやパッケージングするための製造ラインなどをガラス越しに見学させていただいた。X 線などを用いた衛生管理を徹底して行われている様子も伺えた。同社では製造や食品開発を行い、今後工場の拡大に向けて全ての部署で人員を募集しているとのことだった。安価なアイスを製造することよりも、少し高価であっても美味しいアイスを作ること为目标にしているというお話があり、実際に製造されたアイスクリームをご馳走になり、参加者も「とてもおいしい」と感想を漏らしていた。

株式会社北源では、当初の予定時刻より到着時間が大幅に遅れてしまったため、工場見学のみを行った。同社はセコマグループで製造・販売するオリジナルブランド商品の味の源となる「タレ・つゆ・ソース」を開発・製造している。人数制限の兼ね合いで主催同行者は工場見学をすることができなかったが、その後参加者に様子を伺うと「大きいタンクなどを用いてつゆを作る様子を見ることができて面白かった、すごかった」などの反応があった。

その後、朝里クラッセホテルに移動し、昼食前後に石橋八千代氏による社会人マナーセミナーを行った。笑顔や挨拶を中心に講義をしていただき、人間関係を良好に保つために笑顔や挨拶を心がけることや、印象の良い笑顔とはどんなものかを実際にレクチャーしていただいた。目元の筋肉を動かして自然な笑顔をする練習を参加者も実践し、「意外と難しい」と言いながら笑顔を見せていた。また、挨拶をするときは相手の目を見て「あいうえお(aiueo)」をしっかり発音することなどのお話をいただいた。

その後、株式会社温泉宏楽園に移動し、企業見学を行った。最初に日本庭園の案内をしていただき、館内の一室にて会社概要のご説明をいただいたあと、旅館内の見学を行った。綺麗に整えられた 8000 坪の庭園を見学した参加者は「心が落ち着く」といった感想を述べていた。同社では働き方改革が進められており、中抜きシフトの廃止や残業の廃止を行っている。また給与面を見直し・引き上げや、従業員のストレスケアも行うことで、離職率を低く抑えているというご説明があった。その後は館内見学を行い、館内スタッフや仲居がチェックアウト後・チェックイン前の清掃を行っている様子を間近で見ることができた。

株式会社光合金製作所では、最初に新工場の見学を行った。新工場では、銅合金を溶かし、型に流し込んでいる工程を見ることができ、そこで製造されているパーツの型は、機械で自動化して製造しているとのことだった。その後、動画視聴と会社概要の説

明をいただいた。同社では、寒冷地向けの水抜栓の開発・製造・販売まで一貫して行っており、実際に水抜栓とはどんなものか、どんな種類があるのかをご紹介いただいた。その後、それらがどのように作られているのかを実際に工場見学した。部品の製造過程では機械が自動で行うものもあるが、作られた部品は作業者が目視検査などを行い、製品を組み立てて、最終チェックを行ってから発送準備をするなど、最終的には人の目や手を介して丁寧に製造・発送されている様子を伺うことができた。

第 1 回の見学ツアーでは、参加者から「書面を見るより、よっぽど職場がどんな所かイメージが持ちやすく、行ってみて良かったと思った」などの感想があった。実際に企業見学・工場見学をすることによって、そこでしか得られない知見を獲得し、市内就職を検討する機会を持つことができたと考える。

また、参加者から「時間が足りず企業のイメージがあまり持てなかった」という声も上がった。今回の見学ツアーは、学生の夏季休暇期間に開催されたため、一部学生との連絡がスムーズに取れず、予定時間を大幅に遅れて進行した部分があったことが理由として挙げられる。夏季休暇期間に開催する場合には、学生との連絡手段をどのようにするべきか、生徒が時間通りに集合しなかった場合にどのように対処するかは検討するべき項目だと言える。

〈第 2 回たくさん企業見学ツアー〉

日 時 令和 6 年 10 月 29 日（火） 8：50～16：10

参加者数 北照高等学校 1 年生 5 名
北海道小樽水産高等学校 1 年生 6 名・2 年生 5 名
小樽商科大学 1 年生 1 名・大学院 1 年生 3 名 計 20 名

参加企業 ・株式会社システムウォール製作所
・株式会社健康倶楽部
・新日本海フェリー株式会社

内 容 小樽市内の企業 3 社を回る企業見学ツアーを実施した。当日はそれぞれの企業で、会社概要の説明を受け、施設内や工場見学を行った。また、昼食前にはフリーアナウンサーの石橋八千代氏をお招きし、社会人マナーセミナーも実施した。今回の企業見学ツアーでは、北海道小樽水産高等学校から 26 名の参加希望の申込みをいただいたが、定員人数の兼ね合いで 11 名に絞り込んでいただき、計 22 名の学生が参加を予定していた。だが、当日体調不良のため北照高等学校 1 年生 1 名と小樽商科大学 2 年生 1 名が欠席となったため、最終的に参加者は 20 名となった。また、今回は北照高等学校 進路指導部長の佐藤先生と同校教員の岡林先生、小樽商科大学院生参加者の講義を担当している木田准教授が引率として同行していただいた。集合時の点呼には北海道小樽水産高等学校 進路指導部長の成田先生にお越しいただき、同校参加者の集合確認を行っていただいた。

見学一社目の株式会社システムウォール製作所では、会社概要や福利厚生等のご説明をいただき、アルポリックというアルミ樹脂複合板を使った製品や実績の紹介をいただいたあと、実際にアルポリックを加工する様子を見学させていただいた。アルポリックを触った参加者からは「意外と硬くてしっかりしている」といった反応や、何センチ幅で穴を開けているのか興味深く観察する参加者もいた。工場内や事務所内見学のほか、健康経営取り組みの一環として備え付けられた休憩室内ジムも見学させていただいた。その後、星形と長方形のアルポリックパネルが配られ、簡単な作業体験をさせていただいた。仕様書を見ながら折り目に合わせて折っていくことで、星形の置物やスマホスタンドを作ることができ、作業体験時には硬くて折るのが難しいと感想を漏らす学生や、完成時には喜ぶ参加者の姿が見受けられ、製造の難しさと楽しさ、完成した時の達成感、アルポリックというアルミ樹脂複合板がどういった物なのかなどを体験することができた。最後の質疑応答の時間には、参加者からは給与面についての質問や、木田准教授からは健康経営の取り組みにおける従業員への影響について質問があった。

その後、花園遊人庵へ移動し、石橋八千代氏による社会人マナーセミナーを行った。社会人として今からでも実践できる行動として笑顔・挨拶・身だしなみの3点について言及され、特に笑顔・挨拶を中心に講義をしていただいた。印象の良い笑顔の練習として、割り箸やペンを使った練習法を教えていただき、参加者にも実践してもらった。また、印象の良い笑顔を作るためには目の印象も大事というお話から、向かい合わせで座った参加者2人をペアにして「目で笑顔を作る」練習も行った。さらに、挨拶や面接で発言をする際には言葉を正しく伝えること、そのためには「あいうえお(a/i/u/e/o)」の母音をはっきりと発音することも重要であるというお話をいただき、「あいうえお(a/i/u/e/o)」の発音の仕方について講義をしていただいた。その後、実際に学生にも正しい発音の仕方を実践してもらい、参加者の積極的に取り組む姿が見られた。石橋氏からは、社会人として笑顔・挨拶・身だしなみに気をつけながら、今の一瞬一瞬を大事にすることが繰り返し伝えられた。

昼食後、見学二社目の株式会社健康倶楽部（施設名：健康倶楽部 奏）へ移動し、企業見学を行った。見学人数制限の兼ね合いで、北海道小樽水産高等学校生徒11名とその他参加者9名の2グループに分かれ、会社概要の説明と施設内見学を交互に行うこととなった。会社概要説明の時間では、同社の事業・サービスについての説明や、施設紹介のほか、人材育成・資格取得・福利厚生等についてもお話をいただいた。施設内見学の時間では、一日の業務説明やトイレ・風呂の設備等について、実際に施設内を見回りながら説明をいただいた。「健康倶楽部 奏」の建物内には「小規模多機能ホーム」と「デイサービスセンター」の2つの施設が併設されており、どちらも見学させていただくことができた。実際に利用者と交流させていただく機会が設けられ、利用者から

「頑張れよ」と声をかけていただいて、元気に返事をする参加者の姿が見られた。参加者からは、仕事のやりがいについて質問があがり、担当者からは「利用者から笑顔をもったり、ありがとうと言われたりした時にやりがいを感じる」という回答がされていた。

見学三社目の新日本海フェリー株式会社では、初めに資料を用いた会社概要の説明をいただき、運航している船や航路、船内の紹介、グループ会社についての説明、業務内容や福利厚生等についてお話をいただいた。その後、フェリーターミナル内と乗船口を見学しながら業務説明をいただいたあと、同社敷地内に停泊していた大型客船フェリー「らべんだあ」を外から見学しながら、どの場所でどのような業務がされているかの説明をいただいた。最後の質疑応答の時間には、「就職する前にどのような資格を取っておくべきか」や「夏季休暇中のアルバイトについて」などの質問があがった。

第2回の見学ツアーでは、スムーズに行程が進んだため20分ほど前倒しで終了した。参加者からは「知らない業界に対する理解が深まり、勉強になった」「行ったところないところに行けて、充実した楽しい一日になった」という感想が多く見受けられた。知らない業界・興味のない業界でも、実際に企業・工場見学をすることで就職に対する知見を広げるとともに、その企業の知らなかった魅力ややりがいを発見し、市内就職を検討する材料を獲得する機会となったと考えられる。

今回の見学ツアーでは高校生と大学生・大学院生が参加する形となったが、ターゲット年齢層が広がってしまうため、ターゲット層を絞った募集広告の打ち出しにくさや、社会人マナーセミナーの内容・会社説明のやりにくさが浮き彫りとなった。見学ツアーのターゲット層の選定や参加者の年齢層の絞り込みなど、見学ツアー実施の方向性について検討項目が残った。

（2）企業出前説明会

市内企業と若者接点の拡充のため、令和元年から市内高校、札幌圏の大学・大学校及び専門学校に在籍する生徒及び学生を対象に「企業出前説明会」を実施。本年度も市内の企業をよりよく知ってもらうため、企業が高校や大学等へ出向く開催方法で実施し、学校ごとに企業数や内容について協議・準備して行った。本年度は、市内高校4校（北海道小樽水産、北海道小樽桜陽、北照、小樽双葉）と小樽商科大学・北海道職業能力開発大学校の計6校にて企業出前説明会を実施した。

〈第1回企業出前説明会〉

日 時 令和6年7月10日(水) 2 講目 経営学原理Ⅱ (10:30~12:00)

場 所	小樽商科大学 4 号館・160 番講義室
参 加 者	「経営学原理Ⅱ」を履修している小樽商科大学生（297 名） ※「経営学原理Ⅱ」は大学 2 年生以上が対象の授業である。 ※ 非履修生向けに学生用サイトでオンデマンド配信も行った。
参加企業	・ 西條産業株式会社 副社長 西條公敏 ・ 田中酒造株式会社 専務執行役員 岡田栄造 ・ 北海道信用金庫 調査役 上野敬太・主任 田村尚照（敬称略）
内 容	今回の企業出前説明会は、小樽商科大学の木田世界准教授が担当されている講義「経営学原理Ⅱ」の一環として、小樽商科大学の OB である経営者や人事部の方に参加していただき、パネルディスカッション形式で行った。学生には事前に作成したフライヤーを学生用サイトで掲載し、企業出前説明会を講義の一環として行うことを周知した。また、当日には会社概要を記した資料を配布した。今回の説明会では、まず 3 社の担当者からそれぞれ 20 分間の会社説明があり、その後コーディネーターの木田准教授からまとめをしていただき、最後に 15 分ほど生徒から質疑応答を行う流れで進められた。 まずは、西條産業株式会社から説明会を行っていただいた。登壇者のプロフィール紹介後、会社のプロモーションビデオ視聴を行い、会社概要と業務内容をご説明いただいた。また、働き方改革、会社の特徴、地域貢献についてもお話があった。古い慣習を一新して社員のモチベーションを高める働き方改革を行っている等のお話をいただいた。 次に、田中酒造株式会社より説明をいただいた。最初に業界の現状についてのお話があり、その後会社概要や自社商品、業務内容のお話をいただいた。また、社内も国際化を進めており、「わずかな変化を感じ取れる人」「自ら進んで変化をする人」といった人材を求めているとのことだった。 続いて、北海道信用金庫より説明をいただいた。まずは金融機関の種類や「信用金庫」とは何かというご説明をいただいた後、会社概要や業務内容、働き方や地域貢献、求める人材像についてのお話をいただいた。多様性こそが組織の活力に繋がると考えており、様々な能力・知識・経験・考えを持ち、また「地域への愛着」を持っている人材を求めているとのことだった。 3 社の会社説明が終わった後、コーディネーターから全体のまとめをしていただき、働き甲斐や働きやすさに関しての取り組みや制度などについて 3 社に質問をした。西條産業株式会社については、ほとんど全ての社員が定時退社をしていることが働きやすさに繋がっていることをお話いただいた。田中酒造株式会社は、顧客からの目に見える成果を作ることを重視しているとのことだった。北海道信用金庫は、新入社員には半年間先輩社員を配置して社員教育を充実させているなどのお話をいただいた。 最後に、質疑応答の時間には、学生から田中酒造株式会社に対して「外国人に人気の酒の傾向について」や「外国人観光客に対して具体的にどのようなエンターテインメン

トを行っているか」、西條産業株式会社に対しては「他業種の部署を経営することで生じる懸念点を解消するための対策について知りたい」といった質問が上がった。

実施後のアンケートでは、「小樽市内の企業の就職について考えているか」という質問に対し、説明会前は「就職を考えていた」と答えた学生は 1%しかいなかったが、説明会後には同項目で 11%に増えた。また、「就職は考えていない」と答えた学生は 92%だったが、説明会後には同項目で 39%と大幅に減少し、説明会を通して小樽市内の就職を視野に入れ始めた学生が大きく増加したことがわかる。

また、今回の説明会はあらかじめ動画撮影・編集をして、YouTube に限定公開で動画をアップロードし、非履修生向けに学生用サイトで配信を行った。さらに、8 月 21 日(水)には北海道教育大学・北星学園大学に動画 URL を送信し、学生への周知を図った。

〈第 2 回企業出前説明会〉

- 日 時 ① 令和 6 年 7 月 17 日(水) 9:45～10:35
② 令和 6 年 7 月 18 日(木) 8:45～ 9:35
③ 令和 6 年 7 月 18 日(木) 9:45～10:35

場 所 北海道小樽水産高等学校 体育館

- 参 加 者 ① 3 年生 (137 名)
② 1 年生 (113 名)
③ 2 年生 (122 名)

- 参加企業 ① ・阿部建設株式会社
・株式会社小樽ゴルフ場 (小樽カントリー倶楽部)
②・③ ・株式会社小樽ゴルフ場 (小樽カントリー倶楽部)
・株式会社北日本消毒

内 容 今回の説明会は、北海道小樽水産高等学校主催「進路講演会」の一環として行われた。「進路講演会」は、進路ガイダンスのスローガン「職業を知り、社会を知り、自分のキャリアを考える」を根底として OB が中心の講演を行い、就職に対する意識と企業に対する興味関心を高めるとともに、企業訪問を促す目的として実施された。いずれの回も、まずは進路指導部長の成田先生から各学年に必要な進路指導内容が伝えられ、その後 1 社 20 分ずつ会社説明を行う流れで進められた。説明会に参加する阿部建設株式会社と株式会社小樽ゴルフ場には、同高校の OB・OG が登壇して説明を行っていただき、株式会社北日本消毒には、同高校とは別の高校の水産科を卒業した若手社員に登壇していただいた。

令和 6 年 7 月 17 日(水)に行われた 1 回目の講演会では、まずは阿部建設株式会社の OB 担当者 1 名から企業説明を行っていただいた。OB 担当者として卒業してからどのような仕事に就き、その後阿部建設株式会社に転職したかというお話から、会社概要と業務内容、1 日の仕事の流れのご説明をいただき、実際の施工事例などもご紹介いただいた。もう 1 名の担当者からは、建築業界はどの時代にも必要となる業界であり、今

興味があってもなくても、こういった仕事があるということを覚えていてほしいというお話をいただいた。

続いて、株式会社小樽ゴルフ場のOB・OG担当者2名から企業説明を行っていただいた。担当者自身のプロフィールを紹介いただいた後、実際にゴルフクラブを用いてゴルフというスポーツについての説明を行っていただき、また会社概要や業務内容のご説明をいただいた。同高校の卒業生として「たくさん説明会などに参加して企業研究や業界研究をしてほしい」ということや「就職活動を成功させるためにはしっかり準備することが大事」というお話もいただいた。また、もう1名の担当者からは採用担当者としての目線からお話があり、面接の質問例を紹介した上で、「面接では第一印象が大事。そのために普段から身だしなみや表情、生活態度に気をつけることが肝心」というお話をいただいた。

令和6年7月18日(木)に行われた2回目・3回目の講演会では、成田先生の講演の後、株式会社小樽ゴルフ場から企業説明を行っていただいた。内容は7月17日(水)に行われたものと同様であったが、それに加えて実際にゴルフボールや小さいゴルフマットを準備していただき、実際に生徒たちにゴルフ体験をもらった。ゴルフを体験した4人の生徒は、うまくカップにボールを入れて喜んでいたり、ボールを遠くに転がしてしまい「意外と難しい」と笑顔で呟いていたりと楽しそうに取り組んでいた。

その後、株式会社北日本消毒の企業説明を行っていただいた。最初の担当者1名からは、1日の仕事の流れと学生時代に大事なことが伝えられ、勉強と資格取得の大事さやインターンシップにも積極的に行くこと、挑戦と失敗が成長に繋がるので何事にもチャレンジすることが大事といったお話をいただいた。2人目の担当者からは、会社概要や事業内容、職場研修や今後の展望などのご説明をいただき、「チャレンジ精神のある人、明るく元気な人」が求められる人材像だということを教えていただいた。

2回目・3回目の講演会では質疑応答の時間が設けられ、生徒から株式会社北日本消毒に対して「給料や週休はどれくらいか」という質問や、株式会社小樽ゴルフ場に対して「ゴルフカートに乗ってみたいのだが、ゴルフカートはあるか」といった質問がされた。

実施後のアンケートでは、「小樽市内の企業の就職について考えているか」という質問に対し、説明会前は「就職を考えていた」と答えた学生は31%だったが、説明会後には同項目で39%に増えた。また、「就職は考えていない」と答えた学生は50%だったが、説明会後には同項目で38%と減少した。

〈第3回企業出前説明会〉

日 時	令和6年9月18日(水) 13:30～15:05
場 所	北海道小樽桜陽高等学校 第1体育館
参 加 者	2年生 (196名)
参加企業	計8社

- ・阿部建設株式会社
 - ・伊藤ハム米久プラント株式会社
 - ・株式会社エムデジ
 - ・株式会社温泉宏楽園
 - ・小樽市役所
 - ・新日本海フェリー株式会社
 - ・北海道技建株式会社
 - ・北海道信用金庫
- (五十音順)

内 容 今回の説明会は、北海道小樽桜陽高等学校主催「進学相談会」の一環として行われた。「進学相談会」は、同校2年生を対象に毎年開催されるもので、札幌・小樽市内の大学や専門学校、小樽警察署や小樽市消防本部などの団体・企業が参加しており、生徒に興味関心のある団体の情報を収集してもらい、進路実現のために「現時点で何をしなければならないのか」を考えさせることを目的に行っている。今年は「就職希望の生徒が話を聞きに行ける団体が少ないので、一般企業も参加してもらいたい」という同校からの希望があり、初めて「進学相談会」に本事業も加わる形となった。

当日は始業後、生徒が体育館に集まり、山内校長先生と進路指導部部長の荒磯先生からご挨拶をいただいた。その後、生徒は興味関心のあるブースに着席し、進路相談会がスタートした。1セット約25分、計3ターンの説明が行われた。企業側はモニターやパソコン、タブレットなどを使用し、必要に応じてパンフレットや資料などを生徒に配布しながら説明を行っていた。正確に時間を区切って行う形ではなく、各団体が約25分間の説明を行い、聞き終わった生徒は次の興味のあるブースにそれぞれ移動していくという進行になっており、各企業の説明時間が前後する関係で希望のブースに入れるまで少々待機している生徒も何人か見受けられたが、ほとんどの生徒がスムーズに入れ替わり、企業の話聞いていた。生徒は興味深く熱心に話を聞いており、積極的に質問をする様子も見受けられた。

同高校では、就職希望の生徒よりも進学希望の生徒が大多数を占めるため、各企業のブースを訪れた生徒は5～10名程度であった。生徒は事前に企業名だけを知らされていたが、名前だけではなくどんな企業なのかを簡潔に説明した資料を事前に配布するなどして、生徒に興味を持たせる工夫を検討すべきだと言える。

〈第4回企業出前説明会〉

日 時 令和6年10月10日(木) 11:25～13:00

場 所 北照高等学校 体育館

参 加 者 1年生50名・2年生47名 計97名

参加企業 計21社

- ・阿部建設株式会社
- ・株式会社エムデジ
- ・小樽市役所
- ・小樽典礼株式会社
- ・株式会社かま栄
- ・株式会社北一硝子
- ・クリロン化成株式会社
- ・株式会社健康倶楽部
- ・株式会社産鋼スチール
- ・西條産業株式会社
- ・新日本海フェリー株式会社
- ・医療法人社団 青優会 南小樽病院

- ・株式会社トーモク
- ・株式会社新倉屋
- ・社会福祉法人北海道宏栄社
- ・北海道中央バス株式会社
- ・ワタキューセイモア株式会社
- ・道央エンジニアリング株式会社
- ・北海道技建株式会社
- ・株式会社北源
- ・株式会社ミツウマ

(五十音順)

内 容 今回の説明会は、各企業の情報をまとめた資料フライヤーを一週間前に生徒に配布し、事前に生徒に興味のある企業を4～5社ほど選んでもらい、当日を迎えるよう伝えていただいていた。

当日は始業後、体育館に生徒が整列し、進路担当の佐藤先生から挨拶と説明会の趣旨説明をいただいた。その後、生徒が興味関心のあるブースに着席し、説明会がスタートした。1セット15分、計4ターンの説明が行われた。時間を15分計り、担当教員からアナウンスをしていただき、説明会を進行していただいた。今回の説明会は学校側の意向があり、各企業には可能であれば製造品の実物や現場で実際に使用されている道具等を持参いただき、業務イメージがつきやすいような説明をしていただくようお願いしていた。そのため、バナースタンドを使ってブース装飾をしている企業もあれば、自社説明のやり方も三者三様で、パンフレットや資料、パソコンやモニター、プロジェクター・スクリーンなどを使用している企業や、実際に現場で使用されているもの、製造物や模型、配布用のマスキングテープやトートバッグなどを持参して説明を行っている企業もあった。車椅子をご持参いただいた企業では、生徒に車椅子に乗ってもらい、その車椅子を他の生徒に押しってもらうことで、実際の業務をイメージしてもらえよう工夫をされていた。生徒は熱心に企業の話を聞くとともに、現場の安全管理や給与面について質問をしている姿も見受けられた。最後に代表生徒からお礼の挨拶があり、説明会は終了となった。

机や椅子等を片付けた後に大会議室へ移動し、10分ほど意見交換会を行った。各企業から社名と名前の紹介をいただいたのち、北照高等学校へ採用についての質問や説明会の所感等がある企業にお話をいただき、同校と企業間の意見交換をする形で行われた。

株式会社ミツウマからは、「北照高等学校は小樽以外の市町村から来た生徒が多く在籍しているが、就職時には故郷に戻り小樽市外で就職したいという地元志向の生徒が多いようだ」という所感が述べられた。進路担当の佐藤先生からは、「確かにおっしゃる通りで、小樽出身の生徒も今年は4名小樽（地元）で就職したいと希望を出している。出身地に関わらず、生徒の地元志向はかなり強い」という意見を述べられていた。

阿部建設株式会社からは「進学・就職の希望者はどのくらいか。また、北照高等学校にはスポーツコースが存在するが、高校卒業後もスポーツの道に進む学生はどれほどいるか」という質問が上がり、「コロナ禍以降進学希望者が年々増えていて、今年は進学：就職＝9：1ほどになっている。スポーツの道に進みたい生徒は、大学等に進学してスポーツを続ける生徒が多い。また、女子は専門学校進学者が多い」と佐藤先生から

回答があった。

株式会社エムデジからは「就職先を選ぶ際、複数の選択肢があった場合に、生徒が重点的に判断材料にしている要素は何か」という質問があり、佐藤先生から「年間休日数や地元就職できるか否か、転勤の有無や給料などが挙げられるが、生徒によって判断材料は多種多様である。近年では親御様の意向が強く、親御様が難色を示すので内定を辞退するといった事例もある。また、教員から生徒に就職先を薦めると、生徒自身の納得感が低く就職後に早期退職することがあるので、できるだけ就職先は生徒自身に選ばせて、自身が納得のいく就職ができるように促している」というお話があった。

また、株式会社エムデジからは更に「生徒が求人票以外に就職先を探したり決めたりする上で見ている情報源はあるか」という質問が上がったが、佐藤先生から「基本的には、生徒は求人票を見て就職先を決めている。また、教員からは企業見学に行って実際に現場を見ることを奨励している」との回答を述べられていた。

実施後のアンケートでは、「小樽市内の企業への就職を検討しているか」という質問に対し、説明会前は「検討していた・やや検討していた」と答えた学生は 10%だったが、説明会後には同項目で 26%に増加した。また、説明会前は「あまり検討していなかった・検討していなかった」と答えた学生は 63% であったが、説明会後には同項目で 41%と減少した。今回の説明会を小樽市内就職の検討材料とした学生は増加したが、市外の就職を検討している学生は依然として多く、市外就職を検討する理由として「地元で就職したいから」と答えた学生が多く見られた。

〈第 5 回企業出前説明会〉

日 時	令和 6 年 11 月 5 日(火) 10：50～12：30 (2 講目)
場 所	北海道職業能力開発大学校 教室 (J 棟・206 教室)
参 加 者	応用課程生産機械システム技術科 16 名 (2026 年 3 月卒業予定)
参加企業	・株式会社システムウォール製作所 取締役経理部長 濱田亜紀子・課長 音喜多孝行 ・株式会社田中工業 代表取締役 田中惣一郎・営業第 1 課 蔵谷洋 ・株式会社光合金製作所 総務部部長 嶋田竹敏 (敬称略)
内 容	昨年度は、応用課程生産電機システム技術科 (電気系) の学生が対象だったが、今年度は同校の希望で応用課程生産機械システム技術科 (機械系) の学生を対象に企業出前説明会を実施した。 最初に、担当教員から就職ガイド冊子が学生に配られ、弊社担当者より事業説明と各社の簡単な説明を行った。その後に各社の説明会が実施され、3 社ともにスライドを用いて説明が行われた。

1 社目は株式会社システムウォール製作所の担当者より説明が開始された。会社概要・経営理念・福利厚生についてお話をいただいた後、実際にどのような製品をつくり、どのような場所で使われているのか実例をお見せいただいた。また、その後に業務説明も行われ、製品の作図や加工図から製作し、実際に製造して納品するまでの工程が説明された。

2 社目の株式会社田中工業は、担当者と同社代表より説明が行われた。会社概要・業務内容、福利厚生や人材育成について、また鋳物の製造工程や製造ライン・設備等の紹介がされた。模型製作工程では CAD を使った工程の説明も行われ、同校で実際に学んでいる内容を活かして製造が行われている事を説明いただいた。製造品目の紹介では、自社製品であるマンホールの他に、電車車両関係や土木製品関係等、幅広い製品を製造していることも紹介いただいた。

3 社目の株式会社光合金製作所は、総務担当者より説明が行われた。企業説明の動画を視聴した後、会社概要や企業理念、業務内容、同社で製造している製品の説明がされ、実際に工場でどのように製造されているのかを動画でお伝えいただいた。また、会社組織の説明もされ、設計・開発職や製造職以外にも、営業職や総務職など様々な分野で活躍する事が可能で、自分の合う業種を探す目的も含めてインターンシップに参加してほしいというお話をいただいた。

3 社の説明が終わった後に、質疑応答の時間が設けられた。学生からは「(株式会社システムウォールに対して) アルミ積層複合板の製造自体は行っているのか。製品を納品するターゲット層はどこなのか」「(株式会社田中工業に対して) 中子の製造について詳細を知りたい。地域限定のマンホールも作っているのか」「(株式会社光合金製作所に対して) 最終的に完成した製品において不具合が生じる割合はどのぐらいか」など多くの質問があがった。

実施後のアンケートでは、「小樽市内の企業への就職を検討しているか」という質問に対し、説明会前は「検討していた・やや検討していた」と答えた学生は 6%だったが、説明会後には同項目で 44%に増加した。

〈第 6 回企業出前説明会〉

日 時 令和 7 年 2 月 10 日(月) 13:25～15:15 (5～6 校時)

場 所 小樽双葉高等学校 第 1 体育館・教室 (2 階～4 階)

参 加 者 1 年生 80 名

参加企業 計 19 社

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| ・阿部建設株式会社 | ・小樽市役所 |
| ・小樽典礼株式会社 | ・北一化学株式会社 |
| ・株式会社健康倶楽部 | ・西條産業株式会社 |
| ・社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 北海道済生会 老人保健施設はまなす | |
| ・社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 北海道済生会 小樽病院 | |

- ・新日本海フェリー株式会社 ・中央バス観光開発株式会社
- ・道央エンジニアリング株式会社 ・株式会社新倉屋
- ・ノイシュロス・オペレーション株式会社
- ・社会福祉法人北海道宏栄社 ・北海道信用金庫
- ・北海道中央バス株式会社 ・株式会社北源
- ・株式会社ミツウマ ・ワタキューセイモア株式会社 (五十音順)

内 容

今回の説明会は、各企業の情報をまとめた資料フライヤーを一週間前に生徒に配布し、事前に生徒に説明を聞きに行きたい企業を第 5 希望まで考えてもらい、当日を迎えるよう伝えていただいていた。

当日は、最初に体育館にて 10 分ほど全体会が行われた。担当の山階先生から事業趣旨の説明が行われ、その後各企業の担当者から簡単に自社紹介をしていただいた。全体会後は、企業担当者には担当の教室に戻っていただき、生徒には説明を聞きに行きたい企業が待機する教室へそれぞれ分かれ、説明会が実施された。

今回の説明会は昨年同様、1 社に 1 教室を割り当てて、生徒が説明を聞きに行きたい企業がいる教室に入室し説明を受けるスタイルで行われた。1 ターン 20 分を計 3 回、各回 10 分の休憩・移動時間を挟んで実施された。1 社につき生徒の入室を 4 名までと制限し、各企業に均等に生徒が分かれるように調節した。1 ターン目から生徒は事前に決めてもらった第 1～5 希望に沿って移動してもらい、先着順で入室する形式で進められた。

説明方法は各社にお任せしていたため、移動式スクリーンとプロジェクターを持参しパワーポイント等を使って会社説明を行う企業や、モニター・パソコンを持参し画面を生徒に見せながら説明を行う企業、会社パンフレットや紙の資料、自社製品を実際に持ってきて活用する企業、ポスターなどの大きい掲示物を黒板に貼り付けて説明を行う企業、黒板に板書しながら説明を行う企業など、様々な方法で会社説明が実施された。生徒は熱心に話を聞きながら、必要に応じてメモを取ったり、積極的に質問をし、企業担当者との会話を通して自身の将来について考えたりする姿が見られた。

説明会後は、進路指導担当 山階先生の司会進行のもと、企業担当者との情報交換会を 30 分ほど行い、各企業から説明会の感想や意見をいただいた。1 ターン 20 分の時間配分は、ほとんどの企業が丁度良いと回答する中、「あと 5 分だけ時間を増やしていただきたい」「今回の時間が丁度よく、これ以上短くなると厳しい」といった声も見受けられた。今回の説明会では、1 ターンの 1 社に対する生徒数を 4 名と制限していたため、多数の企業から「話を聞きに行きたかったけど定員オーバーで聞きに行けなかった」と言う生徒が多かった。「定員オーバーで話を聞きにきた生徒を断ったこともあった」という声が上がリ、「第一希望の企業は話を聞きに行けるように事前に調節してはどうか」「後日説明を受けられるような仕組みを作ってはどうか」「もっと生徒たちに事前に情報収集してもらってはどうか」「1 回目の説明は生徒の希望が通るように生徒を振り分けて、以降は定員制限を解除して行うのはどうか」などの意見が上がった。ま

た、今回の説明会は1年生が対象となっていたが、「2年生対象の企業出前説明会も実施してほしい」という声が多く上がり、「どの企業も小樽の新卒者を求めているので、3年生の求人が始まる前に、3年生就職希望者のみを対象とした企業出前説明会もぜひ実施してほしい」といった意見も上がった。他にも、企業から「高校生はどのように情報収集を行っているか」という質問が上がり、山階先生から「本校においては、3年生の10%（約8～10人）が就職する。就職者の半分为公務員、もう半分为一般企業への就職。高校生はインターネットでの情報収集と、家族・親戚からの情報収集が多く、家族・親戚からの意見で希望していた就職先を諦めた、ということもあった」という回答がなされた。

Ⅲ. 調査・分析・検討課題

(1) 調査結果

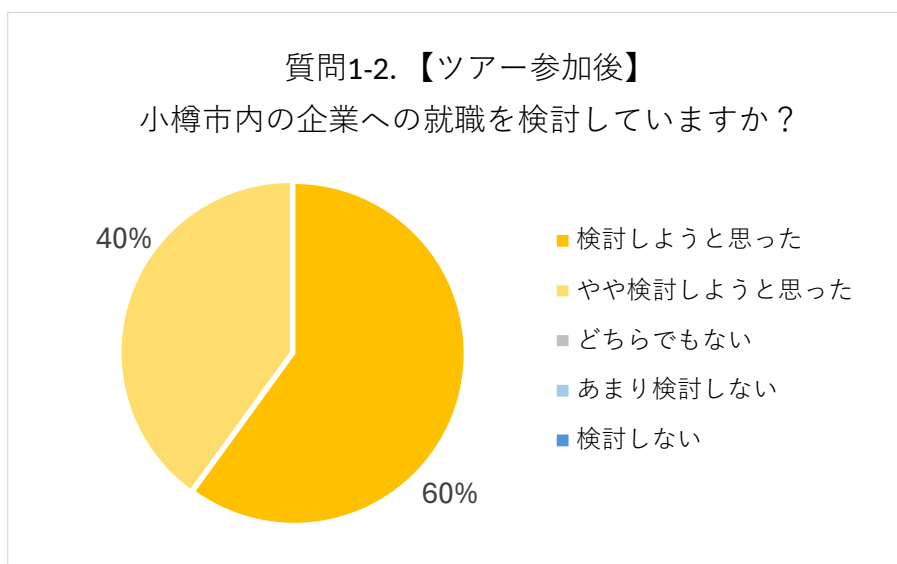
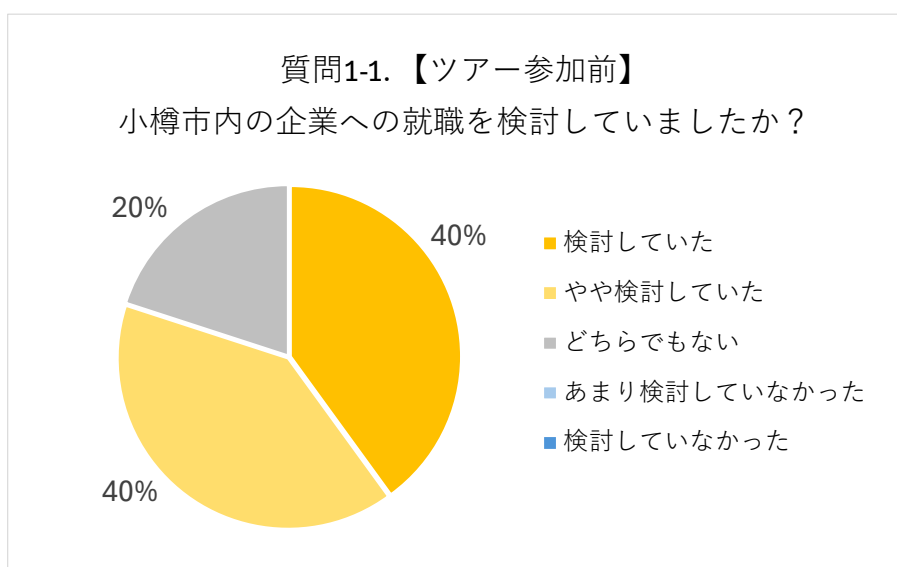
各事業において、参加した生徒を対象にアンケートを適宜行った。

また、参加企業にもアンケートを行った。

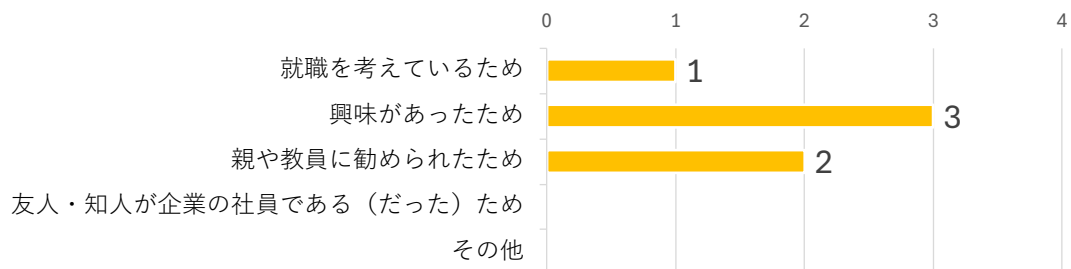
以下にアンケート結果を記載する。

① たくさん企業見学ツアー

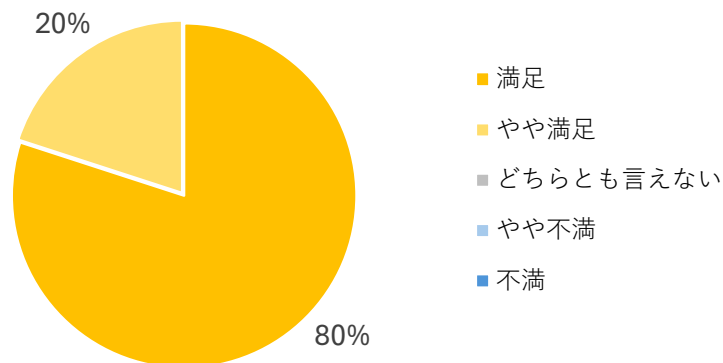
〈第1回〉 2024.08.07 実施 参加者アンケート 参加者 計5名 うち集計数5名



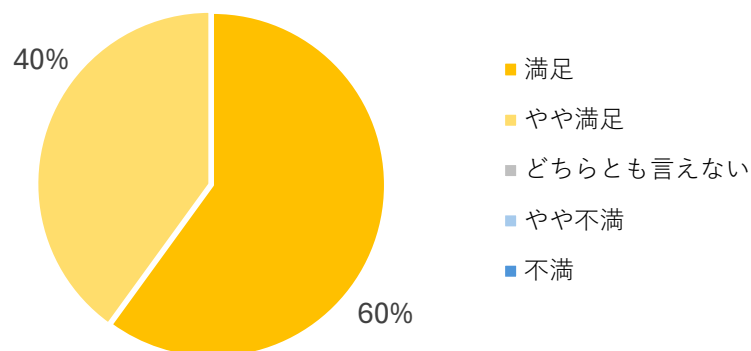
質問2. 「たくさん企業見学ツアー」へ参加した理由をお選びください。（複数回答可）



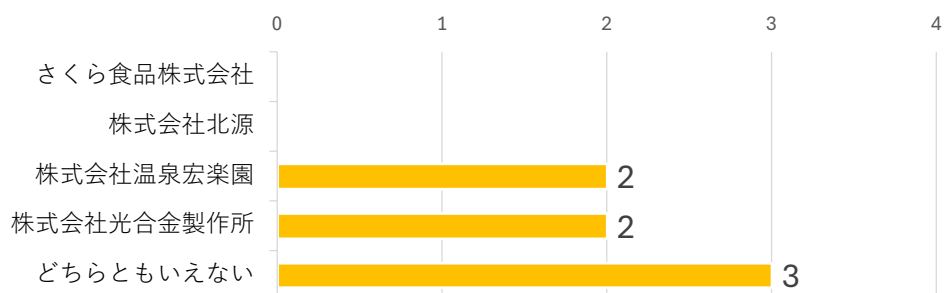
質問3. 本日の「たくさん企業見学ツアー」はどの程度満足しましたか？



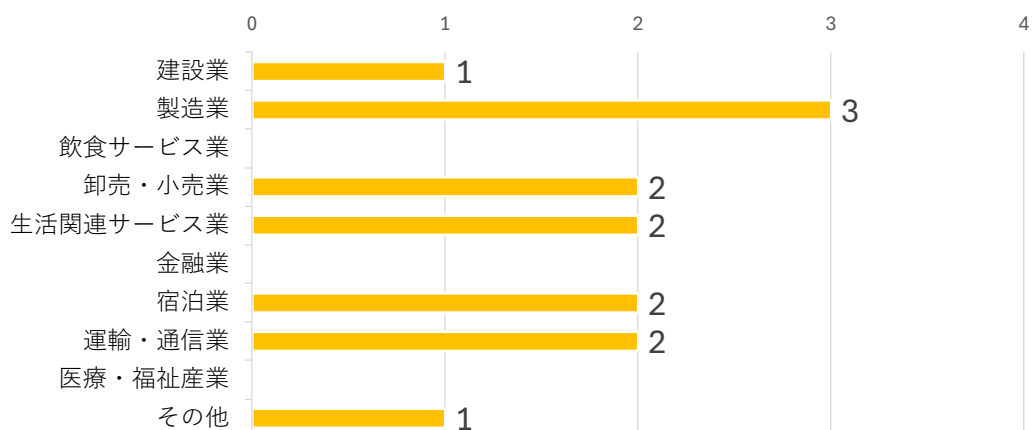
質問4. 昼食後に行われたセミナー（マナー講座）はどの程度満足しましたか？



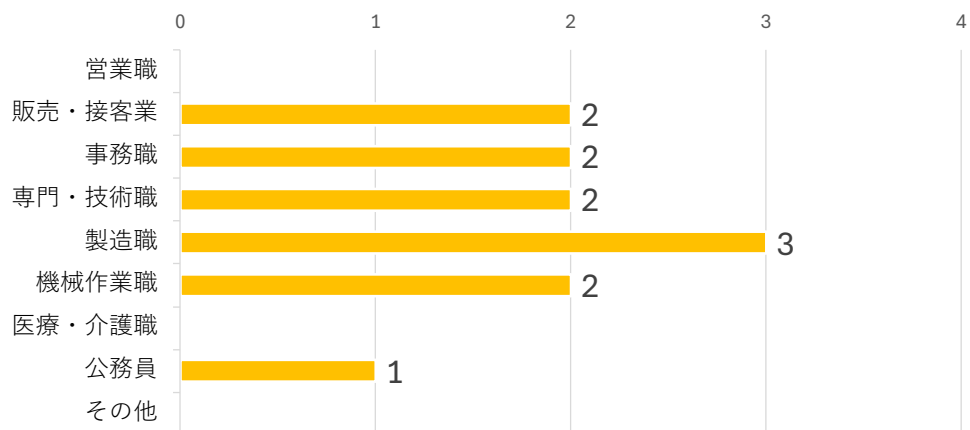
質問5. 本日見学した企業で就職を希望する
企業はありますか？（複数回答可）



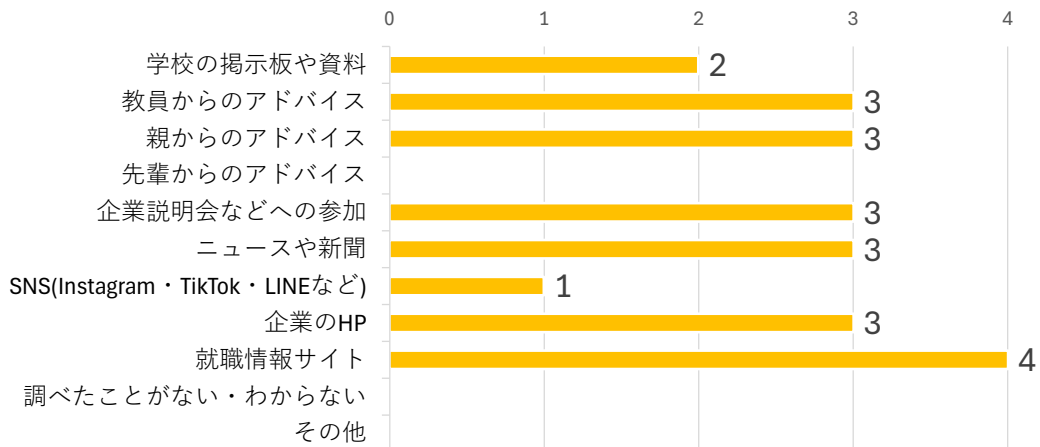
質問6. 就職を希望する業種は何ですか？
（複数回答可）



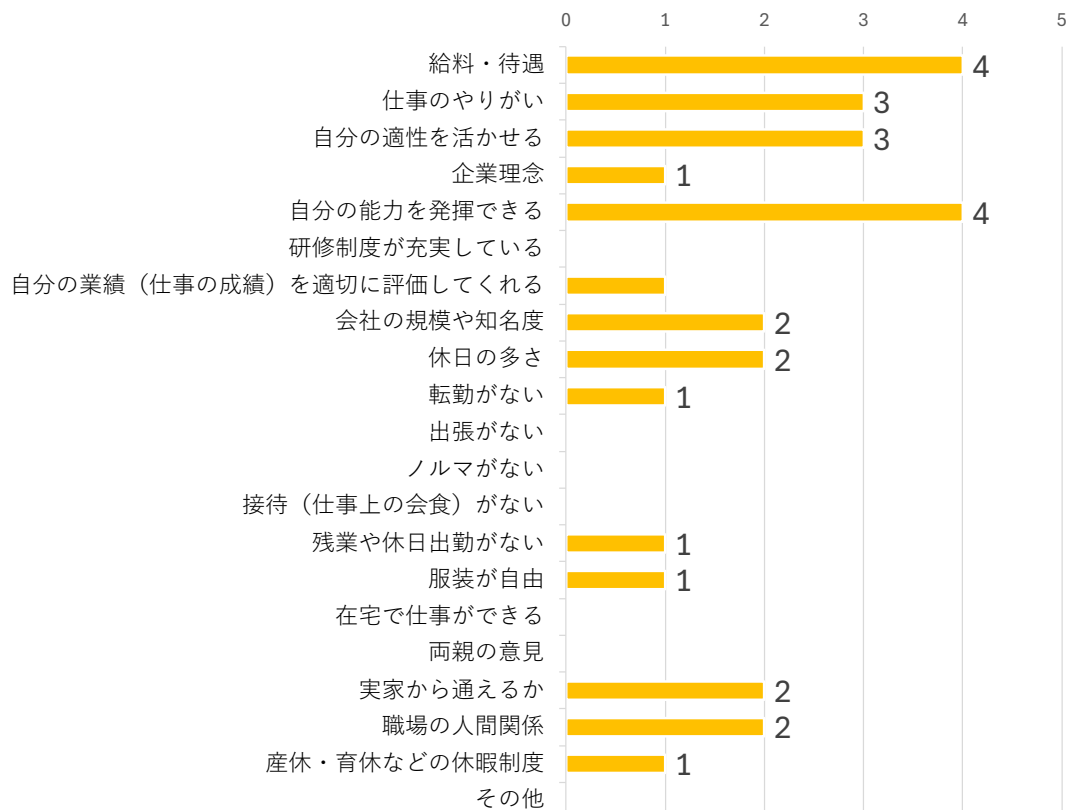
質問7. 就職を希望する職種は何ですか？
（複数回答可）



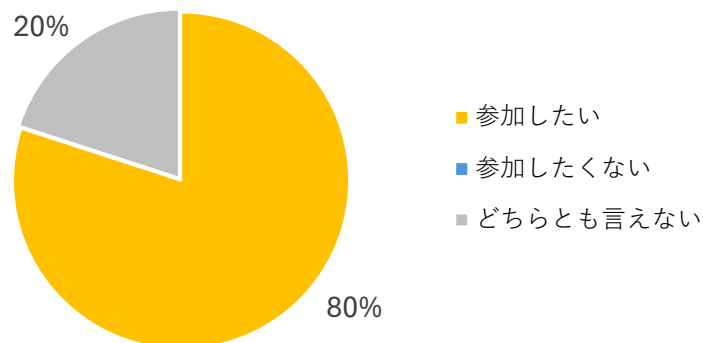
質問8. 就職先を探す方法として当てはまるものをお選びください。（複数回答可）



質問9. 就職先を考える時に、重要視していることは何ですか？（最大3つまで）



質問10. 今回の企業見学ツアーの内容は、
今後も参加したいと思えるものでしたか？



質問 11. 本日見学した企業についての感想をご記入ください。

さくら食品株式会社

- ・衛生面がしっかりされていた。ソフトクリームおいしかった。
- ・社長が良い人そう。4 つの中で一番イメージができた。

株式会社北源

- ・衛生面がしっかりされていた。
- ・運送・生産・販売を一つの会社でまわしていることや一人一人の優しさを感じた。
- ・「いつも食べている物がこんなふうにならされているのか」ととても感動しました。
- ・コンビニの物が別々に作られていたのが驚きだった。時間が足りず企業のイメージがあまり持てなかった。

株式会社温泉宏楽園

- ・日本庭園がとてもきれいだった。施設、客室など、とても落ち着く場所だった。
- ・旅館の中が木・竹・畳ですごくリラックスでき、こだわりを感じることができました。
- ・どんな会社かわかりやすく、会社がとてもきれいな所だった。

株式会社光合金製作所

- ・工場暑い中の作業大変そうだった。
- ・銅を溶かしていたり、ねじを作っていたりしてとてもかっこよく、製造業の魅力を感じました。
- ・銅の加工が思っていたものと違うきれいな加工だと思った。職場の雰囲気が良かった。

質問 12. 全体を通して感想をご記入ください。

- ・会社独自の工夫や経験から、たくさんの課題を解決しようと工夫されていて、とても良かったです。
- ・書面を見るより、よっぽど職場がどんな所かイメージが持ちやすく、行ってみて良かったと思った。

〈第1回〉企業アンケート 見学企業数 計4社 うち集計数2社

【問1】今回「たくさん企業見学ツアー」にて生徒を受け入れた感想をご記入ください。

- ・参加人数が少ない。(株式会社光合金製作所)
- ・会社の様子を見ながら説明できる点が良い。(株式会社温泉宏楽園)

【問2】今後同様の企業見学ツアーを実施する場合に、改善した方が良いと思われることをご記入ください。

- ・もう少し早い時期に行ってほしい。(株式会社温泉宏楽園)

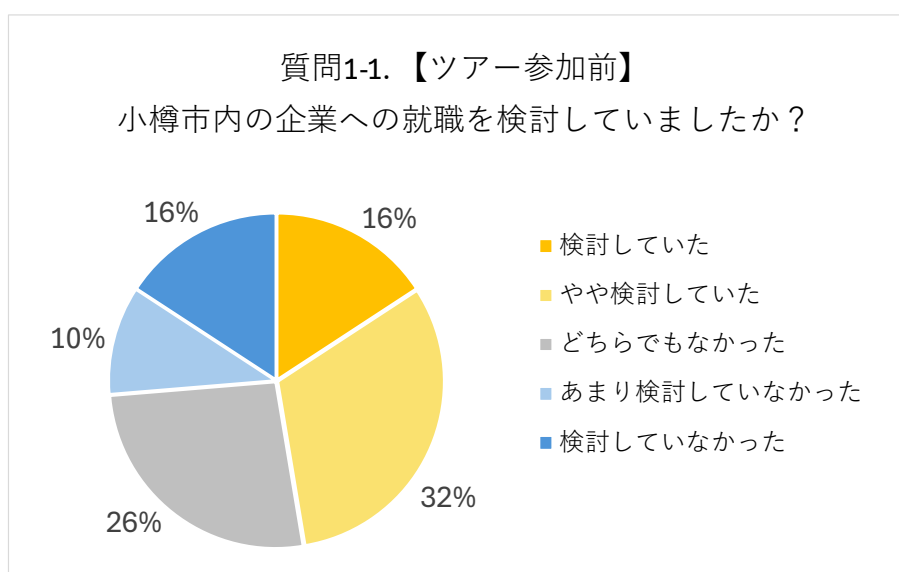
【問3】今後同様の企業見学ツアーに、また参加したいと思いますか。

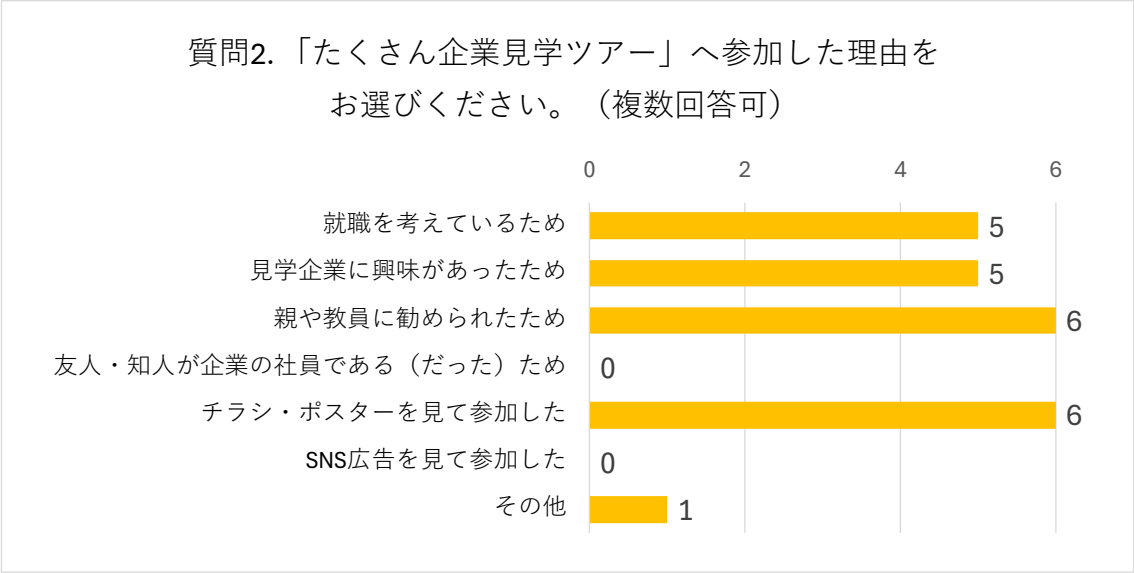
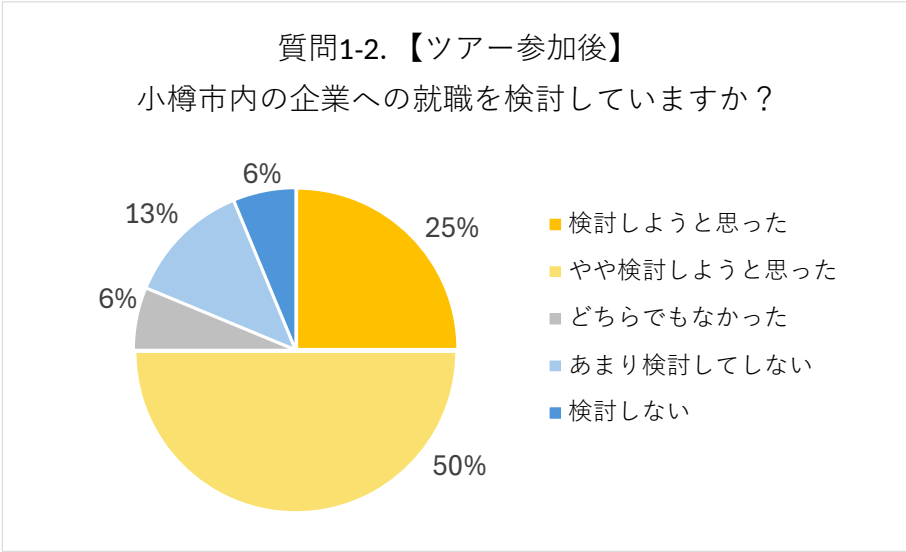
- ・参加したい：1件
- ・どちらとも言えない：1件

【問4】本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・地域貢献・業界に対する知見を広げてもらうという主旨で高校生に実施の職場を見てもらえる機会は大変ありがたいです。実際にお越しの学生様の中から学校を通じて後日に就職についてのお問い合わせをいただき、当企画が就職に対する考えや希望企業を探す役割を担っているのだらうと実感しました。一方で本年度は弊社での高校生の採用計画がなかったため、採用を計画している企業を募り優先的に見学先として決定することで学生・企業双方にとって有意義な見学となるのではと思います(問3への回答に帰結します)。(株式会社光合金製作所)
- ・参加学生がもう少しいたら嬉しいです。(株式会社温泉宏楽園)

〈第2回〉 2024.10.29 実施 参加者アンケート 参加者 計20名 うち集計数20名

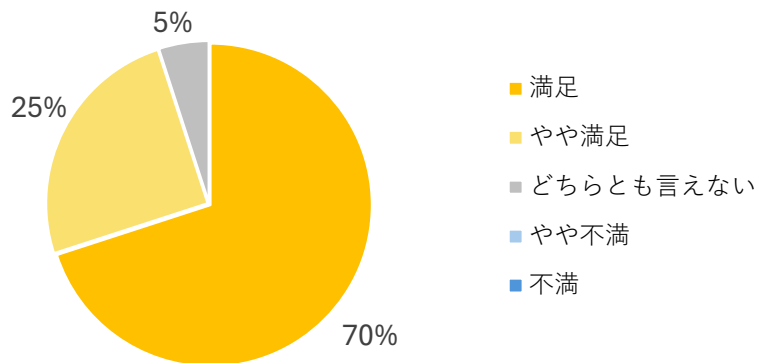




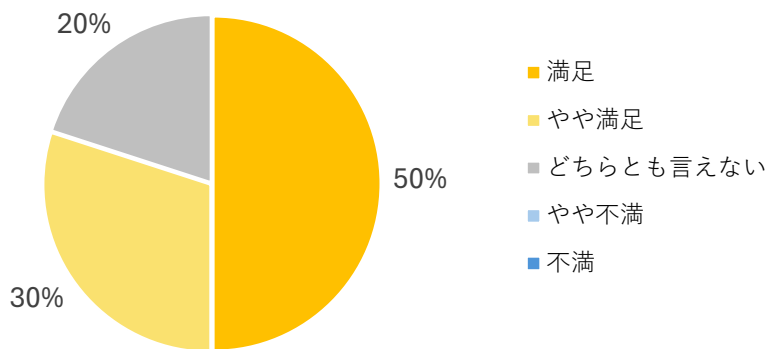
質問 2. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

・学校。

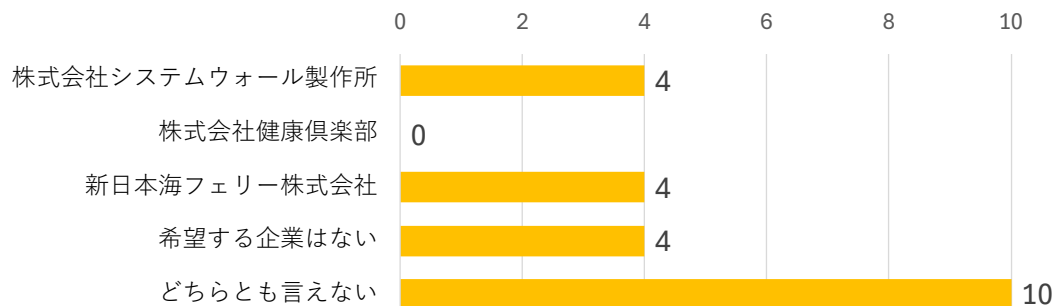
質問3. 本日の「たくさん企業見学ツアー」は
どの程度満足しましたか？

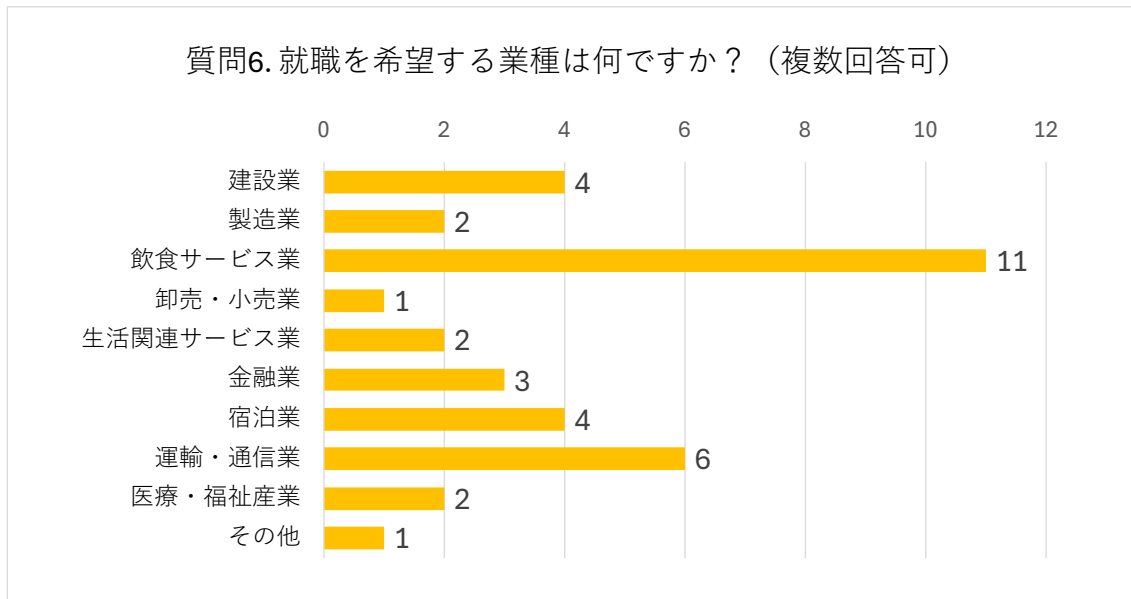


質問4. 昼食前に行われたセミナー
(マナー講座) はどの程度満足しましたか？



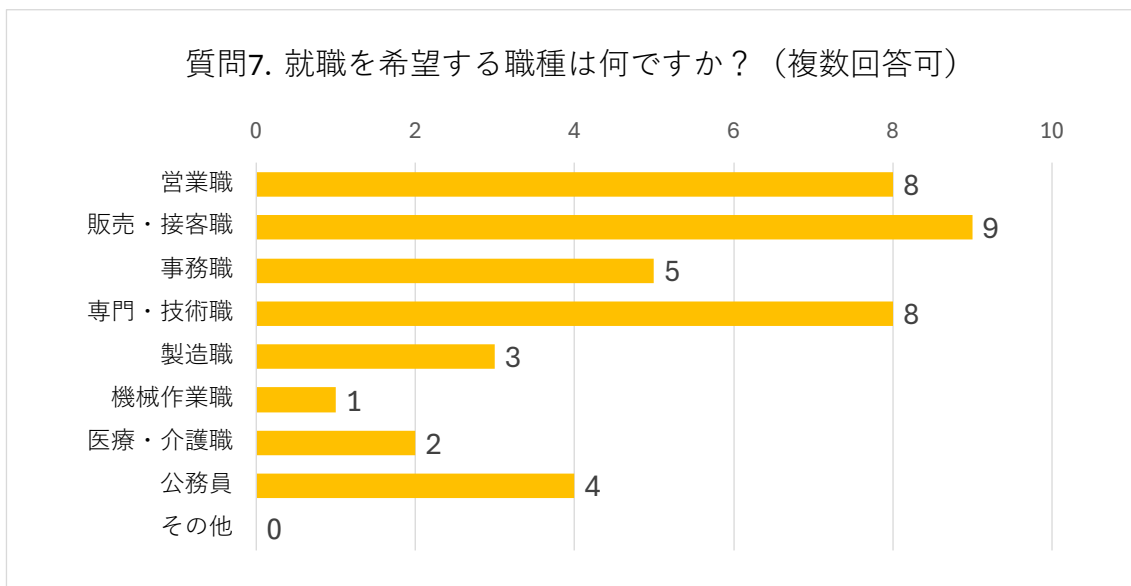
質問5. 本日見学した企業で就職を希望する企業はありますか？
(複数回答可)



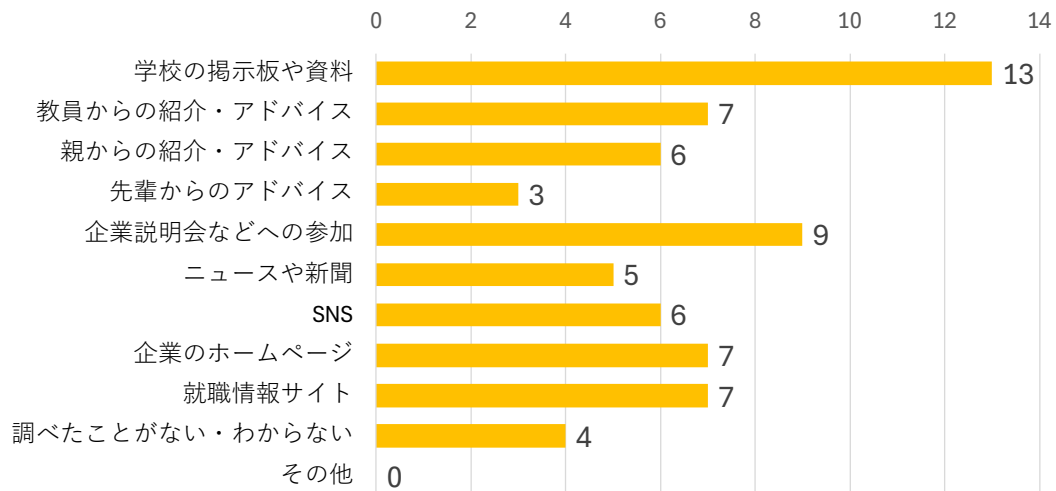


質問 6. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

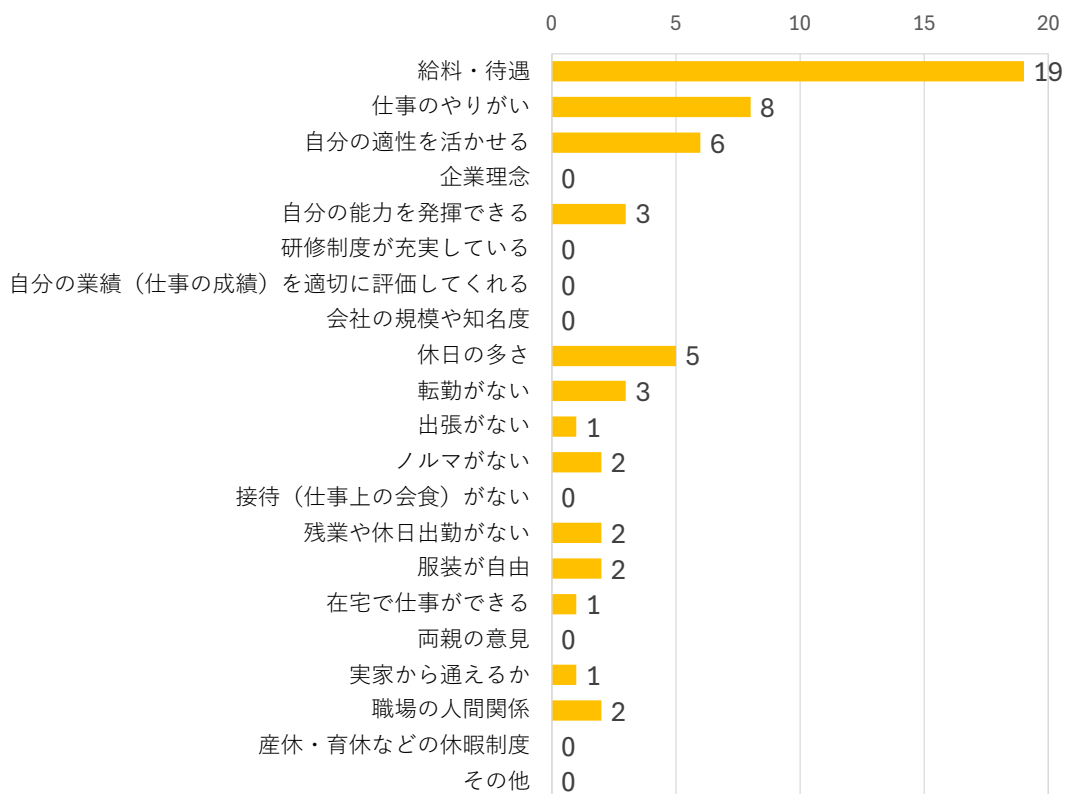
・ IT 業界。



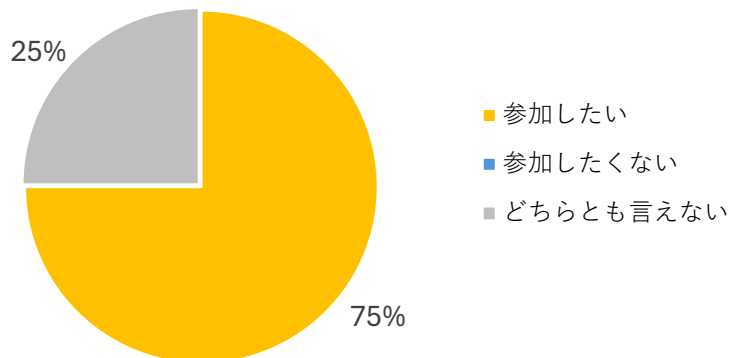
質問8. 就職先を探す方法として当てはまるものをお選びください。（複数回答可）



質問9. 就職先を考える時に、重要視していることは何ですか？（最大3つまで）



質問10. 今回の企業見学ツアーの内容は、
今後も参加したいと思えるものでしたか？



質問 10 に対して、「どちらとも言えない」と答えた方の具体解答（記述回答）

- ・疲れるから。

質問 11. 本日見学した企業についての感想をご記入ください。

株式会社システムウォール製作所

- ・目の前で作業してくれてわかりやすかった。
- ・システムと書いていたので情報系の会社だと思っていたら建築業？でびっくりした。ホワイト企業で就職してみたいと思った。
- ・実際に作業を見せてくれたり、体験させてくれたりしてわかりやすかった。
- ・普段あまり気づかない建築資材の製造過程を見ると、すごく面白いです。実際に体験して、楽しかったです。今日の見学によって、製造業について理解が深まりました。
- ・今まで経験したことのないことを経験することができて、新しい発見ができ、楽しかったです。
- ・スマホ置きが良い。
- ・待遇や人当たりがよかった。内装も綺麗で色々な機械があってよかった。体験も楽しかった。
- ・会社の雰囲気とか人の良さなどもとても良くて興味が出た。
- ・会社の福利厚生を紹介はとても詳しくて、特に休暇期間が多いです。次に会社の設備が充実していて、スポーツジムに興味があります。実際に手を動かして体験することで、製造業の生産プロセスがより理解できるようになりました。
- ・工場内を見た後実際に体験することができて良かった。
- ・作業を体験できたり、筋トレルームがあったりして楽しかった。
- ・会社の雰囲気がよかったしジムまであって充実して仕事が出来そう。
- ・自分達で作ったものを使って自分で働くものや建造物で働いていてすごいと思った。
- ・楽しかった。
- ・壁と言われてもどのような活躍をしているかと思っていたけど、意外と身近なところに使われているたりしていて意外とやりがいを感じる仕事なのだなと思った。
- ・会社の雰囲気がよく人間関係もよかった。

- ・見学を通じて、アルポリックを知りました。また、簡単な作業体験をしましたので、面白いです。
- ・自分のためになった。
- ・システムウォール様の作った物が色々なところで使われていたりして、身近な存在になっているということがわかりました。

株式会社健康倶楽部

- ・高齢者苦手だけど、接し方によっては楽しいのかなと少し興味を持った。
- ・中学の時職場体験でこういう施設に行って知っている事がたくさんあったが、楽しかった。
- ・建物の中を回って、一つずつ説明してくれてわかりやすかった。
- ・初めて高齢介護施設を見学しました。高齢化が進む中で、こういう施設は重要です。住んでいる高齢者の笑顔を見ると、この仕事の重要さとやりがいを感じました。
- ・普段行くことのないような場所だったので、行ってみてとても楽しく、興味深かったです。
- ・高齢者から元気をもらった。
- ・色々な高齢者に寄り添ったサービスが充実しているとわかった。
- ・高齢者の関わりなどがわかった。
- ・施設の見学は初めてじゃないのですが、家にはお年寄りがいたんです。従業員の動機付けには、まだ疑問が残っています。
- ・職員のみなさん優しい人が多くていいところだと思った。
- ・やりがいを身近にすぐ感じられる仕事でいいなと思った。
- ・色々な設備があって楽しかった。
- ・色々な行事があって楽しそう。
- ・やりがいありそう。
- ・介護がメインの仕事で、大変そうと言うイメージだったけど、利用者さんとの関わりがあったりして、結構深くい仕事なのかなと思った。
- ・やりがいが身近にあると感じた。
- ・この介護業界にもっと詳しくなります。高齢者向けの充実した施設をもっと見ます。とても意義のある仕事だと思います。
- ・自分の将来に活かせると思った。
- ・施設の中には色々な方が入居されていて、レクや様々イベントを行われており、入居者様が楽しめるようになっているということがわかりました。

新日本海フェリー株式会社

- ・船を近くで見ることができて面白かった。
- ・海のことについて学べた。
- ・パンフレットを見ながらの説明でわかりやすかったし、実際に作業風景を見ることができたから良かった。
- ・新日本海フェリー株式会社について詳しく勉強しました。さすが日本最大のフェリー会社で、船を見ると本当にでかいです。もし今後機会があれば、新日本海フェリーのツアーを体験したいです。

・フェリーには乗った事がなく、よくわからなかったことが多かったのですが、たくさんを知れて、見る事ができて、フェリーに乗ってみたいという気持ちが大きくなりました。

- ・一番興味があった。
- ・船や荷運びなど色々な人が支えあっている事がわかってよかった。
- ・船に興味あるけど難しかった。
- ・プロフェッショナルな大規模な会社には、プロフェッショナルなキャリアが必要なのでしょうか。
- ・廊下が長かった。フェリーが思ったより大きかった。
- ・船の興味があったのでいけてよかった。
- ・海の仕事の興味があったので貴重な体験ができた。
- ・大きい船に乗ったことがなかったので乗ってみたいと思った。
- ・就職希望なので行けてよかった。
- ・10 隻もあったり色々な船を扱う中、陸上の仕事にも大事な仕事があったり、自分に合った仕事がありそうだった。
- ・人間関係がよくて自分も働きたいと思った。
- ・説明が詳しく、簡単に理解しました。意味がある体験です。
- ・色々な職があると思った。
- ・フェリー以外にも野菜などの食べ物を運送したり震災の時に自衛隊の方々を派遣したりと、色々な場所で活躍しているということがわかりました。

質問 12. 全体を通して感想をご記入ください。

- ・疲れたけど、楽しかった。
- ・とてもよい体験ができた。
- ・知らなかったこと、興味なかった事が色々知れて良い経験になったと思います。
- ・大変勉強になりました。以前より知らない業界に対する理解が深まりました。また、今後このような機会があれば参加したいです。
- ・今まで行ったことのないような場所に多く行けてとても楽しく、よい経験ができた 1 日でした。とても充実した 1 日をありがとうございました！！
- ・今日 1 日楽しかった。
- ・どこでも優しく丁寧に教えてくれてわかりやすかった。
- ・全体的に楽しかった。
- ・いい勉強になりました。それぞれの業界の経営のあり方や業界の特徴を間近で見ることができました。今後の修士論文の研究対象の選定に大いに役立ちました。それだけでなく、将来の就職にも役立ちます。具体的には、業種の選択、敬語の使い方などです。
- ・いい経験が出来た。
- ・色々な種類の職場に行けていい経験になった。
- ・今回 3 社を回ってわかったことや質問したことを自分の就職活動に活かして行きたいと思った。
- ・もう一度参加してみたい。
- ・いい一日を過ごした。

- ・こういうツアーは初めて参加しましたが、すごく充実した一日になって、勉強になりました。
- ・全体を通して、自分が就職するときに必要なことを教わった。
- ・色々な企業の見学を通じて、様々な業界を理解するのに役立ち、将来の就職や研究の方向性にも役立ちます。
- ・今日を通して自分の将来を改めて考えようと思った。
- ・今日 1 日を通して貴重な体験をしましたが、自分の今後の進路活動に活かせることがたくさん学べたのでそれを忘れずに生活していこうと思いました。また、セミナーで学んだことを今後の就職活動に活かしていこうと思いました。

〈第 2 回〉企業アンケート 見学企業数 計 3 社 うち集計数 3 社

【問 1】今回「たくさん企業見学ツアー」にて生徒を受け入れた感想をご記入ください。

- ・元気のいい生徒さんたちで気持ちよく見学ツアーを進めることができました。(株式会社システムウォール製作所)
- ・学生の皆さんに介護の仕事について、知っていただける良い機会となりました。会社説明をすることで、当社も就職先の選択肢に入れていただけると嬉しいです。一点残念だったのが、意見交換がもう少しできれば良かったと思いました。(株式会社健康倶楽部)
- ・22 名もの沢山の学生さんに弊社の紹介ができて有り難かったです。まずは弊社を知って頂く必要がありますので、そのきっかけになったと認識しております。今回の見学ツアーで興味を持って頂き、会社見学や採用試験に応募してくれる学生さんがいる事を期待しております。(新日本海フェリー株式会社)

【問 2】今後同様の企業見学ツアーを実施する場合に、改善した方が良いと思われることをご記入ください。

- ・人数は、事前に決定（生徒さんと引率者様各人数）して頂けると助かります。(株式会社システムウォール製作所)
- ・今回のように大人数で 1 回の説明会と少人数の複数回の説明会を比較して、会社に興味を持ってくれる学生さんが多いのはどちらの場合でしょうか。多くの学生さんが興味を持ってくれる企画が有難いです。(新日本海フェリー株式会社)

【問 3】今後同様の企業見学ツアーに、また参加したいと思いますか。

- ・参加したい：3 件

【問 4】本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

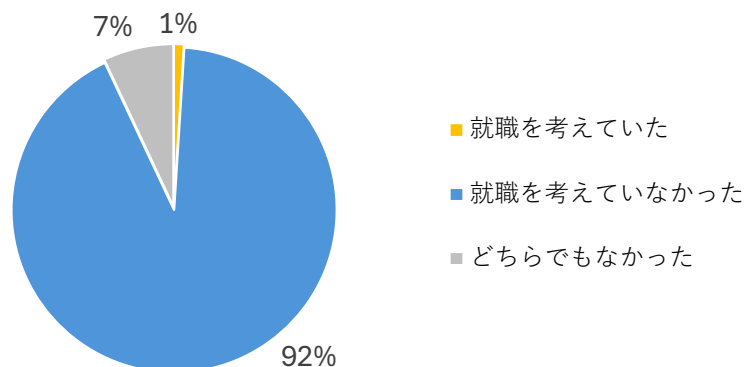
- ・若者へのアピールをする機会を設けて頂きありがとうございました。(株式会社システムウォール製作所)
- ・当社の反省ではありますが、生徒さんに介護車両・車椅子の体験等できてれば、より生徒さんも介護の仕事のイメージもできたかと思いました。次回機会がございましたら、是非体験していただきたいです。(株式会社健康倶楽部)

② 企業出前説明会

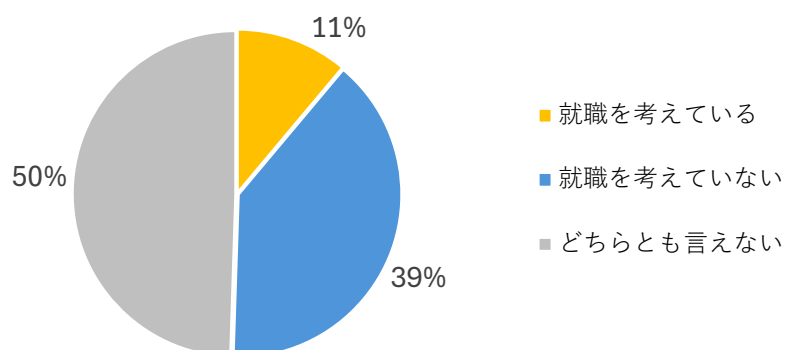
〈第1回〉2024.07.10 実施 参加者アンケート

小樽商科大学「経営学原理Ⅱ」履修学生（297名）うち集計数 297名

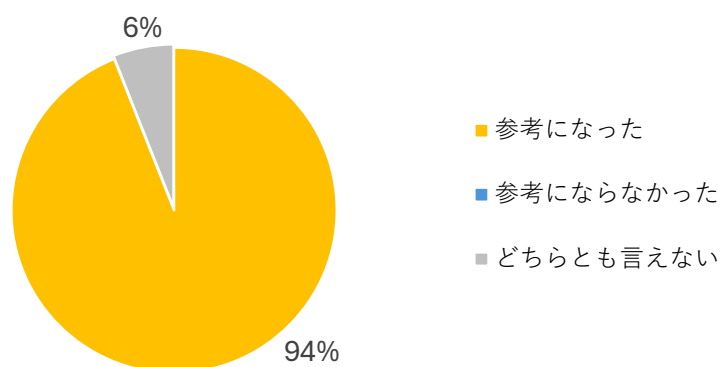
質問1-1. 【説明会前】小樽市内の企業への就職を検討していましたか？



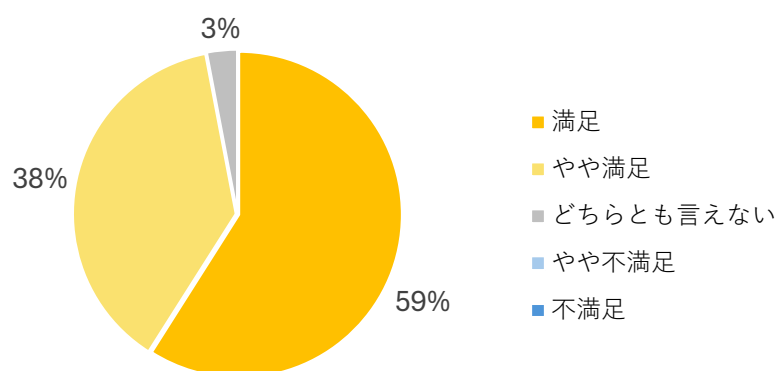
質問1-2. 【説明会后】小樽市内の企業への就職を検討していますか？



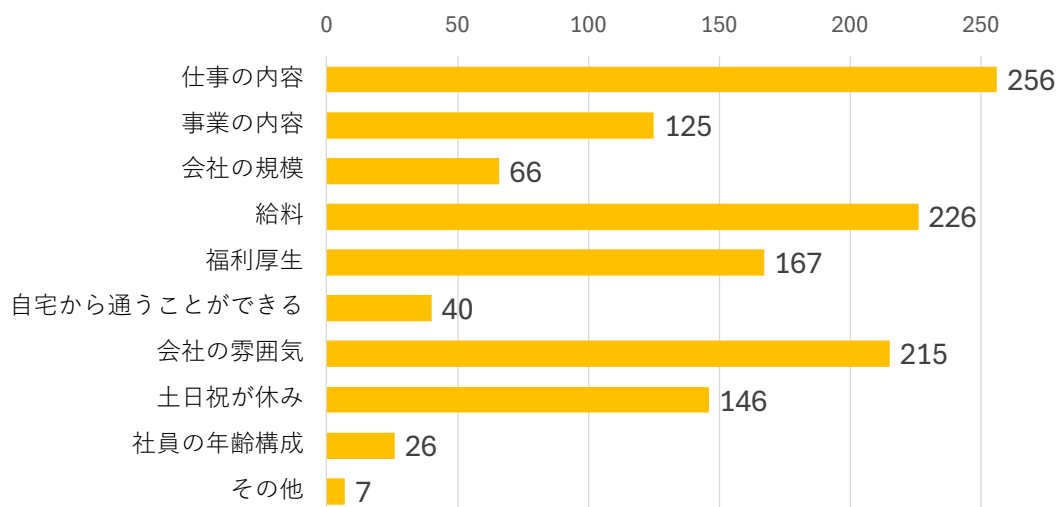
質問2. 本日の説明会は就職を考える上で、
参考になりましたか？



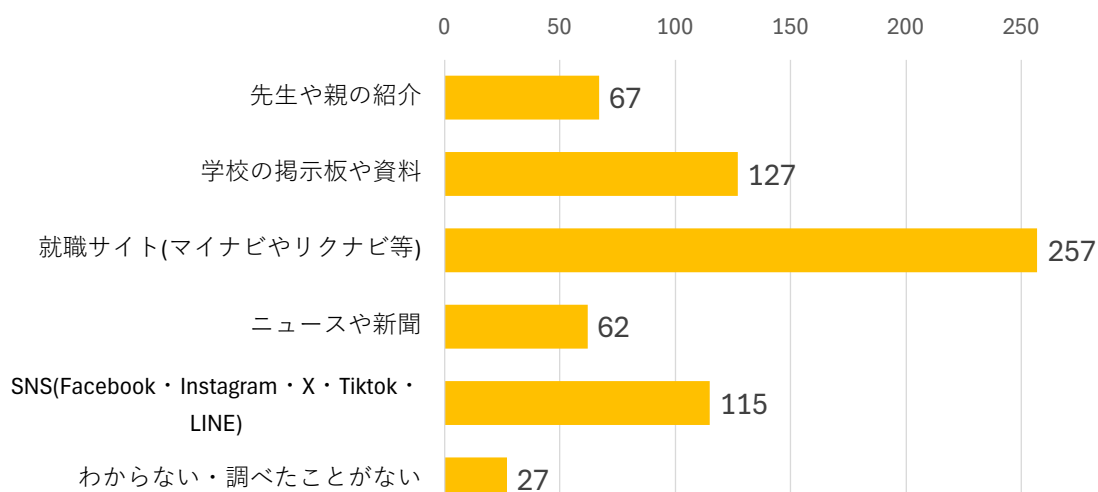
質問3. 本日の説明会はどの程度満足しましたか？



質問4. 就職するにあたり、重視するポイントは何ですか？
(複数回答可)



質問5. 就職先を探す方法として当てはまるものをお選びください。(複数回答可)



質問6. <もしあれば>講演の運営・実施方法に関してもしも意見や要望があれば記入してください。
(記述回答)

- ・学籍番号で席を決めるなど、席につきやすくしてほしかった。
- ・質問を匿名で送信できるシステムがあればいいと思う。
- ・講義室が当日の受講人数に対し狭いと感じた。
- ・とても身になったのでこれからも開催していただきたいと思った。夏インターンの申し込みが多く、企業が6月ごろから始まっていたため、6月前半にやってくださると、もっと自分の就活に活かせるの

ではないかと感じた。

・経営学と言うより、大分企業説明会に寄っており、正直興味のない業界・企業についてはやや退屈に感じた。まだ就活に本腰を入れていない下級生にはなおさらだったのではないかなと思う。企業説明ばかりでなく、業界や企業選びの軸などについても考えられる機会があればいいのでは無いかなと思う。

・講演者だけでなく、レスポなどを使った傾聴者も参加できるような実施方法も試してみたいと感じた。

・授業時間との兼ね合いの問題もあるが、各企業の講演の後に質問の時間があつた方が、記憶が新しいうちに疑問を解消できてよいのではないかなと思った。

・講演内容自体は非常に素晴らしいものだったが、経営学原理の授業としてこれまで習ったことを生かしてそれを発展させた実務のお話を聞けると思っていたのに対して、実際は就活面のお話しかなく、本講義中で行う講演である必要性はあつたのかと少し疑問に思つた。来年度以降も似たような講演を行うのであれば本講義の内容に関連させたものであると、学生もより興味を持ち参加することができるし、学びも多くなるのではないかなと思った。

・すごく面白かつた、地元根差した企業だけでなく、ぜひ色々な企業を招いてこういった講演を実施していただきたい。

・もう少し広い教室でも良いと感じた。

・スライドの紙資料が貰えなくて、メモ等が出来なかつたので紙資料が欲しかつた。

・挙手で質問をするのは難しいと感じたので、レスポなどで質問できるようにして欲しいです。

・複数の企業についてなんとなく理解できましたが、一つの企業について深く知れた方が面白かつたのではないかなと思います。

・質問の時間をまとめて後を取ってしまうと、やはり 1 番目に説明をしてくださる方への印象が弱くなってしまうのではないかなと考えた。

・短縮した部分や説明しきれていない部分があり、一社に割り当てられた説明の時間が少ない気がした。

・今回の講演では講義室に入りきらなかつたこともあり、受講することのできなかつた学生がいたという事を耳にしております。よつて全学生が均等に受講できるように ZOOM などでのオンライン配信を希望いたします。ただし、それだけでは当然その配信を見ないという学生も出てくると思うのでリアルタイムでの出席確認等を respon や manaba の小テスト機能で行うとすべての学生が平等に講演を受けることが出来るのではないかなと感じます。

・各会社の発表ごとに質問などをする時間が欲しいです。

・とても興味深い講義内容でした。

・大人数での講義であつたため、少し質問し辛く感じてしまつた。もちろんこのような場でも質問できるべきではあるが、レスポのような遠隔で質問ができるシステムがあるともう少し活発に質問ができると感じた。

・ひとつひとつが長くなくちょうど良かつたです

・スムーズな運営ありがとうございました。

・道外企業の講演などもあればうれしいです。

質問7. 講演の感想、重要だと思ったこと、得た学びや気づきなどについて記入してください（200字以上）

1. 長寿企業である田中酒造が、時代の流れに伴って変化する日本酒需要に必死に対応していくところが非常に興味深かったです。宗教的にお酒を飲まないインド人の観光客が増加している点から、お酒という商品をただ売るのではなく、お酒を作る過程から顧客に触れてもらうことで、一つのエンターテインメントとして新たな価値を創造していく柔軟な姿勢が、長い間経営を続けられる秘訣だと思います。小樽唯一の酒屋として、これから先何年も続いてほしいです。
2. 日本の少子高齢化という課題が、大都市と呼べる程大きくはない小樽ではより打撃を受けるのだとわかり、それはどのような業界でも発生するのだと感じ、将来が不安に感じられてしまう。しかし今回ご登壇された企業の方々はその現状に対策を打ち、悲観していないように感じた。小樽を盛り上げる活動はどの企業も行っているが、どのように盛り上げるかの観点は多種多様であった。西條産業様では「小樽市内」を活性化すべく、観光に力を入れた取り組みをしていた。田中酒造様では「小樽を世界に広める」という観点から活性化すべく、外国人観光客向け事業を積極的に行っている。北海道信用金庫様では「小樽という地域に密着する」という観点を、市の中小企業を支えている。このように地方創生のアプローチは多種多様で、地元の事を考え続けている企業の存在が、今後の少子高齢化社会において非常に重要になってくるのだと考える。西條産業様の「働き方改革よりも働きがい改革」という言葉が特に印象に残った。
3. 今回の講演を聞いて、それぞれの会社がそれぞれの成り立ちのお話や、社会や業界のニーズやトレンドをわかりやすく教えてくださり、とても貴重な機会となった。特に今回講演を行ってくださった3社は、スタートは小さな規模でも、地域とともに発展してきた企業であり、北海道内での就職を考えている自分にとって重要なヒントをいくつか得ることができた。その中でも、全体を通して印象に残ったのは「変化を恐れず挑戦し続ける」ことである。これは様々な企業の会社説明会でも言われていることではあるが、特に田中酒造さんのお話にあった様に初めは周りに比べて比較的弱いと言われている企業が、今ではたった一つの残った会社になったように、最後に生き残るのは強いものではなく変化に対応してきたものであると改めて学ぶことができた。2000年代以降における社会の変化のスピードは目まぐるしいものではあるが、これらにも対応できる様常に変化に対応する姿勢を自分も持っていきたいと思った。
4. 私はすでに就活が終了して、北海道から離れることがほぼ確定した身ではあるが、今回は「就職活動」に関するベクトルでは参加していない。今回は、「地元密着した企業」がどの着眼点でもって企業をアピールしているか、自分が見ていない企業様がどのような人材を欲しているかなどを見ていた。やはり地元の他の企業様などと連携して、地域を盛り立てていこうとする意志が確認できた。また、所謂中小企業でも、ワークライフバランスに注力した働き方を提案していることにも好感触を覚えた。
5. 今回の講演では普段聞くことのできない企業努力と経営戦略を聞くことができてよかった。田中

酒造株式会社は現在全国で下火になっている酒造業界の中で希望を見出し前に進んでいる姿がとても心強い印象だった。西條産業株式会社では建設の川上から川下まで事業を広げたためその中から平均点を出せるので不用意に目立たず利益を出すことに成功していて賢い手法を実現しているなどと思った。北海道信用金庫は自己資本比率が 17%超えと国の基準の 4 倍以上でとても安定していて優れた企業だと思った。

6. 様々な企業で働き方改革が行われていることが印象的だった。西條産業株式会社の夏の暑い時期はオフィスカジュアル可とする部分など、働きやすさを重要視していると感じた。質疑応答の際に出た、働きがい改革という言葉にとってもいい改革だと感じた。

また、小樽市やその周辺で活動している企業ということもあり、小樽雪あかりの道などのイベントに参加したりして、北海道産の米を使用しているなど地域の盛り上げに貢献しているということがとても印象的だった。

田中酒造株式会社に関して、小樽で長い歴史を持っている企業だが、同じことをし続けているのではなくエンターテインメントなど新たな側面を入れることで変化を起こし続けていることが印象に残った。求める人物像に関しても、変化を感じ取り自身も変化していくという、変化がキーワードとなっているのだと感じた。

7. 今回の講演会では、3 社について、事業内容、社会への取り組み、業界の特徴についてわかったが、働きやすさについては 3 社とも取り組みの内容についてだったので、実際に働いている従業員の反応などを映像化した資料があれば働き方についての実態が伝わりやすかったのではないかなと思った。それによって、その企業で働く動機づけに繋がるのではないかなと思った。重要だと思ったことは、企業の取り組みだけでなく、企業の働きやすさについての実態も考慮しなければならないということだと思った。

8. 今回商大の OB の方々にご講演いただいたということで、自分の将来を重ねて講演を聞かせていただきました。就活に向けて準備をしている今、企業に求める条件としてワークライフバランスや福利厚生といった”働きやすさ”に注目しているため、今回の講演でその点について詳しく紹介していただけたのでとても参考になりました。特に西條産業株式会社さんの改革にあったオフィスカジュアルの服装は今後全ての企業で導入していくべきだと考えていたため、良い改革であると感じました。また、田中酒造さんの今後のターゲットとしてインバウンドを挙げていましたが、コロナウイルスの拡大や今後の社会情勢が読みづらいので、外国人観光客に頼りすぎるのは少しリスクな選択ではないのかと思いました。

9. 今回 1 番興味を持った企業は田中酒造株式会社様です。まず現状として周りにお酒飲む人が多いという印象でしたが、実際には年々右肩下がり特に日本酒はピーク時の 4 分の 1 しか課税数量がないということには非常に驚きました。確かに周りで日本酒好きは減多にいないですし、昭和の日本酒好きのおじさまたちがもう 70 代になってしまっているというお話には納得しました。昔は何社もある中で 1 番弱いと言われていた田中酒造が今では一社しか残っていないとい

うお話も興味深かったです。

西條産業株式会社では木材の輸入から始まり木構造建築まで川上から川下まで一貫して行っていることに興味を惹かれ、時には不利になることもあるというお話が面白かったです。また、特に働き方改革についても説明していただいて、特に役職をゼロベースにするにはすごく手間がかかる作業だっただろうし勇気のいる決断だったと思いますが、それでも必ず給料を上げながら行うということにすごく面白いと思いました。すごく社員のことを考えている企業だと思いました。

10. どの企業の方も自分の仕事について熱心に語っている姿が見られて、仕事に対する熱意が感じられ、社会人としてお手本のような姿を見ることが出来た。自分は経済学科で銀行への就職を考えているので、北海道信用金庫の仕事内容を知ることが出来て良かった。信用金庫とは？というところから始めていただいてとてもわかりやすい説明だった。また、個人的に自宅から通えるか、土日祝の休みがあるかを重視しているので、その点の説明もありとても参考になった。

11. 【西條産業株式会社】

ハウス部門、商事部門、建設部門と川上から川下まで取り扱っているのが興味深かった。三部門から成っているため、どれか一部門が打撃を受けても他の部門でカバーできるという点が強みだと感じた。また、働き方の観点では、役職をゼロベースにすることで組織再編を図っているのが新鮮で面白いと感じた。様々な地域貢献活動を行っているのも印象的で、地域に密着して信頼を築いているのがよく伝わってきた。

【田中酒造株式会社】

日本国内のお酒の消費量は年々減っているが、インバウンドの流れを上手く活かして成長を続けていることから、時代の変化に対して変化で対応する伝統がよく伝わってきた。特に「お酒造りのコンテンツ化」における有料化の流れは、売上に貢献するだけでなく、従業員のモチベーションにまで影響を与えていることが興味深いと感じた。また、問屋に卸すのではなく自社で販売まで行っているのが強みであり、小規模ではあるが小樽で唯一の酒造として生き残っていることに感銘を受けた。

【北海道信用金庫】

信用金庫とは、中小企業と個人に特化した地域密着型の共同組織金融機関である。預金や融資、為替業務のイメージが強かったが、その他にも事業継承支援や経営改善支援などのコンサルティング業務を通じて中小企業を支えていることがよくわかった。信用金庫はただ融資を行うだけでなく、地域に寄り添った手厚いサポートがなされている点が強みだと感じた。

12. 自分は出身が札幌で、今も札幌で暮らしているので、なんとなく就職も札幌でするのがだろうなと思っていたが、小樽の企業に就職するという選択肢も当たり前だがあるのだということに気づくことができた。また、小樽にルーツを持つ企業とひとくくりと言っても、講演して頂いた3社のように業種は多様に存在しているということも学ぶことができた。また、建設と酒造については全く知識がなかったので、今回のお話を聞いてそれらの業界についての知見を深めることができてよかった。

13. 西條産業、田中酒造、北海道信金の三社のお話を聞いて、思ったことが2つある。誰もが知る大企業では無くとも、様々な事業を行っており、それぞれが独自の考えを昔からの経験から持っているということだ。田中酒造は、近年お酒の市場が縮小してきている中で、ブランドは衰退していない事に目を向け、インバウンド向けのお酒を売り始めるという、広い視野を持った会社だと感じた。これから就活を進めるに当たってとてもためになるお話を聞いた。
14. 地域を盛り上げる活動に注力している企業が多いように感じた。そういった地域住民に直接触れ合える機会を企業側が提供することは、従業員のやりがいを感じる機会の確保にも繋がると感じた。また、従業員数が比較的少ない中小企業では、勤務時間の短縮促進の流れに対し、どのように取り組んでいるのか疑問に思った。人材不足の中、無理に勤務時間の短縮のみを進行させることは、勤務時間内での仕事量の増加やそれによるストレスの増加が加速する危険性があるのではないかと感じた。
15. 今回の講義で私が一番印象に残ったのは、田中酒造についてだ。私はよくウイングベイまで散歩しに行くので何回か前を通り過ぎたことがあったが、なんとなく敷居が高いような感じがして入ったことは一度もなかった。しかし今回のお話を通して商大と深い関わりのあるお酒などを知り、ぜひ飲んでみたいと感じた。また、最後の方にそれまで無料でやっていたことを有料化することによって、従業員が「お金を取っている」ということを意識し、サービスの質が上がるというようにお話があったと思うが、一見顧客にとってあまり嬉しくないことのように感じられる有料化を別の視点で見るとそのようにも捉えられるのだなと感心した。
16. 各業界が抱える現状を理解することで、今までに持っていなかった視点から企業の事業に対する取り組み方や、魅力や課題について理解できると感じた。また、企業から分かる現在の情報もちろん大切だが、その企業が過去にどのような取り組みをしてきたか、どのように考えのもと事業を進めてきたかを知ること、企業に対する理解の解像度もより高くなると思った。そして、大企業を中心に企業研究をしてきた自分だが、大企業を支える中小企業ならではの強みや魅力に本講義を通して気づくことができたので、より視野を広げて就活について考えて行きたいと思った。
17. 西條産業さんについて
お客様の要望に応えることを第一に掲げていることがとても魅力的だった。自分はあまり西條産業さんについて知らなかったのも、住宅も木材もプレハブにも取り組んでいることを初めて知った。また、役職がゼロベースであること、三部門制を取っていてその人の適正にあった場所で働けること、多業種で川上から川下まで取り組んでいることを知った。
- 田中酒造さんについて
お名前を知っていたが実際に伺ったことはなかった。酒屋であることは知っていたが、お酒を入荷して販売しているのではなく、自分たちで作った商品を自分たちで売っていることを知った。

日本文化のエンターテインメントとしてお酒造りを見てもらうこと、小樽唯一の日本酒造り酒屋であることがとても魅力的だった。また、これからのビジョンとして発酵食品などの健康食品を作ることだと仰っていて、とても興味が湧いた。

北海道信用金庫さんについて

銀行業務のイメージが強かったため、コンサルティング業務も担っていることを初めて知った。融資対象が中小企業であり、中小企業に融資することが、日本の経済を支えることに繋がると仰っていたことが印象に残った。「多様性は組織の活力である」という考え方がとても良いと感じたし、自分の就活軸にも沿っているように感じた。

18. まず業界の現状について生き残るためには、国際化に対応するしかないのだということがわかった。全国的に見て人口減少が進んでいることが理由といえる。田中酒造は、現在小樽で唯一の日本酒造り酒屋である。ただ商品を販売するだけでなくバックヤードの案内の他、富裕層向けの案内を行うことでお店の価値をつけているのがすごいと思った。西條産業株式会社は、働き方で給与改定、組織のゼロベースへの再編、人材育成の強化を行っていることを知った。また、スポーツや祭りへの参加など地域への貢献を行うメリットもわかった。北海道信用金庫は中小企業と個人に地域密着しており、預金融資だけでなくコンサルティング業務も行っている。共同組織という相互扶助に基づいており、将来を見据えた経営を行っている点が株式会社と違うとわかった。
19. 三つの企業それぞれの事業内容、将来の課題にスライドを用いてとても理解しやすかった。特に私は西條産業のプレゼンに動画が用いられていたり、喋り方が上手かったりを見てとても面白いものであると感じることができた。先生が質問されていた項目でそれぞれ社員へのモチベーションの保ち方を答えていたが、悩みを相談するところがあるところ、社員に趣味をさせる時間を取らせるように勤務時間を設定するなどそれぞれモチベーションを上げる様々な工夫が興味深く感じた。
20. 今回の講演では、小樽の企業に務める方から事業の内容や近年の状況、働き方にいたるまで貴重なお話を聞くことができた。特に西條産業株式会社のお話では、小樽に根差した企業として地域で社会貢献事業を展開したりするといった、ローカルな祭り・イベントを「やりたいと思って開催した」と生き生きと話す西條氏の姿がとても印象的であった。また、田中酒造株式会社のお話では衰退の一途にある清酒市場で奮起する会社の現状と未来を見据えた展望を詳しく聞くことができ、小さな会社ながらも誇りを持って奮闘していることがとても伝わってきた。また、両社とも自社の社員を想ってのお話が垣間見えて、会社の雰囲気という面でも参考になる気づきが得られたように思う。北海道信金の方々のお話では、自分の中ではあまりイメージがなかった信金の働き方について詳しく知ることができ、まさに今真っ只中にある就活においても生かし得るような学びが多くあった。
21. 1つ目の西條産業株式会社の講演では、西條産業が総合建設業として1つの大きな会社に3つの会社が入っているような事業を行っていることがわかりました。事業としては仮設の宿舎や事業

所の提供、木材の輸入、住宅事業などの建築など本当に複数のことを行っていて驚きました。西條産業の講演を聞いて、企業における働き方の改革や社会貢献が近年大事であることがわかりました。そうすることが企業の周知に繋がるのではないかとということに気づきました。

2つ目の田中酒造株式会社の講演では、働き方ではなく日本酒産業が衰退している中で企業の取り組みの大切さについて学びました。お酒の消費自体、日本では30年で30%も酒の消費量が落ち、日本酒業界では50年間下がり続けて4分の1以下に落ちていることに驚きました。その中でも純米酒(高級酒)は伸びており、国際化が酒業界では重要であることがわかりました。田中酒造は、グローバル市場の拡大、日本酒の文化に興味深い海外の観光客、クラフト酒などのイノベーション、消費者の多様化の状況から事業の多様化を進めていることがわかりました。衰退している産業において小さなチャンスを逃さずそれを生かした事業を行うことが大切であることがわかりました。

3つ目の北海道信用金庫の講演では、銀行と信用金庫の違いについて学びました。信用金庫が民間であることを知らなかったので驚きました。信用金庫は中小企業と個人に特化した地域密着型の機関であることがわかりました。その通り、事業承継支援や創業、新事業支援などの業務を行っており、地域発展のために活動をしていることがわかりました。また「相互扶助」という部分が北海道信用金庫の成り立ちの上で大切であることを学びました。

最後に講演を通して、3つの内容が違う企業、機関の講演を聞いて就職について考える上で様々な企業の情報を知ることが大切であると思いました。それぞれが地域や産業を栄えさせるためにたくさんの取り組みや業務を行っていること、企業内における取り組みや改革についても話を聞くことができ、素晴らしい講演でした。

22. 今回の講義で私が一番関心を持った企業は、田中酒造株式会社です。小樽にある唯一の醸造兼販売を行っている会社で、以前から観光客が多く集まる場所だと認知しておりました。お土産として商品を売るだけではなく、クオリティの高い体験観光(工場見学や試飲)を提供する事で、その蔵自体を訪れる価値をつけている事に感動しました。インターネットが発達したこの社会で、わざわざ現地へ足を運ばせる工夫は、観光業では重要になるなと考えました。

23. 西條産業株式会社さんが仰っていた、型にとらわれずにチャレンジすることはどんなことにでも通用するため、大切だと思った。働き方改革として、ベースアップを導入している企業が多いとニュースになっていたが、就活をする上で給料形態や賞与などもしっかり確認しようと思った。講演を踏まえても私の目指す航空業界は小樽にはないため、小樽での就職は考えなかったが、地域社会に貢献することはどの企業に行ったとしても重要だと思うため、良い話が聞けた機会だと感じた。

また、顧客ターゲットを日本だけでなく世界に向けている田中酒造株式会社さんの論点も、消費者のターゲットを分析するといった観点でどの企業も導入していると思うのでそうした商品開発の事業も視野に入れようと思った。

24. 小樽、北海道に根強い企業のお話を聞くことができとても勉強になった。西條産業の営業車に

は覚えがあったが事業内容を知ることができ、さらに興味関心が沸いた。また、北海道信用金庫の事業内容を知れたのもまたひとつ勉強になった。融資がほとんどメインの事業内容だと想像していたが、中小企業へのコンサルティング業務など中小企業を金銭から経営までサポートしている存在だと知り、中小企業診断士の勉強をしている私としてはとても興味深い事業内容であった。

25. 企業規模にかかわらず、仕事に対するやりがいというものはそれぞれ異なるものであり、よく考えて企業選びを行う必要があると感じた。熱意を持って取り組むことができ、加えて胸を張って自社の強みをアピールすることができるような社会人を目指したいと感じた。中でも、今回ご講演いただいた3社の方々は、地元と繋がった業務を行う中で、非常に大きな強みを持っていると感じ、小樽で学んでいる商大生として、いずれそのように地元に還元する選択肢も頭に入れておこうと思った。
26. 講演を実際に聞いてみて、各企業が地域に深く関係している事業を持ち、その地域に必要とされるような企業となることを第一に考えているように感じた。また、従業員のモチベーションや働き甲斐改革を率先して行い、福利厚生だけでなく社員一人一人をよく気づかい相談事がしやすい雰囲気づくりを心掛けているように思う。田中酒造では酒自体は現在衰退産業として日本国内では扱われているが、海外人気や訪日観光客へ焦点を向けて人気商品である純米大吟醸やアジア人気の高いフルーツ系のお酒の開発を進めているのに感心した。西條産業では地域に関連したイベント(よさこいや冬花火など)積極的に行って小樽とその周辺地域への認知を高め地域住民から必要とされる企業となることを大事にしている印象を受けた。北海道信用金庫は起業への融資などを主に担当しており、企業の発展に欠かせない役割を果たしている。どの企業も工夫を凝らして、グローバル化する社会へ対応し需要を得ていることを知ることができた。

27. **【西條産業さま】**

木材の卸から建築まで、一気通貫した運営をしている点が印象的だった。また、昭和自体の名残であった役職バランスを一から作り直したりするなど、変化に飛び込んでいける姿勢があることもとても良いと感じた。小樽観光協会とのつながりが深いということで、小樽での様々な取り組みをされているのも印象的で、私も毎年楽しませていただいている「小樽雪花火」を主催しているということにとっても驚いた。

【田中酒造さま】

120年以上続いている歴史ある企業であるのにも関わらず、今に満足せず常に少しずつでも進化・変化をしてきたからこそ小樽で唯一の日本酒造り酒屋として存続できているのだと感じた。また、近年は日本ブランドに対する世界的な需要増加があるため、高級酒の分野や発酵技術を応用した食品などを積極的に強化していくのが良いだろうと感じた。お酒は飲むけれど日本酒はハードルが高いという人が多い印象があるため、そのような人でも飲みやすいものがあれば挑戦してみたいと考えた。

【北海道信用金庫】

信用金庫は中小企業と個人に特化した地域密着型の金融機関であり、銀行とは区別されるという

ことを初めて知り、とても学びになった。もともとあまり金融系には興味がなかったが、地域とのつながりが深いという点がとても魅力的であると感じ、少し興味を持つことが出来た。

28. いわゆる地元根付いた事業形態の企業様の情報について詳しく知る機会が今までなかったのが非常に新鮮な体験になった。また、地域貢献のための具体的な指標や取り組みが明確化されており、実際の活動についても説明してくださったので企業様の地域貢献に対する明確なビジョンを掴むことができて良かった。従業員数や年商などの情報も開示してくださったので、会社の在り方のイメージが容易に想像できた。西條産業様も田中酒造様も自身が想像していたよりも従業員数が少なかったのも、もし入社する機会があれば自身一人の存在が会社に大きな影響を与えうる可能性があるのでは働きがいを感じやすいのではないかと感じた。
29. 人口減少に伴い、国内のお酒の需要が低下しており、こういった状況で都市部に対して競争優位になるには、インバウンドの客層を増加させることが課題だとあった。これは観光地の小樽ならではの戦略であるし、お酒はお土産にもいいと思うので、外国人をターゲットにするのは合理的だと感じた。また、インドや欧米の国々の人が増えている影響で、言語の壁が生じているとわかった。コミュニケーションが取れると購買意欲が上がり、社員の士気も上がるとあったので、最低限の英語は必要だと感じた。伝統のある企業でも、こうした需要の変化に対応する必要があると学んだ。
30. 今回、小樽に根ざした三社の企業のお話を聞いて、その地域に特化した事業を行っている企業にもたくさんの魅力があることがわかった。大企業や全国に展開している企業には、大企業なりの良さがあり、私たちの生活を支えてくれているが、今回講演していただいた三社の企業のように、小樽そして北海道に精通した企業が存在するからこそ私たちの生活が成り立っているということを実感した。
- 一社目の西條産業さんの講演では特に働き方の部分が印象に残った。給与改定、組織再編、考課改定というように企業としてはコストが生じたり、負担が増えたりすると思うが、それでも働きやすさや、時代の流れへの適応をすることでより良い企業を目指していることがよくわかった。
- 二社目の田中酒造さんの講演を聞き、課題や困難を踏まえた上でどのようにそれを打開していくかが重要だと思った。二つの国際化から自社に合った国際化はどちらなのか判断したりして、外国人労働者を積極採用したいといった考えのように、この先の展望を踏まえた行動をすることが大切だと思った。
- 三社目の北海道信用金庫さんの講演では、相互扶助・協同組織だからこそ出来るコンサルティングの仕方や多様性の尊重について学んだ。また「中小企業専門性」の特徴があるからこそ、日本経済を支えているといったやりがいを感じられるのではないかと考えた。
31. 今回の講演を通して、これまで授業で学んできた事とも結びつけつつ、お話を聞けて非常に有意義な時間を過ごすことができた。その中でも特に以下のことが印象に残った。一つ目が、田中酒造の岡田さんがお酒のことに関しての質問にお答えになっていた時に、すごく楽しそうにお話し

されていたのがとても印象的だった。やはりお酒が好きで自分の仕事に対して、情熱を持って取り組んでいるからこそ、ああいったような感じで質問に答えられていたのかなと思った。授業の中でもエンゲージメントに関して触れられていたりしたが、もちろん会社側から組織全体のエンゲージメントを向上させるための工夫も必要だと思うが、自分自身もより自律的に情熱を持って仕事に取り組むことが、大事だなと思った。二つ目が、西條産業において、他の部門では取引相手だが、また別部門では競争相手となるといった点である。同じ組織の中で、敵であったりそうでなかったりするというのは非常に面白いなと思った。ただ、多様化によって他がダメでも他で補完できるなどといったメリットがあるとおっしゃっていたがその点においてはすごく良いものだなと思った。

32. 3年生になって就活をしているが、小樽に西條産業さんのような大きな企業があることは知らなかった。田中酒造さんのお酒を売るだけでなく、付加価値として体験コンテンツを利用して、客数と収益を得るという点で私も行ってみたいと思った。外国人観光客が増えても、小樽市に住む人の数が減ってしまうことは避けられないと思うので、多角的な視野を持ち顧客対象を大幅に変えることはどんな企業でも必要になることがあるのではないかなと思った。また、今回講演をしてくださった3企業とも、小樽市のイベントに携わっていたので、外国人観光客にも目を向けつつ、地元への関心も蔑ろにはいけないと思った。
33. 小樽ならではの観光客に目をつけたビジネスモデルが、工夫されていてすごいと感じた。外国人の富裕層観光客向けに今まで無料で行っていたことを有料化して、きちんとお金をもらうことで自分たちのその仕事のクオリティを高めつつ、利益も以前より出せるようにしたという質問の受け答えに感心した。その土地の地域性や、力を入れていることを企業が利用していくのは地域活性化にも役立つと思うし、地域一体となって商売を行っていて地域での団結力を生むことにも繋がるので、自分もこういう地域に根付いた企業に入りたいと感じる要因になった。
34. まず田中酒造さんについてですが、僕はお酒が好きなため大変興味深いお話でした。名前は聞いたことありましたが、実際にどのくらいの規模で何のお酒を製造しているのかなど知らないことが多くあったため、日本の文化である日本酒を顧客のニーズに合わせ改良したりして、海外に支店向け、外国人旅行客の多い小樽の特色を生かし展開していこうとしていることに感心しました。また、無形文化遺産にも登録されている麴菌を使用した酒造りも継承、発展させることで世界に認められていることに驚きました。今後も日本酒が世界で輝けるようにしていってもらいたいと同時に、機会があれば僕も日本酒の発展に貢献していきたいなと感じました。次に、西條産業株式会社さんについてですが、働き方を工夫している点に感心しました。給与を改定したりして、役職をゼロベースにするなどもすごいと思いました、オフィスカジュアル化がとてもいいなと感じました。カジュアルにすることで仕事も捗ると思うし、意欲的に仕事に取り組める気がするからです。また、地域のイベントや団体に貢献していこうという精神も素晴らしいなと思いました。今までは建設業にそこまで興味がありませんでしたが、地域に根付き、地域貢献をできるような会社はすごいなと感じたので、就職の際の候補として考えていきたいなと思いました。

最後に北海道信用金庫さんについてですが、信用金庫については他の授業でも学んでいて少しだけ知識はありましたが実際に働いている人のお話を聞く機会はなかったのでとても面白かったです。中小企業をサポートし、地域の期待に応えていくといった業務はとても興味深かったです。また、具体的な仕事の流れも理解できたので将来自分が働いたときのビジョンが見えてきたのもよかったです。三社とも自分が今まで見てきた業界とは異なっていたためとても興味深くお話を伺うことができました。本日聞いたお話は今後行っていく就活などに役立てていきたいです。

35. 西條産業の3つの部門を有効に活用し、平均的に利益を維持する仕組みが興味深いと感じた。1つの部門だけに頼らない経営は、今後AIなどの発達により先行きの見えなくなっていく社会で生き残るために必要不可欠だろう。
- 3つの企業それぞれがそれぞれのやり方で、今の時代に合わせた取り組みを行っていることがわかった。特に、地域に密着し盛り上げるための活動や、ワークライフバランスを意識した改革などに積極的に取り組んでいる点が、クリーンな企業であることを表していて、就活生として興味が湧いた。
36. 就職活動をするにあたって、小樽の企業はあまり視野に入れてなかったが、地方の企業でも海外を視野に入れた事業を展開している企業もある事を知り、興味を持った。地元で就職しようと考えていて、今回の講義で小樽の企業も活発に事業を展開していることを知ることが出来たので、これからの就職活動で地元の企業も調べてみて知ろうと考えた。地元の企業を知るいい機会になった。
37. 今回の講義では、3つの企業の説明を聞けたので、就活をしている身としてはいい機会となった。また、小樽の企業に就職するということは頭になかったので考えさせられるようになった。特に、田中酒造のお話では、歴史ある小樽の小規模企業で、業界としても売り上げが下がっているので、生き残っていくためにインバウンド形体を取り入れているのが地域の利点を生かしていて面白いと思った。小樽の大学で育ったので小樽の町や企業を守る仕事をするのも面白いと思った。
38. 各企業とも、現状満足している点と、課題があることが良くわかった。
- 西條産業については、地域に根付いた建設や販売に関する事業を行っているが、そういった現状に満足せず、地域のイベントなどに協力することで更なる地域の発展を目指している点が非常に地域のことを考えている企業だとわかり、こういった企業がどの地域にも必要であるのではないかと考えた。
- 田中酒造に関しては、日本酒業界がインバウンド観光客に視点を当て、今までの歴史を大事にするだけでなく、さらに進化していく姿勢は、老舗である企業が変わっていくことで企業の寿命が延びることに繋がるのではないかと考えた。
- 北海道信用金庫については、信用金庫特有の中小企業に特化した金融機関である点を活かして、地域に密着し、地域企業を支えていこうという姿勢が、今後の地域経済を支えるために必要な企業なのだと感じた。

39. 西條産業株式会社様の行っているよさこいハートフェスティバル支援や小樽雪花火の支援など、地元企業がただ事業を行い、利益を産むだけではなく、地域活性化に向けた活動も幅広く行っている点が印象的だった。その他、田中酒造様がお酒の製造だけでなく発酵製品の製造へと事業を多角化している点にとっても興味を持ったことに加えて、「お酒造りのエンターテインメント化」という文言もインパクトがあり大変興味を持った。自分たちのお酒に興味を持ってくれた人たちに、彼らが知りたい情報を能動的に与えにいくことでロイヤリティを増加させることは非常に有効な戦略だなと思った。
40. 田中酒造さんにおいては、インバウンド層含む外部環境を考慮した経営戦略をご紹介なさっていて、就職する企業における今後のビジョンを知る重要さを考えるきっかけになりました。また、北海道信用金庫さんにおいては、特に地方中小企業を相手取って、職員の方々ひとりひとりが貢献感を感じながらお仕事なされているイメージをお聞きし、私自身 3 年生で金融業界を志望しておりますのでとても興味がわきました。西條産業さんにおいては、小樽に根付いた、歴史ある事業を継続なさっていて、業種をまたいだ価値提供を行っているというイメージが伝わってきました。以上が、今回のご講演で得た気づきです。このような貴重な機会をもうけていただきありがとうございました！
41. 現在就活中だが、あまり小樽の企業を見ていなかった所以就活の面でも、経営学の授業としても勉強になった。3 社とも地域との繋がりをとても大切にしているように感じた。
- 西條産業株式会社さんは信頼を大事にしている、70 年も小樽でやっていけるのはお客様が私たちを選んでくれているから、と仰っていた。西條産業株式会社さんの多岐にわたる事業によるお客様へのニーズの対応はもちろん、小樽屋台村の運営や小樽のサッカーチームの協賛、よさこいや花火の開催など地域のための活動によって、小樽に根付いた企業になっているのかなと思った。複数の事業を展開することで、ある事業ではお客様になって、ある事業ではライバルになることがあると仰っていた。その対策として、不調な事業を他の事業を補うといったことで全体の利益を一定にしているとも仰っていた。そのときに小樽商科大学の大学院で学んだことがとても活きているとお話しされていたので、今私が学んでいることは働くようになってからも役立つのだなとも感じた。
- 田中酒造株式会社さんは、ただお酒を製造するだけでなく、お酒造り自体を商品とした見学ツアーや海外向けの商品の開発・発酵食品の製造などたくさんのことに取り組んでいた。お酒自体の消費が減っている今、その中でも伸びているところや今のニーズに合わせた商品を生み出すことで長年続いているのだなと思った。
- 北海道信用金庫さんは、1 対 1 で支店長と話す機会を設けていたり、水曜日と金曜日は定時退社をしていたり、働きやすい環境作りにとっても積極的に取り組んでいるように感じた。
42. 信用金庫と銀行の違いが民間金融機関の中でも株式会社か協同組織かの区別であり、さらに信用金庫というのは中小企業と個人に特化した地域密着型の金融機関であることがわかった。また西

條産業さんの働き方についてアフターファイブを充実させよう働きがありました。また多業種で川上から川下まで仕事として携われることは魅力的だなと感じました。自分は現在 3 年生で就活をしているのですが、こういった福利厚生がある会社はとてもいいなと感じ、会社選びをする際に参考にしようと思いました。

43. 西條産業さんが給料のベースアップをはじめとして、子供手当を付けることの理由が、近年物価が上がっていることや「小樽市」の人口の現状を考えたものであるということが、地域のことも従業員のことも考えていると感じました。また、役職をゼロベースにして、誰でも部長などの役職につけることが出来るという環境にすることによって各従業員のモチベーションをあげることが出来るというような社風にもなっていて個人的には理想的な職場であると感じました。
44. 今回の講義を聞いて、小樽という魅力のある土地に位置していることを生かした経営戦略などを聞いて面白いと感じた。田中酒造株式会社さんは、京都の獺祭などの有名な日本酒の戦略を取り入れながら、小樽に根付いた酒造りをしており、また観光客のインバウンドを対象とした戦略、特にニーズを合わせた経営は、オーバーツーリズムをプラスにとらえたものだと感じた。西條産業株式会社さんは、地域貢献が魅力的だと感じた。潮祭りや、小樽雪花火などのイベントに積極的に参加するのは、地域の人々に愛される要因であると感じた。
45. 今回の講演会で、なかなか聞くことのできない企業の偉い方のお話を聞けたので貴重な機会で受けることができて良かったです。自分自身 3 年生になってから就活について考えるようになって、企業ごとでどのような方針の違いがあるのか、働くということがどういうことなのかということを考えることがあったので、実際に経営者や人事担当をしている方々の話を聞いて、企業ごとに考えていることや大事にしていることは大方バラバラで色々な考えがあるということを感じることができたので良かったです。
46. 西條産業株式会社ではハウス・商事・建設部門に分かれているという話があったが、「商事部門でのお客さんが、建設部門にとってはライバルとなる」という言葉が印象的だった。ライバルが多ければ建設部門での利益が上がらなくなり会社全体の利益が下がってしまうように思えた。ただ大きな損失とはならないようで、たとえば建設部門が不調でも商事部門が好調となるように、3 部門がそれぞれ補い合っているのだと感じた。また講演を聴いている中で「多様化に対応していくこと」の重要さを感じた。女性の社会進出が浸透してきたことによる消費者の多様化、会社組織内の人員の多様化や組織再編などの多様性が会社経営にとって重要となってきたのだと学んだ。
47. 自分の興味のある分野とは違ったが、普段だったら調べることのない企業の話を知れたので良い機会になった。小樽に就職することは考えていなかったが、小樽にも魅力ある企業があることを知ったので、地域密着という観点から考えても少し良いなと思った。
どの企業も根本にある理念や技術はそのまま、時代に合わせた事業を行うことで長くにわたって

ご活躍できる企業になったのだと思った。また、各社働きやすさのために工夫をしていたので他企業を見るときもそういった観点で考察する必要があると思った。

48. 田中酒造さんの話でもあったが、人口減少や高齢化は商業に大きな影響を及ぼすため、それに合わせて柔軟なマーケティング戦略を取っていくことの重要性を感じた。特に、国際化という観点がとても理にかなっていて、色々な業種で役立てると感じたし、田中酒造さんはそこから小樽の地理的優位性を使って訪日外国人観光客をターゲットにし、コンセプトも大幅に変えるという大胆な経営戦略を取っていて、聞いていてとても魅力的に感じた。古くからの伝統や技術を守ること大切だが、すごいスピードで変化する現代に合わせて柔軟に変化して行くことの大切さを改めて考えさせられた。
49. どの会社も歴史ある会社で変革を恐れず時代に合わせて柔軟に対応していることが印象的だった。グローバル化や国際化も進んでおり、貿易相手国が海外だったり、インバウンドにフォーカスしていたりと、小樽という小さな町でもグローバル化を感じた。また、地域とのつながりを大事にしており、地域活性化に貢献している点が印象的だった。小樽商科大学とのつながりや、地域を盛り上げるイベントの企画、商店街の運営など小樽の会社全体で小樽を盛り上げていこうという気持ちを感じた。また、北海道の観光都市としての役割を果たしていこうと目標を掲げているのも各会社で印象的だった。
50. 3社へ社員のエンゲージメントを向上させるためにやっていることについて質問があった。この質問に対して、北海道信用金庫は半年間の教育係をつける、1on1で支店長と話せる機会を設けるなどの人材育成制度、西條産業は給料アップのためだけの昇進をやめた人事制度のことを答えていた。第4回講義で、エンゲージメント向上には人材育成制度、人事制度が重要だということを知っていたので、本講義で企業は実際に何を行っているのか知ることができ理論から現実につながった感覚がした。西條産業へハウス部門・商事部門・建設部門の3部門で事業を行うことで、部門によって顧客から競業相手になってしまうことについての質問があった。この質問に対して、競業相手に建設部門で負けても、商事部門で競業相手に顧客になってもらうことで利益を出せるというメリットがあることを答えていた。このことに対して私は、事業多角化というと主軸となる部門以外では利益が出せず、投資が無駄になるなどのデメリットが大きいイメージだったが、事業多角化することで利益が0になるリスクを回避することができるというメリットがあることを学んだ。
51. 私は保険や銀行など金融業界への就職を希望しているので、今回のお話では特に北海道信用金庫さんのお話が興味深かった。今まで信用金庫の業務について深く理解できていなかったのだが、信用金庫が地域のための協同組織金融機関であり中小企業への支援をメインに行っていることを知りとても勉強になった。このような企業が北海道を中心とした地方の活性化に携わっていることがわかったので、信用金庫への就職も視野に入れていこうと考えた。

52. 西條産業株式会社では、社員の役職などを見直すことによって、組織編成の再構築をはかることが重要になると感じた。その中でも社員のモチベーションを低下させないために、給与面では昇給を施すという事も重要になってくると感じた。北海道信用金庫では、融資などの信用金庫において直接的に利益が望める点以外でも、顧客の支援を積極的に行うことで、地域の将来的な発展を目指す信用金庫の役割を果たせていると感じた。また、中小企業の支援によって日本経済を支えることができると考えた。同信用金庫では、先輩社員を一人つけることによって、新入職員のサポートを手厚く行うことで離職率低下にもつながっていくのではないかと考えた。
53. 田中酒造は小樽運河の方でよく看板を見るので気になっていた。販売している商品や工場見学などについて知ることができ、面白かった。西條産業は、部門が3つあり、企業としての安定性があると思った。木材販売ではお客様だった企業が、建設では脅威となることも面白いと思った。ハウスメーカー的な部分に関して興味を持った。また、色々なイベントを主催しているというのは地域貢献に役立っており、小樽の西條産業にしかできないことだと思う。それに加えて、サッカーチームのスポンサーもしており、人材集めには良いきっかけだと感じた。小樽の企業だと将来の盛り上がりに関心がありそうですが、その点でも期待できそうだと思います。
54. 西條産業株式会社、田中酒造株式会社、北海道信用金庫の3つの企業の方々から様々なお話を聞いたなかで、私は田中酒造の方のお話が特に印象的であった。当初は他の企業よりもあまりよくない酒を販売しているとまで言われるほどの信用度である会社であったが、今ではそんな田中酒造しか小樽の市場に残っていないといったことから、経営をする上で必要なことは今安定した業績があることでなく、今業績が悪かったとしてもだからこそ市場の中で求められることを常に知る努力をし続け、恒常的に戦略的にマーケティングを行っていくことであると感じた。
55. 小樽の企業についてあまり存じ上げていなかったもので、今回の講演でまず小樽の企業について知ることができた。
- 日本の人口減少が叫ばれている中、国際化によって利益拡大を狙うというのはどの業界でも有効な手段であると感じ、今後の就職活動において役立つ考えを得られた。
- また、銀行と信用金庫の違いについてはあまりしっかりと理解していなかったもので、今回の講演で明らかにすることができたのは良い機会であったと感じた。協同組合として地域に貢献できるという県は、地域貢献を軸の一つとしている自分にあっているというように感じた。
56. どの企業も、時代の変化に適応して経営を続けているのだということを感じました。物価の上昇に対応して賃金の引き上げを決定した西條産業さんや、インバウンド需要増加を意識した経営をしている田中酒造さんに特にそれが強く表れていると思いました。
- そういった小さなことでも時代の変化を見逃さない方針が、企業が長く続いていく条件なのではないかと考えました。私も現在就職活動の真っ只中ですが、そういった企業を見極めて、自分の納得できる業種・企業に就職したく思いました。

57. 有名企業の経営者の方の貴重なお話を聞く機会はとても少ないと思い、夢中になって聞いていたためにあっという間の講義でした。私は自分の働く企業に関してワークライフバランスがとても重要だと思っており、それぞれの会社の働きやすさや勤務時間に注目して聞いていました。アフターファイブという言葉がよく登場したり、まとまった休暇が取れたりなど会社によって様々でした。また、日々の仕事の悩みなどを解決するためのワンオンワンという上司と部活が一对一で話す機会を設けている北海道信用金庫さんの制度がとても良いと感じました。個人的には日本酒や梅酒が好きで興味があつたので、田中酒造さんのお話を聞くことができとても嬉しかったです。日本酒の製造をぜひ見学してみたいと思いました。
58. 西條産業さんが建設業だけでなくいつも通っている都通りの横丁も経営していたり、田中酒造さんがインバウンドに着目し生産・販売していたりと、より多くの方々に自社を知ってもらえるようアピールする方法がたくさんあるのだと再認識しました。この間タクシーに乗っていたときに運転手さんに「小樽はもう廃れているからもっと頑張らなきゃだなあ」と言っていたのを思い出しました。観光客が多い反面、再訪してくれる人は少ないなとわたしも思っていたので、それぞれの企業さんがもう一度来ていただけるようにと焦点を当てながら企画していることに感心しました。また、従業員の働きやすさの重視も伝わり、サービスの向上に努めているのが伝わりました。
59. 3社ともに、それぞれ違った強みがあれども、地域に貢献すること、時代に合わせて変化をしていくことを大切にしており、やはり顧客を掴むにはそういった意識が必要なのだなと感じた。最近私の両親も北海道信用金庫さんに融資に関する相談をしていたが、非常に頼りがいがあり、話しやすく、助かったと言っていた。話の最中で実はその営業の方が商大卒の方であることが判明したのだが、やはり働く人の人間力の高さは会社への信頼にも繋がるのだなということを感じるという経験が実際にあった。
- また、田中酒造さんの、インバウンドのお客が増えてきたことからの新たな展望を見て、とても戦略的だなと感じた。酒造がエンターテインメントとして発展していくというのは私には思いつかないことだった。そういった老舗のお店がしっかり時代に追いついてその時代に合わせた営業展開をしていくというのはなかなかできることではないと思う。これくらい攻めた経営戦略をしているからこそ繁盛しているのだなと思った。
60. 私は現在大学3年生で就活を始めており、先輩OBが多くいる金融業界に興味を持っている。銀行や保険業界の説明会は受講したことがあったが、信用金庫の説明会は初めて聞いた。限られた地域の中で、全企業数の99%を占める中小企業メインに支援を行う点に魅力を感じました。仕事の流れから業務イメージを把握することができました。個人的に、金融機関は転勤が多いことが特徴としてあると思っていたため、道央圏で多くの人が働いている点に驚きました。
61. 道内企業さんの業務を直接お聞きすることができ、良い経験ができました。今まで登壇企業の名前や大雑把な仕事内容しか情報を知らなかったため、今直面している課題や、それに対する取り

組みなど、これから就職活動を行う上での知見を広げることができました。個人的興味を持った企業は、田中酒造さんであり、酒類メーカーとして海外に目を向けつつも、伝統を大事にするという部分に魅力を感じました。私も日本酒が好きで、田中酒造さんにも何度か行ったことがあるのですが、今回この講義で聞いた取り組みを直接感じるために、また訪れようと思います。

62. 私は小樽の企業への就職は考えていなかったのですが、あまり小樽の企業について見ることもなかったのですが、今回お話を聞くことができて良かったです。働き方改革という部分では、やりがいといったところやワークライフバランスなどを重視する企業が多くなっているように感じました。研修や育成の部分でも、3社とも手厚い対応をしてくださるという印象を受けました。今回の講義を通して3社のお話を聞くことができて、今後の就職活動の参考にしたいと思います。
63. 現在私は3年で就職活動を始めているが、自分の中に持つ就職活動の軸を何に設定するかを決めかねていた。田中酒造の岡田氏は働くモチベーションに関する質問に対し、目に見える成果があると次に繋げると返答していたことが印象的であった。私は飲食店での接客アルバイトをしているが、実際に仕事のやりがいを感じる場面はお客様にありがとうと言われたり、お客様が嬉しそうにしているところに触れたりする場面である。就職活動になると、自分がやりたいことは何か、自分のやりたいことをやるのがモチベーションに繋がるというように考え、自分は何をしたいのか思い悩んでしまうことがあった。しかし、岡田氏の言葉を聞いてアルバイトでの経験を思い出し、自分の仕事に真摯に向き合い、お客様などの他者を通して見える成果を糧にして、さらに仕事に励むということが重要なのだと感じた。講演を通して、自分の意志も大切にしつつ、自分の仕事が他者のためになっているということを感じながら働ける職場に勤めたいと感じた。
64. 今回の講演を聞き、インターネットで調べるだけではなく企業の人の話を直接聞く機会はやはり重要だと感じた。西條産業さん、田中酒造さんのように経営者の方のお話を聞くと、会社の方向性や企業理念が非常に伝わってくるし、北海道信用金庫さんのように人事担当の方を聞くと、働きやすさなどを実体験も交えてお話してくださることで実際に働く際のイメージがしやすかった。最後の質問タイムの回答から、働き方改革、ワークライフバランスについてはどの企業も非常に意識していると感じた。その中でも特に、西條産業さんの組織再編に取り組んでいるというお話が印象に残った。日本の雇用慣行である年功序列制度では給料をあげる時に役職もあげる。そのため、社員の役職に着いている人の数が非常に多くなり、逆三角形型になってしまう。このような話は今まで聞いたことがなかったため、とても勉強になったし、組織再編でそれを是正する取り組みは素晴らしいと思った。講演の内容も非常に興味深く、小樽の代表的な企業さんから貴重なお話を聞くことができ今後の就職活動の参考になった。
65. どの企業さんの説明も明快であり、信念も伝わってきて非常に為になるお話であったが、とくに西條産業さんの説明に感銘を受けた。まず会社経営といえば損得やマーケティングといった要素にばかり目が行きがちだったので信頼が大切というのは盲点だった。顧客だけでなく社員や地域の人を大切にすると自ずと利益といった結果にも結びつくのだと気づいた。プレハブメーカーで

あり建設卸会社であり、住宅メーカーでありゼネコンであるという要素も、建設における一連の工程を自社で完結させられるのは風通しの良さといった意味で会社内や顧客への信用にも繋がるのだと考えた。また自分は今就職活動中であり、勤務地と福利厚生に重点を置いているため、給与改定や組織再編、考課改定といった働き方改革には惹かれた。

66. 西條産業さんはハウス・建築・資材の3部門を展開することで、小樽でゼネコンに負けずにリスクもリターンも分散させることで安定した企業経営をしてきたことが生き残り戦略として成功したのだと理解した。田中酒造さんの話では、日本酒が世界である種のブランドや付加価値のあるものとして普及していることを初めて知った。ただ、国内の若い世代ではあまり日本酒を飲んだことのない人が多いと思うので、若年層向けの飲みやすさを重視した日本酒の需要もありそうだと感じた。
67. 田中酒造や西條産業は中小企業に分類される企業であり、私はあまり意識していなかった。この講演を聞いて、会社全体で地元のイベントに参加する姿勢や、インバウンドに力を注ぐ姿勢など積極的に力を入れていて面白いとおもった。またミクロな視点で仕事ができるのは地元企業ならではのだろうと感じた。北海道信金の講演では地域の信用銀行の具体的な仕事について知ることができてよかった。特に、事業の引継ぎや補助金申請の手伝いといったコンサルティングの業務があったのは驚きだった。名の知れた大企業への就職もいいが、地域企業でも地域に根差した仕事ができることはやりがいを実感できそうでその点がいいなと思った。
68. 私は春から就職活動を始めていて、業界は絞れていないものの、道内企業を中心に企業を見ていた。しかし、私が見ていた道内企業は札幌に拠点を置く企業ばかりで、小樽市内の企業は全く目を向けられていなかった。今回の講演を聞いて、3社とも小規模ながらも非常に働きやすさを感じられそうな企業だという印象を受け、今後の就職活動において小樽市内の企業も十分に検討したいと思った。特に田中酒造さん、北海道信用金庫さんに興味を持った。
69. 私は今回のパネルディスカッションを聞いて特に北海道信用金庫について興味を持った。私は信用金庫と銀行の違いについてもよくわかっておらず、今回話を聞いてはじめて中小企業と個人に特化した地域密着型の金融機関であることを知った。また、法律で営業エリアが決められていることや共同組織であること、中小企業の支援がメインであることも今回始めて知った。また、それぞれの業務のタイムスケジュールの紹介もあり、自身が働いている姿をイメージしやすかった。
70. ご登壇された企業様、本日はご多忙の中私達の講義のためにご来校いただきましてありがとうございます。現在、私自身就職活動中で、とても参考になるパネルディスカッション内容でした。私が今回の講義で重要だと思ったことは、多くの企業に共通することであると思いますが、チャレンジ精神が重要であると感じました。既存の事業やブランドに磨きをかける事も大事ですが、新規事業に参入することや既存事業の発展事業へ挑戦することによって自社の経済発展の貢献に寄与するのだと感じました。

71. まず、西篠産業株式会社の方のお話を聞かせていただきました。西篠産業株式会社では、ハウス部門、商事部門、建設部門の主に 3 部門制の会社でした。お話をお聞きして印象に残ったことは、副社長の西條さんが利益を上げるには、どうお客さんを喜ばせるのかということでした。そして、信頼によって 70 年以上会社が続いてきているという言葉もありました。私も将来的に会社を起業したいと考えているため、利益を上げるためには、お客さんを喜ばせ、信頼を得ることが大事であると感じました。また、小樽雪あかりの路に参加するなど、地域社会に貢献する取り組みを行っていることにも感銘を受けました。企業の社会的責任が問われている中でそのような取り組みも企業が長年存続している要因なのではないかと思いました。

次に田中酒造の方からお話を聞かせていただきました。田中酒造は主に日本酒を製造している酒造会社です。まず、国内、道内、小樽の人口減少が進んでいることから、国内のお客さんが減少しているため国際化が必要になってきていると知りました。そのような中で、日本酒の需要が世界的に高まっていることを知り、日本酒は日本だけのお酒というイメージがなくなりました。特に重要だと感じたことは、個人旅行化が進んでいることで、通訳がいいることが多く、接客においてのコミュニケーションが重要だということです。国際化が進む中で、外国人の方と接する機会はこれから多くなってくると思います。そんな中で、会社の魅力を伝えるにはコミュニケーションがカギになると感じました。

最後に北海道信用金庫の方にお話を聞かせていただきました。銀行と信用金庫の違いとしては、銀行は株式会社であるのに対して、信用金庫は協同組合であると知りました。また、預金業務、為替業務、融資業務など銀行と主な業務は同じだと知りました。信用金庫の特徴としては、地域のための協同組織金融機関で中小企業の支援がメインであるということです。本業以外においても、小樽運河清掃などの地域貢献活動にも取り組んでおり、地域の方と関わりを非常に大切にしていると感じました。

72. 講演の感想として、非常に有益で視野が広がる内容でした。3 社の社員に共通することは、北海道で育ち、北海道で貢献したいということです。私自身、現在就活しており、道内か道外かで就職を迷っていました。今回のお話を聞き道内で就職したいと気持ちが向きました、特に今回の講義で印象に残ったのは、田中酒造の歴史と成長過程についての詳細な説明です。創業者の田中市太郎が岐阜県大垣市から北海道へ渡り、酒造業を始めた話は、企業のルーツと創業者の熱意を感じさせました。創業当初の焼酎、白酒、みりんの製造・販売から始まり、時代に応じた商品展開とマーケティング戦略を取り入れてきたことがわかりました。また、田中酒造が旅行マーケットの変化にどのように対応してきたかも興味深かったです。団体旅行の増加から個人旅行化(FIT)へのシフトに伴い、顧客ニーズに合わせたサービスを提供し続けている点が印象的でした。このような柔軟な対応が企業の長期的な成功に繋がっていると感じました。企業が危惧していることとして、人材不足があるとお話されていました。そこで企業の取り組みとして、外国人労働者を受け入れているということに驚きました。現在小樽市は外国人観光客が多く顧客としては外国人メインになりつつあります。しかし、働く側も外国人がいるため、実際に商品を手に取り共働き働いてみたいという事業内容ということに感心しました。これらの学びを、自分自身のキャ

リアプランや仕事の進め方に取り入れていきたいと思います。特に、経営改革や組織再編の具体的な手法は、自分の将来の職場での改善提案に役立つと感じました。3社の歴史と戦略から得た知識を活かして、柔軟かつ革新的なアプローチを取り入れていきたいです。

73. 講演の中で印象的だったのは、田中酒造が地元愛と顧客を大切にしている点です。海外では柚子酒の人気が増えている話や日本では熟成酒があまり好まれない話などから、顧客のニーズを的確に捉え、商品ラインナップを展開していることも興味深かったです。増加する外国人顧客に合わせて田中酒造の従業員として外国人を雇用するという考えはとても画期的で面白いと感じました。
- 田中酒造の成功の鍵は、伝統を守りつつも変化を恐れずに挑戦し続ける姿勢にあると感じました。時代の変化に対応しながらも、自社の強みを活かし続ける経営戦略は、他の企業にも応用できる重要なポイントだと感じました。今回の講演を通じて、企業経営における柔軟性と持続可能性の大切さを再認識し、今後の学びに活かしていきたいと思います。
74. 私は、本日の講義を拝聴し改めて小樽の良さや歴史を見直すきっかけとなった講演だった。田中酒造様や西條産業様、北海道信用金庫様の講演はリアルな実社会を学ぶことができ、とても参考になった。具体的に、西條産業様の講演は、小樽の地域貢献についてとても考えられている企業と感じた。また、社員様の賃金のベースアップにも力を入れており、働きやすい企業だと思った。田中酒造様は、日本酒業界の市場は小さくなっているが、高級酒が人気であるが、海外からの日本酒人気が高く、グローバル市場に参入している。また、田中酒造様は、酒造だけではなく観光や発酵食品、エンタメにもこれから動き始めている企業である。北海道信用金庫様は、社員様と各支店長様が1対1で悩みなどを話す機会を設けており、比較的他社様と比べて働きやすい就業環境を整えている。また、求める人物像は、地域愛がある人とおっしゃっており、私の理想とする会社像と近いものを感じた。
75. 田中酒造の方から話を聞いて非常に良かった。自分の父は日本酒が大好きで田中酒造の日本酒も目にすることがある。20歳になりお酒を飲めるようになったため日本酒を試しているうちに自分も日本酒が好きになった。普段は自分がお酒を消費している側であり、製造する側の思いややりがいを感じた方はなかった。しかし、お話を聞く中で製造者としてどんなことに喜びを感じるか理解することができて非常に興味を持った。メーカーという業界に興味なかったが今後調べてみようと考えた。
76. 企業は利益を上げることが最も重要なのは疑いようのない事実だと思うのですが、その方法や方針は企業ごとに千差万別で、同じ金儲けでもここまで考え方に差が出るのかと驚きました。特に西條産業さんの、建設部門で他社に先を行かれたら商事部門で資材を卸し、どこかが凹んでもほかの部分でカバーが出来るように部門が構成されているのが新鮮な考え方に感じました。一つの価値に拘らず、大きく俯瞰して長期的な目で経営されているのだと感銘を受けました。

77. 田中酒造さんのインバウンド旅行形態の中の会社の歴史や味、飲み方などを伝えることで、お客様の理解度を高め、満足度が上がることで購買意欲が高まり、エンターテインメント産業へシフトしていこうというお話しがあり、以前他の授業で聞いたアサヒビールの没入型ビールのコンセプトショップのお話を思い出しました。アサヒビールでもただの工場見学だけではなく、大画面のスクリーンに投影される映像を通して、まるで自分が製造される缶の一つになったかのように感じられるようで、この体験を通して、さらにお酒への興味関心を高めているのに成功していると聞きました。近年ではこの体験やお話を聞き、ただお酒を楽しむのではなく、エンターテインメントとして楽しむことに注力しているところが増えているのだなと改めて感じ、とても面白かったです。
78. 信用金庫さんの説明が楽しみで来てみたが、田中酒造さんの説明を聞いてみてとても興味が湧いた。小樽市内の企業への就職は何も考えておらず、酒造業界はもっと視野に入っていなかったもので、このような機会の説明が聞けたのはとても有意義だと感じた。現在の小樽のインバウンドについて最近中国人以外のアジア系の方がよく街中を歩いているのを見ていて気になっていたのが、インド人の方なのかと驚いた。より就活へのモチベーションが高まった良い機会でした。信用金庫さんの説明では銀行業界の説明会は受けたことがなかったのでどのような業務を行っているのか詳しく知れてこれからの就活をどうするかについて考えることができた。
79. 田中酒造株式会社の岡田さんのお話の中であった、変化に気づける人材がいいという話がとてもこれから役に立ちそうでした。確かに、変化に気づかなければ、今後何をすればいいかわからなくなってしまうし、変化に鈍感だと今後何が必要かわからず、会社の成長に貢献できないため、これから身の回りの変化に敏感な人になりたいと思いました。また、インバウンド向けのお酒を作っているということでしたが、日本人と海外の人の好みは全く違うため、市場調査をして製造し、売れるまでの工程を詳しく聞いてみたいと思いました。西篠産業株式会社の、残業をせず 5 時 6 時以降を楽しもうといった、会社の方針もすごく大事だなと思いました。会社の雰囲気は、実際に働いている人の言葉じゃないと、ホームページなど文字を見ただけでは伝わらないため、今後も様々な企業の方話を聞いてみたいと思いました。
80. 今回の講演を聞いて、普段授業で習っていることが実際のところ社会ではどのように使われているのか、ということが理解出来ました。特に、従業員の仕事に対するモチベーションを維持に関してのお話は、授業と重なる点が多く感じました。西篠産業さんの働き方に関しての大幅な変更や、田中酒造さんの世界の「SAKE」としてのグローバル化に向けた取り組み、北海道信用金庫さんの地元の活性化のための働きかけや福利厚生の実施、などなど様々な工夫があることがわかりました。最後 1 つ心残りがあるとすれば、当時最弱とまで言われた田中酒造さんがどうして小樽最後の 1 社に残ることが出来たのかが聞きたかったですが、きっと日々変化する時代のニーズに合わせて柔軟に事業を進められたことがその一因でもあるのかなと個人的に思いました。大変貴重な機会を設けていただきありがとうございました。

81. 田中酒造株式会社さんのお話では、北海道では柚子は採れないが、外国人の観光客からしたら、北海道の観光をするというよりは日本の観光をするという意識が強いため、そのような観光客に向けて柚子のお酒の販売をするというようなお話があった。それを聞いて、私はこの会社は細かく市場細分化を行って、顧客のニーズに沿わせようとしているのだと感じた。また、西條産業株式会社さんでは 5 時や 6 時に退勤することを推奨していると言っていた。これは、社員のモチベーションを保つために非常に大切なことだと感じた。社員を大切にすることなのだなと感じた。就職活動において、会社の雰囲気、社員に対する対応など会社の選び方を考えなくてはならないと感じさせられた。
82. 2 年生という立場で、実際に企業の方々の企業内説明を聞く機会は滅多になく、非常に貴重な機会を得られてとても参考になった。実際に 3 社に就職はしなくとも、企業内の労働条件ややりがいなど、企業を見る視点はどこに重点をおくべきかなど、今一度考え直すことができた。特に興味を持ったのは田中酒造さんで、日本酒ながら古酒という視点を、海外視察を通して実践しているという話には、とても驚くとともに面白いなと思った。これを通して、自分の興味のある分野の企業分析を早くから実践してみようと決めることができた。
83. 小樽の企業は小さく言ってしまうと地味なものばかりと勝手に思っていたが、70 年も続いている歴史ある企業や、地方だからこそ小樽に根差した事業をしている企業があることがわかりました。また信用金庫と銀行の違いを詳しい説明で知ることができたのが良かったです。就職は小樽で探すという考え自体なかったのですが、そういう人にとってこのようなパネルディスカッションは新しい選択肢を見つける上でとてもいい機会になると思いました。小樽に限らず、自分が始めから持っている偏見や印象だけで選択肢を減らすのは良くないと気づくきっかけになりました。
84. まず、西條産業株式会社は、名前はあまり聞いたこと無かったが、車を見たことがあった。オフィスカジュアル化は、他の企業ではあまりないのかな、と思うので魅力的だなと思った。ロマン横丁や雪花火も西條産業株式会社さんがやっているのを初めて知って驚いた。3 つの部門があって、どこかの部門で利益を得て、それによって平均的に 3 部門で利益を得ているというのが賢い点だと思った。次に、田中酒造は、ほぼ自分たちで作ったお酒を自分たちで売っているというのが、珍しくて興味深かった。また、クラフト酒という果汁をいれるお酒が最近出てきたというのも、とても気になった。また、20 代の男性の飲酒が減少していることや、アイヌ民族のお酒なども製造していることに驚いた。お客様のお酒への理解度が上がれば、売上も上がるというのが効率的で良いと思った。最後に、北海道信用金庫さんは、地域密着型、というのが 1 番重視しているのかなと思った。目先の利益よりも、地域のこれからの発展を重視しているという点がとても魅力的だなと思った。運河清掃をしたり、潮祭りにも参加したりと、些細なことから地域に貢献しているのが顕著に見えて、とても興味深かった。
85. ・西條産業株式会社

3つの部門で事業展開している点について、質疑応答の際の答えとしてどれかの部門の営業成績が悪くても他でカバーできるとおっしゃっていて、幅広く様々な事業展開をする利点について学ぶことができた。あまり関連はないかもしれないが、私も今やりたいことがたくさんあって、一つに絞れないことで悩んでいたけれど、まずはチャレンジしてみようと思うきっかけになった。

・田中酒造株式会社

仲居として旅館でアルバイトをしていた際に、田中酒造さんの大吟醸宝川を食前酒として提供していたので、親しみがあり普段の生活で目に入る機会の多い会社だったので、今回の講義でさらに理解を深めることができた。日本酒は古くからの伝統文化であり、それを作る会社もかたいイメージがあったが、現代の日本酒の消費量の少なさをカバーするために、時代に沿った柔軟な解決策を考慮しており新鮮な印象を持った。特に海外の方向けの進出を考えていらっしゃるって、それを実現するためにも英語に強い人材の需要が高まると思うので、田中酒造さんにとっても商大の学生にとっても良い機会だと感じた。

・北海道信用金庫

全体的に具体的な業務内容についての説明が多く、銀行での勤務がどのようなものか知ることができた。また、銀行に関する知識もつけることができ、将来的な銀行での勤務が想像しやすくなった。

会社についての概要だけでなく、就職先としても考える機会になる情報があり、貴重な時間だった。

86. 今回の講義で特に印象に残ったことは北海道信用金庫のお話だった。そもそも信用金庫というのは銀行と何が違うのかというところや仕組みがよくわかっておらず、地元にも信用金庫があって気になることはあったがその時も調べずわからないままだった。改めて興味のあった信用金庫の特徴と業務について少しでも知ることができて良かったと感じた。特徴として「地域のため」がメインであること、そして株式会社ではなく協同組織であり利益ではなく地域の将来を見据えて動いていることに魅力を感じた。日本企業の 99%である中小企業を支えている信用金庫の役割はとても大きいものだということも理解した。また、営業エリアが法律で決められているという点もとても興味深かった。どのような職種に就きたいかなど将来が上手く想像できていないため、このような講義はとても参考になった。
87. 今回の講演を聴いて一番感じたことは、「自分は誰のために、どうして働きたいのか」を明確にして仕事選びをした方が良かったと思った。これまでも、楽しそうに仕事をしている方々は、その仕事を天職だと思って生きていることが多かった。また、そこまでいかずとも、西條産業さまのように、「地域の方々に一番必要なものをこれからも提供していきたい」というような、明確な軸のある会社に惹かれる。私はまだ 2 年生だから何も考えなくとも大丈夫だ、という考えを捨てて、日々自分は何をして生きていきたいのか、ということも考えて生きていきたい。
88. 3社とも小樽にルーツを持つ企業ということで、小樽の大学に通っているものの、私自身は小樽の企業についてあまり存じ上げていなかったのもので少しでも知る機会があって良かったと思った。

具体的には田中酒造株式会社の話では衰退産業であっても歴史を持っていることや、やっている事業内容に対する誇りを聞けて興味深かった。また、北海道信用金庫の話では、私は銀行と信用金庫の違いすら認識していなかったので信用金庫とはどういうものなのかという初歩的なことから全てが大きな学びになったので良かった。

89. 「西條産業」

- ・現状維持は客観的に見たら右肩下がりということ。
- ・小樽の地域的な特色を生かした様々なイベントなどを立ち上げることは、直接事業に関わることではないが、長期的に見て色々な点で利点があるように感じた。

「田中酒造」

- ・”比較的小規模に製造している”ということが身軽さにつながっていて、自社内で小売まで完結できている要因なのかな、と考えた。
- ・お酒製造業→発酵食品加工業へ業種を変化させていることから新たなビジネスの機会を探っていることがわかった。
- ・その変化が小さくても、理念に沿って変わり続けることが重要であると感じた。

「北海道信用金庫」

- ・信用金庫と銀行の違いは大まかには理解できていたが、信用金庫も NISA や iDeCo といった制度の金融商品を取り扱っていることを知らず、驚いた。

90. 今回の講演で、それぞれの企業の歴史や事業内容、組織文化、地域社会への貢献など、実際のビジネスの様々な面を学ぶことができた。企業ごとの異なるアプローチや戦略を比較でき、各企業の役割を深く理解した。特に田中酒造の講演では団体旅行から個人旅行への移行など、観光業界のトレンド変化を学ぶことができ、企業の詳細だけでなく様々な業界の仕組みや実情を知ることができてよかった。本日の講演は自らの地域経済への興味や将来のキャリア選択に繋がると強く感じた。

91. 小樽の会社として小樽の街自体に貢献していけるような取り組みをされていてその地域ならではのことができるのはすごくいいなと思いました。地域活性化の取り組みなども行っているのにとっても興味を持ちました。

働き方やその企業を取り入れている制度が本当に様々で自分が就職活動する際に、何を大事にしていきたいのかをはっきりさせることで企業の雰囲気と自分があっているか、満足できるのかを知る大きな手掛かりになると考えました。

どの会社も日々変化しており、常に課題解決に取り組むために新たなことなどに取り組んでいると考えた。国際化などの視点もやはり多いと思いました。求められている人材と自分を考え直すことがより大切だと感じました。会社の方針と自分が就職先選びで何を重視するかを合わせていくことも大切だと思いました。

西條産業さんのアフターシックスを大切にしている制度や北海道信金さんの入社後に先輩 1 人が就く制度はとてもいいなと思いました。

92. 1 番目に話されていた西條産業さんのディスカッションの中で、地域貢献を大切にしていたことが印象に残りました。顧客との関係性、信頼を築けているのは長年の活動あってのものであると思いました。歴史ある企業でも時代にあった働き方へとシフトチェンジしていることは素晴らしいと感じました。またディスカッション全体を通して企業の中にも様々な部署があり、それぞれに求められている役割があることを知りました。今まで企業の表の看板しか見ていなかった自分の視点が変わるきっかけになりました。
93. 今回の講義を聞いてそれぞれの企業がどのような指標や信念を持って活動しているのか知ることができました。例えば、西條産業では物価の上昇に伴って賃金を上げたり、オフィスカジュアルを導入したりしています。また、田中酒造では人口減少を小樽という観光業が有名な地域を活用して外国人観光客を取り入れる戦略を立てるなどグローバル化に着手しています。そして今日お話を聞かせていただいた企業さんは地域貢献をかなり重要視しているようでした。北海道信用金庫は小樽運河の清掃を行うなどしており、目先の利益だけでなく地域に還元する活動もしていることにとても感銘を受けました。ほかにも具体的な仕事内容や人を雇う上でどのような部分を重要視しているのかなど、とても有意義な話を聞くことができたのでそれも頭に入しながら今後の就職活動なども頑張っていきたいと思います。
94. 今回の講演では全ての企業の方が地域に貢献することを目標にしている、自分が元から住んでいるところや就職などで移住した場所を盛り上げることができる魅力を考えるきっかけにできた。私は自分の就職したい企業を選ぶときに土日祝日休めるところを選びたいと思っていたけれど、アフターファイブによって仕事が終わった後に自分の趣味を楽しむことができる時間を作ることができるというのはすごく魅力的に感じた。また、自分は業種で仕事を選びたいと思っていたけども働きやすさの方が重要なのではないかと考えることができ、就活活動の参考にすることができた。
95. 日本酒の未来は明るいとおっしゃっていたが、中学校や高校の授業で、酒はアルコール中毒を起こしたり脳を萎縮させたり、健康を害する危ないものという印象を強く抱いていた。大切なのは節度と言うが、これから 20 歳を迎える人は健康に良くないとわかっていて飲もうという気になりなれないのではないかなと思った。しかし、発酵食品と聞いて良くないものという印象が薄れた。どんな言葉を用いるとイメージを変えられるのか、PR の仕方に興味を持った。自分の地域のことは知ったつもりになっても意外と知らないことが多いし、知ろうと思わないと見えないことは多い。だから、地域発展のために、まず現住所に近いところに配属しその地域を知るということは効果的だと思った。地元について自分の思い込みがあったのだなと実感する機会などがあれば、全く知らない土地に行っても、既存の考えにとらわれず様々な視点で地域を見ることが可能になると思った。
96. 企業講演に参加し、大変有意義な時間を過ごすことができました。講演では、あまり触れ合う機

会のない小樽の企業を知ることができ、非常に勉強になりました。異業種の方々のお話を聞ける機会を得て、新たな視点やアイデアを得ることができました。特に、西條産業様の信頼を重要視する考え方は非常に参考になりました。企業講演を通じて、自分の今後の展望に活かしていけるような多くのヒントを得ることができ、大変満足しています。本日はありがとうございました。

97. どの企業も現代の働き方に合わせているのが好感を持てた。その中でも私が特に興味を持ったのは田中酒造だ。私はもともと色々な種類のお酒に興味があったので、始終興味深く聞いていた。田中酒造の存在はあまり知らなかったが、講演を通して外国人に日本酒が流行っていることや、その中でも純米大吟醸が好まれていること。柚子でお酒を作ったら売れるのではないかと、など移り変わっていく時代に敏感になり、自分たちの伝統は受け継ぎながらも店を広げていこうとする姿は、今のどの企業でも必要なことだと感じた。また、個人的にはインバウンドのこれからを見据えていたらいつのまにか発酵食品へ…と言う考えに至ったのが面白かった。
- 今回の講義は、信用銀行、建築関係、酒造など、働き方も職種も客層も全く違った業種ばかりだったが、地域に貢献していこう、自分の会社を社会に合わせて改革していこうというのがよく伝わった。自分も来年には就活が始まるが、現状に満足する会社ではなく、常に成長していく会社に勤めたいと思う。
98. 今回、4人の方のお話を聞いて大学生活の中でも思ったよりも小樽市内の企業が関わっていたのだなと思いました。お話をいただいた中でも特に西條産業さんはソーランハートフェスティバルに携わっていたということで、自分はこのお祭りで演舞をしていたので身近な存在に感じました。企業も、ただ仕事を行っているだけではなく地域に寄り添った事業を行っているということを知ることができ、新たな発見に繋がりました。今日お話を聞くことができた3つの事業は分野がそれぞれ異なる内容だったからまだ知らないことをたくさん知ることができてとても有意義な時間となりました。自分は将来、金融系の職業に就きたいと考えているので北海道信用金庫さんのお話で簡単な事業内容を聞くことができたので少しでも今後に役立てることができたら良いと思いました。
99. 西條産業様は、講演前から知っていたが実際どのような事業を行っているかは知らなかった。講演を聞き、仕事として3つの分野で行っていることがわかった。その仕事内容も素晴らしいと感じたが、地域貢献にも力を入れているということに感銘を受けた。僕は所属しているサークルで実際に西條さんとボランティアを行ったことがあったが、そのイベントを立ち上げた考えなどを知ることができ、より一層その地域貢献を頑張りたいと思った。質疑応答の働きがいの話や、モチベーションの話で、それぞれの企業で違いがあって面白いと思った。ワークライフバランスが大事だなと思った。
100. 田中酒造さんのお話を聞いて、やはり企業の国際化は求められてくるなと思った。日本での需要が減ったとしても海外には評価されたりすることはあるので、常に視野を広く持つことが企業の成功の秘訣だと思った。また、西條産業さんは、3つ活動エリアを持っており、どこかの業種で

利益を取れるため会社を維持させやすいというのが印象的だった。また、変化していく時代に適応しながら様々な活動を行っているところに魅力を感じた。やはり、柔軟な対応や考えが企業の存続のためには大切なのだなと改めて認識した。また、銀行と信用金庫の違いをわからなかったので、今回知ることができて良かった。

101. 人口減少や高齢化が進んでいく現代で地域を発展させていくにはその地域に根付いた企業の協力が不可欠だと思うので、例えば今日の授業であった社員への子供手当などがあるとその地域で子育てをしやすくなり、人口の減少を食い止めることにも効果があると思い、そのような企業が増えていくことが大切だと感じた。また地域の企業がその地域出身の人を雇っていくことで、他の地域に若者が流出していくことが多い小樽に働く場所を作っていくことも、地域創生という面において重要だと感じた。
102. 今回の講義の動画を視聴して、大学生になってから初めて企業説明会というものを聞き、今後自分の将来を考えたり進路を決めていったりする上で参考になるお話が多くあり、貴重な機会となりました。田中酒造さんのお話では、業界の現状を分析した上で、生き残っていくために時代の変化に合わせて商品の売り出し方や事業への取り組み方なども変えている所にとっても興味を持ちました。今回のこの講義を通して、自分がどの企業に就職するかを考える時に重要視するポイントを考え直すことができました。
103. 西條産業の地元のサッカークラブのメインスポンサーを務めていることや、商大のよさこいサークルと繋がりを持っていることなど、様々な形で地域と繋がっていることを聞いて、実際にクラブに入るために就職した人がいたように、地元との繋がりや幅広い交流活動などを行うことは、会社の人を増やし大きくするために効果的な方法の一つだなと学びになった。また、田中酒造がエンターテインメント産業と話していたが本当にその通りだと思った。私が住んでいた旭川では街中で外国人を見かけることはほとんどなかったけど、小樽は町中に外国人がいる。やはり普通の都会のように産業を伸ばしていこうと思っても、すぐ近くに札幌があるのであまり効果的ではないと思う。小樽の素晴らしい歴史と雰囲気をもっと伸ばして小樽でしかできないこと、見られないことなどの独自性を伸ばしていったら産業の発展などにもつながっていくと思った。
104. 国内人口の減少で需要が減っていく中で、インバウンドを活かした事業を行うことの重要性を感じました。田中酒造算出の小樽の地域性を利用した政策、お酒造りのコンテンツ化などの訪日外国人にむけた様々な事業戦略を知ることができてとても興味深かったです。田中酒造さんのインバウンド戦略は、日本の伝統を訪日外国人に伝えるとともに、同時に地域経済の活性化に寄与する素晴らしい取り組みだと感じました。インバウンドを利用した事業の難しさを感じました。
105. 小樽は日々通学していて年々身近な存在となっているが、将来を小樽で過ごすことについては考えたことはなかった。しかしながら今回のお話の中で、田中酒造に務める方が小樽商科大学の出身であることなどを知り、卒業後に地元の産業を支える方々の存在が非常に身近に感じた。また

北海道信用金庫は自宅の近くにあるが事業内容は知らなかったため勉強になった。まだ将来やりたいことなどは未定だが、今回のお話を活かして地元勤めることも視野に入れて考えたい。そのために大学生活の中で北海道、特に小樽や札幌を商業的、経済的な面でより深く学んでいきたい。

106. 今回の講演を受講した中で、地域に貢献した会社の方針を感じることが出来た。

北海道の人口が減っていく中で、地域と一体化して事業をする為にどうしたいか、どうしなければならないのかを考える上で、西條産業さんのようによさこいなどの祭りに社員が参加したりなど、社員も楽しめる会社が素敵だと感じた。

会社を経営していく中で、1番大事になってくるものは「信頼」だと私も感じていて、会社同士の信頼関係が強くなればなるほど、大きな力を得ることができると考えた。資金を用意する上で、銀行を味方にするためにも、信用が大事になってくると考えた。

107. 三つの企業に講演をしていただいてどの講演もととても興味深かったです。どのように企業として成長してきたのか、またこれからどう成長していこうとしているのかなどそれぞれの企業について調べて出てこないような内容も聞くことができました。就職に関してまだ漠然としている私にとっては小樽にこのような面白い企業があるのだという発見でもありました。

西條産業さんの「ある部門ではお客さんでもある部門では敵」と仰っていたのが印象的でした。質問に対しての答えからも、ひとつの企業で異なる部門の仕事を請け負うのはリスクがある反面メリットもあるのだということがわかりました。他の大手企業が参入している部門は撤退した方がいいのではないかと考えていましたが、そこで競合していくことで他の部門と合わせてバランスが取れるというのは新しい考え方が身についた気がします。また、田中酒造さんが事業の多様化ということで発酵食品製造業を始めようとしているのを聞き、お酒の消費量が減っている中でなんとか生き残る術を探してきたからこそ現在も田中酒造さんは小樽で続いているのだなと感じました。

今回の講演を受けて顧客のニーズや、市場の変化に合わせて新しい経営方針を立てていくことが存続の鍵になると考えました。

108. 今日の講演を聞いて、それぞれの企業がそれぞれのやり方で創意工夫を施して企業を運営していると言うことを感じた。例えば、田中酒造では、近年のお酒離れ、特に日本酒七本での人気下がっていることを受けて、外国人に目を向けて、新しいお酒の開発などの工夫により、インバウンドを取りにいくことを試みていた。また西條産業株式会社では、ハウス部門、商事部門、建設部門と言う三つの部門に分かれ、一つの事業だけに依存するのではなく、三本柱で安定した利益をあげられるような工夫をしていた。北海道信用金庫でも通常の業務に加えて、小樽運河の清掃など、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいるということがわかった。

109. 今回の講演で各企業の方からお話を聞き、事業の内容を詳しく知ることが出来て、良い機会だった。それぞれの企業が現在の状況にあわせた施策を考えて取り組んでいてすごいと思った。特に

田中酒造さんの日本酒のグローバル市場に拡大していて、渋めのお酒が好きな外国人向けにビンテージものの日本酒を作っているという話が印象に残っている。柚子酒も美味しそうで飲んでみたいと思った。また、西條産業さんが建築業だけでなく、小樽に根差した事業も行っていると知り驚いた。

110. 今回の講演を通じて、地域に根ざした企業の取り組みや地域貢献の重要性について深く学びました。特に印象に残ったのは、田中酒造、西條産業、北海道信用金庫がそれぞれ異なる分野で地域経済を支えている点です。田中酒造は、その歴史的背景と伝統を大切にしながらも、現代の市場ニーズに応じた製品開発やマーケティング戦略を展開していて、特に創業者の精神を受け継ぎ、地元の資源を活用した酒造りや観光資源としての酒蔵見学など、地域との連携を重視している点が興味深いと感じました。西條産業は、総合建設業としての強みを活かし、多岐にわたる事業を展開していて、従業員の育成や組織再編を通じて、企業全体の競争力を高めている点が印象的でした。また、異動制度や社内交流の強化によって、多様な業種間の連携を図り、企業としての一体感を醸成している点も新しい学びでした。北海道信用金庫は、地域密着型の金融機関として、中小企業や個人を支援する役割を果たしています。地域性を重視し、協同組織としての相互扶助の精神を大切にしている点が重要だと感じました。

今回の講演を通じて、地域に根ざした企業の活動が地域社会全体にどれほどの影響を与えるかを改めて実感しました。また、各企業がそれぞれの強みを活かしつつも、地域との連携を深めることで、相乗効果を生み出している点も学びました。地域に根ざした企業活動が持続可能な地域社会の構築に寄与することを理解し、自分自身もこのような視点を持って地域貢献活動に取り組む必要性を感じました。

111. 私が 2 年生になってから就職のことをよく考えるようになったが、西條産業さんの講演を聴きとても参考になった。1 番魅力的に感じたのは、ワークライフバランスを重視しているところである。残業が少なかったり、土日祝日が休みであったりすることは当たり前ではないという今の社会状況からここまでしっかりされているのはすごく魅力的だった。そしてたくさんの支店があることによって広い北海道の中でも様々な人が通勤しやすい環境にあるのでそこも魅力的だと感じた。
112. 西條さんの 74 年会社が続いていることに地元からの信頼と受け継がれてきた技術があると感じました。田中酒造さんの青い搾を飲んでみたいと感じた。20 代男性の日本酒消費量が減っているといっていて私も普段から日本酒を飲むわけではないのでそんなものだと感じた。金庫と銀行の違いを初めて知って勉強になった。小樽で唯一生き残ったのが田中酒造さんというのが何か理由があるのだろうと考えました。若い女性の日本酒消費量が増えているというのが意外だった。
113. 今回の講義ではそれぞれの企業が自社の課題や特徴について、それぞれ詳しく整理されていてとてもわかりやすかった。もっと堅苦しいものかと思っていたが求められる人物像もはっきりとしていて、講演を受ける前と比べて企業に対してのイメージが身近に感じられた。これから就活な

どでお世話になるかもしれない機会が増えると思うため、企業の特徴や求められる人物像などに着目していき、今回の講義で学んだことを最大限に生かしていきたいと思った。

114. 時代の流れに沿うことも大事だと感じた。西條産業のオフィスカジュアル化などである。夏でもスーツが決まりの会社もあり、それでは暑さで仕事の効率が落ちるなどのデメリットが出てきてしまうと考える。仕事の効率を上げ快適に働くためにもそのような政策は大事だと感じた。気付いたこととしては 3 社とも地域に根付いた企業だと感じた。西條産業であれば地域への貢献、北海道信用金庫であれば法律で営業エリアを限っていて、田中酒造は北海道の豊かな資源も使った商品を展開していた。

115. 本日来てくださった企業のことは、最初は見たことも聞いたこともない企業であった。しかし、講演を通じて企業に支えられている自分、地域があることを感じた。例えば、西條産業さんの小樽での地域活性化活動、北海道信用金庫さんの銀行、信金だけでなく清掃活動も行っていることである。また、西條産業さんと北海道信用金庫さんの働き方改革にはとても魅力を感じた。働きやすさ、自分の時間も大切にできるところに魅力を感じた。自分はそれらを大事にしていることにも気づいた。田中酒造さんに関しては、若者は特に日本酒との触れ合いがなかったあまりないと思われる。しかし、岡田さんも少しおっしゃっていたが発酵食品であると聞くと健康や美容に気をつける若者と関連づけられると感じた。今回の講演を通じて、些細なことでも地域貢献に繋がること、自分にも貢献できることがあると考えた。そこで、どうしたら効率的か、活性化できるかなどの点を経営学原理Ⅱだけでなく様々な授業を通じて考えていきたい。

116. 今回の講演をしてくださった 3 つの企業は、地元小樽に貢献するような活動を行っているということを学んだ。

西條産業は、サンモールでの屋台村の運営や、小樽の沿岸を舞台にした SORAN HEART FESTIVAL の開催、天狗山での小樽雪花火の開催をしている。

北海道信用金庫は、約 100 人の社員で小樽運河の清掃活動に取り組んでいた。

田中酒造では、小樽が観光都市であることを活かし、滞在型・体験型の商品、サービスを提供している。また、田中酒造の商品の中には、「北に一星あり、小なれどその輝光強し」と歌われた『小樽商科大学』の卒業生がいることから、『北の一星』という名前のお酒が作られた。他にも『小樽美人』など、小樽に関連した名前の商品を製造している。

これらの 3 つの小樽の企業は、ただ商品を売ったり、サービスを提供したりするだけではなく、地元である小樽を盛り上げようと、活動しているのだと気づいた。

117. 田中酒造株式会社のような根強く何百年も支持されている企業は純粹にかっこいいなと感じた。酒類の業界が衰退してきている今、小樽の企業という利点を活かして国際化を目指すのもとても戦略的な考えだと驚いた。

今回の 3 つの企業で通して言えるのが小樽の街に貢献している点であり、そうした地域に貢献

する取り組みはその他の全ての企業で重要なものだと感じた。小樽という小さな街だからこそ住民との距離が近くなるし、西條産業のように大学生との交流を深めることが出来るのが良い点だと感じた。

118. 今の不景気や少子高齢化の中で様々な視点から事業の拡大を目指して戦略を立てていて実際にやっているということを聞くと自分がやっているマーケティング戦略の授業にも実感が湧いてきた。重要だと感じたのは、やはり客のニーズや流行に合わせることで感じた。田中酒造さんが、小樽という観光地の特性を活かして、海外のインバウンド客にむけた戦略やお酒を作っているからである。長い歴史をもつ酒造さんが新しいことに挑戦するぐらいなので、やはり大切な。また西條産業さんの内からの働きかけも大切だと思う。その会社を作るのは従業員だからだ。
119. 今回 3 社の講義を聞いて、どの企業様も何かこだわりや新しい取り組みに常に意識をおいているように感じた。例えば西條産業株式会社様だと、役職の見直しや子ども手当、様々な分野への取り組みなどがあった。長く続いている企業であればあるほど、昔と現代の考えや価値観の違いから、改革した方が良いことが残っていたりする。それを残しておくのではなく、現代にあったものやより良いものへ変えていくことが、長く続けていく重要な企業のあり方なのだと感じた。
120. 西條産業の西條公敏さんとはスライドで紹介されていたように、よさこいで以前関わったことがあり、小樽を活性化させるような活動を積極的に行っていることが会社にとっても地域にとっても良い影響を与えるということを学べた。田中酒造の説明であった、生き残るためにはこれまでの仕事に固執することなく時代の変化に応じて対応することで、125 年という長い間会社を続ける秘訣なのだろうと思った。これまで信用金庫という名前は聞いたことがあったが、どういうものかは知らなかったので、今回の説明で知ることができてよかった。
121. 今回の講演を受けて、仕事をするということがより身近なものとなり、改めて自分の今後について考えるきっかけになったと思います。また、これまで私があまり関心を持っていなかった業界のお話も聴くことができ、もっと様々な企業について調べていきたいと強く感じました。そしてワークライフバランスのような観点に対しても、定時退社する日を決めたり休暇を取得するよう勧めていたりして魅力的だと感じました。また企業や地域を取り巻く環境は常に変化していくので、仕事をする上では変化に対して柔軟に対応できることが重要だと思いました。
122. 今回の講演で最も興味を持ったのは北海道信用金庫さんの講演でした。銀行は大企業に目を向けがちなのかなと勝手に思い込んでいましたが、中小企業を支えることを重視していることがわかりました。また利益ばかりを追うのではなく、地域の将来を考えて経営を行っていることを知りました。さらに地域貢献活動も行っていたため、地域の将来を考えている企業で感銘を受けました。仕事内容についても軽く教えて頂きました。銀行の窓口はあまり利用しないためどのような仕事内容なのかを学ぶことができました。
- 最後に 3 社のみなさんはワークライフバランスを共通して大事にされていて、時代に沿って社員

に快適に仕事をして貰えるように配慮していることに気づきました。私は将来ワークライフバランスを特に重視したいと思っているので取り組みはとても魅力的に感じました。

123. 小樽の企業であるからこそ、小樽のお祭りや行事の開催やスポンサーなどをやられていることを聞いて、地域に密着していて親近感が湧きました。企業の具体的な仕事内容をあまり聞いたり調べたりしたことがなかったので、知らないことをたくさん知ることができてためになりました。例えば、建設の企業だから建設だけが仕事内容というわけではなく、材料の取引や営業など色々な種類の業者があることがわかりました。私は就職する企業のことを考えるときに、企業の大きさを考えるようにしていましたが、今日講演をしていただいた企業は小樽の企業ということで、とても身近で地域密着型なところに興味を惹かれる仕事内容でした。また、外国語の教育に力を入れている小樽商科大学の生徒が活躍できるような、グローバルな仕事内容であるところや、自分の仕事が人のためになることを直接感じられるところに魅力を感じました。今後は企業の大きさだけでなく、仕事内容ややりがいも考慮しながら就職先について考えていきたいと思います。
124. 私はこの講演を聞くまで銀行と信用金庫の違いを説明することができませんでした。しかし講演を聞き、信用金庫とは中小企業と地域に特化した地域密着型の金融機関であり、銀行と業務内容は同じであるが経営理念に違いがあることがわかりました。
- また、私は金融系への就職に興味があったので、業務内容や時間などを知ることができて良かったです。企業が求める人材に近づくことができるよう、大学生活でボランティアやサークル活動に意欲的に取り組みたいと感じました。
125. 小樽のあらゆる企業の方の大切にしていることやどのような活動をしているのか、それぞれの企業の特徴などのお話を聞けて面白かった。就職活動のことはまだあまり考えたことは無かったが、この講演を機に色々な企業について調べてみたいと思った。特に、田中酒造さんの、最近インバウンドからの人気が高まっていることから、国際化を目指し、日本のものを求めるインバウンドに向けて、柚子酒の販売を開始したというお話が印象に残っている。
126. いくつかの講義を聞いて、生まれ育った街への愛着を再認識しました。直接講義で地元愛は語られていないのですが、北海道で生まれ、育ち、学んだ身として北海道の企業への関心はやはり高いです。このような大学の講義の中で連携して就職を考えさせるのは、とても効果のあるものではないかと思っています。今回はそれぞれの企業の説明やどんなことをしているかがメインでしたが、それぞれの企業の【経営学】に特化した講義もあれば、とても楽しいものになるのではないかと思います。
- この講義を通して、地元発展の手として大学の授業で講義をすることは効果が大きいことを学びました。地域の発展にも繋がるので、このような活動をもっと知りたいなと思います。
127. 今回の講演で、小樽の企業がどのように企業努力をされているのかを知ることができた。特に、田中酒造さんの、小樽という立地を生かしてインバウンド産業に力を入れているというお話が印

象的で、小樽に根差した企業のあり方というのがとても興味深かったです。

また、それぞれの企業さんの社内において重点を置いていることや、求める人材のお話も、これから就活を控えている私にとってはとても参考になるお話でした。特に西條産業さんの社内の役職が多い古くからの体制を一度ゼロから作り変えているというお話と、田中酒造さんの小さな変化にも気づける人材を求めているというお話が、自分にとって新しい発見になり、とても参考になりました。

128. 小樽市内の企業への就職は、地域に根ざした働き方と豊かな自然環境を楽しめる点で魅力的です。観光業や食品加工業など多様な産業が発展しており、地元との強い結びつきを感じることができると思いました。企業文化はアットホームで、チームワークを重視する職場が多いです。また、生活費が比較的安く、美しい景色を楽しみながら、よりゆとりのある生活を送ることができると思いました。地域社会に貢献しながら、充実したキャリアを築くには最適な場所だと感じました。
129. 今回の講演を通して、特に気になった企業が田中酒造株式会社である。この企業は日本酒業界が抱える国内需要の減少といった問題に海外市場へ視野を拡大することで解決することを図っている。私が就職を考えている音楽業界では、国内市場の縮小に対応するために CD といったフィジカル重視の時代錯誤なマーケティング手法を是正し、海外市場へ適応することが求められている。田中酒造株式会社が行っている海外展開は、過去に国内の割合が大部分を占めていた市場がどうやって海外市場に適応できたか、という前例を確認することができるため、興味深いと感じた。
130. 大企業であれ中小企業であれ、時代の流れや変化に敏感になって会社のやり方も変えていくことが必要なのだと思った。そして、やはり働き方改革・働きがい改革として社員のワークライフバランスを整えることは社員が長く働く、満足度高く働くことにおいてとても大事だと感じた。道内企業といいつつ札幌の会社ばかりイメージしていたが、小樽にも働きがいがありワークライフバランスが取れそうな会社がある事がわかった。視野を狭めずに色々な会社を調べてみようと思う。
131. 今回来ていただいた企業さんはどの企業も地域に密着した考え方をされていると思った。小樽が観光地となっていることから、外国人をターゲットにした商品を考えていたり、どのような商売が適しているのかなどを考えたりすることが大切だと思った。また、職場の雰囲気も勤務時間の後の時間を大切にしたり、新人に優しく寄り添ってくれる環境であったりすることも自分が就職を考える上であったらいいなと思うものであった。今回の講演で就職する上での考えの幅が広がった。
132. ある企業のお話を聞く機会というのはあまり無いので、授業内でこのような機会を設けてくださりとても有難かったです。どの企業さんも仕事内容が明確で、各 20 分という短い時間でしたがとてもわかりやすかったです。また働き方改革など積極的に行っていらっしゃる中で、やはり定

時退勤は就職先を決める点でとても重要なポイントだと感じました。また、「上司が怖い…」「仕事が覚えきれない…」などの不安がある中で、北海道信用金庫さんの新入社員に1人ずつ上司がつくという制度があれば、安心して働けるのですごく良い制度だと思いました。

133. 今回講演していただいた三つの会社は、どれも地域に密着した事業形態をとっており、近年の潮流に応じて柔軟な施策を行っているように思われた。特に地場産業である田中酒造は、観光都市である小樽の地理的特性を生かして観光客向けの営業をしており、今後の売り上げに期待が持てると思った。

また今後就活をする上で、こういった観点で企業をみればよいか、ある程度目処が立ったように思った。ただ、自分はこういった仕事に興味があるかまだ自覚できていないので、まずはそこから始め、それに応じて必要な学習を取り入れたい。

134. 今の時代、働きやすさやワークライフバランスを求められているため、実際の企業は本当に働きやすさがあるのかと疑問を持っていたが、今回の3社ともに残業がないなど環境が整えられていることを知ることができ、将来への不安が多少は和らぎました。特に、田中酒造さんの講義において興味を持ちました。小樽は観光客が多く、日本酒を飲む機会が増えればより、盛り上がるができると思いました。外国人は日本酒を好んでいるのを動画でも見たことがあり、人気を集めるものでもあると思い、素晴らしい事業だと感じました。

135. 今回の講演を聞いて印象に残ったことは、どの企業も小樽の地域活性化のために様々な取り組みを行っていることです。特に西條産業は小樽の社会人サッカーチームを作ったり、地域の祭りに積極的に参加したりと地域密着型の取り組みを行っていることを知りました。自分が就職を考える上で、地域に貢献できる取り組みを行っているかどうかはあまり重要視していなかったが、今回の講演を聞いて、このような取り組みを行っている企業に就職することも楽しそうだと感じて興味を持ちました。

136. 今まで小樽の企業には興味を持っていなかったが、今日の講演を聞いて、地元で就職するということが悪くないのではないかと考えました。西條産業さんはとても幅広く事業を行っており、賃上げや役職のリセットなど変化を恐れずに活動しているのがとても素晴らしいと感じました。田中酒造さんはお酒のデータを用いて現状と今後の分析をしっかりと行っていて、これからさらに発展していく企業だと考えました。北海道信用金庫さんは北日本最大の信用金庫としての業務だけでなく、地域貢献活動を行っているなど、幅広い活動をしているということが印象に残りました。

私は、地元企業への就職を考えているので今回のお話を参考にして、これからの就職活動に活かして行きたいと感じました。

137. 高校生のときや、商大の他の授業でもこのような話を聞く機会が何度かありましたが、いつも新鮮で興味深い視点の話を聞けるので今回の講義も楽しみにしていました。そして、このような「経

営をする」ということについてお話を聞く際、よく聞く視点が「地域と関わりを持つ」ということでした。そこでの地域は地域の他の企業や地域の人々を指していると考えられますが、今回の講義でもそのような考え方を感ずる場面が多々あったと感じました。特に、西條産業さんの地域貢献活動としての、小樽の祭りに参加したり祭りを運営したりする活動、そしてそれによって地元の人たちと関わる場面が多くあるということに魅力を感じました。

138. 今回講演に来ていただいた企業は、全て名前は聞いたことがあっても具体的な事業内容はほぼ知らなかったものでそれぞれの企業がどのようなことを行っているのかは今回初めて聞いたが、単純に事業内容を知っただけでなく今まで真面目に就職活動について考えたことが無かった自分にとって「社会の一員として働くこと」を意識するきっかけとなったと思う。
- 業種によるがこれまで私が抱いていた会社や労働というもののイメージは仕事に関係ないことにはあまり関わらず顧客と直接関わる機会もそこまで無い、いわば冷たい印象であった。しかし今回の講演で自分の抱いていたイメージとは真逆の地域に密着した企業を知り、会社で働くことはただ生活のために賃金をもらうためではなく社会貢献の手段であることに気付けた。
139. 仕事において、高い職務満足を得られることが重要だと思った。仕事の成果が他者からの評価などにより目に見えることで自己効力感が高まり、職務満足にも繋がると考えた。さらに、ワークライフバランスも重要である。定時退社や休暇などによりプライベートの時間を十分に確保できる制度を整えることは、職務満足やモチベーションにも影響するため、良いと思った。また、社会貢献も行うことで地域からの信頼も得られるため、社会貢献も積極的に行っていく必要があると考えた。
140. 今回の講義では、西條産業株式会社をはじめ色々な事業、会社について学びました。特に西條産業株式会社がいいと思いました。西條産業株式会社は1950年に創業され、小樽を拠点に総合建設業を展開しています。主な事業は商事部門、プレハブ部門、建築部門の三つに分かれており、それぞれが地域の建築需要に応えています。西條産業は、社員の働きやすい環境作りや地域貢献に力を入れており、地域社会と共に成長する企業である点がとても印象的でした。他にも会社の中でのオフィスカジュアル化がとてもいいなと思いました。僕はスーツで働くよりもカジュアルな服装で働きたいと思っています。なぜなら、スーツは硬く夏の暑い日などはとてもきついからです。なので、カジュアルな格好で働けることはとても魅力的だなと思いました。さらには残業をやめようという社内の雰囲気がいいなと思いました。残業があると、どうしても自分のプライベートな時間が取れずに、仕事でいっぱいになってしまう気がします。それよりかは5時定時に帰って各々プライベートな時間を取れた方が、ワークライフバランスがしっかり確保されているのでいいと思いました。このような取り組みをしている西條産業株式会社はとても魅力的に僕の目に映りました。
141. 今回講演を行った3つの企業、団体に共通していたのは、自分たちの強みや現状を客観的な視点で理解し、世の中の風潮に合わせてこれからどうしていけばいいのかを考えていたことから、こ

れから自分が社会人になり働くうえでこのような力が必要だと感じた。特に田中酒造はお酒のコンテンツ化、外国人向けのお酒の開発、若者のお酒離れに対する考えはどれも話を聞いたうえでとても興味を持つようになった。自分は今まで信用金庫と銀行の違いがよくわからなかったが、今回の講演でその違いがよくわかり、良い学びになった。

142. 私は、今まであまり就職について深く考えたことはあまりなかったのですが、今回の説明会で就職先を決める際に重要なことについて知ることができたと感じます。福利厚生や職場への通いやすさなどはもちろんそれぞれが取り組んでいる事業などについても、知ることができました。特に、「田中酒造株式会社」では、海外からの観光客に向けても日本酒に興味を持ってもらう取り組みを行っているのが、今後も続いていく企業であるために様々な工夫がされているのだと感じました。

143. 西條産業の、「ある部署の顧客はある部署のライバル」というのは、部署が多いこの会社ならではの状況で面白いと思った。講演では、よさこいなど商大と関連する話もあって学生の興味を惹く話だったと思う。6時にはみんな帰宅するアフターシックスを大事にしているのはすごく大事だと思った。

田中酒造の国際的なインバウンドをターゲットにした取り組みをしているのは小樽と相性いいと感じた。女性の社会進出と女性の飲酒率に関係があるのはとても興味深かった反面、20代男性の日本酒飲酒率低いのは意外に思った。

北海道信用金庫の講演を聞いて、信金は中小企業・個人をターゲットにしていることを学んだ。入社後先輩1人が新人につく環境や支店長と新入社員が1体1で話す機会設けていることはアドバイス等をもたらるととても有意義な取り組みだと思った。

144. 田中酒造さんについては、小樽市に限らず地元民の人口減少について正直に向き合い拡大し続けている観光客向けのビジネスをするという点は素晴らしいと感じた。観光地に赴くとある程度のお金の浪費は観光だからと一蹴すれば地元民よりも大きくなる。そこを狙ってお酒を売るだけでなく観覧や試飲などエンターテインメントに寄せるのはいいアイデアと感じた。また試飲を有料にするアイデアも観光客向けならではの発想で的確と感じた。西條産業さんも同じくその仕事だけでなく幅広い視野を持っていて、その視野を地元への貢献に向ける点は田中酒造とは異なりまた素晴らしいと感じた。スポーツチームを作るなどの貢献をすることで少なくなっている地元民を大切に敬おうとする気持ちがビジネスに現れていて素敵だった。北海道信用金庫さんはこれもまた地域特化型、密着型の金融機関として地域と密接な根強い関係を築いており、社会貢献や地域民の満足度にも繋がるので一石二鳥で素晴らしかった。

145. 今回の講演を聞いて、地域に貢献することの良さ、素晴らしさを学ぶことができました。私はまだ明確にどんな場所に就職するかは決めておらず、ぼんやりと道外で就職するのかなと考えていました。しかし、小樽市内の3社の講演を聞いて、その地域に根付いた活動を行うのもとても興味深いなと感じました。また、リフレッシュ休暇やワークライフバランスに関しても触れられて

おり、仕事以外の面でもそういった良さがあることを学ぶことができました。講演を通じて、改めて就活の選択肢の幅広さに気付かされました。

146. 小樽にルーツのある企業の話をつまえて、田中酒造の縮小市場でありながらも日本酒のブランド力を活かして新たな顧客を獲得していることを聞いて、日本の昔から続く文化には付加価値が生まれていることを知った。120年続く企業に就職することは、キャリアの一つとして古いながらも新しい知見を得られると感じ、素晴らしいことだと思った。小樽の人口削減の策として、社員が子供を産んだ時に企業が給付金を送ることは今の子育てをしにくい世代にとって嬉しいことだと感じた。
147. 北海道信用金庫では小樽運河清掃を行ったり、西條産業ではイベントに参加したりと会社単位で地域貢献をしている企業はとても魅力的に感じました。そのような活動をしている企業は世間からの企業イメージが高く、従業員のモチベーションも高いように思われます。私は、就職について今の段階ではあまり具体的に決まっているわけではないが、お祭りや行事に積極的に参加するような地域に根付いた企業で働きたいと思った。また、様々な業種が集まっている西條産業ではそれぞれがライバルとなりお互いが高めあえる環境であること、幅広い技術から新しい市場への進出がしやすいことなどから柔軟性があり持続可能性が高い企業であると考えた。今回の講演を聞いて、小樽はもちろん他の地域の企業についてもよく知りたいと感じた。
148. 今回の企業全てについて共通したことは、どれも信頼が基盤になっていることであった。仕事をする上で信頼は、会社間、従業員間、そして顧客との間全てに必要であるということが今回の講義で理解できた。例えば、西條産業さんは自分の祖父の代から続いている会社を維持し続けるために、他会社との連携を大切にしているということであった。また、従業員の福利厚生や働きやすい職場を作り続けることも信頼の一つの形であると考えられる。また興味深かった内容が、田中酒造さんのツアーにおいて、外国人観光客に対して有料のツアーを提供することで、会社側は説明を丁寧にするという心理的義務が生じ、外国人観光客はお金を払っているから真剣にツアーを巡るようになり、それによって日本酒の売り上げや理解度向上に繋がるということを行っているということに感銘を受けた。会社の経営やこれから働く機会においては、信頼や義務などの心理的要素が非常に重要であることが今回の講義で理解できた。
149. 今回の授業を通して私は、自分が就職する会社に求めることがはっきりしたように感じました。3つの会社の主な業務や魅力、その事業が抱える問題点について聞いてきたが、グローバルに活動する田中酒造さんに興味を持った。私はこの大学に入った理由の一つに英語を勉強したいから、というものがあるので、グローバルに活動する企業に入りたいと思った。信用金庫は、社員の労働時間外(アフターファイブ)について尊重しており、将来自分が子供にできた時に自分も育児に参加できるような会社であると感じた。労働の内容もとても重要ではあるが、上の人に相談しやすい環境やプライベートを尊重してくれる制度があるということも同じくらい大切なことであり、就活の時に参考にしようと思った。

150. 今日の講演を聞いて、3社とも地域に長く貢献してきていて、発展を色々な形で支えていて魅力的だなと思いました。そして私も小樽の魅力をもっと世界に届けたいと感じました。田中酒造さんが、地理的優位性を小樽は持っているとおっしゃっていたように、小樽は食文化や自然環境など観光地として重要が高いものを兼ね備えていると思います。まだ小樽に来たことない方や、リピーターにアプローチするのには色々な工夫がなされているのだと感じました。だからこそ、私たちが普段小樽に魅力を感じているのだなと思いますし、そのような魅力的な街に通学しているのを誇りに思います。私はまだ2年生で企業についての知識が浅いので、今回講演会で3社のお話を聞けてとてもいい機会になりました。

151. 今回の講演を経て、3企業ともに「地域」との関わりが強いように思えた。例えば、地域のサッカーチームの支援、花火・よさこいの開催、酒造を利用したエンターテインメント、地域の中小企業・個人を支えるなど、衰退傾向にある小樽、ひいては北海道を復興しようと奮起している姿が印象的で、仕事は利益だけを追求するのではなくこういった面で活躍できてこそ立派であると感じた。

個人的に田中酒造への興味が湧いた。小規模ながらも地域に貢献する姿、仕事のやりがいという面で魅力的だと感じたからだ。小樽美人を飲んでみたい。

これまで就職について考えたことは滅多にないが、今回の講演を経て地域に密着した職業も選考内容のひとつとして視野に入れようとするきっかけになった。

152. どの企業も地域との結び付きを大事にしており、イベントなどにも積極的に参加していたので、他の小樽の企業ももっと小樽と協力して、地元の人々を相手にして行けたら、小樽をさらに盛り上げて行けると思った。

今日の講義に来た3つの企業は名前を聞いたことがあり、建物は見たことがあったが、業務内容など具体的なことは知らずにいたのですが、講義を聞いて、小樽で就職するのもいいなと思って、就職についての視野が広がった。

153. 「北海道信用金庫」の講演の中では、地域密着型金融機関としての役割や特性が強調されていると感じた。信用金庫は中小企業や個人に特化し、地域経済を支える重要な存在であることがわかった。特に、信用金庫の「協同組織」としての性質や「中小企業専門性」についての説明が印象的で、地域社会との深いつながりを感じた。

次に「西條産業」の講演では、異動制度や多業種展開、社内交流の強化など、組織運営や人材育成に力を入れているのがわかった。これにより、企業がどのようにして競争力を維持し、成長しているのかについての理解が深まった。また、西條産業の代表者の方のキャリアパスも興味深く、小樽に戻り家業を継いだというところが、個人の努力と地域貢献の結びつきを強く感じた。

最後に「田中酒造」の講演では、酒造業界は観光業との関連性が高く、田中酒造がどのようにして市場の変化に対応しているかがよくわかった。これにより、伝統産業が現代のビジネス環境に適応するための取り組みや戦略の重要性を再認識できた。

これらの講演を通じて、地域密着型の金融機関や企業の役割、組織運営の工夫、伝統産業の現代化戦略についての理解が深まった。各企業が地域経済の発展にどのように寄与しているかを学ぶことで、自身の将来のキャリアについても考えさせられた。

154. 私は今まで小樽の企業、会社を意識したことはありませんでしたが、西條産業株式会社や田中酒造株式会社は見覚えのある会社であり、身近な会社であるので深い関心を持ってました。西條産業株式会社は社会人サッカーチームや、小樽の祭りに携わったりして、地元の小樽を活かした活動をしておりとても興味を持ってました。代表者の西條さんは小樽の色々な活動に参加しており、活動的で素晴らしいなと思いました。田中酒造株式会社は、私はまだ未成年であり、お酒を飲むことはできませんが、経営に関する考え方などを知ることができ、お酒飲む飲まない関係なくとてもためになりました。北海道信用金庫は勤務地、地方の流れ、内容を聞いてとても興味を持ち、働いてみたいと感じました。私は将来何になりたいくて、何を仕事にしたいかが何も決まっていないので、今日の講演を聞くことで視野を広めることができました。
155. 就職活動において、身近なエリアでの仕事、職については考えたことが全くなかった故に、それらへの興味・関心を抱いたことは今まで無かった。しかし、今回の講演によって知る由もなかったであろう小樽で活躍している会社・企業の事業内容や形態、企業努力を知ることができた。そのため、通っている大学がある小樽への愛着と共にその地域に点在している会社への興味が湧いてきました。またそれぞれの業界において社会全体としての傾向による悩みなどがあり、日々そういう悩みに対策しているのだと実感をした。
156. 西條産業さんが色々な事業に携わっていることが強く印象に残った。これをする中で、一つの事業がうまくいかなくても他の事業がカバーをすることにより、売り上げを保つことができる、ということができると学んだ。一つの事業に全力を注いで利益を出していくのも一つの企業の強みになると思う。しかし一方で、昨今のコロナ禍のように社会に大きな変化が生まれたときに、影響を受けやすい、などの危険が予想される。なので、西條産業さんのようにたくさんの事業に着手することは、予測困難な現代社会を企業が生き抜くのにはとても良い取り組みなのではないかと感じた。
157. 自分は一度田中酒造に見学に行って酒造工程を学んだことがあるのですが、直接話を聞いたわけではなかったのでどのような戦略や考えがあって運営をしているかがわかってよかったです。どの人にどんな酒が好まれているか、見学をどのような形にしたらより良くなるか、などということを考えることが成功に繋がっていくのだと感じました。他の企業の話も初めて聞くことばかりで面白かったです。
158. 西條産業さんの3部門制のことが印象に残りました。働き始めてから「この仕事は自分には不得意かも」とか、「こっちの仕事の方が自分に合っているかも」と思ったときに、同じ会社の中に別の部門の仕事があってそこに異動できる選択肢があるというのは従業員が長所を生かせる場

所を見つけられる可能性が広がりとてもいいと思いました。また、役職の再編のときに各従業員の給料を下げないどころか上げたところや、オフィスのカジュアル化、アフターファイブを大切にしているところなどからも従業員の働きやすさも大切にしていることがとても伝わりました。従業員一人一人が気持ちよく働けることが会社としての結果にも繋がっているのだなと感じました。

159. 今回の講演を聞いて、小樽での就職は全く考えていなかったが、選択肢に入った。地域に密着した企業活動の重要性が強く印象に残った。また、田中酒造さんのインバウンドによる新たな需要の出現に対する、海外で評判の良いお酒造りの考え方に感銘を受けた。時代の需要に対応する重要性を理解した。この急速に変容する時代に鋭い嗅覚を持ち、他の企業より先に行動を起こすことが肝要になっていくだろう。この講演を聞いたことは自分のこれからの就職に確実に良い影響を及ぼしただろう。
160. 小樽市内に住んでいても、年商が高い会社があるということも知らなかった、また意識もしたことがなかった。就職も小樽市では考えていなかったが、このような機会を設けていただいて有難いことだと講演後には感じた。複数の会社のことを聞くことができ、業種も何もかも違うので比較してみることができ興味深かった。小樽市には就職先が少ないと想像していたが、社員の平均年齢が低くかったり働き方改革を行っていたりする会社もあり、探していないだけで様々な職種があるのだと知ることができた。地域を興すとは具体的に何をするのかも実際に聞くことができ参考になった。
161. まず、西條産業、田中酒造、北海道信用金庫の3社とも地域貢献にも力を入れていることが印象的でした。小樽の発展に多大な貢献をしていて、地元の人たちにとっても、心強い存在になっていると思います。
- そして3社の中でも、西條産業さんが3部門制という特徴を利用して、どこかの部門で大きなゼネコンなどに負けてしまっても違う部門で利益を上げるなど、どこかの部門で目立たずに利益を出すことで平均の売り上げを徐々に上げることを目標にしているという話を聞いて、そういった経営の仕方にはリスクの分散や安定した収益の確保に繋がるため、中小企業においては特に重要な考え方だと感じました。
- この講演を通じて、地域密着型の経営は地域社会の持続可能な発展のために非常に重要な役割を果たしていることを学びました。3社の業種は異なりますが、それぞれが様々な形で地域のニーズに応え、地域の発展に貢献することは企業にとっても地域と社会にとってもいい影響があると思います。
162. 西條産業株式会社さんは「信頼」を大切にされていて、先代から引き受け継がれた信頼を維持していてとてもすごいと思いました。小樽唯一の酒造り屋である田中酒造株式会社さんはお酒業界が衰退しているなかで、日本酒のグローバル化を進めていて交際化を重視していてとても奮闘していて興味がわきました。北海道信用金庫さんは中小企業を支える役割を成していて地域、北海道

規模で大事な役割を成していることがわかりました。今回の講義の中で特に印象に残った企業は西條産業株式会社です。理由はとても行動力があると思ったからです。クリスマスツリー越しに花火がみたいから雪花火をやったり、Jリーグのスポンサーになったりと仕事以外でも地域活性化にとっても積極的で色々な企業、人から信頼される所以がわかりました。

163. 今回の講義で多くのことを学ぶことができました。その中でも特に、西條産業株式会社さんの話から多く学ぶことができました。まず1つ目は、先人が築いてきた「信頼」があって商売が成り立っているということです。そして、これからも「信頼」を獲得するために地域社会に貢献することが大切であるということを学ぶことが出来ました。2つ目は、自分たちの事業を拡大させるために、新しい分野にチャレンジしていくことです。決まった物事にとらわれるのではなく、柔軟に時代に対応していくことが大切であると学ぶことができました。
164. 小樽で活躍する企業を知ることができた有意義な講義だった。三つの企業が地域に根ざした活動を行い、小樽という土地の「特別さ」を活かした経営をしていることを知った。中でも特に「田中酒造」の経営に興味を持った。「田中酒造」は、観光地としての小樽の側面に注目し、外国人観光客向けの商品開発に力を入れていることを知った。また、カタコトの英語でも、外国人観光客と積極的に交流して、商品を販売し、それが社員のモチベーションに繋がっていることを知り、まさに私の理想的な働き方だと感じた。私自身も英語を話して、外国人と積極的に交流し、日本の良さを伝える仕事をしてみたいと考えている。将来就職した時に、単に商品を販売するだけでなく、「田中酒造」のように地域の魅力を伝える役割を果たしたいと思った。
165. 普段の生活では中々今回のような話が聞くことのできる機会がないので、とても有意義な時間でした。パネルディスカッションの形式によってそれぞれの企業の特徴を比較することができました。特に興味深かったのが西條産業さんのお話でした。三つの事業を行っていることで、川上から川下まで経験することができるというのが大きな魅力だと感じました。また、働き方改革に関するお話もとても明確なものがあつたのでわかりやすく魅力的でした。就職活動に向けて今後もこのような機会があれば、積極的に参加していこうと思いました。
166. 今回の講義を通して三社の方々から貴重なお話や秘話を聞くことが出来て、とても勉強になりました。脱サラし、自分の夢(音楽・ライブ)をしながら、会社にも顔を出して二足のわらじで活動していたと聞いたときは、とても心を打たれました。結果として今の生活や立場があるのかもしれませんが、夢を諦めることなく最後まで追いつけていた姿勢は私も見習いたいと思いました。重要なことは、やはりその人の熱量や気持ちの面が大きいのかなと思いました。まだ私は大学2年生なので就活はしていませんが、この先もうすぐ今回お話を伺った三者の方々の内容がよりわかるようになるのだなと思いました。とても学びの深い講義でした。ありがとうございました。
167. お仕事をされている方から直接お話を聞ける機会が少なく、仕事について知ること自体ハードルが高いと感じている私にとっては非常に貴重でためになる時間でした。どの企業も時代の移り変

わりや地域に合わせた動きをしており、その重要性を感じました。特に西條産業さんは人材育成の強化、オフィスカジュアルの導入、社内交流などの社員が働きやすい環境を作るための努力を惜しまない印象が強く、そのような環境を積極的に作ろうとする姿勢が社員の働きがいにも繋がると感じます。また、小樽市に還元できるようなイベント活動も非常に力をいれており、地域との関わり合いの大切さも同時に感じられました。

168. 今回講演して下さった企業さんが、どの企業も地域貢献を大切にしている、とても素晴らしいなと感じました。観光都市であり、多くの訪日外国人が訪れる小樽を大切にしていることが良く感じられました。また、それぞれの企業さんの業種について詳しく知ることが出来たため、小樽にどのような企業があるのか知ることが出来ました。今まで小樽で就職することをあまり考えていなかったのですが、今回の講演をきっかけに、小樽の企業についても考えてみようと思いました。

169. 今回講演をしていただいた 3 つの企業の中でも、仕事に関する考え方や働き方など企業ごとにかなり違いがあった。自分が就職活動をするときに実際にその企業で働いている方のお話を聞くことは、今回の気づきを得られたようにとても参考になると思った。インターネットで色々な情報を集めることは出来るが、その情報がどこまで本当かどうかはわからない。さらに、職場の雰囲気やその企業の良い点、悪い点を細かく知っているのは職場の方だと思う。そのため現場の生の声を聞くということは、自分にあった企業を探すためにとても重要なことであると感じた。

170. 今回の講演を聞くまで小樽のシャッター街になってしまった商店街を見て、これからどんどん廃れていってしまうのかなとなんとなく考えていたけれど、小樽にも時代の変化に沿って変わろうとしている企業があることを初めて知りました。

○西條産業さん

会社の紹介ビデオからもとても社員を大切にしていることが伝わってきたし、授業で見たハローデイの社長と同じような考えが社内の賃金のベースアップ、人材育成、さらにアフター6の推進という会社内の取り組みにつながっているのだと感じます。また、札幌にも支社があるから札幌の人はそこで働けるような環境を整えていきたいと言っていたけれど、働き方が多様になっている今、地元にものみ展開する中小企業にもかかわらず今までの考えや価値観にとらわれず変化しようとしているところがすごいところだなと思いました。

○田中酒造さん

インバウンド需要の対応に力を入れているとのことだったけれど、これだけ従業員も少なく会社の規模も大きくはない中で国際的に対応しようという考えで会社の方針が決められているのはめずらしいことだと思います。また小さな企業だからこそ社員が直接お客さんと関わり、商品の魅力を伝えることでお客さんのフィードバックや感謝を受けることがモチベーションアップに繋がるという良い循環を作り出し、会社全体で積極的に新しいことにチャレンジしようという雰囲気が作られているのだなと感じました。あと、あんまり小樽で見たことのないインドのお客さんがじわじわと来ているというのは驚きました。

○北海道信金さん

実は講演のお話を聞くまでなぜ小樽の企業なのだろうと不思議に思っていました。でも商店街など特に中小企業や個人経営の多い小樽では、金銭管理の面で地域に根差して活躍されているのだと改めて理解することができました。働き方の面では、最初の配属先の支店が実家の近くになることや、専門の教育係がつくことなどは他の一般企業にはなかなかできないことなのではないかなと驚いたし、1or1 の面談を定期的に行う機会があるなど、会社が自分のことをちゃんと考えてくれているのだという意識を社員が持つことのできる素敵な環境だなとも思いました。

171. 西條産業株式会社のお話を聞いて、講義以前は総合建設業という業種には漠然と設計や体力作業のイメージを持っていたが、西條さんのお話を聞いて多様な業務があり、卸や販売の業務などがあることを知り、興味を持った。また、会社のハウス・商事・建設の3部門で異動制度が設けられており、一つの会社の中で様々な業務を経験できる点が魅力的だと感じた。さらに、ハートフェスや花火など小樽の地域に貢献するような活動をしている点が素敵だと思った。

田中酒造さんについては、私自身が観光業に興味があるため関心を持った。講義以前までは商品としてしか見ていなかった日本酒がグローバル市場と親和性があることを知り、観光業と結びつけてインバウンド向けに変化させていく点に興味を持った。また、変化に気づいて対応できず一落ちしているごみに気づいて拾うような人を求めているというお話を聞いて、そのような人が集まる職場はアットホームな雰囲気の仕事ができそうで魅力的だと感じた。

北海道信用金庫さんについては、講義以前は信用金庫の定義を理解できていなかったが、利潤を求める株式会社とは異なり、より地域に密着した協同組織であることを理解した。日本の多くの会社は中小企業であることから中小企業を支えることで日本の産業を間接的に支えることになるというお話を聞いて納得するとともに、銀行と比べて地域のためにできることがあるため親近感とやりがいを感じられる仕事だと思った。また、入庫後半年間一人の先輩職員がつくサポート制度や支店長と職員がどんな話や悩みでも話せる制度などが充実しているところが魅力的だと感じた。

172. 今回の授業では田中酒造さんの講演が強く印象に残りました。田中酒造さんの講演を通じて感じたことは、企業の長い歴史とそれに伴う進化の重要性です。創業から現在までの変遷を知ること、企業が市場の変化に柔軟に対応し続ける姿勢が印象に残りました。また、団体旅行から個人旅行へのシフトというマーケットの変動に対して適切な戦略を取ることが、企業の成長に欠かせないと学びました。この講演は、地域に根ざした企業がどのようにして生き残り、発展してきたのかを深く理解する貴重な機会となりました。

173. 私が1番印象に残っている企業は田中酒造である。田中酒造株式会社の講演を聞いて、海外の顧客を大事にしていることがわかった。日本酒が今年の末にユネスコの無形文化遺産に登録されるようだ。これは小樽に今いる人として大変嬉しいことだ。このような大きい地元の企業でも働き手不足が深刻化しており、そこで外国人を採用し、社内からも国際化を進めていくようだ。創業100年を超える伝統企業というのは強いアドバンテージであると思う。私はこの企業を通じて、これから就活をする時にグローバル化にどのように対応している企業なのか、地域からの信頼は

どれくらいあるのかなどを気にしながら就活をしようと思いました。

174. 西條産業株式会社

利用者の方にいいなと思ってもらえる会社であることが重要。建築業において様々な業務を行う。小樽の魅力である景色を活かしてイベントを行っている。

田中酒造株式会社

アルコール飲料が近年飲まれなくなっている。日本人の客だけでなく、海外の観光客にターゲットを拡大している。地域密着の製品を製造している。お酒を売るだけでなく、お酒作りを見てもらうことに重きを置いている。

北海道信用金庫

地域の未来を想定した事業展開をしている。地域に必要性を求められるように営業している。地域への支援を重点としている。

全体を通して、小樽の企業では地域との結び付きを大事にしていることに気づきました。地域に密着し、地域に必要とされることが企業にとって重要であることがわかりました。3社とも面白い話が聞けて良かったです。

175. 今回の講演を聞いて小樽には様々な企業がいることがわかった。自分は樽商のよさこいサークルに所属しており、特に西條産業さんとは講演にもでてきていたが SORAN HEART FESTIVAL というイベントを共に運営するので改めて西條さんの仕事に対する信念を聞いて感心しました。顧客に対することはもちろん、一緒に働いている労働者に対しても、より働きやすい環境(職場・給料など)を考えているところも素晴らしいなと思いました。また、田中酒造さんではグローバル化が進んでいる今、外国人を楽しませるエンターテインメント性を重視したり、そもそもの労働者に外国人を採用し、職場自体をグローバル化したりしている点が良いものだなと思いました。しかし現代の日本人の日本酒の需要が少なくなっているグラフを見て、職種によって様々な被害が及んでいることも学びました。

176. 私は大学二年生なのでまだ深く考えたことがなかったが、今回の講義を通して就活などに対して深く考える機会になったのでとてもいい経験をすることができた。今回の講義で私は特に田中酒造さんに興味を持った。そもそも創業 120 年を超えても会社が存続していることがとてもすごいことだと思った。また、時代の変化に適用するために従来の商品から、海外の顧客に向けた製品開発や事業の多様化など様々な取り組みをしているのが印象に残った。このように時代に合わせながら顧客のニーズに合わせて事業を決める柔軟性が重要であると感じた。

177. 私はこれまで小樽市内の企業への就職について全く考えていませんでした。しかし、今回の講演でお話を聞いたことで小樽市内の企業にも興味が湧き、今まで漠然と北海道なら札幌と考えていた自分の考えを改めるきっかけとなりました。また、社員の給料を上げたりターゲットを日本人だけでなくインバウンドや海外にまで広げたりするなど時代に合わせた企業の変換というのを感じることができ、とても面白く感じました。自分が就職活動をするのはおそらく来年になるの

ですが、その時には今回の講演で学んだことを活かしたいと思います。

178. 小さいときから西條産業さんや北海道信用金庫の建物を何度も見かけたことがあり、20 歳のとき両親が私に初めて購入してくれたお酒は今回の講演でも紹介されていた、田中酒造さんの梅酒である小樽美人でした。授業では経営について色々学んできましたが、生まれたときからずっと小樽に住んでいる私にとって馴染み深い企業さんの生の声を聞くことができて、より理解が深まったというか、理論上のことだけではなく実際に行われていることなのだと実感しました。例えば、CSR です。西條産業さんは潮祭りや小樽の屋台にも関わっていて、信用金庫さんは小樽の象徴ともいえる運河の掃除について紹介されていました。また、田中酒造さんは海外からのお客様とカタコトであってもコミュニケーションができ、懇意にしてもらえたときに従業員はやりがいを感じているのではないかというお話があり、授業で学習した外的動機づけと関連しているのではないかと考えました。そして、田中酒造さんは 125 年も続いている老舗であるにも関わらず、現在の日本酒から人々が離れてしまっているという状況を踏まえて、観光都市である小樽の地域性を生かしながら海外へ魅力を発信していこうという変化しようとする姿勢が印象に残っています。

小樽の企業や OB の方のお話を聞くことのできるのとは中々できないことなので、とても貴重な経験となりました。

179. 田中酒造さんの話で、小樽市はすでに国際観光都市であり地理的優位性があるため、生き残っていくためには国際化をするしかないと行動したことを聞きました。このことから、当たり前ではありますが今日講演をされたような(生き残っている)企業はやはり「考えて」「行動」しているのだと知ることができました。

信用金庫というものが金融機関のなかでも民間金融機関であり、その中の共同組織の一つの種類のものであることを初めて知ることができました。

北海道信用金庫さんの言われていた、多様性＝組織の活力であり、様々な能力、知識、経験、考え方をを持った人材を求めているという言葉がとても印象に残りました。

180. 今回 3 つの企業の話聞いて重要だと思ったことは、給料も大事だとは思いますが、自分が企業の事業内容に合っているかどうかだと思った。3 つの企業の内容についてホームページなども確認してみたが西條産業さんがとても自分に合っていると思った。従業員にあった部署に異動できるのはとても良いと思った。同じ部署だけでなく色々な部署で仕事できるのは経験にも繋がるし仕事のマンネリ解消にもなると思う。また、従業員の給料底上げや子ども手当などもとてもいいと思った。

181. 西條産業さんのお話を聞き、会社の働き方改革を進めていて魅力的に感じました。仕事の範囲が広く、札幌と小樽に支店を置いているため通勤などがしやすいこともプラスに感じました。ワークライフバランスが重視されている中で、アフター 5、アフター 6 を楽しむという、仕事終わりにサッカーをしたりするなど、あまり改革されていない企業が多い中で、先取りしていることが

魅力的だと思いました。また、田中酒造さんのインバウンドに対する考えで、フレッシュなお酒を外国の方が好んでいることを傾向とし、ヴィンテージの日本酒、熟成酒、柚子のお酒など、対応している点が面白く感じました。小樽と密接に繋がっている企業のお話を聞くことができよかったです。

182. 西條産業株式会社さんは、耳にしたことがある企業ではありましたが木材から建築までを手がける企業だということは初めて知りました。社員の階級をリセットし、さらに社員全員の給料を5%以上あげるという大胆な事業方針を行える行動力と、信頼に重きをおいている点に、会社が長く続いてきたわけを実感しました。

田中酒造株式会社さんは日本酒の製造販売を全て会社内で行っているだけでなく、外国人観光客向けの商品の開発販売方法を常に模索している点でグローバル化、観光都市化が進む小樽を担っていく企業であると感じました。

北海道信用金庫さんのお話を聞き新入社員へのサポートが充実しているを知って、北海道信用金庫さんは銀行よりも地域に根ざした環境で働けるとともに、入社してから日が浅くても自身のキャリアを高めていける環境が整備されているということを感じました。

今回の講演で、どの企業も社員の福利厚生、小樽に根差した活動に力を入れていると感じました。また、特に西條産業株式会社さんと田中酒造株式会社さんは社員の働きがいについて言及しており、わたし自身就職についてはまだ考えていないものの、就職する企業を考える際には社員一人一人に目を向けている企業かどうか重要視したいと思うようになりました。

183. 僕が特に感銘を受けたのは西條産業さんの講演です。当会社では社員の規模として全体で100人の社員がいて仰っていました。この規模は大きすぎて全く把握することが出来ないという事がないちょうどいい規模感だと思っており、社員がトップに立つ者や上司などと気軽にコミュニケーションを取ることが出来るために社員が働きやすい環境を作ることが出来ていると思います。正直木材等を扱う産業には全くと言っていいほど興味がなかったのですが、今回の講演を聴いて木材に直接関わるだけでなく、その他工場や事務的な場面で自分の強みを発揮することが出来るという部分を知り、そういった企業への見方や考え方が180度変わりました。こういった企業に携わることが出来ればいいなと感じることが出来たので、今回の講演は得ることが多かったと感じます。本当にありがとうございました。

184. どの企業も地域に根差した業務や環境があることを強みとしていて、それが企業の根幹にあるのは、地域にとっても、企業にとってもいいことだと思った。小樽でイベントを開催したり、ボランティアをしたりと地域の人々と関わることは新規顧客を獲得する機会となり、ボランティアのような直接利益にはならない活動も必要だと思った。西條産業さんの異なる3つの事業をしているという話を聞いて、色々な事業を高い質を持って行うことができるのは、本当に強みであると思うし、そのような企業が今後残っていける企業だと考えた。

185. 講演を聞いて、会社ごとに理念や考え方が様々なのだなと思った。質問の答えではあったが様々

なことをやる中で会社が長く続くための選択をすることや、傾向からこんな活動をする、この層に向けて動いている、など実際に携わらなければ想像しにくいことをわかりやすく伝えていただけたのが良かった。企業説明会など自主的に参加したことがなかった私がとても興味深い話を聞くことができる貴重な機会であったので本当に良かった。共通して持つべきなのは顧客のニーズに合わせるため分析して供給していくことであると感じた。

186. これまでしっかり企業の説明を聞いたことがなかったので 3 社の話を聞けてとても面白かったです。それぞれ違う業種だったのでどんなところを大切にしているか、何をモットーにしているか、どんな力のある人を求めているか様々でもっと色々な部分を知りたくなりました。どの企業も小樽に根差した活動をしていて尊敬しました。イベントに参加して地域を盛り上げたり、ごみ拾いなど環境に配慮した活動をしていて地域貢献にも力を入れているところがここまで企業が長く続いたりでかくなっている理由だと思いました。
またどの企業も従業員のことを思った企業努力をしていてこれからの就活に対して感じました。
187. 先日の講演を聞いて、就職して働くことのイメージを大まかにつかむことができました。実際に就職した方が、就職する前どんな気持ちだったのかという話や、実際に就職した当初は右も左もわからない状態が当たり前であるという話、実際にどのような研修の仕方があるのかを教えてください少し就職に対する不安が減りました。そして企業様が売り上げだけでなく働く社員のこともしっかりと考慮しているのが素晴らしいと感じました。
188. 西條産業株式会社さんや田中酒造さんはただ経営するということだけではなく、小樽を盛り上げていこうということも経営の背景にあるのがよく伝わってきました。特に、田中酒造に興味を持ちました。田中酒造さんは、小樽の超高齢化にも着目しており、これからは外国の方達も雇っていくとおっしゃっていたのですが、確かにそうすることで更なる小樽の発展や観光業の盛り上がりにも繋がると思いました。そして、インバウンドの外国人を目的にお酒の良さや歴史を伝えるのもすごく効果的だなとも思いました。
189. 今回の企業説明で、企業の代表者が自身の企業について楽しそうに話している様子に非常に感銘を受けました。特に「働くというのは稼ぐためではなく、やりたいことをすること」という考え方を学びました。話し方にとても熱意があり、代表者が企業の成長と共に社員の個々の夢や目標を大切にしていることが伝わってきました。話を聞く中で、就職とは単にお金を稼ぐ手段ではなく、自分のやりたいことを実現するためのステップであるという新しい視点を学びました。今後、自分自身のキャリアを考える上でも、仕事を通じて何を成し遂げたいのか、どのようにやりがいを見つけるかを深く考え、この授業での学びを活かして、自分のやりたいことを明確にし、それを実現できるようにしたいと思います。
190. 小樽は観光地ということもあり、外国人観光客の顧客も視野に入れて経営が必要不可欠であるとわかった。人口が減少し地元の活気が失われつつある中で、いかに観光業で小樽に人を呼び込み、

地元の活気を取り戻すか、を常に考えなくてはならないと思った。今回の3つの企業のうち2つの企業は小樽の組合などに所属して自社の経営のみならず小樽を盛り上げるための様々なイベントを実施していることを知った。授業でやったように企業の社会的責任を果たしていると感じた。

191. 今回の講義で、特に気になった企業は北海道信用金庫でした。今回紹介していただいた企業の中でも1番福利厚生がしっかりしていたからです。特に土日祝日が休みなのはよいと感じました。また、企業の仕事内容がほとんどわからなかったため、お話を聞けて信用金庫がどんな仕事をしているのかをよく理解できた。どの企業も地域密着の方向性を掲げていて仕事をしていくなかで達成感ややりがいを感じる事が多そうだと感じたので自分が就職活動をする際の大きな指針になるためになった授業でした。
192. 小樽で産業を展開していくにあたって、小樽市の人口、特徴、地域資源、既にある産業施設をよく把握していくことが重要であると感じた。この点に関して、西條産業では、ハウス部門、商事部門、建設部門の3部門に分かれていて多業種の企業であるが、その多岐にわたる企業活動を活かして、また小樽が観光都市であることを利用して、イベントの運営にも力を入れていることを知った。地域貢献を通して小樽にいる人々のニーズを知り、小樽にとって良い影響を与えようとしていることが良く伝わってきた。さらに事業を展開していく街・人をよく把握するということは田中酒造でも見られた。近年のアルコール離れや海外の方も訪れる小樽であるということからお酒の名称を外国人が魅力的に感じるような日本らしいものにするなどの工夫がみられたと思う。最後に、講義内で一番関心を持ったのは西條産業の西條公敏さんが質疑応答の際に応えていた、「すべての部門で優秀な営業成績を残さなければいけないのではなく、3部門の中のどれかでいい。企業の存続のためには細々と続けていけることが大事だ。あまり派手なことをすると出る杭は打たれるじゃないですけどね。」というこの言葉がとても印象に残った。経営に関して学び始めて、売上を伸ばすことが企業にとって一番の目標だと固定化して考えてしまっていたが、企業間で競争があるからこそその企業存続のために地道に続けていける強さが大事だと経営者視点の考えが聞けてとても興味深かった。
193. 各企業が、売り上げのための経営戦略を考えているのはもちろんのこと、従業員に対する気遣いなど、企業ごとに特色があって面白かった。小樽に関する企業ということで、そこまで規模が大きい会社ではないものの、規模が大きいなりの経営をしていて、学びになった。特に西條産業では、小樽に寄り添う企業としての姿勢が詳細に説明されて、地域に密着した企業で、地元の人が就職したら、働きがいもあり、働いていて楽しそうに感じた。
194. 色々な業界の仕事の内容や就職について1回の講義内で知れたのはとても有意義であった。どの企業も自分たちの強みと弱みを客観的な視点から分析して事業に活かしていることがわかった。さらに、課題を踏まえて将来やっていきたいことが明確にされていたので社員が仕事へのモチベーションが維持し続けることができる点もよかったと感じた。特に、西條産業さんは地域に

密着した企業で、小樽市内のイベントに積極的に関わっており、小樽の地域貢献の第一線にいらっしゃる企業であることがわかった。

195. 本日の講演で、私は田中酒造株式会社さんのお話が印象に残りました。田中酒造株式会社さんの講演から、それぞれ自分の会社や製品に合ったニーズに注力するということが会社の売上や存続に大変関わってくるということを学びました。田中酒造と同時期に開設された他の酒造会社は皮肉なことに潰れてしまったという話や、ここ何十年で若年層の飲酒率が下がり、売上自体が下がってきているが今の社会を考えると妥当ではあるという話。だがそこから、若年層飲酒率が下がってきているものの、20代の女性にある一定の種類のお酒が好まれるためグラフで言うところまで数値が下がっていないことや、純米酒とよばれる高級酒は海外やインバウンドの方に好まれ、数値自体は横ばいまたは上がっているという事実を踏まえ、そこに焦点を当ててグローバル市場を拡大していくことや、小樽や北海道の観光業と合わせて考えてマーケティングしていく話を伺い、単純数値だけで考えるのではなく、どこの層にニーズがあるのか、その層にどのようにこれからの国際社会で売り込んでいけばいいのかという考えに感銘を受けました。
196. 小樽や札幌に縁のある企業の説明だったので大変イメージしやすかったです。その中でも小樽のイベントや地域に貢献している企業が多く、そのような地域のために働ける企業に就職したいと思いました。また、田中酒造さんの講演の中で、酒類の衰退産業であること、日本の人口の減少がありつつも、海外をターゲットにしつつ、かつ、小樽という観光地としてある強みを活かせる企業の方針はとても興味深く感じました。そして、自分が就職先を決める上で、自分が地域に何ができるか、そして働きやすさに特化した取り組みがあること、自分らしく生活出来ることを重視して、就活したいと思いました。
197. 私は2年生で札幌住みですが、就職活動をするにあたって北海道内か道外かすら決めきれずにいたのですが、小樽市内の歴史・特色ある3社の事業説明等を聞かせて頂いて、小樽の地域産業を始め地域に根付いた社会活動、会社運営を行っている会社に対する興味が湧きました。私は特に北海道信用金庫さんが印象に残っており、今まで銀行と信用金庫は何が違うのかあまりわかってなかったし名前的に強そうな北海道銀行とかの方が就職するならいいのかな？などと曖昧な勝手なイメージで思っていたのですが、地域の人や会社をターゲットとした地域に貢献する役割を大きく果たしていることを知り、また働く場所も札幌圏内で馴染みやすい土地で働けてリフレッシュ休暇やワークライフバランスが良いことを強調されていて安心して働けそうと感じました。自分が小樽で就職することをあまり想像していなかったのですが、大学で小樽の良さを沢山学び英語やマーケティング等、小樽の地で学んだからこそ小樽でそれを活かして働くというのもいいのかなと思ったし、これから就活を頑張ろうと思うきっかけになりました。
198. 今回の講義では複数の会社の人に来てくれてそれぞれの会社の特色や仕事内容、戦略などをわかりやすく説明してくれて、知らなかったことも理解することができた。特に信用金庫という名前は見たことあったけど銀行と何が違うのかわかってなかったのでいい機会だった。どの企業も時

代の変化に合わせて会社のスタイルや雇用の仕組みなどを変化させていき、常に会社が成長していくことを念頭に置いていて、いい会社だなと思った。年齢も若い世代が多かったりして、働くのが苦痛に感じない雰囲気が感じ取れた。

199. 西條産業さんの3部門制の話で、ハウス部門、商事部門、建設部門の特徴が大きく異なる部門間を、異動制度によって社員の適材適所の部門に異動させてくれることが魅力的に感じました。想定と違う、やってみないとわからない仕事は多いと思うので、社員が無理に続けて精神を病んだり会社をやめたりといったミスマッチを防ぐためにも、社員のモチベーションを維持させるためにも、異動制度は非常に良い制度だと思いました。

田中酒造さんは酒造会社の中でも珍しく、酒の製造と販売も自社で手掛けていることに驚きました。昔は小樽内で弱小だと言われた田中酒造さんが、今では小樽で唯一の日本酒造り酒屋になったストーリーも面白いと感じました。

200. 西條産業さん

- ・昭和由来組織の再編、「働きがい」改革。
- ・作り始めからアフターサービスまで”川上から川下まで”訪ねる人によって印象が異なる企業。
- ・ある部署での顧客はある部署での競争相手となるが、3部署のどこかで利益を上げていく。
- ・目立たないところで利益を求める、気づいたら利益が出ているというのは結構大事なことのだと学んだ。会社全体で見た時に安定的に利益を求められるという強みは自分の職業選択のポイントになっていくだろう。

田中酒造さん

- ・日本酒業界は衰退し続けている→確かに若者の多い飲みの席で日本酒を注文する人は少ない。
- ・純米酒は成長を続けている(富裕層向け) 世界における知名度は高い。
- ・市場がグローバルに展開しはじめており、円安もあって追い風。
- ・これからのインバウンド旅行形態…自然・食 から一歩踏み込んだ「文化」への関心。
- ・クラフトビールのように、果汁を加える「クラフト酒」。
- ・発酵食品のような健康食品製造にも力を入れ始めている。
- ・変化には変化で対応する伝統。
- ・時代の移り変わりによる変化を求められているのは酒造会社も同じなのだと知った。味や香り、飲み方などが学べる飲み比べ体験にはぜひ参加してみたい。

北海道信用金庫さん

- ・中小企業と個人が対象。日本企業の99%は中小企業が占めているため、経済成長には欠かせない。
- ・預金、融資、為替、中小企業支援、国債、投資信託の販売、保険の販売、コンサルティング業務。
- ・入社から約1年は会社から指名された先輩からの業務説明。
- ・水金は定時退社、土日祝・年末年始休み。
- ・法律で営業エリアが定められているのは初めて知った。はじめの配属を実家近くにしてもらえ

ると聞き、地元の活性化に自ら貢献しているやりがい生まれやすいと思う。

201. まずは 3 社とも自分が現時点であまり詳しく知らない業種であり、それらの仕事内容や展望を知る良い機会となった。田中酒造さんは小樽で営む会社として、人口減少などの今、そして今後の小樽の課題に向き合って策を講じているということが、商大に通っているのにも関わらず小樽のことをあまり知らない自分としてはとても印象に残る新たな気づきだった。そして、信用金庫については名前だけは知っていて、なんとなく銀行と同じような形態であると考えていたが、より地域との結びつきが強い、銀行とは別の強みがある組織であるということを知ることができた。
202. 西條産業で人事異動を行い一からやり直したと聞いてとても大切なことだと思った。人にはそれぞれ向き不向きがあり、会社に入ってから変わる人もいる。その人に合うポジションに設置することは企業自体が成長することに繋がる。どの立場についても給料を上げたことは、立場が変わって傷つく人を減らしていると思う。またこの企業も小樽でイベントなどを主催したりするなど小樽の地域活性化を行っており、勤める企業を決める際は企業の外にどのような影響を与えているのかなども調べるべきだと思いました。
203. 特に観光地である小樽で、外国人に向けた見学や体験の機会が設けられているのは、やはり「ここでしかできない」ことができるという点において集客の方法として適していると感じた。個人的には、アルバイト先で扱っている日本酒の酒造さんに講義をしてもらえて嬉しかった。日本酒の勉強のためにも田中酒造さんに時間があれば伺いたいな、と思った。
私は将来、この職に就きたいなどといった具体的な目標がないのでこうした機会は貴重で自分の実になる物だろうと考える。これから本格的な就職活動が始まっていくだろうから今日の学びを参考にしていきたい。
204. 今回の講演について、重要だと思ったことは、企業についてちゃんと調べることが大事なことだ。例えば、西條産業さんの賃上げの話だ。今は、物価が上がって給料が下がっているという報道が多いため、どこの企業も苦しい状況にあると考えていた。そんな状況下で、西條産業さんは賃上げを行っていた。今後、就職活動を行っていく身として、このような企業の取り組みを知ることは、企業の特徴を知るという意味でもとても重要だと考える。様々な手段を用いて、その企業の取り組み、スローガンなどを詳しく調べることが、自分のために役立つだろう。
205. 地元での就職について考えるきっかけになってよかった。お客様に必要としてもらえる事業を行っていることだと感じた。西條産業株式会社では三部門に分かれ幅広いニーズに応えていることがわかった。田中酒造では、日本酒ブームに乗り外国人観光客に、北海道信用金庫ではお金を借りたい人など、それぞれのニーズに応えられるように工夫していることがわかった。田中酒造で行っている酒蔵見学では、お客さんを楽しませながら、お酒の理解が深まったことによる購買意欲を利用した経営が興味深かった。

206. 今回の講義で一番勉強になったのは、西條産業さんの地方創生についての取り組みです。会社運営といえば、営利目的のもと生産活動をし、得た利益を従業員などに還元していくことが主な活動であり目的だと思いますが、ハートフェスのような地元を盛り上げるイベントを企画運営し、違った形で地元に還元していくことは素晴らしいと思いました。地元を盛り上げることは、地域が活気付き魅力的な街になるとともに人の流れを産むことでその地域の魅力の再発見に繋がり、ひいては人口増加となっていくと思いました。
- 今回は、利益とは無関係に地域に還元していくことで得られるものがあるということを学びました。
207. 小樽の企業の中でも、最近増えている外国人観光客向けに、本来の事業とは変えてインバウンド対応にしている企業もあれば、長年築き上げてきた地域民からの信頼を重視して地域密着型のビジネスをしている企業もあり、有名観光都市だからこそ観光客向けと地元向けの側面があるのだなと感じた。また、それぞれの企業の方々が社内環境の改善に努めていることから、最近の景気や社会情勢を鑑みても社内環境は、企業をまとめ上げるうえでとても大切な要素なのだなと感じた。
208. どの企業においても 17 時 18 時に帰れることが多く、自分の時間が作れる部分がとても魅力的だった。田中酒造さんの学生時代では本格的に学べない酒についての勉強を丁寧学べるという会社に関する丁寧な教育がなされていて、自分も丁寧な教育・指導がなされている企業で働きたいと思った。また西條産業株式会社さんの「ある部署によってはお客さんになって、ある部署によってはライバルになる」という言葉を聞いて、最初僕は競争心が芽生え、社員のモチベーションが上がる以外のメリットしかあまり感じなかったが、最後にどこかの部署の売り上げが下がっても平均点を取れることを知ってすごく考えられた経営戦略だと思った。またこれまで信用金庫と聞いてどのような仕事をしているのか気になっていたが、中小企業と個人に特化した金融機関であり、地域貢献活動にも力を入れており、地域性に富んでいて、自分たちの周りを支えていたことを知り、驚いた。自分は金融への就職を考えており、今回の講演を聞いてより金融について学ぶことができてよかった。
209. 講義して頂いた三つの事業ともに、地域密着型という点で共通しており、地域の活性化に貢献していました。人口が減少しつづけている小樽という街で事業をし続けるためには、昔から根強く残る伝統を残しながらも、常に新しいことに取り組み続けることが大事だとわかりました。変化を恐れず、リスクを取ることが成功の要因なのではないかと感じました。他にも、それぞれの事業が働き方について、職員のことを考えていることがとても伝わってきました。
210. 小樽の有名な企業の代表者の方々のお話を聞いてとてもためになりました。私は就活についてまだしっかりと考えていなかったもので、初めて知ることや土木業界、酒業界の事情を知ることができてよかったです。そして、どの企業でも大切なのは信頼と新たな試みであることも学びました。伝統を守るのは重要なことですが、競合企業がたくさん出てくるなかで、同じことを続けていて

もうまくいかないので、難しいと思いました。また、どの会社もすばらしい企業理念を掲げていて、そのように社員の意識を統合することが高い業績につながっていると感じました。

211. 今回の講演を受講し、西條産業の取り組みが非常に印象に残っている。常に新しいことを模索するというスタンスのもと、3つの部門を持っている上、地域貢献活動にも尽力するということは容易ではないように思った。しかし、給与改定や服装の規定の緩和、特に各従業員に合った部署に異動が可能であるという点が、従業員のモチベーションを高めており、多方面への活動が可能になっているのだろうと感じた。就職先を選ぶ際には、生き生きと働くための基盤がこのようにして整っている会社を選びたいと強く思った。
212. 西條産業株式会社様の講演を聞いて思ったことは、一見地味な内容のように感じていたが、意外にオールマイティさもあり、面白い会社、業務内容だなと感じた。田中酒造様は昔から続く酒業界だが現代のグローバル化に上手く対応しており、衰退する酒業界の中頑張っているなと思った。北海道信用金庫は昨年の北海道産業論で信用金庫についての話を聞いていたのでわかりやすかった。中小企業への融資を主としており、思ったより融資量が多くびっくりした。
213. 西條産業で行っている川上から川下まで経験することができる制度のように、仕事を行う上での全体像を把握することに繋がるということが大切であると感じた。
また、田中酒造では顧客の変化に合わせて提供する事業も変化させていくという柔軟性を重要視していて、昔から続く企業においてもむしろ必要なことであると感じた。
北海道信用金庫では地域と密着した銀行の業務を行っていたが、実際にお店を開く人と一緒になって採算などを考えていくというところに魅力を感じた。
とても参考になる講義であったが、観光業に興味があるため特に田中酒造のインバウンドを対象とした事業に興味を持った。商品についてはもちろん、顧客について、社会情勢についても合わせて分析することが必要なのだと感じた。
214. 今回の3企業の講演をお聞きした中で、私が着目した点は2つある。
1つ目は時代の変遷に合わせた変化の有無を考えていけないといけない事である。時代が変わっていくなかで、企業をこれからも成り立たせるには、残さないといけないところ・残した方がいいところは残しつつ、より従業員が働きやすいように、時代に順応するように変わっていくことも必要であると学ぶことができた。
2つ目は、地域貢献に関する事である。今回講演してくださった3企業は業種も業務内容もかなり異なる中、地域とのつながりを持っている点で共通しているという印象を受けた。企業の利潤だけではなく、企業が存在するためには地域との繋がりや関わりも重要になっていくのだな、と気づいた。
215. 今回の講演を通じて、特に重要だと感じた点は、働き方の多様性についてです。講演では、働く時間や服装、そして目的といった要素において、多様化が進んでいることが強調されました。

現代の職場では、従来の固定された労働時間やドレスコードに縛られない働きかたが求められています。従業員は自身のライフスタイルや個々のニーズに応じて、柔軟に働くことができるようになりつつあると思いました。これは、働く側にとっての満足やモチベーションの向上に繋がると考えられます。

また、このような多様化は、顧客のニーズに応えるためにも重要です。顧客も多様な背景や要求を持っており、その期待に応えるためには、企業自体が柔軟である必要があります。会社の目的は、常に客のニーズや経済状況に適応する事であり、この変化を受け入れることが不可欠だと教わりました。

216. 西條さんの話では、会社側から社員のために様々な働き方改革を行い、特に給与のベースアップや子供手当などの給与改定を行うことで社員へのモチベーションだけでなく、地域の活性化や人口の減少の対策にも繋がる事にとても驚きました。

岡田さんの話では、日本の人口減少に伴い酒造のターゲットの層を日本人ではなく、外国人観光客にする事で成績を伸ばすという、小樽の地理や社会の変化に臨機応変に対応して柔軟な戦略を立てることが企業を成功させるカギであると学びました。

田村さんの話では、信用金庫では中小企業と個人特化した地域と密着した金融機関であり、地域を活性化するには欠かせない企業であると学びとても興味を持ちました。

217. 私は札幌出身なのですが、小樽で活躍している企業についてほとんど知らなかったため、とても勉強になりました。地域に根付いた事業やイベントへの参加、社会貢献活動など、地域性のある内容が多く、面白かったです。どの企業も、働く側のモチベーションや働きがいを高めることを大切にされていて、とても従業員想いの企業なのだと思います。また、信用金庫は漠然と金融機関であるという認識しかなかったのですが、今回の講義で、金融で地域を支える業務をしているとわかり、興味を持ちました。今回の講演を通して、企業の活動で地域に貢献し、そこで住む人たちに必要とされる企業に将来勤めてみたいと感じました。今後の就職活動に、今回学んだ働きがいの重要性を活かしていきたいと思います。

218. 小樽市の企業でも現代の働き方に沿った働き方をしていることがわかった。講演を聞く前は、固定観念に囚われた働き方をしているのかと勝手に思っていた。多様化するライフスタイルのなかで、様々な働き方ができる方が、従業員の満足度、幸福度向上に繋がると思うので、すごくいいと改めて感じた。今回の講演を通じて、一般的には就活生ではない私は就活の重大性を再確認することができた。今からでも就活に向けてできることはあるので、自分の後悔しないような結果を残せるように頑張りたい。

219. 西條産業さんの、物価高の時代に対抗して社員の給与を上げるというのはあまり聞いたことのない話だったので新鮮味と驚きを感じました。また、北海道信用金庫さんの説明ではもともと興味のあった金融業界についての具体的な説明を受けて以前よりもさらに金融業界への興味を深めることができました。そして、今回の講義で、実際の小樽の会社の実情や実際の施策についての

説明を拝聴して自分の就職に一層の具体性を持つことができたと共に、今後の就職先を吟味する上での比較軸にもなりとても意義のある講義となりました。

220. まず西條産業株式会社さんについて重要だと思ったことを説明する。

西條産業株式会社さんは、建設業者であるが、トンネルの仮設ハウスや潮祭りなどのイベントの休憩場の設営などの地域貢献も同時に行っている。会社が成功するには利益だけでなく、地域貢献も必要であることがよくわかる。

田中酒造株式会社さんは、小樽唯一の日本酒造り酒屋であり、国内外の観光客が年間約 20 万人訪れることでも知られている。小樽が国際観光都市であることから、少子高齢化や人口減少が凄まじいスピードで進んでいる小樽をたくさんの人に知っていただくきっかけを作っている。

北海道信用金庫さんのモットーは、地域の人が地域の人と作っていく組織であり、地域に根差した企業理念となっている。

この 3 社に共通していたことは、長く愛されるには時代の変遷に合わせた変化が必要であるから、変化を重要視していたこと、地域密着をモットーに企業活動をしていること、その拠点の特徴を活かして活動することであった。

221. 西條産業は、複数の事業を行うことで売上の安定化を図るという点が印象深かった。異なる事業部ではあるものの、それぞれに関連性があり、建築全般を網羅していることは強みなのだと知ることができた。

田中酒造は、インバウンドに向けた取り組みが興味深かった。輸出ではなく、日本に観光に来た外国人向けに、酒蔵の見学ツアーを用意しているのが印象的で、有料で行っていることにこだわりを感じた。きっと従業員の方々もやりがいがある仕事なのだろうと考えた。

北海道信用金庫は、そもそも自分が信用金庫というものに対しての解像度が低かったので、具体的に業務の内容を知ることができたのは大きかった。また、「地域に密着する」というのが一般的な業務に留まらず、運河の清掃など行動に移しているのが興味深かった。

222. 今回の講義を通じて、西條産業さんの各部門が互いに競争しながらも、どこかの部門の業績が落ちても他の部門でその分を補えるシステムについて学んだ。この仕組みは、競争意識を高めると同時に、しっかりと利益を確保できるようにリスク管理がされている点が素晴らしいと思った。各部門が独立しつつも、全体としてバランスを取りながら成長を目指すことで、企業全体の安定性と成長が確保されていることに感銘を受けた。これからのビジネス展開において、このようなリスク管理の重要性を改めて認識した。

223. 現時点(2 年次)ではどこに就職するか、どんな仕事に就きたいかを全く考えて居ないため、色々就職先の選ぶポイントや視点などを学ぶことが出来ました。1 つは大手企業などの大規模企業ではなく、小規模な民間の中にある良さについてです。小規模だからこそ、常に進化しやすく、また変化への適応が早かったり、動き出すまでの時間がかからなかったりするのかなと感じました。西條産業さんのお話を聞いて、1 週間前に公的に公開した改革の内容も、大手ではいくつもの段

階を踏むところを、すぐに行使できたのではないのでしょうか。そういう部分を考えると、民間企業はとても惹かれるところがあるなと思いました。

224. どの企業も小樽やその周辺の場所で地域のため、そこに住む人のため親身になって働かれていることが理解できた。また、実際の職務内容や働き方についても触れられており、柔軟的な働き方の拡充に尽力されていることもわかった。それぞれの業界についてあまり詳しくなかったのが基本的な情報や今後の展望について説明していただいたのはとてもありがたく感じた。私はまだ、就職についてあまり考えられていないが自分の育った地域(北海道)で地域のために働く事の魅力を感じたので視野に入れようと思う。自分の将来について考える、非常に良い機会となった。
225. 今回の講演を聞いて、以前よりも小樽の企業について関心を持つようになりました。特に、田中酒造株式会社様の話を聞いて、業界を発展させるためには国際進出するアウトバウンドが必須であるという言葉に共感した。現在、人口減少する日本に対して、最近になって外国人観光客がますます増えていると感じることが多い。この現状からして、国内での発展をはかるよりも国際化を目指した方が発展の道を辿れると感じたからである。ただし、国内の観光客も維持もして、インバウンドにも注力する必要もあると感じた。
226. 西條産業株式会社様のお話から、就職をしたいと思ってもらうためには、その会社自体だけではなく、社外のこういったことに携わっているのかも重要なことなのだと知りました。西條産業株式会社様で言うと、スポンサーをしているサッカーチームの道内での実力が結果的に就職先選びに影響することに驚きました。今まで企業が行うスポンサーの意味は、他の企業や買い手への広告宣伝だと思っていました。しかし、それだけではなく、就活生への宣伝にもなると知れて良かったです。
227. みなさんがどんなことをやっているのかだけでなく働き方の面でお話してくださって、興味が湧きました。特に働きがいについて話されている時にはハローデイのことを思い出しました。やはり仕事内容だけでなくモチベーションに繋がる働きがいはとても重要なのだと感じました。創業から125年も経つ田中酒造さんが1番印象的でした。他の酒造会社がなくなっていく中で生き残って、ホームページを見てもいまでも活発ですごいなと思います。
228. 今回の講演を聞いて、それぞれの企業が自らの企業の強みをしっかり持っていて、同業他社との競争をするための特徴づけをしていた点が講義では知ることができなかった点として勉強になった。また、西條産業と田中酒造に関しては小樽に拠点がある企業として小樽を訪れる観光客向けの売り出し方をしていたり、地域に寄り添った企業として祭の開催を手伝ったりしていた点が地域に根差した企業のあり方のいい例だと感じた。自分はまだ就活は本格的には始まっていないが、業界を選ぶ上での参考にもなった。
229. 講演全体として、それぞれの企業の事業内容や小樽と会社の結びつきなどを企業の人から直接聞

くことができた貴重な機会で面白かった。田中酒造さんの世の中の変化に合わせて、インバウンドやアウトバウンドを販売対象にし、商品も海外の好みに合わせて商品を製造、提供していく事業体系に深く興味を持った。また、世界中で清酒の需要が上がっていることで酒造業に新たな道を見出せることはとても良いことだと思った。西條産業さんでは、部門化がはっきりと3つに分かれていることで、幅広く活躍されていることや、質疑応答の際に3部門に分かれていることで利益に差が生じて平均点を出すことができるため収益を安定させることを可能にしていることや、従来とは大きく変化する働き方改革を進んで行っていることで働きがいに対しても大きな重点を置いているように感じた。また、それぞれの企業の働きがい、働きやすさの工夫を知り、会社と従業員の関係性についても興味深かった。

230. 西條産業会社ではハウス部門、商事部門、建設部門と3つの部門があり、川上から川下まで、非常に広い分野で活躍されている会社だとわかりとても感心しました。

田中酒造は近年、国民、特に若者のお酒離れが進み日本酒業界では向かい風の状況の中、消費者の多様化による女性利用客の増加や、海外観光客の需要増加など、流行の変化を読み取り、事業を安定させていてとても感心しました。また、昔の小樽の酒屋は100店以上あったのに、現在では田中酒造1つだけというのが衝撃で継続することの大変さと現在もなお続いている凄さを実感しました。

北海道信用金庫は今回の講演を受ける前から知っていて、また利用しており就職先としてもとても人気があるイメージがありました。今回の講演を受けて仕事の内容ももちろん魅力的でしたが何よりも土日祝日が休みなのが今の若い人たちにとってすごく魅力的だと感じました。

231. 今回の講義を聞いて3企業に共通して地域とのつながり・信頼を重要視しているなど感じました。また、今の企業の土台を作ってくれた先代方に感謝しながら今の時代に合わせて会社も変化していかなければいけないのだと感じました。田中酒造さんに関して、自分の周りにはあまり日本酒を飲む人がいなく、自分も今まで日本酒に対して「強いお酒」や「上の世代が飲むもの」というイメージがあって飲むことのハードルが高かったです。ですが前に親と日本酒を飲んだ時にイメージよりも飲みやすく、ご飯にも合ってかなり好きになりました。講演の中に清酒の消費量が減ってきているとありましたが、自分のように若者世代には日本酒を飲む機会がなく、美味しさを知ることなく過ごしている人が多いのではないかと感じました。

232. 商大出身者がこんなにも小樽で活躍していることに驚いた。西條産業が行っている事業の3つは商事部門の顧客やハウス部門が建設部門の競争相手になっていると言う部分が面白いと感じた。また、小樽でよく知っているイベントなどのほとんどに携わっていて、小樽の地域活性化を推し進めている素晴らしい企業だと思った。田中酒造では、飲酒量が減少している一方で、飲酒層や日本酒の国際化が進んであると言う現状から国際化を推し進めていくという方針で、このような取り組みから日本の文化が世界に伝わっていくのだと感じた。特に、小樽という観光地を利用することで優位に立てると言う部分は説得力があり面白かった。小樽美人というお酒は知り合いのお土産として購入していたので、方針の通り観光地としての小樽をよく活用できていること

を強く感じた。中国人の客が減り、インド人の客が増えているのは興味深いと思った。社内の国際化を行っていることは就職先を考える上で興味深い部分だった。北海道信用金庫で、信用金庫と銀行の違いを全くわかってなかったのが、知ることができてよかった。コンサルティング業務では、資金援助だけでなく、事業を続けるための後継を探すこともあるということにとっても驚いた。

233. 今まで選んできた高校、大学とは違い、就職先は場所によって目的や事業内容が本当に異なるから、自分が将来取り組みたいこと、学びたいことをより深く考えて選ぶ必要があると思った。今回紹介された3つの企業が、建設業や酒造、金融以外にも小樽市への地域貢献活動を活動内容に入れていたのに感心した。今の小樽や北海道が抱えている課題について、改善が難しそうなのところも強みや経営方針にしていこうとする姿勢は初めて触れる考え方だった。

234. 自分が就職の視野に含めていない分野について、普段知る機会はない。しかし、今回のように強制参加をしたことにより、多種多様な職業の内容を知ることが出来てとても良かった。また、西條産業さんのように一社に対して複数部門ある会社が多く存在するため、建設系の会社＝自分の専門分野ではないと断定するのは良くないことを実感した。これからは、業界に縛れず、目に留まったり少しでも気になったりした企業について積極的に調べていきたい。

235. 西條産業さんについて、まず思ったのは地域に根ざした企業を目指していること、そして社員が最後にはここで働けてよかったと思えるように尽力する、こういった目標、方針は私にとってとても素敵に聞こえました。単純な給与UPや少子化の進む現在、小樽だからこそ取る子供手当などは勿論、現代には珍しいような逆三角形の組織の形式の見直しなどはとてもチャレンジングなことだと感じました。大きな変化を恐れず、覚悟していると言ったことを仰っており、そのことに関してとても感心しました。イベントへの参加など、やはり地域の人々との繋がりを大切にしているように思いました。

田中酒造さんについて。酒販業界全体としては芳しくなく、厳しい現状ではあると思うがその中で希望を見出している点には流石、長続きしている企業だなあと感心されました。獺祭を主とする清酒が世界的には需要が高いことは知らず、てっきり日本人向きであると思っていた為驚かされました。確かに小樽の人口減少は避けられないが、しかし観光地としては大いにメジャーである為、そこで外国人観光客に焦点を当てるのは良い方針だと思いました。お米のお酒のみならずアイヌのお酒を再現するといった試みもとても興味深く、良い事業だと思いました。成人したら是非梅酒と米酒を飲んでみたいです！

最後に北海道信用金庫について。今まで信用金庫という言葉は聞いたことがあったがかなり抽象的で何を行っているかわかりませんでした。しかしこの講義で地域密着型の金融機関であること、そして具体的な業務の数々を知れてよかった。相互扶助と言う響きはとても素敵に聞こえるものの、その意識のみで上手く利益を出せているのか、どれくらいの事業が失敗し、成功しているのかといったことは大変気になる。地域を支える、人間力を磨けると掲げられたアピールポイント、個人的にはとても素晴らしいです！！インターン或いは企業説明会等があれば参加させていた

だきたいですー！

236. 近年の競争社会で、この国の企業がどのような戦略で会社を経営しているのかとも勉強になりました。インバウンドを狙い、企業の国際化という大きな目標を達成するために何が重要なのかを学ぶことができました。田中酒造さんでは、小樽の観光客増加を見て、単なる酒造作りから、観光作りに狙いを変えたりするなど、さらに幅を広くするという狙いが重要だと思いました。西條産業さんでは、一つの会社でもその中に多種多様な部門があり、人材育成に力を入れていることが良いなと思いました。また、子供手当など現代に必要な工夫もされていて関心を持ちました。北海道信用金庫さんでは、大企業だけでなく、地域も支えられるような中小企業という立場に憧れをもちました。
237. 私は今回の講演の中で、特に田中酒造さんのお話に興味を持った。日本酒そのものや文化が国外からの注目を集めていて、このチャンスを小樽の観光に落とし込むと言う方法をとっていて、地域に貢献しつつちゃんとした利益も見込める良い手段だと感じた。また、海外の人たちとコミュニケーションをとり、お酒の作り方を体験しながら楽しんで知ってもらうことで、リピーターを増やすこともでき、従業員もやりがいを感じることができるというメリットもあった。
238. 今回のような企業の説明を受ける機会が私自身あまりなかったため、とても貴重な機会だったと共に、今後の就職活動を見据えるきっかけにもなったと感じる。今回は3つの企業の話聞いたけど、もちろんのことながら仕事内容は違うものの、よりよい環境づくりや雰囲気づくりに努めている点が共通していると感じた。また、アフター5等に気を遣っている点も共通しており、私としては初めて学べた点だった。ただ、どこを会社として目標にしているのか、会社内の環境づくりの仕方等から、会社の特色や相違点も今回の講演で感じられたため、就職を考えていくうえで、しっかりと会社への理解を深める必要があるなと実感した。私は、働き甲斐や働きやすさに重きを置きたいと考えているため、特にそこを重点的に考慮し、就職活動につなげていきたいと感じた。
239. 経営学とは何か、企業や組織を動かしていくうえでの方法や大事な考えなどがわかりました。経営学をただ学んでいくのではなく、学び方を考え、変えていきながらうまく力にしていけるべきだと感じました。今まで考えたことがなかったので驚きました。経営を行うときに着目する点や考えなければならない観点なども知ることができました。これからの学生生活で身に付けていくべきスキル・能力や就活で大事なことがわかりました。就活で必要な能力の話はとてもためになりありがたかったです。
240. 講演では三企業の経営者のお話を聞かせていただいたが、どの企業も地域貢献を大きく果たしているように感じた。北海道信用金庫の小樽運河清掃など、本来の業務内容とは関係ないにもかかわらず、地域に貢献しようという気持ちが強く見られるものもあった。だから地域からの信頼を得られているのではないかと考える。また、従業員の働きやすさの話が印象に残った。中でも西

條産業さんは、いずれ月曜・金曜のみの出勤で可能になるよう目指しているとおっしゃっていた。従業員を大切に、働きやすさをどこまでも追求するその姿勢こそが、企業の存続に繋がっているのではと感じた。

241. 自己分析をしてから就活の軸を決めることが大切だと感じた。自分が何をしたいのか、どんな環境で働きたいか、また自分どんな性格でどんな仕事に向いているのかなど、自己分析を行ってから就職活動に望むことが大切だと考えた。私は一番重視しているのは、人間関係が良好であることである。確かに年収がいいとか、職場が近くにあるのかも魅力的であるが、人間関係がよくなければストレスも溜まるし、仕事が長続きしないと思う。続けることで熟練度が向上していくと思うから、長く続けられるという意味で人間関係を一番重視する。
242. 経営者からすれば当たり前のことなのかもしれないが、まずどんな企業でも何十年先の未来のことまで考えて仕事をしていることに驚いた。もっと目の前のことについてどうすれば良いのかを考えるのかと思っていた。視野を広く持つことの大切さを改めて感じた。また、例えば田中酒造株式会社さんのようにお酒を売っている会社なのに提供だけでなく、体験などのエンターテインメントを行おうとしていることに驚いた。現状維持ではなく、常に進化していこうとする姿勢が大切なのだと思った。
243. 田中酒造様の講演を拝聴し、多くの重要な点と学びを得ました。特に、日本酒業界における田中酒造の事業展開に強い関心を抱きました。近年、日本酒の人気の高まり、顧客層もインバウンドに変化しているという事実は非常に興味深いものでした。これに対応するため、田中酒造は会社の方針を柔軟に変化させている点も印象的でした。田中様が講演で述べられた中で、最も印象に残ったのは「必要な人材は、落ちているゴミをちゃんと拾うような些細なことに気づける人」という言葉でした。この言葉に驚きと共に、深い共感を覚えました。日常の小さな気づきを大切にする姿勢が、企業の成功に繋がるという考え方は、私自身の価値観とも一致します。この講演を通じて学んだことは、変化する市場に対応する柔軟性と、日常の些細な気づきを大切にする姿勢の重要性です。これらの教えは、私が今後のキャリアにおいても役立つものであり、意識して生活していこうと思います。
244. 田中酒造さんの講義で学んだことは、事業を今後も活発させていくには国際化が必要であるということである。さらに、国際化という簡単な言葉で言いくるめられているが、実際には国際化を実現するには信用や費用、時間などが多く必要であるため簡単に行うことはできないということも理解した。普段通学でJRを利用している私は、観光客の多さにびっくりしながら乗っているため、てっきり小樽は観光客のおかげで儲かっているのだと思っていた。この講義では現在の小樽は止めることのできない人口減少よりもいかに観光客や旅行客に目を置いてもらえるかに重きを置いて対策している姿勢に、ネガティブのことをポジティブに考えることが出来ていていい考え方だなと感じた。

245. 西條産業さんの3つの改革的なこと(社員さんの給料アップ、子供手当、役職をゼロベースに、人材育成を強化)ということがとてもすごいことだなと思い、非常に興味深いなと思いました。そのほかにもサッカーチームがあり、採用する時にもそのサッカーチームに入りたい人を採用するなど、採用の幅も広くとっていることがとても魅力的に感じました。さらに、西條産業さんは他業種であることで、年商を安定させることができ、さらに社員さんの得意なことに見合った人事異動が活発に行われていることがとても良い部分だなと思いました。
246. 講演を受けてみて、まず企業の働き方改革が非常に進んでいると感じた。私はまだ2年生であり、就活を始めていなかったので、企業の具体的な働き方を知っておらず、3社の働き方をその会社の人から直接伺うことができ、良い経験になった。また、各社が業種を多方面に広げていると感じた。田中酒造さんであれば、インバウンドの獲得を目指して、観光客を楽しませるような体験を提供するなどの活動を行っており、企業が新たなターゲットの獲得をどのように行っているかまで知ることができ、貴重な経験になった。
247. 西條産業の講演の中での働き方改革はこれからの時代に不可欠なものであると感じた。とくに物価が上がっている今だからこそ、給与改定は社員にとって非常に重要なものだと思う。日本国内の多くの企業の初任給が上がるなど改革が起きているからこそ、改革に乗り遅れないことが大事だと気づいた。また、規模があまり大きくない企業ほど、地域貢献活動を積極的に行うなどして地域に愛される企業になることが大事だと思った。少しでもビジネスのチャンスを増やすためには様々な取り組みをして顧客の頭に企業の名前が残るようにしていくことが必要なのではないかと今回の講義を通して学べた。
248. 日本、小樽の国際化が進んでいることが会社の経営方法の変化にこんなに関わるのだということが驚きでした。消費者の購買意欲を高めるためにはやはり伝統で続いてきたことを維持するよりも今の時代に合わせて考え方や働き方を1つずつ変化させることが大切なのだなと思いました。またコミュニケーションを消費者と取れる事も今までは当たり前だったかもしれませんが、国際化が進むにつれ、それも当たり前にもならない時代になっていくのでどんどん工夫していくことが重要なのだなと感じました。外国の方と彼らの母国語で喋ることだけがコミュニケーションだと思っていましたが、様々な工夫を凝らしてたとえ言語が伝わらなくても彼らの購買意欲を高める会社の行動が大切なのだなとわかりました。どの会社でも最近の若者からの意見を取り入れている気がして働きやすさも色々な会社で今後より上がっていくのかなと思います。私は小樽で就職するという考えはずっと持っていなかったのですが、小樽にもこのような工夫されている会社が沢山あるのだなとわかったので今後少し調べてみようとも思いました。
249. 今回の講演会で講演してくださった企業の皆さんは全て小樽で活躍されている方々で、実際の小樽の企業の仕事、関わりに大きく関心を持てた。企業の方も、「働き方」の点を紹介していて、特に西條産業株式会社の話では、服装をもっとラフなものにしたり、組織の再編を行ったりするなど働く人々の側に立って会社を動かしている様子を知ることができた。私も働く時は、そのよ

うな点を気にしていくと思うので、1つの視点を持つことができた。私は、将来は北海道内で働きたいと思っているが、今回の講演会で、より道内の企業のことが気になったので、他の企業についても調べ、理解を深めておきたい。

250. 西條産業さんのお話が特に興味深かった。古くからの考え方も大事にしつつ新しい考え方や仕組みづくりをして、社員の皆さんが快適に心地よく働くことができるようにしているのがいいなと感じた。また、地域貢献事業も数多く行っていて小樽という街に愛があって素晴らしいなと感じた。小樽の大学に通う学生として西條産業さんの考え方を真似して、小樽という街がよりよくなるような活動をしていきたいと感じた。

251. 今回講演いただいた3つの歴史ある事業の中でも、伝統を守りながらも、変わっていく環境に対して自分たちも変化していくことを恐れない姿勢が大切なのだと学んだ。小樽で言えば、人口減少に対するインバウンドの増加などの現状に対して田中酒造さんのように外国人向けのお酒を造ったり、体験やエンターテインメントを通して提供したりして、お酒の中でも多様性を考慮していく、時代に合わせた事業を展開することが大切なのだと感じた。また、西條産業さんに関しては3つの部門を他業種が影響しあい、それぞれが好況、不況を繰り返しながら支え合っていく企業体系が印象的だった。さらにイベントを通して地域との繋がりにも重きを置いているとの事で、自身も仰っていたように積み上げてきた「信頼」の結果からの実績なのだと感じた。また、各企業で実施している働き方改革について印象に残った。主に「アフターファイブ」やオフィスカジュアル化、勤務場所の考慮など社員の個人の時間、個性を大切にする姿勢が伺えた。今回お話をいただいたことを参考に、積極的に自分の就職活動を進めていきたい。

252. 今までは企業の大きさを最重要視しており、中小企業に着目することは少なかった。しかし小樽や北海道に長く根付いている中小企業を初めて深く知って、中小企業の魅力に気づくことが出来たと考えている。近年日本国内の人口減少の現状の中、インバウンドなど観光産業に重点を置いた小樽ならではの方針は今後より発展していくと考えている。しかし人口減少は地元観光業の衰退にも繋がるのではないかと感じた。そこでそれに関して働き手や他観光系の企業をどのように残していくか、どのように横の繋がりを発展させていくかも課題になってくるのではないかと考えた。

253. 初めに西條産業株式会社さんについて。名前は聞いた事が無かったが、副社長の方がいらっしやっていたので気合いを感じた。また35歳から小樽商科大学の大学院に来て勉強していたということでもいつからでも学ぶことが出来ることを感じた。事業の内容については部門が分かれている事でどこかがダメでも他で利益を得て安定出来るのは強いと思った。

次に田中酒造株式会社さんについて。ここの担当者さんはお酒に関しての質問が来た時にとっても嬉しそうに話していたので本当にお酒が好きなのだなと思った。日本酒もグローバル化を進める必要があるということで英語の重要度を改めて思い知った。また中国人の観光客にも英語での説明なのか気になった。

最後に北海道信用金庫さんについて。ここはスライドが1番見やすい印象があった。道央が活動の中心ということであまり馴染みが無かったが、合併により預金量が1兆を超えているほど大きな信用金庫ということで興味が湧いた。資産運用なども最近興味があるのでとても関心が湧く企業だった。

254. 今回の講演を聞いてみて、3社どの企業もそれぞれの経営理念があり、それを実現するために様々な活動を行っているということがわかった。自分はまだどういった業界に行きたいなどといった具体的な将来のビジョンはまだ見えていないが今日の講演をきっかけの一つとし、自分の将来についてより考えようと思った。講演の中で最終的に一番大切なのは信頼であるという話があったが、企業を経営して行く上で顧客や取引先を相手にしていくわけであるが、しかし結局向かい合うのは人なのである。そう言った面で社会に出る上でとても重要なことを聞くことができたので今後の自分の糧にしていきたいと思った。
255. 給料が高いところがいいと思っていたが、服装のカジュアル化や給与改定、通勤のしやすさが最も大事だと考え方が変わりました。また、企業が地域の祭りや運河清掃など私が思っていた以上に貢献活動していることに驚きました。地域が企業を利用して、お礼として企業が地域を助けるといったサイクルがあると思いました。企業が求める人材として、現代社会の変化や国際化に伴い、その柔軟さに適応できる多様な考え方ができる人が求められていると感じました。
256. 田中酒造さんの講義内容について非常に興味深いと感じました。業界の分析を行った結果国外の需要をよく理解し、インバウンドを狙った経営戦略を打ち出しているのが、小樽で生き残り続けた理由なのかと思いました。また、マーケティングだけでなく商品開発などもよく現場を見て、日本人と外国人が持つお酒へのイメージの違いを理解し、日本酒のビンテージ化を行っていたり、フルーティなお酒を提供するようになっていたりしていたというのが、経営を行う上で非常に重要な考え方と行動力であると感じました。
257. どの企業も自身の強みをしっかりと活かすために、従来通りではなく新しいことにチャレンジしていると感じた。これからの時代はやはり、何か新しいことをやりオリジナリティを出していかなければならないと感じた。特に田中酒造の、外国人観光客向けに事業を展開していくことと、発酵食品の開発をしていくことは大変興味深かった。
自分は道内企業に就職しようと考えていて、札幌近郊の企業がいいなとも考えていたが、今回の講演を聞いて小樽の企業も選択肢に入ってくるように思えた。
258. 西條産業さんの場合は地域貢献や地域と密着した活動を行い、田中酒造さんの場合は外国人観光客向けの日本酒を展開するなど、単に小樽にある企業ということではなく小樽の企業としての強みを生かしていることに関心を持った。また、西條産業さんが行う取り組みについても関心を持った。特にハウス部門、商事部門、建設部門の三つの部門の異動制度や社内交流のためのイベント開催は、従業員のモチベーションを高めることに繋がると感じた。

259. 田中酒造さんの話から、衰退産業の中でも、小さな工夫を絶えず続けることによって企業を生き残らせることができるし、利益を得られそうなところを上手に探すことによって、徐々に売り上げを上げることができることを学んだ。田中酒造さんで言えば、日本酒は衰退しているにもかかわらず、海外での人気などによって、高級日本酒の消費量は徐々に増えていることに気づき、それを一本に絞って売り上げを挙げているため、市場を注意深く観察する眼がこれからの社会に必要な人材だと気づかされた。
260. 西條産業株式会社のプロモーションビデオで、企業理念のひとつとして地域貢献を挙げているところにとっても関心を持ちました。プレゼンの最後にも小樽のイベントなどにたくさん参加していることが紹介されていて、地域活性化に尽力している企業であることが理解できました。小樽という地域に本社を持つ企業だからこそ、商売の利益だけではなく、いかに地域に貢献できるかということを考えた取り組みをすることは、地域に根差し、地域の住民からの信頼を得ることに繋がるし、約70年もの長い間企業を維持することができている一因でもあるのだと感じました。私は就職先を選ぶ際に一つ基準としたいと考えていることがまさに「地域活性化を目指し、尽力しているか」ということです。競争相手がいない企業というのはほばないと思うのですが、その中で差別化を図るときに「地域に貢献する企業になる」ということが最も社会にためになり、結果的に企業の利益、信頼に繋がる方法であると考えているからです。今回の講演で得た企業の事業内容や企業理念なども参考にしながら、今のうちから就職活動に向けて色々な企業について調べていきたいと思いました。
261. 小樽市内でも広い視野を持って世界を相手に事業を進めている企業があることは知らなかった。地元長く根付きつつも、さらなる事業拡大を目指す姿勢に感銘を受けた。これまで、小樽市内での就職は選択肢として考えていなかったが、今回の講演を聞いて、その考えが大きく変わった。小樽のみならず、他の地方都市にも自分の理想に合致する企業が存在する可能性を強く感じた。今回の講演を以って地方企業の魅力と可能性を再認識することができたので、これからのキャリア選択に役立てていきたいと考えている。
262. 3社とも共通して、小樽へ愛着を持った上で地域と協力して事業を運営していることが感じられました。小樽の魅力を自分達が最も理解することで初めて外国人に魅力を存分に伝える観光産業ができることがわかりました。自然豊かで海が綺麗な小樽の景観保護の為に清掃活動を行った北海道信用金庫さんの取り組みや、よさこいや花火など日本特有の風習と小樽の景観を交えたイベントを主催していた西條産業株式会社さんの取り組みには小樽への愛着が現れていると感じました。私自身、小樽で就職するかは未だ未定ですが、今後職場やその地域に愛着を持って働くようにしたいと考えます。
263. 今回の講演を聞くことができたことは自分の将来を考える上でいい機会だったと考えます。自分は前々から北海道を出て、働きたいという気持ちがありました。道内就職が嫌な理由があるわけ

ではなく、本州に行きたいなという漠然としたものでした。そんな中今回の講演で、小樽にある企業さんの生のお話を聞いたこととてもいい判断の材料となりました。

また、講演の中であった田中酒造さんの今後の計画がとても面白かったです。自分では考えられない角度で詳しく現実的な計画だと思いました。

264. 以前は小樽市内での就職は一切考えていなかった上、そもそも小樽商科大学卒業生の小樽での就職先は金融業が多いということぐらいしか知らず、あまり小樽市内での就活に興味も知識も持っていなかった。今回の講演を聞いて、小樽市内の企業についての興味関心を持つことができ、小樽での就活へのきっかけになったと感じた。また、酒業界が衰退している中、インバウンドに着目してエンターテインメント産業へと転換していく、という田中酒造さんのお話が印象に残った。時代に応じて、企業のあり方も変わっていく、その具体例が聞けて興味深かった。

265. 西條産業にはハウス部門・商事部門・建設部門の3つがあり、ハウス部門にはトンネルを開通させる作業者のための泊まれる仮設住宅を建設するという仕事自体初めて知って素晴らしい仕事だなと感じました。講演では2日ほどであの大きな建物を作るということで、かなり早いペースでの建築が求められるとは思いますが、予想以上に早く、そして快適そうな見たくをしていて驚きました。

北海道信用金庫の仕事で、ただ銀行にまつわる業務をこなすだけなのかと思っていたが、小樽運河の掃除隊を組んでいるのが地域との信頼を強化するにあたって大きな役目を果たしているのだろうと感じました。

266. 各企業がアフター5について述べる際、社員たちのプライベートな時間を尊重する姿勢が非常に明確に表れていた。これにより、単に会社の利益を追求するだけでなく、社員一人ひとりが働きやすい環境を提供しようとする企業の意識が伝わってきた。会社が社員の生活全体を大切に考え、そのために努力していることが感じられた。具体的には、仕事とプライベートのバランスを重視し、柔軟な勤務時間やリモートワークの導入、健康管理やメンタルヘルスのサポートなどが挙げられる。このような取り組みは、社員のモチベーションや満足度の向上に大きく寄与し、結果的に生産性の向上にも繋がると感じた。企業が社員を単なる労働力と見なすのではなく、一人ひとりの人生を豊かにするパートナーとして考える姿勢が、より良い職場環境の実現に繋がっていると感じた。

267. 私は今日の講演を受けるまで就職先を小樽の企業にしようとしているわけではなかったけれど、3社の方の話を聞いて興味を持ちました。正直自分が1番重要視しているのは休日をとれることなので、西條産業さんに最も興味を持ちました。西條さんが仰っていた、時代に合わせて変化をしていく覚悟が必要であるという話を聞いて、その信念が、西條産業さんが企業活動を続けられる理由の一つであるの难道うかと感じました。3種の事業をもち、平均的に売り上げていくためにという具体的な経営戦略もとても参考になりました。

268. 小樽ならではの観光客に目をつけたビジネスモデルが展開されているということを知ることができた。外国人の富裕層観光客向けに今まで無料で行っていたことを有料化して、きちんとお金をもらうことで自分たちのその仕事のクオリティを高めつつ、利益も以前より出せるようにしたという質問の回答に共感することができた。その土地の地域性や、力を入れていることを企業が利用していくのは地域活性化にも役立つと思うし、地域一体となって商売を行っていて地域での団結力を生むことにも繋がるので、自分もこういう地域に根付いた企業に将来就職したいと感じた。自分はまだ2年生で就活の意識はほとんどないが、このような地域活性化を推進している企業に今日の講演を聞いて興味を持つことができた。
269. 7月10日の講演を受けて、どの企業も長い歴史を持つ企業である事に気がついた。個人的に、小樽はすごく人と人の距離が近くて一体感がある街だと思っているので、その小樽の素晴らしい面が企業の長続きにも結びついているのだと思った。
- また、今日講演してくださった企業はいずれも北海道内で目立って活動しており、地域の特徴や文化に密着するような仕事内容であることがわかった。私はもともと小樽市内に就職することはあまり考えていなかったが、今日の講演を聞いて、地域に密着した形で働いていくことも素敵だと考えるようになった。
- 私は特に、田中酒造さんの仕事内容に興味を持ったのでもし機会があれば面接を受けに行ってみたいと思う。
270. 西條産業株式会社の、「ある部門の売り上げが下がってももう一つの部門でカバーするという」経営戦略は小樽商科大学で学んだと知り、得た知識を実際にビジネスで利用している方がいることに商学を学ぶモチベーションが刺激された。
- また、田中酒造株式会社の富裕層に向けた着席しての試飲や商品説明のパッキングもターゲットに焦点が当てられたサービスで、面白いと感じた。マーケティング戦略の授業で特定の企業やブランドの新たな成長戦略を考案するグループワークをやっているのので、今自分が学んでいることが実際のビジネスの場においても行われているのだという実感を持つことができた。
271. 西條産業では、多種多様な事業に取り掛かり、その事業同士で敵対することもあるがその結果全体の利益が安定して保たれていることがわかった。また、働く側としても定時退社や賃金アップ、役職のリセットなど働きやすい環境が整えられていて素晴らしいと思った。また、田中酒造では日本でアルコールの消費量が減っていて全体的にアルコール飲料業界は衰退していると言えるが、日本酒の製造量は減っていない、その上日本酒の海外ウケに目をつけて力をつけているのがわかった。同じ業種でも、目の付け所によって利益を出すことが可能なのがわかった。
272. 田中酒造の方がおっしゃっていた、小さな気づき、変化に対応できる人間が大きなことを成し遂げるという言葉がとても印象に残っている。100年以上の歴史を持つ田中酒造さんが、小樽市で存続していくための秘訣がここにあるのだろうと私は考えた。それぞれの時代に合わせた、世間の人々のニーズに積極的に応えていく姿勢が素晴らしいと感じた。お客様にどうすれば喜んで

らえるか、必要とされるかを如何なる時も考えることが大事なのだと学んだ。

そして、西條産業さんの講演では、事業と地元を結びつけた地域密着型の活動が大事だと学んだ。地域への貢献も、地方で会社を存続させるための一つの手法だと学んだ。

273. 今回の講演会では地域に密着する企業の生の声が聴ける貴重な機会で、企業毎に何を中心に取り組んでいるか、社員のモチベーションをどう維持・推進しているのかなど、実践的な話を聞けたので非常に有意義だったと考えます。重要なことはやはり、従業員も含めた仕事の環境づくりにあると思いました。働き方・働き甲斐改革のように社員への福利厚生も充実させ、研修期間を設けるなどで順調なスタートを切れる環境を目指していることが、会社としての運営側の重要概念だと改めて認識することが出来たと思います。また、地域密着型の企業として定着させ地域との結びつきや商圈のコントロールを可能にしていることに関して、私は面白い考え方だなと感じました。
274. 今回講演にお越しくださった西條産業、田中酒造、北海道信用金庫は、3社とも長い歴史のある企業だが、現代に合わせてワークライフバランスや社員のモチベーション作りも変化していることに驚きと喜びを感じた。特に北海道信用金庫は、水曜日・金曜日には定時退社するという規定があったり、まとまった休みを取れたり、上司と部下で1対1の面談をする機会があったりと、福利厚生又は社員へのサポートがとても充実しているように感じた。
275. 今回の講演で特に印象に残ったことは、企業運営側の一つ一つの取り組みが大事になってくるということです。例えば、社員の働き方に変化を出し、給与を上昇させたり、役職をゼロベースにして組織再編を行ったりなど、運営側が自ら社員の生活などに配慮した取り組みをすることで、一人一人のワークライフバランスを安定させることができ、長く仕事を続けられる要因になっていると感じました。また、「地域のために、地元のために」など、企業としてひとつ大きな目標を掲げることで、さらに社員の指揮や仕事に対する意欲の向上に繋がると感じました。
276. 講演を聞く前は小樽にある企業について考えたことがあまりなかったが、講演を聞いて、小樽にはたくさん地域密着型の企業があり、企業と小樽市が協力して街を活性化させようとしていることを知ることができた。お客様を喜ばせる商品を作るためには、社員への待遇が大切だと講演の中でありましたが、まずは社員のやる気を企業側が出し、それによりよい製品が生まれ、たくさんのお客様に喜ばれ、収益が増え、社員の給料が増えると言う好循環を維持することが大切だと感じた。北海道信用金庫では、独自の休暇制度などもあり、近年問題となっている働きすぎや、働き方改革、過労死などを考えるうえで、非常に大切なことだと改めて感じた。
277. 今回の講演を聞いて、地域社会との密接な関係を築きながら、持続可能な発展を目指す姿勢の重要性について学ぶことが出来た。どの企業も地元の地域社会について貢献出来ることを模索しながら様々な取り組みをしていることを知ることが出来たと思う。それに加えて外国人観光客に焦点を当てたり、新たな制度や施策を行ったりしてあらゆる工夫がなされていることを再認識した。

また、働き方という点では特に西條産業のやり方が素晴らしいと感じた。プライベートとの両立ができる働き方や、給与改定、組織再編、自分の強みを活かせる部署への異動など興味深い対策が行われていたように思う。今回の講演に参加して頂いた企業のように働く人にも寄り添った会社や企業がもっと増えると良いなと思う。

278. 小樽市内でもこんなに良い企業があるのだと新たな気づきがあった。西條産業さんの給与改定と3部門制でそれらの中で異動があることは、非常に良いと感じた。また、田中酒造さんの海外に向けた商売を推し進めていくことはグローバル化が進む今日に非常にマッチしていると感じた。最後に、北海道信用金庫さんの地域発展を目指す中小企業・個人に手を差し伸べるかのような考えに好感を得ることができた。今回の講演で就職活動への関心をより高めることができた。
279. 私はまだ大学卒業後のビジョンが見えておらず、ぼんやりと就職はしたいな程度のことしか考えていませんでした。興味のある業種も定まっておらず、そもそも道内外どちらに行くかも決めていなかったもので、そんな折、この講演を聞くことができて大変勉強になりました。1つの会社でも業種が多岐にわたっていたり、歴史ある地元のお酒を海外にも発信できるよう試みていたり、それぞれの企業の特徴やこだわりを知ることができました。また銀行と信用金庫の違いを今まで把握していなかったので、今回の講義で金融系の仕事について少し知識を深められてよかったです。
280. 今回の講演をしてくださった企業は全て地元の活性化に貢献しており、長期間続いているという共通点があった。そして長期間継続させるためには、変化が欠かせないということに気づいた。特に西條さんの「現状維持のままではいつの間にか右肩下がりになってしまう」という言葉が印象に残った。また、従業員へのマネジメント方法も三者三様にあり、経営学原理の授業で習ったことにも当てはまっていたので興味深かった。まだ就活をしていないが、企業選択には幅広いものの見方が必要だと思うので、これからもっとたくさんの企業を知りたいと思った。
281. 2年生で就活まで時間があるということもあり、複数の企業の細かな業務内容・形態、理念等を知る機会は少なかったが、今回の講義を通して、建設・酒造・金融といった系統の異なる企業の話を同時に聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。特に地域貢献の面においてはどの企業も積極的に推し進めており、地域密着を大切にしているということを実感することができた。実際に現場の方々からの話を聞くことで3年生に待ち受けている就活へむけて、イメージを膨らませることができた。
282. 今回の講義を受けて、仕事をするうえでのやりがいの重要性を再認識させられた。北海道信用金庫では、自身の生活してきた地域をサポートする経験を積ませるために実家や現住所に近い地域での勤務に設定されているとのことだった。また西條産業株式会社では、個々の性格や特性を分析して人事異動が積極的に行われており、自身の能力を活かすことのできる環境作りが徹底されていると感じた。さらに田中酒造では、日本酒の伝統を守りつつ発展させていくという社会的意義

を存分に感じることができる。さらにどの会社も地域貢献を積極的に行っており、社会の一員としてのやりがいのある業務となっている。

これらのことから、就職先を今後選んで行くうえで、給与面や福利厚生だけでなく、自分がどのようなことに興味があり、どんなことに貢献していきたいかをしっかりと考えていきたいと感じた。

283. 今まで通勤時間が長くなるため、小樽市内への就職は考えていなかったが、講演を聞いて少し小樽市内の企業にも興味がわいてきた。まず、西條産業さんの講演を聞いて気になったのは部門が3つに分かれていて、一口に建設業と言っても色々な職種があるので個々に適した部門で働くことができそうだと感じたところだ。働き方も世の中に合わせて改革を進めているところだったので、ワークライフバランスを保てそうだと感じた。次に、田中酒造さんは自社の製品に特にこだわりを持っていて大切にしていることが講演の内容から伝わってきた。また、外国人観光客のインバウンドに焦点を当てたビジネスにも取り組んでいて、小樽といった立地で活躍できそうだし、言語能力を活かすことができそうでやりがいを感じた。最後に、北海道信用金庫さんは銀行と信用金庫の違いから詳細に業務内容を説明していたので、講演を聞くまでは信用金庫での働き方がどのようなものかざっくりとしたイメージしかなかったが、講演を聞いて解像度が上がった。

284. 今回の講義を通して、今まであまり関心のなかった小樽市内の企業について詳しく知ることができた。直接企業の方からお話を聞く機会はあまり無いのでとても参考になった。特に印象に残っているのは田中酒造株式会社の講演で、元々小樽の酒蔵ということで名前は知っていたが、講演を聞くことでより深く理解することができた。これから就職活動を始め、キャリアを形成していく上で、地元の企業に就職し、活性化に貢献する選択肢も考えていきたいと思った。

285. 西條産業の西條公敏さんのお話を拝聴し、組織再編を行っても給料が下がるのではなく、むしろ上がっていることに驚いた。三部門制を取り入れることで、同じ会社にながら自分の適性にあった仕事を見つけられる点が非常に優れていると感じた。加えて、多業種であることから、顧客が他会社に流れないことが強みであり、かつ仕事の意味付けを感じやすく、さらにどこかの部署の売上が下がっても別の部署でカバーしやすい点が優れていると感じた。スポーツチームのスポンサーになったり、地域のお祭りに参加したりすることで地域貢献できているため、地元密着型の企業だと感じた。

田中酒造の岡田栄造さんのお話を拝聴し、一人あたりの酒消費量や、日本酒製造量は減少し続けているが、高級酒の需要はわずかではあるが伸びていることから、酒の市場の成長率の可能性はまだあることを学んだ。背景には、国際化に伴う世界市場の拡大・日本酒のインバウンドとの相性の良さ・新しい技術を用いた酒の種類の増加・消費者層の拡大などがあげられる。

海外では、アジアと北米の需要が顕著だが、それ以外の地域にも広まっており、とくに山口県の獺祭が牽引している。海外ではヴィンテージものの価値が高いという価値観を考慮し、熟成させた日本酒の開発などもしている。

これからは、自然・食だけでなく、日本酒の文化へ関心を持ってもらいリピーターになってもら

うために接客におけるコミュニケーションが重要だということを学んだ。

今回の講演を通して、産業構造の問題点やマーケティングにおける問題点、競合会社と比較した強み、差別化の方法などを分析・把握し、常に批判的な視線にさらすことが重要だと感じた。そのために、社会情勢だけでなく地域の変化や社内の変化などに敏感になり、ミクロな視点とマクロな視点を併せて持つことが必要だと考える。

西條産業は働きがい、田中酒造は顧客とのコミュニケーション、北海道信用金庫は地域との密着性など、各会社において大事にしていることが大きく異なる点も興味深かった。

以前は小樽を就職先には考えていなかったが、今回の講演をきっかけに小樽を本拠地とする企業も検討しようと思った。

286. 西條産業

特徴にある3部門の異動制度があることについて、入社後に社員のやりたいことや、社員の能力に合わせて異動できることはかなりのアドバンテージになるのではないかと思います。入社して実際に働くことで自分の強みがわかる部分もあると考えられるので、とても魅力的な制度だと思います。

田中酒造

毎日外国人観光客が小樽に来ているのを見ますが、個人で観光している人が多いように思うので、外国人観光客とのコミュニケーションが重要だという話にとっても共感しました。清酒業界が衰退しているからこそ、どのようにエンターテインメントとして観光に結び付けて発展させていくか、考えさせられました。成人したら、大学生のうちに田中酒造さんのお酒を飲んでみたいと思いました。

北海道信用金庫

銀行が株式会社であるのに対して、信用金庫が協同組織であり、中小企業専門性に長けていることを初めて知りました。また、割愛されてはしまいましたが、担当業務やそれぞれの一日の仕事の流れがスライドで説明されていて、仕事をイメージしやすかったです。

三社とも、地域貢献に対する思いが強いことが印象に残りました。

287. 西條産業株式会社は、業種が一つに絞られておらず、ある部署にとっては顧客となる会社がある部署にとっては競合他社となるような複雑な一面を持つことが特徴だと感じました。その点を営業のやりにくさというデメリットと捉えず、各部門の変動する需要や売り上げに対して、会社自体の利益のバランスをとることができるメリットとして捉えている点が、創業から長く続く秘訣になっているのだと感じました。

また、田中酒造株式会社は、自社で製造から販売までを行っている点を強みと捉え、衰退産業と呼ばれる中でも戦略を打ち出し、今後の成長を見据えた経営を行っており、どんな産業でも打開策を見つけて実行することで情勢に囚われない経営をすることができるのだと感じました。

288. 将来の就職について考える際に、小樽で就職することは視野に入れていなかったが、今回の講演で選択肢が大幅に広がった。古くからの伝統を受け継ぎながら、新しい時代の流れも組み込んで

いる3つの企業に感心した。企業のやりがいについての話は、将来自分がどんな仕事に就くことになっても、役立つ考え方だと思った。商大出身の先輩方が、社会に出て活躍されている姿を見て、自分自身もやりがいのある職業に就いて、社会に貢献したいと考えた。

289. どの企業の説明も、実際に働いている立場、企業を運営している立場からの説明であり、学生の立場からはとても新鮮で興味深い話であった。特に興味を持ったのは、西條産業様の話で、他の企業とは違い、実際に従業員のマネジメントや企業の運営について話されていて印象に残った。社員の役職が逆三角形、管理職が多い昭和然とした体制を再編し、運営体制を時代に沿ったものに整える、しかし給料はベースアップし、きちんと補填は行う。昭和から続く老舗企業であるが故のメリット、デメリットを把握し、活かしている、そういうふうに感じた。取締役の方の話し方もすごく堂々としていて、資料を読むだけでない、我々に語りかける、そんなわかりやすさがあり、話の内容も論理が通っていて理解しやすかった。こういったトップがいるところで働きたいと感じた。
290. 田中酒造様が仰っていたことの中で、観光客として来る人が多い国の流行りを取り入れたり、小樽に日本観光をしに来ていると認識している外国人観光客に対しては、小樽だから小樽のもので商品を作ることに限定せずに日本というブランドで商品を作ったりするというお話があった。そこから、ターゲットの客層を絞ってニーズを分析するとはこういうことなのだと実例で深く理解できた。また、西條産業株式会社様は事業部門が多く多角化されており、そのことが長年続いている理由の一つでもあると仰っていたことから多角化の重要性も理解できた。一つの部門としては敵であっても違う部門では取引先になるというお話も興味深かった。
291. 西條産業さんは広く建設に携わっているために顧客に手厚くフォローができるところが強みになっているのだと思った。また、部門が分かれていて入社場所に関わらず強みを活かせる部門につくことができるということを聞いて、仕事合わないからやめてしまうなどの人材の流出も少なくなり、適材適所でより働けるようになるため、良い仕組みだなと思いました。
- 田中酒造さんでは少子化で売上が少なくなっていく中でターゲットにする顧客を海外まで広げていくことに合わせて、小樽の地域の会社だとしても人材に外国人を採用するなど、絶えず変化を続けていくことが田中酒造さんのように長く企業が続いていくのに必要だと感じました。
- 北海道信用金庫さんは会社の経営や市民に不可欠な金融で支えるというやりがいを感じられ、土日祝が休みであったり、大きな休暇を取れるように働きかけがあったりとワークライフバランスの観点からも働きやすい職場だと思いました。
292. 今の時代、転職が当たり前の時代なのは知ってはいたが、社長になる前に別の仕事をしていたり、私から見たら波乱万丈風な経緯で今の職に就いていたりして興味深かった。また、全員が小樽という地域に愛情を持って話していて好印象を持った。会社なので利益を上げなければいけないのは当然だが、その他に小樽の地域のために、色々なことに挑戦して地域活性に貢献しているのがすごいと思った（樽商のよさこいサークルとのコラボなど！）。私が一番すごいと思ったのは、

昔お酒の会社は沢山あったが全部今はもうなく、当時 1 番小さかった会社だけが生き残ったという事実だ。

293. どの企業も伝統的な技や繋がりなどを引き継ぎつつ、新しい時代に対応していこうという試みを感じた。

西條産業では性別年齢関係なくどの人でも働きやすいような「働き方改革」を用いていて、今の時代に適応していると感じた。個人の時間を大切にしていることに好感を持ったし、今の時代に合わせられるところは適応していこうというところは、これから色々な企業が入り入れていって欲しいなと感じた。一つの産業にこだわらず、そこから広がる産業のつながりで企業を広げている柔軟さに驚いた。

田中酒造では日本の中に止まらず、海外に目を向けて多種多様な日本酒を売り出していることを知った。私のバイト先でも純米大吟醸をよく出すが、客として訪れる外国人観光客の人々の多くは日本酒を頼む人が多く、日本酒の名前に詳しい人も多い。日本酒が世界的に有名になっていることに驚いたが、今回のお話を聞いてもっと世界的に日本酒の魅力が伝わって、日本のアニメ文化のようにイメージとして根付いて欲しいと感じた。

北海道信用金庫は、元々信用銀行というものを知らなかった私にとっては最初ピンと来なかったが、地域に根ざして金融関係を行うと知り、規模としては小さいものかもしれないが非常に合理的だと感じた。大きく管理するということは、やはり細かい場所にまでは意識がいかないというのが問題である。細分化したものなら、地域に関わることに深く関わるができる。企業が地域おこしにも関わっているのは興味深かった。

3 つとも全く違う企業で、それぞれのアプローチで新しい時代に適応しているのが興味深かった。自分の就活に合わせてもっと色々な分野の企業の話も聞いてみたいと思った。

294. まず、西條産業の副社長、西條公敏さんの経歴で大学卒業後すぐに大学院へ進むのではなく、知人からの勧めではあっても 35 歳という年齢にして大学院へ進むのがとてもいいと思った。このことから、人生において何回でもやり直せるということが伝わってきた。

次に、西條産業は初め、資材を売りにして経営していたが年月が経つにつれ建築業にも手を伸ばし、今ではその二枚看板で経営していることについてである。講演の時に西條産業は資材の会社という人もいれば、建築業の会社という人もいるとあったが、それはとてもいいイメージだと思う。もし、片方のイメージが何らかの理由でうまくいなくなってしまった場合、もう片方のイメージで何とか経営を保つことができると思ったからである。

295. 私は道外出身であり、就職も道外を希望しているのだが、どこの会社も地域貢献や地域活性化を考えている素晴らしい会社だと感じ、興味を持てた。田中酒造をはじめとして、各企業がモノ消費からコト消費中心に移行しているように感じた。近年のトレンドとしてもコト消費やトキ消費が重要視されているように感じられるのでこのような取り組みに対して非常に関心を持つことが出来た。西條産業の 3 部門制は非常に面白く、どこかで損を被ったとしても他部門で利益を獲得できるような体制を取っていることに対してこれまでの様々な授業で培った経営学の知識と

結びつけられたことで自分の学んできたことが間違いでないことを実感できた。

296. 少子高齢化が進む小樽でも、若者が中心の企業だったり、若者が地域に残れるような制度を導入していたりと、若者の人材確保に尽力しているのがわかった。私は特に、田中酒造さんのインバウンドをターゲットにする戦略に興味を持った。毎日多くの外国人観光客が小樽を訪れていて、日本の酒を楽しんでもらうことは、小樽を楽しんでもらうためにも、また日本を訪れたことを特別なことにできるようにするためにも、とても意味のある事だと感じた。北海道は米の生産が盛んなので、「北海道産のコメを使った酒」といったようにブランド化できるのではないかなと思った。

今回は3企業の方々にお話していただいたが、実際にお客様に日々接しているためか、とても話がわかりやすく興味を持って聞くことが出来た。

297. 今回の講義では、3社の企業さんのお話を聞くことができ、全体的に勉強になる話ばかりでした。特に、どの企業も、イベントの支援やボランティア、観光業の発展などの地域貢献を強みとしているところに感銘を受けました。通常業務だけでもタスクが沢山あるのに、それをこなしながら今後の展望を考え、地域貢献のために尽力している姿を知ることができました。私は就職したいと思っている会社が東京にしかなくて、地元に残りたい気持ちとの間で迷っていますが、地域に寄り添いながら仕事をする選択肢もあると今日で再認識することができました。貴重な時間を本当にありがとうございました。

質問 8. 【該当者のみ】当日、質問した項目があれば質問概要を書いてください。

- ・海外観光客が購入する日本酒の傾向と、今後「海外向け」の商品を製造する予定はあるか。
- ・田中酒造さんに「インバウンド旅行形態としてエンターテインメントをあげていたが、具体的にどのような事を提供するのか」と質問した。
- ・田中酒造株式会社にお伺いたいことは、日本酒の日本人客が減っている事実を踏まえ、日本人客を引き寄せるための方法は考えられておりますでしょうか？

〈第1回〉企業アンケート 参加企業数 計3社 うち集計数3社

【問1】今回の企業出前説明会に参加した感想をご記入ください。

- ・多くの学生に当金庫について知っていただく良い機会だったと思います。集中して聞いていただき、説明しやすい環境でした。他社の説明については私自身も興味の惹かれる内容となっており、参考となる点もあり、当金庫としても有意義な時間でした。(北海道信用金庫)
- ・地元でありながら、なかなか接点がない学生たちに当社を知る機会をいただき誠に有難うございました。今後、当社での採用、活躍される方が出てくることを期待しております。(田中酒造株式会社)
- ・多くの学生の前でプレゼンできたことは良かったです。slidoというインタラクティブなアンケート機能を使おうとしたが、私のパソコンの不具合で使用できなかったことは残念でした。ただ、質問が何人か出ていて、かつ商売や経営に特化した質問が出ており、よく勉強されていると感心しました。

(西條産業株式会社)

【問 2】 今後同様の出前説明会を実施する場合に、改善した方が良いと思われることをご記入ください。

- ・あらかじめ学生の具体的な知りたいことや学びたいことがわかれば、当金庫の紹介時間で説明することができるので学生の満足度も上がったのではないかと感じます。(北海道信用金庫)
- ・可能であれば、定期的にお話しいただく機会と当社にも訪問していただく機会があれば有り難いです。(田中酒造株式会社)
- ・私のように自分のパソコンを使いたい人はいるのではないかと思いますので、そういった 場合の想定(音・有線 LAN など)もしていただけると助かります。(西條産業株式会社)

【問 3】 今後同様の出前説明会に、また参加したいと思いますか。

- ・参加したい：3 件

【問 4】 本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

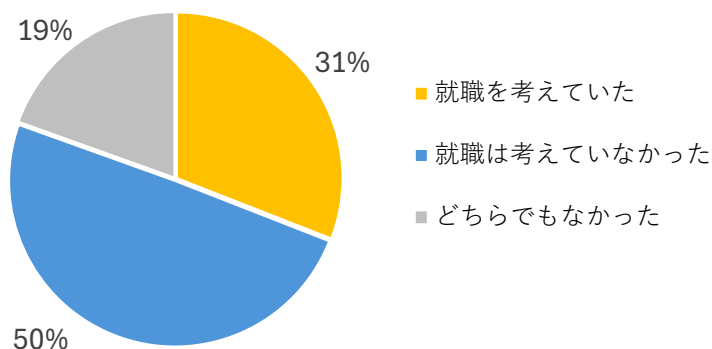
- ・今回ご招待いただきありがとうございました。(北海道信用金庫)
- ・引き続き、何とぞ、よろしくお願いいたします。(田中酒造株式会社)
- ・特にありません。またよろしくお願いいたします。(西條産業株式会社)

〈第 2 回〉2024.07.18 実施 参加者アンケート

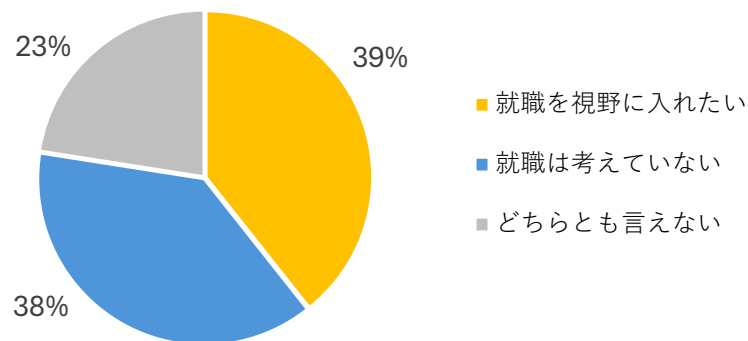
北海道小樽水産高等学校 1 年生 (113 名)・2 年生 (122 名)・3 年生 (137 名) 計 372 名
うち集計数 1 年生 107 名・2 年生 113 名・3 年生 123 名 計 343 名

質問 1. は企業の感想のため最後に記載

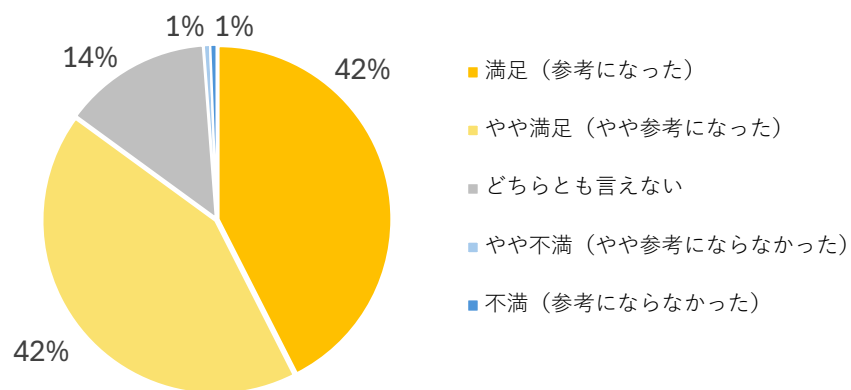
質問2-1. 【説明会前】小樽市内の企業への就職を検討していましたか？



質問2-2. 【説明会后】小樽市内の企業への就職を検討しようと思いましたか？

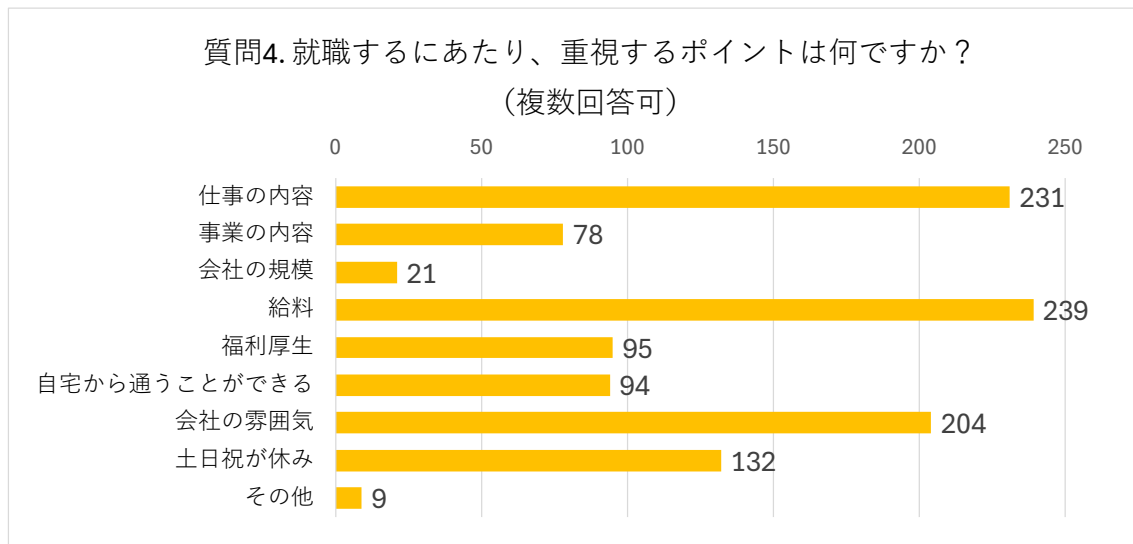


質問3. 本日の説明会はどの程度参考になり、満足しましたか？



質問 3. ※「やや不満」「不満」とお答えした方は理由をご記入ください。（記述回答）

- ・（1年生）文字の色が見えづらく内容がわかりづらかった。
- ・（1年生）質問を考える時間がもっとあれば良かった。
- ・（1年生）もう自分の行きたいところが決まっているから。
- ・（2年生）元々の就職先が決まっているため。
- ・（3年生）船に乗ると決めてたから、内容に興味がなかった。



質問4. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。(記述回答)

<1年生>

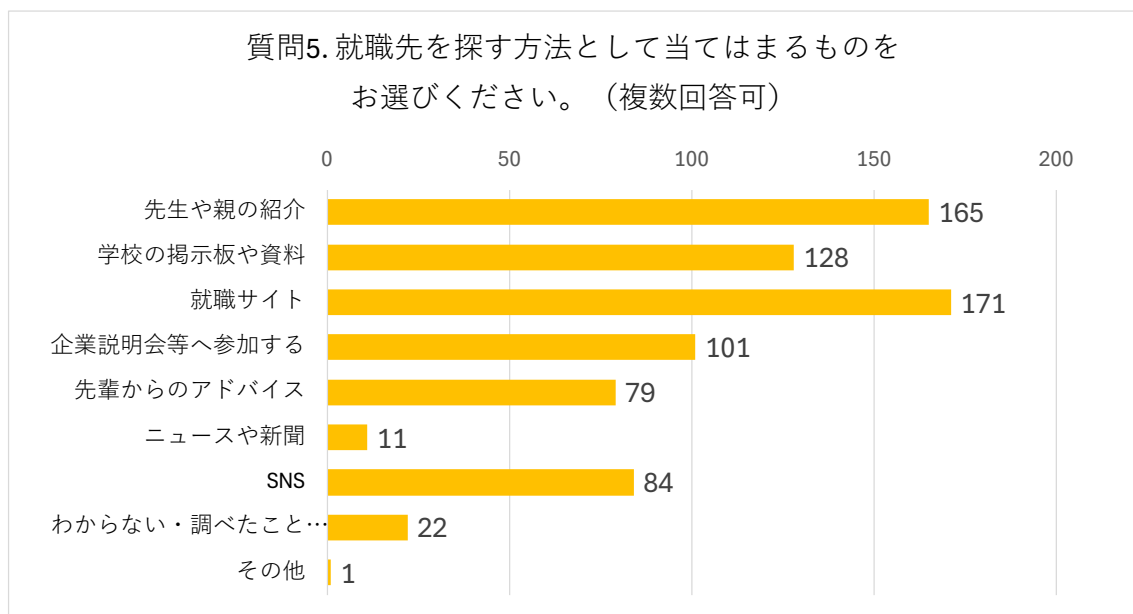
- ・漁師になれるかどうか。
- ・人間関係。
- ・安定しているか。
- ・ホワイト企業かどうか。
- ・精神病に対する社内偏見の有無。

<2年生>

- ・楽しくできるか。
- ・多様性があるって差別がない。
- ・休日の量（自分の時間の量）。

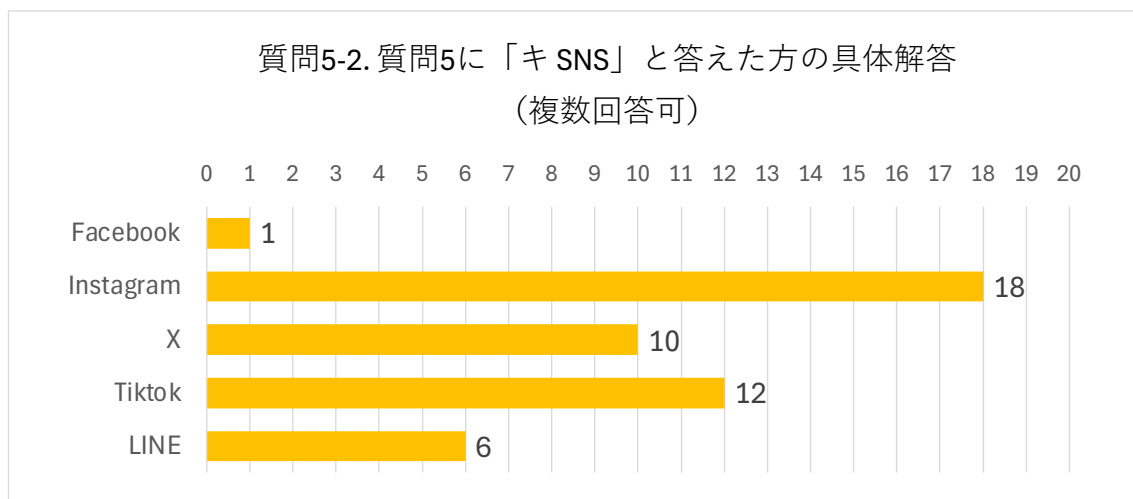
<3年生>

- ・楽しいかどうか。
- ・自分に向いた仕事か。

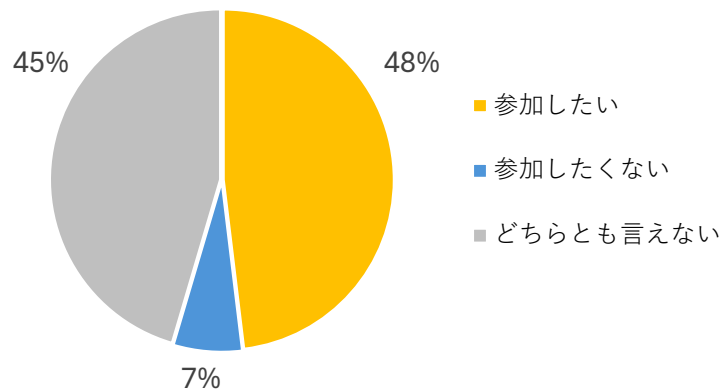


質問5. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

・（3年生）Google。



質問6. このような形式の企業説明会には
今後も参加したいですか？



質問 7. 全体を通して感想をご記入ください。

<1年生>

- ・暑かったけど、貴重な話を聞いた。
- ・仕事はどのようなものであれ、みんながみんな役割を持っていて、しっかりとそれを成すことが必要なのだと思いました。企業によって特色が違うのも面白かったです。
- ・仕事は楽しいことより大変なことの方が多いと感じた。
- ・貴重な話が聞けて良かったと思う。ありがとうございます。
- ・就職を考えていなかったが、話を聞いて、少し参考になった。
- ・自分の将来のためのいい時間になった。
- ・2つの会社の説明を聞いて、1つの会社に絞らず、小樽市内などの会社も考えに入れたと思います。今日はありがとうございます。
- ・就職の参考になった。
- ・両方の会社とても楽しそうに仕事している感じがした。自分もやりがいを見つけられる仕事に就きたい。
- ・小樽にもまだまだ色々な仕事があり社員一人一人が大切に心がけていることがあるのだなと思った。
- ・質問していた人すごかった。
- ・就職頑張りたい。
- ・将来のためになった。いい経験だった。
- ・色々話を聞いて参考になった。
- ・スライドをもっとじっくり見たかった。
- ・まだわからないことだらけでしたが、二社の方々のおかげで少し就職について知ることができて、土台になると思いました。
- ・とてもわかりやすく、将来のためになったと思いました。
- ・色々な企業について知ることができた。
- ・企業の人たちがわざわざ来てくれてありがたかった。

- ・仕事の選択肢は思っていたよりもいっぱいある。
- ・わざわざありがとうございました。
- ・細かく喋ろうとしてくれたので気持ちが伝わってきたなあと思いました。
- ・自分が興味ない会社でも話を聞くと勉強になるところがあった。あまり深く考えてなかったけどこれから少しずつ考えるきっかけになった。
- ・知りたいことを重点的に話してくれてわかりやすかったです。
- ・自分のこれからの人生に参考になった部分があったので活用していきたいと思いました。
- ・小樽市内の企業の中でも小樽カントリー倶楽部が楽しそうだなと思いました。
- ・就職するに関して様々なことを考えないといけないので難しい。
- ・説明がわかりやすくスムーズで聞きやすかった。
- ・それぞれの会社がいいところがあると知った。
- ・就職したいと思いました。
- ・最初は興味ありませんでしたが、しっかり話を聞いて少しは興味を持てたと思いました。
- ・色々な仕事があることがわかった。
- ・今回説明してもらった二つの企業に就職することは絶対ないと思っていますが、ないからこそどんな感じなのか聞けて良かったです。
- ・今回の説明会は面白かったが、次は養殖系（特に魚の）を聞いてみたいと思いました。
- ・わかりやすい説明で、それぞれの企業のことをよく知ることができたので良かったです。
- ・企業によつての良さがわかりました。
- ・ありがたい説明だった。
- ・暑すぎて集中できなかった。
- ・お金に関する話をもっと聞きたかったです。
- ・話をしていただきありがとうございました。
- ・進学を考えていたけど、就職するのもいいなと思った。
- ・知らないことを知れたので良かったです。
- ・今後の勉強になりました。
- ・何かの仕事をするにも勉強が大事なこと、なるべく困らないように資格もいっぱい取っておいた方がいいことがわかった。
- ・これからも色々な企業説明を聞きたい。
- ・どちらともわかりやすく説明していただきとてもわかりやすかった。
- ・今後の進路に活かしていこうと思いました。
- ・あまり今まで就職について考えてなかったけど、少し考えてみようと思った。
- ・自分のためになったと感じた。
- ・今回の説明会で、就職の色々なことがわかりました。
- ・就職について考えや思いが増えていい説明会だった。
- ・どちらの仕事も楽しそうだった。
- ・まだ就職かどうかはまだ決めてないけど参考になった。
- ・いずれは仕事をする事になると思うので、今回の説明会で知れて良かったと思います。

- ・就職先は色々な所があることを学んだため、頭に残しておきたいと思いました。
- ・2年後の自分に活かせるような良い機会でした。
- ・参考になったし、どのような雰囲気かはわかったけど、まだあまり就職のイメージが湧かないなと思った。
- ・就職先を早めに考えておくのが本当に大切な事だと思った。
- ・意外と雰囲気が明るく、皆さん仕事を楽しそうな印象があった。少し安心した。
- ・将来のことを考えて今から調べておくの良いことがわかりました。
- ・このような機会でないと聞けない話などが聞けてとても良かったです。これを機に色々な説明会に行こうと思いました。
- ・資格を取って自分のやりたいことができればいいなと思った。
- ・話は面白かったけど、企業に興味がなかった。
- ・説明を聞いてこんな企業もあるということを知ることができ、説明がとてもわかりやすかった。
- ・会社の雰囲気や、やりがいがあってとても楽しそう。
- ・企業説明がものすごくわかりやすく、こういうものかもわかりました。
- ・もう少し時間が欲しいです。
- ・将来の参考になった。
- ・仕事内容や会社の雰囲気的なものも紹介していて良かったと思う。また、今後のアドバイスも教えてくれて大変参考になった。
- ・全体を通して、水産の卒業生や北日本消毒のみなさんの話を聞いて、これからの自分にとってもためになる言葉を聞いて、自分に自信がつけました。
- ・普段あまりゴルフや日本消毒への就職を考えることがなかったから、今回貴重な機会になったから良かった。
- ・企業説明会などに参加することがあまりないので良い経験になった。
- ・水産卒業生がいてびっくりしたし、話がとても入りやすかった。
- ・今回の説明会のおかげで就職について前向きに考えようと思いました。
- ・進学をするとは言え、参考にはなったと思います。
- ・今まで、水産高校から想像して海や電気に関する仕事を考えていたのですが、ゴルフや消毒など選択肢はまだまだたくさんあるのだなと、視野が広がりました。
- ・自分はやりたいことがあったから何とも思わなかったが参考になった。
- ・今回の企業説明会を行って聞いた感想は、両方の会社の説明が具体的でわかりやすかったです。
- ・暑い中、水産高校に来てくれてありがとうございました。説明がわかりやすくて頭に残ったのもありました。
- ・私は現在就きたい職業や進学するか就職するかなども決まっていないので、これから真剣に考えていきたい。
- ・色々知れて良かった。
- ・自分は、趣味にもお金を使いたいから就職したいと思っているが、未来の自分が定まっていない。
- ・どちらとも満足度が高い説明会だった。
- ・今後の参考になればいいなと思います。

- ・まだ早いと思っていたけど、今のうちに少しずつ自分の進路を見つめ直してちゃんと考えないといけないな、と思いました。
- ・2社の話を聞けて将来の参考になりました。
- ・このような自分の将来に参考になる機会がありとても助かりました。正直まだ自分のやりたいことが決まっていないので、このような機会があればしっかりと話を聞いて、自分の将来の参考にしていきたいと思いました。
- ・もうすぐ社会に出るという実感が湧いてきているので、調べたりしないといけないな、と思いました。
- ・色々話を聞けて良かった。
- ・仕事内容などどちらもわかりやすかったです。
- ・色々な仕事について知り、就職する時に活かそうと思った。
- ・どちらの会社も接客があり、お客さんに感謝され、やりがいのある仕事だと思ったので就職を視野に入れたと感じた。
- ・卒業した先輩方の話を聞いて自分も頑張ろうと思った。
- ・色々な就職先があるのだなと感じた。
- ・自分の将来についてのことだから、真剣に考えて就職先を決めていこうと思う。
- ・どちらの企業も職場の雰囲気が良さそうだった。
- ・一つ一つの企業によってそれぞれ全く異なる面白さや興味深いものがあり、とても良い経験にすることができた。
- ・自分の将来の就職のことを今から考えた方がいいと思った説明会だった。
- ・株式会社北日本消毒さんのカレンダーの写真が面白くて、雰囲気良さそうだった。
- ・あまり有名ではない仕事について知れて良かったです。
- ・良い経験だった。
- ・自分の進路を考えていない中で仕事の特徴などを知れて良かったです。今後の自分のために活かします。
- ・今回の説明会で日常や趣味を支える意外性のある業務に触れ合えて、いい経験になりました。

<2年生>

- ・進路を決める実感がどんどんでてきた。
- ・すごく自分のためになりました。
- ・自分の将来をそろそろ真剣に考えた方が良いと思いました。
- ・業務の目的などを明確に教えていただけた。今回を通して働くということへの気持ちが変わったため就職に興味が出た。
- ・とても良い時間だったと思います。やっておきたいことや大切なことを先輩から学ぶことができたと思います。ですが製造業のことももっと知りたいです。
- ・わかりやすい説明で少し興味が湧きました。
- ・まだはっきりとした訳ではないが、就職というのも良いと思いました。
- ・実際に働いている人の話を聞いたのは本当に良かったなと思いました。

- ・就職について色々なことが知れて良かったです。
- ・就職先をもう少し考えておこうと思いました。
- ・就活をこれからする上でしっかり考えて選ぼうと思った。
- ・話を聞いて就職のよさを知ったから考えていきたい。
- ・進学を考えていた中で、普段このような機会があまりないので就職をした後の事も考えることができる良い機会だったと思いました。
- ・とても良い機会になりました。
- ・自分の今後で何個か参考になりそうなのがありました。
- ・専門学校にいく予定だけど、楽しく学ぶことができた。
- ・正直、ゴルフ場とか駆除とか興味なかったけど、週休2日って聞いていいなと思った。
- ・企業説明会に積極的に参加したいと思いました。
- ・話を聞いて色々なことが知ることができた。
- ・全体を通してどんな仕事内容なのかなどわかったので良かったと思いました。
- ・自分で調べることがない職業だったので良い経験だった。
- ・自分が気になっている業種以外のことも知れて良かった。
- ・非常に参考になった。話がいいところと悪いところを話していて良かった。
- ・まじめに就職を考えるようにしようと思った。
- ・進路についてもっと真剣に考えようと思った。
- ・すごく参考になった。
- ・とても参考になったし、どちらとも良い人で聞きやすかった。
- ・今までわからないことがたくさんあったけど、2つの企業の話が聞けて、何を重要視したらいいかを知ることができて良かった。
- ・普段聞けないようなことが聞けて良かった。
- ・私たちの今後のためになるお話ありがとうございました！
- ・私は進学希望ですが、今後も企業説明会に参加したいと思った。
- ・今まで視野に入れてこなかった職種の説明を聞けて、今後の視野が広がったから、聞けて良かった。
- ・あまり知らなかったことが知ることができ、またこういう感じの仕事もあるのだと知ることができたので、お話を聞けて良かったなと思いました。
- ・とても参考になって良かった。
- ・知らないことを知ることができ、聞くことができて面白かったです。
- ・色々な会社の詳細を聞けて、自分の進路の参考になりました。
- ・来年には自分も就職する立場になるので、積極的にこういった話を聞いて、自分に合う仕事を選びたいと思った。
- ・今後にすごく繋がる説明だと思った。
- ・意外と話を聞いてみると面白いなと思う部分が多い。
- ・やっぱり自分は楽しく仕事ができるところで働きたいなと思った。
- ・普段の自分なら触れることのない職柄で詳しい仕事内容などを聞いて、興味を持ちました。
- ・今日の説明会を聞いて、もっと色々な所の説明会などを受けたらすごくこの先の就職先や視野が広

がと思ったので、もっと色々な所の説明会を受けたいなと思いました。

- ・ いろいろなことが楽しみなのかとか、やりたいことがやれるのはいいと参考になった。働くにあたってどんな条件でやりたいとか、やってみたい、笑顔にしたいということが一番参考になった。
- ・ 様々なお仕事の内容を聞いて、色々なお仕事を探していきたいです。
- ・ どんな仕事もやればやるほど楽しみが見つかりそうだなと思った。
- ・ 自分が就職すると考えがたいが、そろそろ考えないとダメだなと思った。
- ・ 将来の夢などの参考になりました。
- ・ 基本的には進学を考えていて、就職も視野でしたが就職をするのも良いと思いました。
- ・ 小樽市内でも、色々な仕事があるのがわかった。自分達の身近に関わる仕事に就くのもいいのではないかなと思った。
- ・ 私は夢を叶えるために進学しますが、この説明会を通して自分になるもの以外にも興味を持ったりして、自分が見ている世界をもっと広げることも大事だと改めて理解しました。
- ・ 御社の企業説明会は大変参考になりました。
- ・ 小樽市内での就職も考えていこうと思った。人を笑顔にさせる職業に就きたいと思った。
- ・ 知らないことを知れて良かったなあとと思った。
- ・ とてもわかりやすい説明で、就職に対する興味が湧きました。
- ・ どちらも自分の中では考えたことのない職種だったけど参考になった。
- ・ 色々勉強になった。
- ・ ゴルフや害虫駆除の説明会などは自分から行ったり聞いたりしないので楽しかったし、初めて知ったことが多かったです。
- ・ お忙しい中来ていただき、とても良い話を聞けて嬉しかったです。進路を考えるようになりました。
- ・ もともと就職を考えていて、変わらず自分に合っていて、会社の雰囲気がいいところがいい。
- ・ 自分は進学を考えているため話を聞いて色々な職種があると思った。色々な仕事の話聞いて良かった。他の仕事も聞いてみたい。
- ・ 自分にとっても、とても勉強になる内容で、選択できるものがより多くなった。もっと積極的に意見を交換したいです。
- ・ 進路を考えるきっかけになったので良かったです。
- ・ 自衛隊の人の話を聞きたかった。
- ・ なかなか知れない会社の内容を聞くことができて良かった。
- ・ 今後自分の進路について考える中で、自分の就きたい職業を考えるための参考になって良かった。
- ・ ぼくは就職したいと思っています。
- ・ 就職を考えていないが良い機会になったと思った。
- ・ どちらの企業もそれぞれ違う目標がありすごく雰囲気のいい会社だと思いました。
- ・ 知らなかったことを知れる良い機会でした。
- ・ 良かったと思う。
- ・ 気になる企業の説明会に自分から行ってみようと思った。
- ・ 自分自身にとって良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・ 色々な話を聞いて、早く就職を探した方がいいなと実感した。

- ・自分にあまり関わりのない職業だったが話を聞いて、陸で働くことも頭に入れておこうと思った。
- ・市内だから、入ってみたいのが多かった。
- ・今回の話を聞いて、自分が興味を持つ仕事を、また一つ見つけられたことがとても良かったと思いました。
- ・水産から色々な就職があると知った。
- ・全然知らない仕事の話をして良かった。
- ・今回の体験は、自分の就職活動に対しての参考になりました。また、就職活動での気をつけることなどがよくわかりました。
- ・会社について詳しく話をしてくださり、また私たちが学生のうちにすべきことを教えてくださって、ありがたいと思いました。
- ・説明を聞いて自分がもともと目指していた仕事以外にも興味が出たのもっと調べたくなりました。
- ・説明が聞き取りやすかった。
- ・ゴルフの仕事の内容を初めて聞いたので面白かった。
- ・2つの会社のいい所が聞けて良かったです。
- ・企業について少し興味を持てたから良かったです。
- ・仕事において快適にできるようなサービスや、仕事内容、給料などを考え、今後の進路を考えようと思いました。
- ・自分の考えたことのない企業などを知る時間があることで、未来の自分について考えることができるととても良い機会だと思いました。
- ・最低でもB推薦はもらえるように、もう一度学校生活を改めようと思いました。
- ・他の仕事や学校の説明を聞いて、もっと考えを広くしていきたいと思いました。
- ・色々な仕事があってとても面白そうだなと思いました。
- ・知らない仕事を知ることができて良かった。
- ・知らなかった事をたくさん知れて良かった
- ・就職はまだ考えていなかったけれど、大まかな内容を知れたので、参考にしていきたいです。
- ・色々な仕事の種類があるなと思いました。
- ・色々な話を聞いて良かったと思う。早く決めなきゃなと思った。
- ・全然思ってもいないような仕事でこんな仕事もあるのかと思いました。
- ・就職に少し興味が湧いた。
- ・普段は行く機会などが無いのでいい体験になったと思った。
- ・身近な年齢の人の話があったことで現実的に考えることができた。進路が身近なことに気づけた。今後を考える良い機会になった。
- ・今回の説明会を受けて、就職に対する考え方を考えることができた。
- ・今後に活かしたいです。
- ・まだ将来のことは考えてないけど、こんな仕事もあるのだなと思いました。こういうことも視野に入れて考えていこうと思った。
- ・こういう時間も参考になることが多いので、講話に積極的に参加したい。
- ・今後の進路のために今日の話の少しでも参考にしたいと思いました。

- ・もっとたくさんの会社の説明会に出たいと思った。
- ・一年半後に自分が社会人として働くのが不安でもあるけど、就職の道も視野にいれて、進路の幅を増やしたい。
- ・もう少し沢山の企業を見たい。
- ・就職について、色々話を聞いてイメージすることができたので良かったです。
- ・自分も頑張ろうと思った。
- ・これからも色々な企業の説明を受けたい。
- ・ためになる話を聞けて良かった。
- ・どちらも内容の濃い話でとても楽しかったし、やりがいなど聞けて良かった。

<3年生>

- ・すごく身になった。
- ・とてもわかりやすい説明だったと思います。
- ・とても良い経験をしました。
- ・全体的にためになる話で良かった。
- ・色々な仕事の内容を知れて良かった。
- ・このような時間はとても大切。
- ・自分のためになったなと思いました。
- ・自分自身が参考になるお話もあって、とても有意義な時間だった。
- ・就職するために役立つ話もあったから参考にしたい。
- ・良かった。
- ・色々な人がやりがいをもって、どういった姿になりたいか知れて良かった。
- ・もう決めていかないといけないと思った。
- ・とても有意義な時間でした。
- ・自分の働きたい就職先に行きたいなって思いました。
- ・自分の行きたい所に就職できるよう頑張ります。
- ・視野に入れていなかった仕事の説明を聞いて少し選択肢が増えた。
- ・就職するにあたって普段の生活が大事になってきたり、先生への挨拶の仕方を変えたりしないと、そのことが身についてそのままになってしまうので、周りを見直す。
- ・すごくためになった。色々と考えていく。
- ・就職についてしっかり考えたい。
- ・船に関しての企業説明会には参加したい。
- ・話を聞けて良かった。
- ・今回の企業説明会話を聞き、これからの就職活動に役立たせたいと思います。
- ・自分は就職もいいと思うけど自分は短大に行って知識をもっと学びたい。
- ・就職について考えられたとてもいい機会でした。
- ・今後の自分のための話が聞けて良かった。
- ・就職のことについてわかった。

- ・私は就職先を決めているけど、こういう説明会はありがたいと思った。
- ・実際に働いている人の声が聞けて良かった。
- ・とても参考になる内容でした。
- ・やりがいを感じられた。
- ・企業説明以外にも話を聞く時の姿勢なども見られているのだと知りました。
- ・参考になりました。ありがとうございました。
- ・色々な話が聞けて良かった。
- ・実際に話を聞いて入社した後は積極的に行動することが必要だと感じられた。
- ・とても参考になりました。
- ・大変そう。
- ・大変だなと思いました。
- ・とてもすばらしいスピーチでした。
- ・知らない事を知れた。
- ・途中くらくらしてしまい集中できなかった時があった。わかりやすくとても助かりました。
- ・とても参考になりました。
- ・役に立つ事を知れた。
- ・色々な企業の説明を聞いて良かった。
- ・とても良い参考になりました。
- ・面白かった。
- ・コミュニケーションが大事だと思った。礼儀を今からしっかりしないとダメだとわかった。
- ・視野に入れてなかった部分もあったので、企業のことを聞けていい機会だと思いました。
- ・就職するにあたって、見るべきポイントや先輩方のアドバイスによって、就職活動が進みそうだなと思った。
- ・就職に向けて不安なことは色々あるが、この説明会を元に、マナーなどを見直したい。
- ・確実に市内というわけではないので一応の参考になりました。色々な企業の中 2 社の説明を聞いて参考になりました。
- ・就職をするにあたって必要なことや大変なことがわかり、もっと焦って行動した方がいいと思った。
- ・働く上での大変さなどを知り、普段からの生活を見直して行動したいと思った。
- ・頑張る気が出ました。
- ・就職する人たちにはすごくためになる講話だったと思います。
- ・自分の視野に入っていなかった職種の話を聞けて良かった。
- ・暑かった。
- ・暑さで頭がぼーとしてあまり話を聞けなかった。
- ・今日 1 日各社のプレゼンを見て、こんな企業があったのかと、他の企業を知ることができ、どんな思いで、気持ちで入社したのかを理解し、感じる事ができた。
- ・水産高校の卒業生の方々の話やアドバイスが参考になったし、一度就職してもその後何かあってどこか別の場所に行く可能性を知れた。
- ・自分から行動するのが大切だと思った。

- ・とても参考になった。
- ・内容が薄い。
- ・わかりやすかった。
- ・自分が思っているよりも社会は厳しく、そして理想とは違うってことがわかりました。でも諦めなければ、もっといい所に出会えるとも思いました。
- ・暑い中来てもらいありがとうございました。
- ・今後の自分の就職活動に役立てたい。
- ・卒業生の方々の説明はとてもわかりやすかったが、暑さであまり反応できなかった。
- ・仕事内容について知ることができたのは参考になった。
- ・諸先輩のアドバイス及び面接官の方のお話がとても参考になりました。
- ・先輩の話を聞けてとてもためになった。
- ・ある程度満足はしたが、個人的には社会で生きていく上でのスキル、大事なことをもっと知りたかった。
- ・自分の知らない会社があるのだと思った。
- ・自分の将来したいこととはジャンルが違ったけど、良いお話を聞いた。
- ・参考になった。
- ・就職について考えることはとても大切。
- ・実際に調べてみないとわからないところもあるから、話を聞くだけでも、役に立つと思った。
- ・詳しく知れたので良かったです。
- ・色々な話を聞けてとても参考になった。
- ・普段から目上の方に対しての接し方を改めようと思った。
- ・今回の機会を活かして就職活動の時に上手く活かしていきたい。
- ・自分は進学だけど、貴重な説明会に参加できて良かったと思う。将来、就職を考えないといけない時がくるので、参考にしたい。
- ・自分は進学希望だけど全く関係ない話なんてことはなく、自分から行動することが大切だと思った。
- ・自分のしたい仕事ではなかったですが実際に働いている人の声が聞けてとても参考になった。
- ・事業内容について知れたので良かったと思った。
- ・卒業生の方の体験談を聞いて特に大事なことを理解することができました。
- ・暑くて内容が全然入ってこなかった。
- ・体育館が暑かったです。
- ・同じ学校を卒業した人の話を聞けて良かった。
- ・就職を視野に入れている人は不安があると思うため、このような場を作ることは良いと思ったが、進学しか考えていない人には少しいらないと感じた。
- ・自分はまだ就職ではないので先の未来を考える上ですごく勉強になった。
- ・ありがとうございました。
- ・知らない就職先が知れて良かった。
- ・卒業生の話を聞いて参考になったし、ためになった。
- ・貴重な話を聞けて良かった。

- ・元水産生のアドバイスや入社する経緯など貴重な話が聞けて良かった。
- ・勉強になりました。
- ・行きたい所に必ず行けるわけじゃないということを深く理解した。
- ・自分が就職した時にどのような行動をすれば良いかが知れた。就職する前の準備も知れた。
- ・暑かったけれど就職に対しての熱意が増えました。
- ・暑くて集中力も途切れたけど、色々な説明会に参加してみたい。
- ・とても参考にある説明を聞いて活かしていこうと思った。
- ・暑すぎて集中できなかったのも、もっと涼しい所で集中して話を聞きたかった。
- ・全体を通して有意義な時間を過ごすことができました。
- ・参考になることが多かった。
- ・卒業生のアドバイスが参考になった。

質問 1. 今回の参加企業の説明を聞いて、どのように感じましたか？

株式会社小樽ゴルフ場（小樽カントリー倶楽部）

<1 年生>

- ・会員になるために必要なお金が高くてびっくりした。
- ・客や会員に対するサービスの良さが感じ取れました。仕事のことを学び、活かすというのは、とても難しそうに思います。
- ・ゴルフ場の管理や接客が大変そうだった。
- ・喋りが上手くて聞きやすかったが、とても大変そうな仕事内容で、ワクワクはしなかった。
- ・お客さんに対しての接客態度が良いのが良かった。
- ・楽しそうだった。
- ・会員制や利用環境の良さがすごいと思いました。また説明を聞いて内容がわかりやすかったです。
- ・ゴルフの仕事はどのような仕事かわかった。
- ・お客様のことを一番に考えている会社。コースの手入れがしっかりしている。
- ・笑顔心をかけて接客していることが大切なのだった。
- ・会員になるのに 500 万円もかかるのだなと思った。
- ・クイズの時に答えが「何かわからない」は不快になった。
- ・楽しそうだなと感じた。
- ・小樽にある会社。会員にならないと入れない。
- ・接客業はカスハラに対してマイナスなイメージがあるが、会員制なら大丈夫だろうと思った。
- ・社員の皆さんが楽しく仕事につけていそうだと感じました。
- ・たくさん人のことを考えて仕事をしているのだなと思った。
- ・いいと思った。色々なことについて知れた。
- ・会員になるためにかかる金がとても高い。
- ・会員料高すぎ、すごい。
- ・ゴルフ体験させてくれたりして良いと思った。
- ・色々な所から来ている人がいるのがすごいなと思った。

- ・ゴルフサポートの仕事は意外と大変そうと思った。
- ・新卒で入社し、すぐに働けて会社の即戦力となって、ゴルフ場の管理をしてお客様を笑顔にできるのが良いと思いました。
- ・僕の姉も千歳のゴルフ場で働いているのである程度の知識はあったのですが、それでも、まだ知らない業務内容があったのでまた知識を増やせて良かったです。
- ・ゴルフ場にきた客に最初から最後まできちんと接客していて良い会社だと思いました。
- ・ゴルフもやったことない人でも入れるという所に惹かれました。
- ・お客さまへの敬意が大切だと知った。笑顔で接客できる人になりたいと思った。
- ・人とのコミュニケーションが欠かせない会社だと、ゴルフ体験の生徒にける言葉を聞いて感じた。休日が楽しそう。
- ・面白そうだと思いました。
- ・ゴルフには、難しいイメージがありますが、練習していくうちに簡単になると感じました。
- ・ゴルフはやったことないけど、今日話を聞いて楽しそうだなと思いました。
- ・ゴルフみたいものを体験している人がいて、楽しそうやってみたいくなった。
- ・ゴルフをやったことがなくても、学んだりすることができるのが良いなと思った。
- ・ゴルフの魅力や仕事を、どれほど丁寧に気を配りながら行っているかがわかった。
- ・ゴルフ意外と難しそう。
- ・ゴルフ場ではいくつかの仕事に分かれていることがわかりました。
- ・接客業だから、たくさんの人と関わったりしているからコミュニケーション能力が必要だから、紹介する時も、聞き取りやすいと思った。ゴルフの技術もないとだめだし、意外と大変だとわかった。
- ・人と関われる仕事に就職したいからいいなと思った。スピーチが慣れている感じがした。
- ・自然と触れ合える職業で興味が湧いた。
- ・行ってみたいと思いました。
- ・ゴルフのことを全然知らないまま入社しても努力次第で仕事をこなしていけることがわかった。
- ・ゴルフについて詳しくなくても楽しそうにできるのだなと思った。
- ・ゴルフはやったことないけど、働いてみたら楽しそう。
- ・ゴルフに興味があっても、やれば楽しくなるところがすごいなと思ったし、どんな仕事に就こうか、勉強が大事だということがわかった。
- ・ゴルフに興味はなかったけど、少し興味を持った。
- ・会員制で1400人ほど、信頼や人気度が高いと思った。
- ・客のためにしっかり考えながら行動しているのだなと思った。
- ・ゴルフについて何も知らないけど、楽しそうだなと思った。
- ・お客さんの対応をしっかりとしなないといけないと思った。
- ・ゴルフに興味がない人でも入りやすそうでとても楽しめそうな会社だと感じました。
- ・ゴルフについてはあまり知らなかったけど興味を持つことができた。
- ・毎日ゴルフができて楽しそうだった。
- ・ゴルフを経験したことがなくても入社できるし、ゴルフができない人でも楽しくできる会社だと思った。

- ・パターの経験ありがとうございます！一回も入りませんでしたが、楽しかったです。
- ・パターは種類によって全然違うということを初めて知った。
- ・お客様とのコミュニケーションが大切な仕事だと思った。
- ・思ったよりフリーでのびのびしていそうと思った。
- ・ゴルフを知らない人でも入社してゴルフを教えてくれるのはすごいと思った。
- ・ゴルフの仕事で力仕事があって、少し大変そうだなと思いました。だけど無料でゴルフができるのは良いなと感じました。
- ・仕事が終わった後や休みの日に無料でできるのが良いと思いました。
- ・思っていた仕事よりもちょっと大変そうで、やりがいがありそうだなと思いました。
- ・未経験でも仕事はできると感じられた。
- ・具体的なことがよくわからなかった。
- ・ゴルフについてあまり知らなかったのですがわかりやすい説明で少しゴルフに興味が湧いた。
- ・とても楽しそう。
- ・ゴルフ場では笑顔で対応する。会員限定だが働いていたらできる。
- ・楽しく働くことができそうだった。
- ・ゴルフ場の芝は、毎日刈っていることを知り、大変だと思った。
- ・ここには水産の卒業生が2人もいて、どちらもゴルフのことはよく知らないと言っていましたが、とても楽しそうにやっていたこと。
- ・情報通信科を卒業してからゴルフ場に就職することができることに驚いた。取った資格をゴルフでも活かすことができてすごいと思った。
- ・ゴルフについてまったくわからないけど、面白そうだなと思いました。
- ・ゴルフ場の使用ルールなど知らないところまで詳しく説明してくれた。
- ・社員の人も楽しくゴルフができていて、楽しそうだなと思いました。
- ・どこにあるのか、まったくわからなかった。あと、野外で仕事する仕事も多いから夏場はきついだろうなと思った。
- ・ゴルフというものについての知識が全くなかったので、バックを運んだり、プレーを手伝ったりする仕事がある事にびっくりしました。
- ・面白い話が聞けて楽しかった。
- ・ゴルフというスポーツはやる時間が決まっていて、その時間までに球を打って入れるというスポーツ。
- ・ゴルフはこんなことをするっていうことを学びました（例えば、ゴルフは打った回数の対決）。
- ・接客の大切さを改めて感じる事ができた。
- ・ゴルフ場がどういう所なのかよくわからなかったけど、しっかり仕事があって普通の会社であることが意外でした。
- ・冬は何をしているのかと思った。
- ・結構人と会いそうで、自分は緊張してキョドリそう。
- ・広くて仕事するのが気持ちいいだろうなと思った。
- ・ゴルフをやったことがなくても楽しめそうだなと思った。

- ・ゴルフの仕事は結構細かくて、色々なお客さんと関わるから、丁寧に過ごさなきゃいけないのが難しそうだった。
- ・ゴルフについて詳しく知ることができる仕事だと感じました。お客様の案内や確認をしっかりとするという仕事だと感じました。
- ・企業の説明や、仕事内容もとても興味深い話でしたが、それ以上に説明してくださった方はまだ1年目、2年目にも関わらずベテランの方のような話し方、振る舞いだったので、私も将来このようになりたいと尊敬できる方々でした。
- ・ゴルフに興味はなかったけど、体験しているのを見たり話を聞いたりして面白かった。
- ・ゴルフあまり興味ないけど楽しそうだなと思った。
- ・夏と冬で仕事が変わるのが楽しそうだなと思った。
- ・ゴルフ場での仕事について理解することができた。ゴルフの楽しさがわかったし、ゴルフをやってみたいと思った。
- ・お客さんに楽しんでもらえるようにサポートするなど接客が多く、楽しそうだと感じた。
- ・仕事は普通嫌なことだと思っていたけど、今日話を聞いたら楽しそうに思えていいと思った。
- ・面白い制度だと思った。
- ・軽く簡単なクイズ形式で発表していたり、実際に体験もしたりと面白みがあった。
- ・休日が安定している。
- ・夏はゴルフの仕事、冬は色々な仕事が体験できると聞いてとても興味深いものだった。
- ・自分達もつかえてお客さんと丁寧に接して楽しそうだなと思った。
- ・ゴルフの経験がなくても楽しめそうだなと思った。
- ・ゴルフ場は夏だけなので冬の仕事はどうするのだろうと思ったけど、他の仕事をしてまた夏になったらゴルフ場で働くと思った。
- ・ゴルフの事について話をしていた時は、すごく楽しそうだなと思った。接客はやっぱり笑顔が大切なのを知れたので良かった。
- ・接客業の大切さを感じました。
- ・ゴルフをサポートする仕事に誇りを持っているのだなと思いました。

<2年生>

- ・色々な種類の仕事があってすごいなと思いました。
- ・すごく歴史の深いゴルフ場なのだなと思いました。
- ・ゴルフをやりに来たお客さんと一緒に楽しく過ごせそうと感じました。
- ・何に関しても、お客様第一で考えていて素敵だなと思った。
- ・連絡を取るのが難しそうと思った。ゴルフは何もわからないから少し学びたいと思った。
- ・やることがゴルフの中でも多く選択肢がありいいなと思った。
- ・お客様が楽しくゴルフをできるように、スタッフの人たちが様々な役割でサポートをしているのだなと思った。
- ・小樽にゴルフ場があることなど知らなかったことを知れた良い時間だったなと思った。ゴルフ関係ではないがサービス業は視野に入りたいなと思った。

- ・楽しく仕事ができそうだった。
- ・とても広い環境で仕事をするのは大変だと思いますが、楽しそうとも感じました。
- ・会員になる人はとてもお金持ちなのだった。
- ・説明がわかりやすかった。
- ・全国に多くのゴルフ場の中でも、有名度高く、実際のコース内はどれだけキレイなのか興味が湧きました。
- ・水産に関係のない仕事に就く人もいるのだなと思った。
- ・休日に社員の人でもゴルフができるので楽しそうです。
- ・楽しくお客さんから喜ばれるところだと思った。
- ・外でお客さんの荷物を運んだり、打つやつを渡したりするのは、暑い日とか大変だった。
- ・男性の方の進行が聞きやすかった。
- ・実際にインターシップに行く場所だから、しっかり話を聞けたし、行ってみて色々な体験をしたいと思いました。
- ・ゴルフ場の仕事の内容がわかりました。
- ・ゴルフについての知識がなくても入れることに驚いた。
- ・パターなどの種類について知れた。
- ・はっきりと話していて聞きやすかったし、生徒に話しかけてくれるので飽きづらかった。
- ・誰でも行けると思っていたから会員制なことにビックリした。
- ・ゴルフの事をあまり知らなかったので知れて良かった。
- ・すごいゴルフ場が近くにあるのを初めて知った。
- ・画像でもわかるくらい綺麗でお客さんのことをとても考えている職場。
- ・ゴルフ場の仕事は、ゴルフのバックを運ぶことだけでなく、ホテルのような仕事もするのだと意外だった。
- ・会員数 1400 名というのが驚いた。結構昔から続いているのだなと思った。
- ・接客業を主として行っているの、人との関わりが多く持てそうだなと感じた。
- ・会員制であることに驚いた。
- ・満足度が高かったり、コースが多かったりするところがいいと思いました。もっと一般開放とかすればいいのと思いました。
- ・土地が広そうで仕事をするのが大変そうだなと思いました。常連さんが多そうで接客をする時、他の会社よりはしやすいのかなとも思いました。
- ・説明がとてもわかりやすく、ゴルフに少し興味が湧いた。
- ・ゴルフって意外と難しそうだし、仕事内容など初めて知ることが多かった。
- ・ゴルフの事全然わからなくても楽しそうに仕事できているなと感じた。
- ・あまりゴルフについて詳しく知らなかったけど、色々なことを知れたし、働く時に大事なことも知れて良かった。
- ・お金がかかるスポーツなのだなと思った。
- ・ゴルフ場が広いからお客さんとの関わりが多そうと思った。
- ・すごく大きいゴルフ場だった。全国 TOP10 に入るのはすごいなと思った。

- ・自分は何度かパークゴルフをしたことがあり、楽しかった経験があるので、すごく興味が湧きました。
- ・ゴルフはあまり興味がないけど、日本で 5 番目にきれいなゴルフ場と聞いて見に行ってみたいなと思いました。
- ・すごく楽しそうでやりがいのありそうな場所だなと心から思った。
- ・小樽ゴルフ場では全国 10 位以内に有名なゴルフ場だとわかりました。ゴルフ場内を写真で見せていただいた時に、とてもきれいだなと感じました。
- ・ゴルフ場全体が好きで仕事に誇りを持っているように感じ、入りたいと思えるような内容でした。
- ・広いゴルフ場だなと思った。
- ・ゴルフ場の規模や歴史などがわかりました。
- ・全国で 12 個目のゴルフ場で長い歴史があることに驚きました。
- ・会員が 1400 人もいて、たくさんの人がゴルフを楽しんでいることがわかった。でも限られた人しか使用できないのは少し悲しいと思った。
- ・ゴルフ場は色々なところがありますが、その中でも評価が高いのは凄いいと思いました。いつか貴社のゴルフ場でゴルフをしてみたいです。
- ・とても広いゴルフ場で高齢者にも優しい職場だと思いました。
- ・写真で見てもとても広くて、キレイな場所だと思った。お客様に優しくしていて安心した。
- ・パターに色々な種類があるのだなあとと思った。
- ・ゴルフだけでなく、健康や体作りにも力を入れていることにも意識していることにすごいしっかりしたお客様に対する気持ちがあった。
- ・日本でそんなに有名なゴルフ場だということを初めて知った。
- ・色々な人が楽しめるように努力しているのだなと思った。
- ・入会費が思った以上に高くてびっくりしました。何よりもお客様のことを考えていて、歩く理由もすごく納得しました。
- ・実際に体験することができて、すごく良いなと思いました。
- ・仕事内容がお客様と会話をしたり、お手伝いをしたりしていて、人との関わりがたくさんある企業だなと思った。
- ・日本で TOP10 に入るくらいきれいなゴルフ場ということだったので、そのような所で働けて、さらに会員制の所だが従業員であればそこでゴルフができるということだったので、魅力的だと思った。
- ・とても魅力的で、聞くことができて良かった。一つ選択肢が増えた。
- ・若い人も働いているということが意外でした。
- ・あまり興味はないけど大人になったら行こうと思った。
- ・身近にあるゴルフ場が人気のある場所と知ってすごいと思った。
- ・趣味としてはとても楽しそうな企業だと思った。
- ・会員制だとわかりました。
- ・会員の人々に丁寧に接しているということがわかった。
- ・言葉遣いなど色々な面が丁寧にされている。営業がスムーズに行くために時間管理もされている。
- ・小樽にゴルフ場があるのを初めて知りました。

- ・ゴルフをやったことが無かったので、話が少し難しかった。
- ・たくさんの会員の人たちと話することができて暖かそうだった。
- ・小樽にこんなにも大きいゴルフ場があるとわかった。
- ・内容を聞いてすごく面白そうだった。楽しく仕事できそう。
- ・人あたりがよく雰囲気が明るくとても良かった。
- ・ゴルフがわからなくても楽しく仕事ができそう。
- ・無料でゴルフの練習ができるし、仕事後に「ありがとう」などの感謝をしてもらえるのはとても良いなと思いました。
- ・仕事終わりにゴルフができるのがすごい。
- ・自由にゴルフできるのがいいと思った。
- ・御社は日本の中でも、上位に入るほどとても良いゴルフ場だということ、またそういったゴルフ場を保つ手入れの良さが聞けて、良い経験でした。
- ・ゴルフ場の広さに驚きました。ゴルフを知らない人でも、楽しく働けているのがいいなと思いました。
- ・小樽の中にゴルフをやっている人の中ではとっても有名な場所があったなんて知らなかったし、それほどの環境を維持し続けるのはすごいなと思いました。
- ・すごく歴史のあるゴルフ場だと思いました。
- ・スタッフの練習が無料なのが良い。
- ・小樽ゴルフ場で仕事が終わったら練習を無料でできるのがすごくいいと思った。
- ・会員になるのに 500 万円もかかるのはすごいと思った。広いところと知れたから一回見てみたいと思った。
- ・使用する方のためにサービスを丁寧にして、整備をし、快適にプレイできるように仕事をしているのだと感じました。
- ・ゴルフ場の景観に気をつけて、ゴルフカートを使わないようにするなど評判を良くする取り組みがとても良かった。
- ・ゴルフの知識が全く無かったから、聞いていてとても面白かったし、興味が湧いた。会員になるのに 500 万円も支払うのは驚きました。
- ・メンバーにならないと、プレイすることすらできないのだとわかった。
- ・会員の人が楽しくゴルフができるように、コースを整えたり、会員の人のバックを持ったりしていてとてもすごいなと思いました。
- ・年間 500 万の会員費ってすごく高いなと感じた。
- ・ゴルフのことをあまりわからないけど、ゴルフ会社の事やゴルフの事を聞けて良かった。
- ・とても広い場所でゴルフができるし、人の体のことも考えられていて、人気があるのだろうなと感じた。
- ・500 万年会費高いなと思いました。
- ・会員になるために 500 万払うのはすごいなと思った。すごく広いし、綺麗だなと思った。
- ・コースが多いと感じた。設備や環境がとてもいいと思った。
- ・意外にやることが多いのだなと思った。

- ・一回見に行ってみたい。
- ・会員じゃないと入ることができないという面ではすごいゴルフ場なのだなと思った。
- ・ゴルフを知らなくても楽しく仕事できる所が良いなと思った。日本の中でも上位の方で綺麗なのも努力してこそということに気づいた。
- ・お客様からお礼を言っただけで、とてもやりがいを感じられるような仕事だった。
- ・ゴルフ場の景色、全国5位ってすごいと思いました。
- ・会員になるのに500万円も出すのはすごいなと思いました。
- ・年間で500万円はすごいと思いました。
- ・お客様を第一にする心を聞いて伝わりました。
- ・休みの日に従業員が無料で練習場を使えるところに魅力を感じた。
- ・そこに就職というよりかは、緑がめっちゃ綺麗でゴルフやってみたいなと思って、スポーツに興味を持った。
- ・全国の中でも有名でゴルフができれば楽しそうだなと思った。
- ・ゴルフについて知らなくても入れるのだなと思いました。
- ・年会費高いと思った。
- ・ゴルフのことについて詳しく知らなくても楽しくやっていける。
- ・ゴルフというスポーツに関わったことがなかったので、話を聞けて良かった。
- ・500万円もすることにびっくりした。歴史あるゴルフ場ですごいと思った。

<3年生>

- ・面接の話が印象に残った。
- ・わかりやすかった。
- ・礼儀がとても必要だとわかりました。
- ・会員が1400人もいるのがすごいと思った。
- ・家の近くのゴルフ場なので、仕事内容を知れて興味を持てた。
- ・ゴルフやってみたいなって思いました。
- ・職場の環境の良さに驚きました。
- ・写真でもわかるくらい綺麗に整備されていて行ってみたくなった。
- ・他人と関わることの大変さを知れた。
- ・ゴルフが好きなので、とても面白かった。
- ・全国から見ても人気なのだなと思った。
- ・無料でコースを周れるのは良いなと思いました。
- ・ゴルフのことがわからなくても働けるのだと思った。
- ・自分は就職に失敗した時の就職の道などを知れて良かったです。
- ・あまりゴルフのことはわからなかったけど接客業としてのレベルは高いなと思いました。
- ・お客様が楽しくゴルフをできるように小樽カントリー倶楽部のスタッフが徹底してお客様の手伝いを一生懸命やっていることを感じた。
- ・すごくゴルフが楽しそうだった。

- ・仕事終わりにゴルフができるのが良いと思った。
- ・きれいなゴルフ場ランキング 10 位はすごいと思った。
- ・見たことあると思った。
- ・一つ一つの役割がとても重要なことをしているのだなと思い、とても大変だなと思いました。
- ・意外と面白そうなところでした。
- ・けっこう面白そうな職業だった。
- ・ゴルフのルールがわかった。
- ・とても有名で人気の高い所だと思った。
- ・私が思っているよりも人気があってびっくりした。
- ・仕事にやりがいがありそうだった。
- ・何も知らなくても働く事が出来るのはありがたいと感じた。
- ・ゴルフできて面白そうだなと思いました。
- ・綺麗な芝生で行ってみたいと思った。
- ・やって良かったランキングがあってゴルフがしたくなりました。
- ・普段の生活からでもできることがあるとわかった。
- ・ゴルフのお手伝いが楽しそうだった。
- ・やる仕事が多かったり人を覚えたり大変そうだった。
- ・きれいな芝生で行ってみたいと思いました。
- ・大変そう。
- ・ゴルフに興味はなかったのですが、少し興味が湧きました。
- ・ゴルフの知らない事を知れた。
- ・フロントのお仕事に興味を少し持ちました。
- ・ゴルフのことを前よりもたくさん知れた。
- ・思っていたより大変だなと思った。
- ・コミュニケーションがきちんとできてないとだめだと思った。
- ・お客様第一に考えて働いているのが良いと思った。
- ・色々なお客様と関わることがわかった。
- ・ゴルフ場の具体的な仕事内容はあまり聞いたことがなかった。
- ・人と接客をするならいいと思いました。
- ・お客様のことを考えてゴルフ道具の管理などをするというのがわかりました。
- ・今の普段からの生活を、気をつけたいと思った。
- ・先生への話し方に気をつけようと思った。
- ・簡潔でわかりやすかった。
- ・フロントなどのお客さんと話すコミュニケーションがすごく楽しそうでやりがいを感じそう。
- ・色々なランキングに載っている歴史の長いゴルフ場だと思いました。
- ・広いゴルフ場で気分良く働けると思った。
- ・100 周年を目前とした事でやる気や気合の感じるプレゼンだった。
- ・小樽にこんなすごいゴルフ場があることを初めて知れて、あまり知らない仕事や接客があって面白

いなと思った。

- ・ 4 年後 100 周年という大きな企業だとわかった。
- ・ 顔を覚えてゴルフバッグを渡し間違えないようにしているのがすごいと思った。
- ・ ゴルフが無料なのはいいなと思った。
- ・ 他のゴルフ場の違いを強く教えてくれて順位を気にしていた。
- ・ 自分がゴルフに興味がなくとも、楽しく仕事ができる。
- ・ 毎日が違う日々を送ることができそうで楽しそう。
- ・ 最初は全く知らない事でも、仕事を重ねていくうちに理解して楽しめるのだと思った。楽しそうだった。
- ・ 話がスムーズで説明がわかりやすかった。そういう力が必要な職場だと思った。
- ・ 仕事内容について知る事ができたのは参考になった。
- ・ 歴史ある会社で、ランキングにも選出されていてとても凄いと感じました。
- ・ すごく楽しく仕事をしていた。
- ・ この会社の話を聞いて感じたことは、最後まで気を抜かないことです。全ての仕事に言えることで、終始何が起こるかわからないことが多いということで、そう感じました。
- ・ やりがいのある仕事だと思った。
- ・ ゴルフ場の仕事も面白そうだなと思った。
- ・ 仕事は決して簡単ではない。
- ・ 人とのコミュニケーションが大事になると思ったから、あまり自分は向いてないなと思った。
- ・ 日本の色々なランキングなどにも選ばれているすばらしいゴルフ場。
- ・ 自分は人とのコミュニケーションが苦手なので向いていないなと思った。
- ・ 楽しむこともできる仕事内容だと思った。
- ・ ゴルフ場の会員の家族などもゴルフできるというのは初めて知った。体験だけでも少しやってみていなと思った。
- ・ 4 年後には 100 年目となる大きな企業だとわかった。
- ・ ゴルフが好きじゃなくても職場が楽しければやっていける。
- ・ 自分もゴルフをしていたので名前は知っていましたが、お客様が満足できるようなサービスをしていてすごいと思った。
- ・ 営業時間などを知りたかった。
- ・ ゴルフ場が家から近いので少しだけありと感じました。
- ・ ゴルフ楽しそうだなーって思った。
- ・ 自分からはあまり関わることがなさそうな企業だったので、どのような仕事の内容をするかなどを知ることができたと感じました。
- ・ 色々な役割があるのだなと思いました。
- ・ お客様のために様々な工夫がされているのだなと思った。
- ・ お金持ちのお客さんが来たりするから色々な所に気を使わなければいけないと思った。
- ・ ゴルフ場はもちろんのこと、人との接客や掃除などしっかりしているから、人気を保っているのだなと感じた。

- ・できるだけ多くの情報を集めたうえで、自分にあった職種が大切であるということ。
- ・ゴルフのことを知らない人も働けることを知れた。
- ・ゴルフのことはよく知らないが初めて聞く仕事ばかりで大変そうだなと感じた。
- ・ゴルフを見ることも、プレーをしたことも無かったので、仕事内容があまりわかっていなかったが知ることができました。
- ・接客が楽しそうだなと思いました。
- ・ゴルフのことも学びながら仕事ができるのはいいと思った。
- ・ゴルフを知らなくてもできるようになるから良いなと思った。
- ・話を聞いたことがあるから知っていた。
- ・ゴルフのことを知らなくてもちゃんと教えてくれるいい所だなと思いました。
- ・ゴルフのことも学びながら働ける会社。
- ・歴史のある会社だと知った。
- ・職業説明会でお話を聞いたことがあったのですが、100年も続いていることにとても驚きました。
- ・毎日芝を刈って、きれいに保っていることがすごかった。
- ・全国で5位にランクインするゴルフ場すごいと思った。
- ・デカイ、広い。
- ・とても雰囲気のよさそうな会社だと思った。
- ・1年生の時の企業説明会で知っていた会社だったのですが、より細かい情報が知れて、すごく丁寧だった。
- ・ゴルフ場での芝の整備。
- ・自由な社風で憧れを感じた。
- ・お客様からの評価が高く、全国的に見ても人気がある。
- ・凄く人気があり、お客様についてよく考えられているなと感じた。

株式会社北日本消毒

<1年生>

- ・知っている会社で画像に知り合いが出ていて面白かった。
- ・一人ひとりがしっかりと責任を負う仕事であり、その反面、気を抜くところもあり、しっかりとメリハリがつけられ、信頼されているなと感じました。
- ・「ありがとう」って言ってもらえるいい仕事だと思ったし、職場の雰囲気がよさそうだった。
- ・楽しそうな会社だが、メリハリがきちっとしていて、とてもいいと思った。事業内容が面白そうだった。
- ・土日祝日が休みというのが良かった。
- ・大変そうだけど、この仕事のおかげで社会が成り立っているのだと思った。
- ・会社の福利厚生や仕事内容の説明がわかりやすい。地域社会に役立つ会社だと思った。
- ・楽しそうな職場。
- ・社内の環境がとてもよさそう。害虫とかを駆除してくれる業者は珍しいと思った。
- ・北海道から必要とされていることがわかった。

- ・ハチの巣の駆除をしているのはすごいと思った。
- ・後志の水道を綺麗にしてくれる会社だと思ってなくて、すごくありがたい会社だなと思いました。
- ・難しそうだと感じた。
- ・小樽にある会社。害虫を駆除する。
- ・給料や週休も良い。社員を大切にしている会社だと思った。
- ・やりがいが大きそうで、頑張ればそれに見合った物が返ってくることがわかりました。
- ・たくさん人のことを考えて仕事をしているのだなと思った。
- ・いいと思った。興味を持つことができた。
- ・弱肉強食を感じ、改めて社会のしくみを知れた。
- ・技術を会社で磨けるのがすごい。
- ・しっかり詳しく説明していていいなと思った。
- ・ユーモアがあるなと思った。
- ・消毒といっても色々な仕事があって大変そうだった。
- ・入社して色々な事に挑戦したり、色々な資格を取得できたりするのが良いと思いました。
- ・色々な害虫の駆除だったり設備の点検だったりをしていてくれるおかげで過ごしやすい生活があるということがわかったし、身近な存在になっているということがわかった。
- ・ハチの巣を無くすのが楽しそうだった。
- ・最後の質問で週休制度について聞かれていて、土日祝が基本的に休みであるという所に惹かれた。
- ・生活する中で平和に過ごせているのは北日本消毒さんのおかげだと思った。
- ・やりがいを感じていると思った。
- ・面白そうだなと思いました。
- ・仕事内容がとても難しく感じました。
- ・大変そうだけど楽しそうな仕事だと思った。
- ・蜂を駆除するのは大変だと思うけど一回体験してみたい。
- ・消毒と書かれていたから、アルコールなどを作っているのかなと思っていたが、害虫などを駆除している。ある意味の消毒だと思った。
- ・色々な仕事を行っていることがわかった。不測の事態に強い会社もあるとわかり、面白いと思った。
- ・人柄が良く、楽しそう。
- ・週に休める日があっていいなと思いました。
- ・害獣の駆除や、ハチの駆除もしていて、最初は消毒液とかを作る仕事だと思った。でも一歩でも間違えたりしたら、ハチに刺されたりして死と隣り合わせだったりして、大変な仕事だと感じた。
- ・スピーチで少し止まったりしていた。
- ・生き物に関する職業で興味が湧いた。
- ・興味が湧きました。
- ・給料の制度とか普段聞けないような話を直接聞くことができて良かった。
- ・北日本消毒って名前だけど害虫駆除とかもしているのだと思った。
- ・蜂を駆除するのが楽しそうだった。
- ・仕事ではちゃんとやっているけどリフレッシュとしてカレンダーの写真のところの撮影もやっ

るところが、ちゃんとやるところと、楽しくやるところがあっていいなと思った。

- ・とてもわかりやすい説明だった。
- ・しっかりとした給料に、休みもとてもいいと思った。
- ・説明を聞いてその仕事にやりがいを感じているのだなと思った。
- ・高校で取れない資格を取れていいなと思った。
- ・害虫の駆除などをし、週休で土日は休みがあることで、とても働きやすそうな会社だと思った。
- ・人から感謝される仕事をしていていいなと思った。
- ・みんながめっちゃくちゃフレンドリーで、しっかり休みもあって楽しそうだった。
- ・愉快的な雰囲気が、とても楽しそうに見えました。
- ・主にねずみ・虫の駆除をしていてかっこいいと思った。
- ・土日祝で休みが取れるのでのびのびとした会社だと思った。
- ・あまり堅苦しいイメージはないなと感じた。
- ・休みは2日あるし残業代もしっかり出るホワイトな会社だと思った。
- ・とても大変そうなお仕事なのだなと思いました。ランクごとに給料が変わる制度は良いと思いました。カレンダーの印象がとても強く、楽しそうな職場だと思いました。
- ・カレンダー制作がとても面白くて良いと思いました。ずっと無くならない仕事なのが良いと思いました。
- ・知らなかった会社でしたが、意外と身近で役に立っていると聞いてかっこいいなと思いました。会社の雰囲気も良さそうで楽しそうだなと思いました。
- ・専門学校に行って資格を取るのが重要だと感じた。
- ・危険がありそうなのに、給料が高いとはいえず、休みも当たり前な分しかなかったのが気になった。
- ・休みが土日と祝日でとてもいいなと感じた。
- ・大変だけどやりがいがありそう。
- ・虫などを駆除する。給料は20万ぐらい。土日祝は休み。
- ・たくさんの資格を取ることができるのが魅力的。
- ・ウイルスを消毒したりするだけでなく、ねずみやハチなどの害虫駆除などもしていることがわかった。また、カレンダーなども流行りにのせて作っているところが面白いと思った。
- ・ネズミや害虫などの駆除をやっていて、また自然や生物などの調査も行っている。
- ・大変な仕事だけど職員の雰囲気がとても良いと思った。自分は今までは興味があまりなかったが、これからは視野に入れたいと思った。
- ・評価で給料が上がるのが良いと思いました。
- ・仕事の内容部分を詳しく説明してくれた。
- ・休日などもしっかりとれていて少し入りたいと思いました。
- ・スライドが見にくかった。あと、福利厚生が薄いのだなと感じた。
- ・ただの消毒だけでなく、ねずみやハチなどの駆除まで行っていたので、幅広く対応できる仕事だなと思いました。土日は休みだったり、振替休日があったりするのは少し嬉しいなと感じました。
- ・少し何言っているのかわからなかった。
- ・最初、会社の名前を聞いたときどういう会社なのかが気になって、説明を聞いたらどういう会社か

わかりました。

- ・排水溝の掃除などをする。
- ・地域に貢献することができるとわかった。
- ・仕事内容はあまり理解できなかったけど、個人的に会社というもののイメージに近かったからなんとなく想像しやすかったです。
- ・給料が高いなと思った。
- ・給料が今までと同じルールで守っていきければ給料も上がるらしいし、地元で働いて貢献できるのがいいと感じた。
- ・カレンダーや内容も仲良さそうだなと思った。
- ・アニメのマネをしてカレンダーを作っているのが面白いと思った。
- ・色々なところに回って虫の駆除や、どこか消毒したりなど、色々なやる仕事があっ大変そうだったけど仲間が楽しそうだった。
- ・地域の役に立つことができる仕事だと感じました。地域の清掃などをする仕事だと感じました。
- ・今まで食品に関わる仕事しか視野に入れていませんでしたが、害虫駆除や衛生管理という私達の生活に必要で、格好良さもある仕事があることを知れて、今まで以上に視野を広げることができました。カレンダーもぜひ一度目にしたいクオリティでとても良かったです。
- ・水産で食品を扱うので、清潔を保つために何をしたらいいか知れて良かった。
- ・大変そうだなと思った。
- ・資格がたくさんあって面白そうだなと思った。
- ・ネズミや蜂などの駆除をするのは大変そうだなと思った。お客様のありがたい言葉があると自分もやっていて良かったと思う。
- ・虫を駆除したり、水道管を清浄したりしていてお客さんに感謝されるのでやりがいがあると感じた。
- ・客が不快な気持ちにならないようにするために自分なりに努力していていいと思った。
- ・害虫やコロナでの消毒をしたりして、色々なことをやっていた。
- ・企業内容のことを詳しく教えてくれていて、とてもわかりやすかった。
- ・ユニークな会社、資格はほとんど初めて見るので始めやすい。
- ・毎年変わるカレンダーは面白いと思ったし、勤務時間を聞くととてもホワイトな企業だなと思った。
- ・ハチや害虫を退治するのはとても大変そうだなと思った。
- ・生き物の駆除とか、消毒とか助かる事してくれている会社なのだなと思った。
- ・土日祝日が休みなのがいいと思いました。
- ・ハチなどを駆除するのは大変そうだなと思った。
- ・体を張って仕事に取り組むことで、満足感など得られないことを得られる場だと感じました。
- ・業務内容に関わる多種多様な資格があることがわかった。

<2年生>

- ・働きやすそうな会社だなと思いました。
- ・害虫駆除とか清掃を目的にする仕事ですごく大変そうで、怪我しそうな仕事だなと思いました。
- ・駆除や清掃で忙しそう毎日充実していそうに見えました。虫や動物慣れしないと難しい所だと

感じました。

- ・給料や年間休日など働くにあたっての必要な事項を細かく説明してくれてとても丁寧だった。
- ・色々なことをやっているな～、不況に強いのは良いなと思った。だいぶ興味を持った。
- ・休みが多く良いなと思った。
- ・人々が安心して暮らせるように仕事に取り組むのだなと思った。
- ・自分はあまり調べたりしたことがなかった職業だったので、今回話を聞くことができて良かったなと思った。
- ・大変そうだけどやりがいを感じられそうだなと思った。
- ・ありがたい会社だと思いました。
- ・人々のために頑張るのはかっこいいと思った。
- ・害虫などの駆除をしたりしている中で、大変なことが多いと思いますが、カレンダーを作成したりと職場が楽しそうだなと思いました。
- ・ポスターにユーモアがあっていいと思った。
- ・仕事に対して真剣で、でもカレンダーの写真を見て楽しそうだなと思った。
- ・害虫などの駆除を人々のためにやっているからすごいと思った。
- ・害虫とかねずみとかほとんどの人が苦手そうなものを、駆除するのはすごいと思った。
- ・会社名から消毒液を作っている会社だと思った。
- ・内容が難しくて、あまり入ってこなかったけれども、楽しそうだなと思った。
- ・害虫駆除をしてもらっていた会社なのに、話を聞くまでは社名などのことがわかっていなかった。
- ・名前を聞いた時、手足消毒のことだけだと思っていただけ、他にも色々あり驚いた。
- ・害虫駆除とか広い範囲でやっていてすごいと思った。
- ・週休2日がいいと思った。
- ・お客さんにとても感謝されるのは嬉しいし、やりがいを感じられて良いと思った。
- ・ねずみや蜂の巣も駆除するのはびっくりした。
- ・害虫駆除とかお世話になっているのに会社の名前とか全く知らなかった。
- ・害虫駆除など誰でも出来る訳じゃないからすごいと思った。
- ・害虫駆除や、ハチの巣駆除だけではなく、他の健康に関する仕事があることを知ることができた。
- ・害虫駆除などあまり人がやらないことを仕事としてやっているのに、会社のことを知らなかった。
- ・自分で取れる資格の内容が多く、やりがいがありそうだなと感じた。
- ・害虫駆除や水道管の掃除など私たちの生活の場を清潔に保ってくれていることを聞いてやりがいのある仕事だと思った。
- ・とてもやりがいを感じる事ができたし、地域に貢献できて良い仕事だと思いました。説明を聞いて、本当に入社したいと思いました。
- ・ネズミなどの他にも水関係のことも色々やっているのがびっくりしました。資格が沢山の体張りそうな仕事なので仕事のやりがいがありそうだなと思いました。
- ・消毒を作っている会社なのかなと勝手に思っていたが、害虫駆除などをしている会社と知って驚いた。
- ・最後のカレンダーが、バイト先で見たことがあり、どのように配っているのが気になった。

- ・消毒だけの会社かなと思ったけど、害虫などの駆除やタンクの掃除など幅広くやっているなと思いました。
- ・話を聞くまでどんな職業が知らなかったけど、思っていたよりも自分達の身近に関する仕事で、大変そうだったけど、カレンダーなどが楽しそうで良かった。
- ・いつもの日常では見えないところで支えてくれている大切な企業だと思った。
- ・カレンダーが結構再現度高くて面白かった。
- ・明るくて楽しそうな仕事だなと思った。
- ・自分の身近で働いている人が少なく、初めて耳にした職業なので、とても興味が湧きました。
- ・自分たちが綺麗な水を飲めたり、害虫などの被害に遭わなかったりするのには、こういう仕事をしてくれている人たちのおかげで、目に見えない所などでもすごく社会のためになっていてすごいなと思いました。
- ・みんなの安全を守るためにやれるのがかっこいいと思った。
- ・北日本消毒さんでは、どのような会社なのかわからなかったのですが、お話を聞いて、ハチなどの駆除をしていることがわかりました。
- ・仕事には少なからずストレスがあるものだとは再認識しました。
- ・虫とかの駆除だけで大きい企業が出来るのがすごいなと思いました。
- ・色々な種類の資格があることがわかりました。
- ・日頃から害虫・害獣の駆除や消毒のお陰で安全に暮らしているのだなと思いました。
- ・ネズミとかを駆除する時とかにその動物が持っているウイルスに感染したりしないのかなと思いました。試用期間もあるので、自分に合っているかを見ることができると思った。
- ・スズメバチの駆除や、鳥の巣の除去をして町を支えていると改めて知りました。私がいる水産高校も支えてくれていることも改めて知りました。
- ・働く中で資格も取ることができると職場でいいと思いました。
- ・人々に安心と安全を与えていて良いと思った。虫を駆除できるのがすごいと思った。
- ・害虫駆除してくれるのはありがたいなあとと思った。
- ・説明を聞いていて日本をキレイにしたりしていて、環境に重視しているところがいいと思った。
- ・駆除の会社だと思っていなかった。
- ・小樽の町のために頑張っているのだなと思った。
- ・やるときはやっているが、カレンダーとかはすごく面白かったです。会社内で勉強会をやるのがいいなと思いました。
- ・はじめは消毒液のことだと思ったけど、ねずみなどの駆除をするものだとは知って興味がそそられました。
- ・害虫駆除とか、嫌な仕事だと思うけど、していてすごいなと思った。
- ・害虫駆除など珍しい職種で少し興味はあるが、虫や動物などの野生の生物を相手するので大変そうだった。
- ・消毒にも色々なものがあって、自分にもできそうだなという内容が何個かあった。
- ・色々な仕事をしていることがわかった。
- ・将来行かないと思うが面白そう。

- ・気付かずに北日本消毒が身の回りにあるのかなと思った。
- ・排水溝の掃除などとても大変そうな仕事だったけどみんなの役に立つ職業なのでやりがいがありそうだった。
- ・資格を取らせてくれる。
- ・資格を持っていなくても会社で取らせてくれて勉強会などもあって親切な会社だなと思った。
- ・少し子供心のありとても楽しそうな会社だと思いました。
- ・害虫駆除の会社が近くにあることを初めて知りました。
- ・ユニークな企業に見えた。
- ・評価によって昇給の額が変わるからモチベーションが上がりそうだった。
- ・害虫駆除のほかにも色々なことをやっていることがわかった。
- ・虫キライな人には合っていないと思った。
- ・一人ひとりの責任を試される緊張感のある職場だと思った。
- ・色々な仕事をするから、色々と身につきそう。
- ・自分的には、何かしらの形であれ、生き物に接する仕事はとても興味がありました。それに、人に感謝の言葉を貰える仕事はすばらしいと思いました。
- ・水のタンクの仕事や害虫駆除もやっていて色々なことをすることを知った。
- ・害虫駆除は大変だと思った。
- ・どのような企業で、どのような事をしているのかをとても丁寧に教えていただいて、とてもわかりやすかったです。また害虫駆除に対してどのような感じなのかがわかり、良い経験でした。
- ・消毒と聞いたので、消毒液の会社かと思ったのですが、清掃や害獣駆除までしていてすごいと思いました。
- ・小樽市の人のために貢献できるような仕事でとてもカッコいいなと感じました。
- ・害虫駆除という点では、自分もやってみたいことなので、入社したときはやってみたいです。
- ・みんな当たり前でできる仕事じゃないから、できる人がカッコいいと思う。
- ・害虫駆除は昔からカッコいい職業だと思っていたので、すごく有益なものだったと感じました。
- ・1日のスケジュールがあまり忙しそうではないように感じた。
- ・入社した後の仕事内容や給料を詳しく説明していただき、今後のことについて考えられる内容だと感じました。
- ・害虫駆除を自分から取り組もうとすることがとてもすごいと思いました。
- ・「北日本消毒」と聞いて、消毒液を作る会社かなと勝手に思い込んでしまったけれど、業務内容を聞いてみたら結構な肉体労働なのだと少し驚きました。
- ・日常の仕事はとても厳しいけど、カレンダーを作るときは楽しくできるのだとわかった。
- ・みんなの生活を裏で支えてくれているのだなと思った。
- ・やりがいのありそうな仕事だなと思った。
- ・カレンダーなど可愛くて自由な感じがして良かった。
- ・害虫駆除のテレビとか見たことあったので、さらに細かいところまで知れました。人々のためになることなので良い仕事だなと思いました。
- ・虫嫌いだから害虫とか殺してくれて嬉しい。

- ・カラスの巣を取ったり、蜂の巣を取ったり、色々な事をするのだなと思った。資格がすごくたくさんあって、びっくりした。
- ・ネズミの駆除や清浄など面白そうだなと思った。
- ・社会のためになりそうだなと思った。
- ・少し興味が湧いた。
- ・コロナなどの感染症などが蔓延していて、他の会社などが不況になっているなかでも、不況にならないのはすごく良いと思った。
- ・職員が働きやすい環境が整っていると思った。年間 1/3 が休み、有給休暇制度など良い所がたくさんあった。一度体験もありかなと思った。
- ・カレンダー通りのスケジュールで、とてもすばらしい仕事だなと思った。
- ・色々な手を使って害虫駆除をするのは楽しそうだなと思いました。
- ・感謝してもらえる仕事はいいなと思いました。
- ・意外にも動物の駆除などのお仕事をしていて驚いた。
- ・色々な人のために会社に貢献する心がよく伝わりました。
- ・ポスターなどが遊び心もあって仕事ができそうな環境だなと感じた。
- ・動物の死がいとかみるのが苦手なので、正直自分は向いているとは思えなかった。
- ・一ヶ月に一回あるカレンダーの絵が面白いと思った。
- ・入ってから色々な資格を会社負担で取ることができるのだなと思いました。
- ・自分の夢に向かって頑張っていていいなと思った。
- ・資格取得料を会社が負担してくれるのはすごいと思った。
- ・カレンダーなどラフな一面もあって良いなと思った。
- ・ユーモアのある会社でいいと思った。

阿部建設株式会社

<3年生>

- ・高速道路をつくっていてすごかった。
- ・わかりやすかった
- ・とても楽しそうでした。
- ・やることが結構あって驚いた。
- ・柱一本に何億もお金を使っていることに驚いた。
- ・とても興味がある。
- ・やってみたい仕事です。
- ・前職のタンカーのお話が私自身の将来にすごく参考になりました。
- ・一つ一つの建設ですごいお金がかかっているすごいと思った。
- ・社会に出ることの大変さと楽しさを知れた。
- ・自分に厳しいと感じた。
- ・一つ一つにすごいお金がかかっているのだなと思った。
- ・仕事の内容は難しそうだけど楽しそうでした。

- ・仕事量が多くて大変そうだった。
- ・船以外の話はあまり聞かなかったので就職に役立てたいと思います。
- ・想像していた仕事内容と少し違っていたので、建設業ってこういう仕事なのかと思いました。
- ・一つ一つにお金がかかっているのがわかった。
- ・すごく建設にお金を使っていた。
- ・船乗りから転職しているから参考になる。
- ・タンカーの暮らしがわかった。
- ・タンカー乗りたい。
- ・最初は辛いかもしれないけど、そこの企業なりの楽しいことがあるのだと思いました。
- ・難しそうなお仕事だと思いました。
- ・自分には合わないような職業だった。
- ・船の話が共感できた。
- ・人の役に立てる仕事ということがわかった。
- ・高速道路を作っている。
- ・自分が思っていた建設業のイメージと少し違ったので興味深かった。
- ・労働時間は短いけど力はすごく使いそうで重労働のように見えた。
- ・大変だと思いました。
- ・高速道路の柱一本で数億も動くのが驚いた。
- ・後志を中心に様々な分野で活躍しているのだと知りました。
- ・生活バランスに慣れるのが大変そうだった。
- ・少しの物を作るだけで大きいお金がかかることに驚いた。
- ・建設業だけど建物だけではなく山の開拓もあり楽しそうだった。
- ・やりがいを感じられそうと思いました。
- ・大変だと思った。
- ・船の仕事は稼げるけど、大変なのだなと思いました。
- ・世界に貢献しているなと感じた。
- ・朝は早いけどその分 16 時に終わると聞いていいなと思いました。
- ・建設について詳しく知れた。
- ・力仕事だなと思った。
- ・仕事をしっかりと覚えた方がいいと思いました。
- ・仕事内容や何がやりがいかなど、特徴を聞いて良かった。
- ・建設業の流れが理解できた。
- ・阿部建設についてはあまり知らなかったが、この説明会で色々を知ることができて良かった。
- ・体を動かす仕事なのでやりがいがありそうでした。
- ・建設をするにあたって、1 年間かかったりするなど、船に乗っている時は普段私たちがやっているようなことができないほど忙しいと感じた。
- ・働く上で自分のやりたい仕事のために我慢しないといけないこともあるということを改めて思った。
- ・話しかけづらい人の対処法がよくわかった。

- ・水産でも土木関係に就職できるのが意外だった。
- ・土木系とは高いところのイメージが強かったけど、測量など高いところでやる作業じゃないのもあって魅力に感じた。
- ・様々な所で色々な人と会うのでコミュニケーション能力が必要なのと、長時間の作業なので忍耐力が必要だと思いました。
- ・達成感のありそうな会社だと思った。
- ・実際の体験談や自分の感じたことを聞いたからか、情熱を感じるプレゼンだった。
- ・建設業は大変そうだなと思ったけれど、朝早く仕事が始まって、作業終了も早いのがいいなと思った。
- ・一度の工事でたくさんお金がもらえる。
- ・工事するのにたくさんお金がかかるのだなと思った。
- ・もっと詳しく話を聞きたい。
- ・会社の雰囲気も知れて、わかりやすいよう丁寧に説明してくれた。
- ・高速道路の土台となる物を建てている。
- ・とっても大変そうだと感じたし、給料が良さそうです。
- ・楽しい職場なのだなということが伝わってきた。もし嫌なことがあっても自分でどうにか楽しめるように工夫していたのに尊敬した。
- ・作業が早く終われば早く終業できるのが良いと思った。
- ・仕事内容について知ることができたのは参考になった。
- ・話していた方がとても明るく、一生懸命話してくれていたので阿部建設株式会社がとても良い所だと伝わりました。
- ・とても素晴らしい仕事だと思った。
- ・この会社の話を聞いて、最も大事なことは忍耐力だと感じました。建設会社に限らず他の所でも言えますが、建設会社は特にミスが許されない仕事ということで、そう感じました。
- ・人のためになる仕事だと思った。
- ・面白そうな会社だなと思った。
- ・人生には色々な考え方がある。
- ・仕事は大変そうだけど、その分やりがいがありそうだと感じた。
- ・住民に尊敬される職業だと思いました。
- ・建設をするのにもすごい費用がかかっていることに驚いた。
- ・仕事内容はすごく大変そうだけど、その分のやりがいを感じられそうと思った。
- ・大変そうだけどやりがいのある企業だと思った。
- ・高速道路の土台一つを建設するだけでもすごくお金がかかるので、仁木まで伸ばすのには考えられないくらいのお金がかかるのだなと思いました。
- ・一回の工事でお金がたくさんかかることがわかった。
- ・寮の仕事で身についた体力が別の仕事でいい感じに実るのを知った。
- ・高速道路の土台を作るととても重要で大きなプロジェクトをしていて大きな建設会社だと思った。
- ・最初何の話をしているかわからなかった。

- ・名前によらず船の作業が意外でした。
- ・苗字一緒に家からも近いからよく見るなーって思った。
- ・知人が働いている建設会社とは違った阿部建設株式会社さんの独特な雰囲気があり、見聞を広げられたと感じました。
- ・一つ一つの作業が大変そうだなと思った。
- ・すごい肉体労働だなと思った。
- ・高速道路の土台を作っていてすごいと思った。
- ・人が当たり前のように使っている高速道路はこういう人たちが作っているのだと思った。
- ・最初についた職業でずっと働くわけではなく、全く違った職種に転職することもあるということ。
- ・よくわかった。
- ・建設業という将来を考えたことがなかったが、建設業にしかないやりがいがあると思った。
- ・聞いたことのある会社ではあったが、色々な所に携わっているのを知りました。
- ・工事するだけじゃないのだなと思いました。
- ・工事の時の金額が大きくびっくりした。
- ・名前を聞いたことがある。
- ・大変そうだなと思いました。
- ・工事をするだけの会社じゃない。
- ・建設業はあまり知らなかったので聞いて良かった。
- ・父も似たような職業についているので少し興味が湧きました。
- ・朝は早くとも続けることで、いい仕事につける。
- ・人が明るくて楽しそうな会社でした。
- ・お金がかかっているのだなと思った。
- ・とてもやりがいのありそうな仕事だと感じた。
- ・建設会社といったら少しいかついイメージや厳しいイメージだったけれど、穏やかな人でイメージが変わりました。
- ・高速道路とか普段みんなが車で使い道などを作っている。
- ・高速道路など、皆の身近な物に携わっているところに憧れを感じた。
- ・船を使って石油などを運搬する、自分が知る土木とかのイメージから離れている。
- ・高速道路の柱を立てるのに約2億、山を削るのに約3億かかるのが高いなと感じた。

〈第2回〉企業アンケート 参加企業数 計3社 うち集計数3社

【問1】今回の企業出前説明会に参加した感想をご記入ください。

- ・弊社はこのような形の企業説明会に参加したことがなかった為不安もありましたが、水産高校 OB の社員にとっても、とても良い経験となりました。(阿部建設株式会社)
- ・はじめはどのような感じかと心配ではありましたが、今までとは違い多くの生徒さんの顔を見ながら、また、反応を見ながら話すことができましたので、説明する側としてはとても良かったです。(株式会社小樽ゴルフ場)

- ・事前準備が無く一発本番だったので、厳しかった。(株式会社北日本消毒)

【問2】 今後同様の出前説明会を実施する場合に、改善した方が良いと思われることをご記入ください。

・弊社社員は、水産高校を卒業後タンカー船に乗り、その後阿部建設へ転職という職歴でした。伝え方次第では、船員希望者の進路活動に支障をきたす恐れがあるため、誤解を与えない配慮が必要でした。発表資料含め講演内容について、学校側と余裕を持ってすり合わせする時間が取れば良かったと思います。(阿部建設株式会社)

・OB 主体は良かったと思います。事前の準備をさせることで本人たちの勉強にもなりましたし、社内では先輩たちに応援されながらの準備(何度も)でしたので、相乗効果が生まれました。改善というのであれば、OB 主体の説明なのか、企業説明なのか…学校側は何を話してほしいのか、当日の反応を見ながら進めたことでしょうか。(株式会社小樽ゴルフ場)

・説明会のイメージが付きにくく、具体的にこうしたい(要望)などを先生から事前に聞ければより良い資料説明が出来た。(株式会社北日本消毒)

【問3】 今後同様の出前説明会に、また参加したいと思いますか。

- ・参加したい：3 件

【問4】 本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

・今回は、弊社若手社員にとっても良い経験となりました。また、他の企業様の採用担当者との情報交換もできとても有意義な機会でした。今後も本事業に積極的に参加していきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。(阿部建設株式会社)

・とても良い経験をさせていただきありがとうございます。当社の採用という観点だけではなく、企業として生徒さん何をしてあげられるのか、学校にご協力ができることは何かを今回のことをキッカケに考えてみたいと思います。(株式会社小樽ゴルフ場)

〈第3回〉2024.10.10 実施

北海道小樽桜陽高等学校 2 年生 (196 名)

本事業参加企業以外の企業や団体も同時に説明会を実施していたため、参加者アンケートは行わなかった。

〈第3回〉企業アンケート 参加企業数 計 8 社 うち集計数 3 社

【問1】 今回の企業出前説明会(進学相談会)において、御社を受けた生徒数とその際の企業説明の内容を簡潔にご記入ください。

企業名	生徒数	企業説明内容
小樽市役所	9 名	・ 市役所の業務について ・ 市役所職員に採用されるまでの流れについて
阿部建設株式会社	4 名	・ 建設業全般について ・ 阿部建設について（企業概要や最近の取り組みなど）
新日本海フェリー株式会社	6 名	弊社で行っている主な事業内容（例えばお客様の移動手段の提供の他に荷物の輸送を行っており、荷物のほうが売上に占める割合が多いことなど）並びに、入社した際に行う業務内容（車両の誘導・予約の電話受付・乗船券発券・乗船改札など）や福利厚生（社食や独身寮の提供があることなど）をお伝えしました。 また興味があれば、高校を通して会社訪問を申し込んで頂くようにお伝えしました。

【問 2】 今回の企業出前説明会（進学相談会）に参加した感想をご記入ください。

- ・ 普段、高校生と話す機会があまり無いので、市役所に対してどういった認識でいるのか、興味や関心、疑問点を直接聞くことができて、非常に有意義でした。また、他の企業や官公庁の採用活動や、高校生がどの大学や企業等に興味があるのか知る機会となり、大変参考となりました。（小樽市役所）
- ・ 進学を考えている生徒が多く、企業ブースを訪れる生徒が少なかったと思います。（阿部建設株式会社）
- ・ 桜陽高校は進学校であるため、面談させて頂いた生徒さん 6 名のうち 1 名は公務員志望、5 名が進学か就職かで迷っているとのことでしたので就職先に選んでもらうハードルは高いと感じました。（新日本海フェリー株式会社）

【問 3】 今後同様の出前説明会を実施する場合に、改善した方が良いと思われることをご記入ください。

- ・ 当日は、電源の使用が可能となっていたようですが、事前申請制でも使用を認めていただけると、ありがたかったです。（小樽市役所）
- ・ 学校側からも同様の案内が送付されるなど若干混乱した事もあったので、案内窓口を一つにして頂けると助かります。（阿部建設株式会社）
- ・ 改善点は特にありません。3 交代で訪問してもらう制度は時間配分などやり易かったです。（新日本海フェリー株式会社）

【問 4】 今後同様の出前説明会に、また参加したいと思いますか。

- ・ 参加したい：3 件

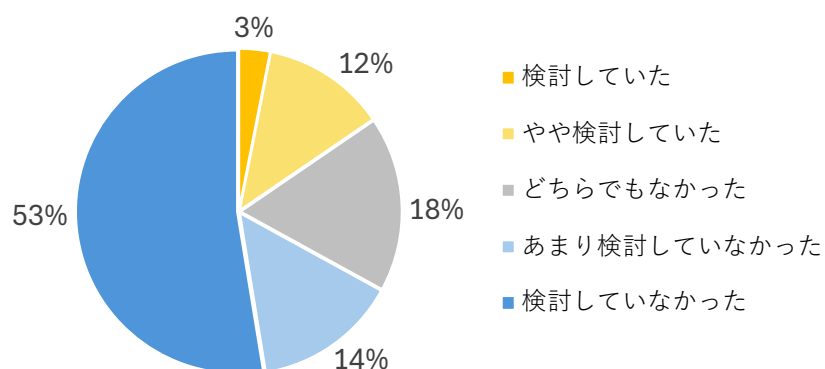
【問 5】 本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・ 他の企業様の採用担当者との情報交換もできとても有意義な機会でした。今後も本事業に積極的に参加していきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。（阿部建設株式会社）

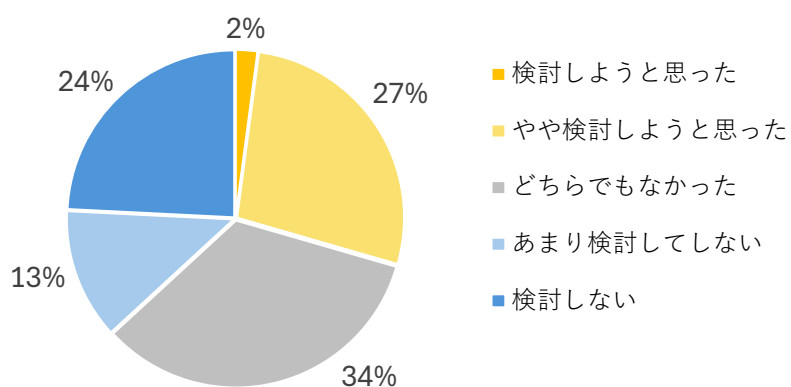
〈第4回〉2024.10.10 実施 参加者アンケート

北照高等学校 1 年生（50 名）・2 年生（47 名）計 97 名 うち集計数 50 名

質問1-1. 【説明会前】小樽市内の企業への就職を検討していましたか？



質問1-2. 【説明会后】小樽市内の企業への就職を検討しようと思いましたか？



質問 1-2. ※「あまり検討しない」「検討しない」とお答えした方は理由をご記入ください。

（記述回答）

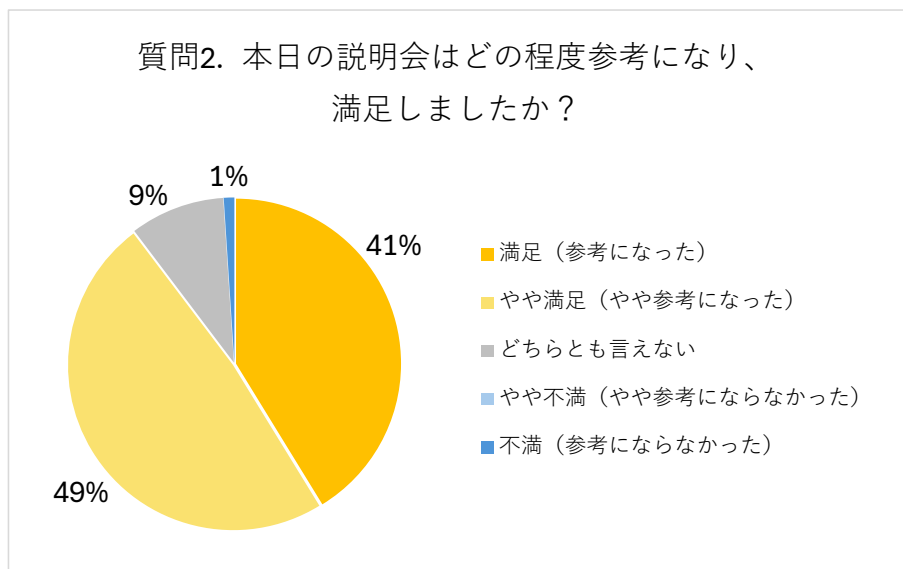
<1 年生>

- ・企業への就職をするなら札幌がいいから。
- ・寮から通っていて、大学進学したいから。
- ・地元に戻るから。
- ・今、少し自分の中で考えている将来に合っていないから。
- ・関東などで就職したいと思っていたからです。
- ・プロ野球選手になりたいから。
- ・小樽には居たくない。
- ・自分がやりたいことではなかった。
- ・地元辺りで仕事をしたい。（同回答 2 件）

- ・自分の好きな事は別にあると思ったからです。
- ・小樽は遠い。
- ・大学に行きたいから。
- ・就職するなら祖父のラーメン屋を継ぐから。
- ・地元で就職して親孝行したい。
- ・遠いし、自分に合っていないと思ったから。
- ・小樽は坂が多いから。

<2年生>

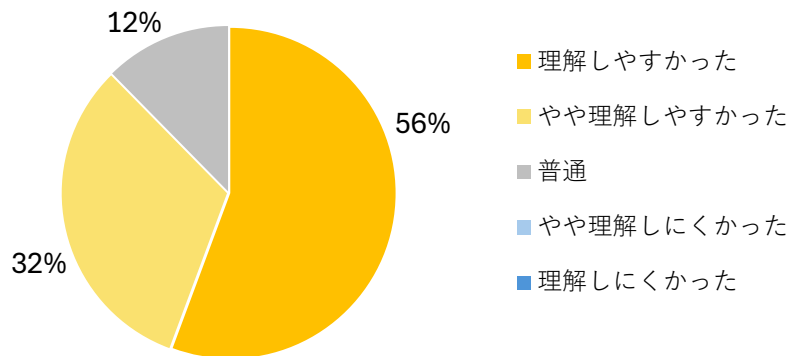
- ・家からなるべく近いところに通いたいから。
- ・興味がないから。
- ・地元が関東なため。
- ・大阪で働きたいからです。
- ・小樽市内で就職しようとは思っていない。
- ・地元に戻りたい。地元に戻る。(同回答3件)
- ・出身が大阪だから。
- ・卒業後は地元で働こうと思っているから。(同回答2件)
- ・就職したいような企業がなかったから。
- ・札幌、地元で働きたいからです。
- ・本州に戻りたいので。



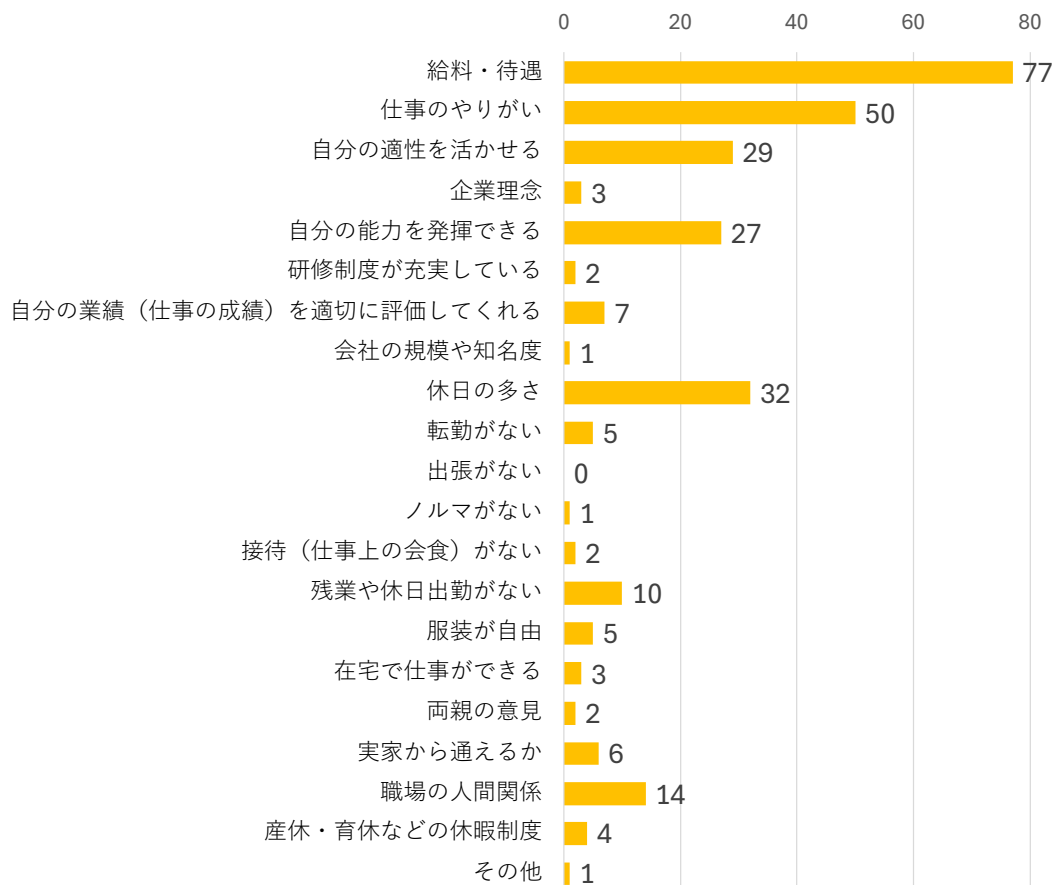
質問2. ※「やや不満」「不満」とお答えした方は理由をご記入ください。(記述回答)

- ・(1年生) あまり興味のある内容ではなかった。

質問3. 本日の説明会の内容は
理解しやすかったですか？



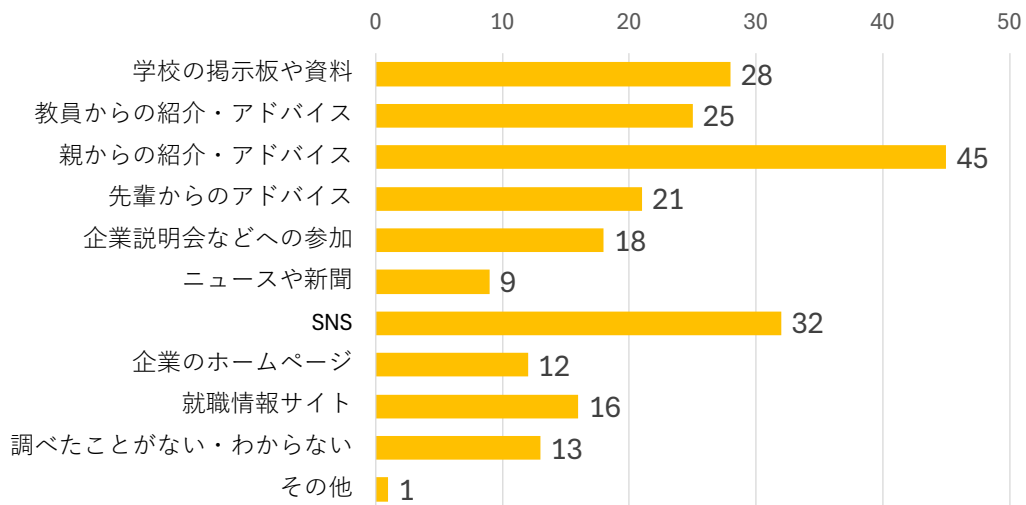
質問4. 就職先を考える時に、重要視していることは
何ですか？（最大3つまで）



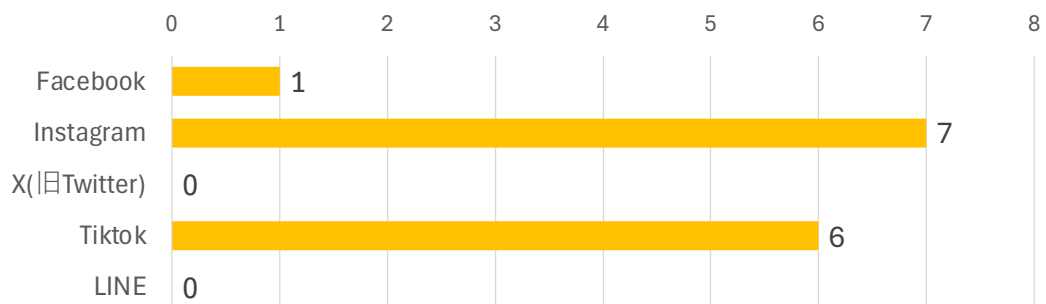
質問 4. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

- ・（1年生）楽しそうか、いい仕事かどうか。

質問5. 就職先を探す方法として当てはまるものをお選びください。（複数回答可）



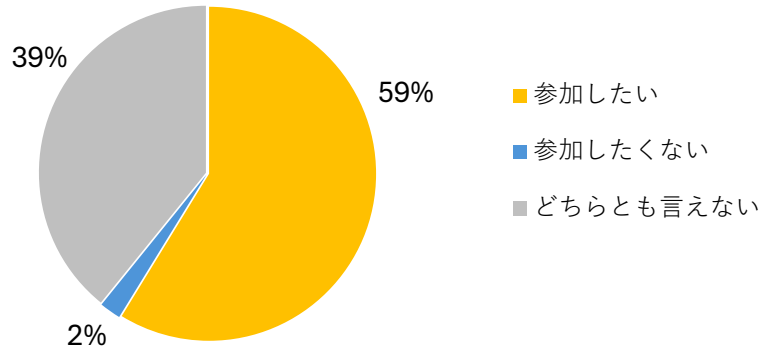
質問5-2. 質問5に「キ SNS」と答えた方の具体解答（複数回答可）



質問 5. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

- ・（1 年生） ネット。

質問6. このような形式の企業説明会には
今後も参加したいですか？



質問 6. 「参加したくない」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

- ・（1 年生）決めていた場所の説明を聞けなかった。
- ・（1 年生）よくわからないから。

質問 6 に対して、「参加したい」と答えた方の具体解答（記述回答）

- ・（1 年生）自分に合う企業が見つかるかもしれない。

質問 7. 質問を聞いた企業の感想をお書きください。（記述回答）

阿部建設株式会社

<1 年生>

- ・ 仕事の内容がわかりやすく、色々なところで役立っているのを知ることができた。
- ・ 休みもしっかりあって働きやすそうだった。
- ・ 防波堤や色々なデザインの家を作っていることがわかった。
- ・ 建設は時間がかかる分完成した時の達成感がありそうで、やりがいがありそう。

<2 年生>

- ・ 総合建築事業の説明を受けて土木に分かれていることや、ダム・駅などの生活に必要な施設の建設をしていることがわかった。大規模な工事を行うことが多い会社だと思った。
- ・ AI やドローンを利用して、最先端で活動しているんだと思いました。
- ・ 建設系の仕事って単純だと思っていたけど、複雑なこともあった。
- ・ 自分達の知っているマイクラを用いていたのでとてもわかりやすかった。
- ・ 高速道路でよく見る仕事だと思いました。
- ・ 自分の作った物が色々な人に使われるから、やりがいとか達成感がすごいと思った。
- ・ 建設の中の様々な職種があって、色々な人が関わっていることが知れました。
- ・ 施工管理の細かいところまで説明してくれました。

- ・建設業をやってみたいと思っていたから、すごく勉強になった。
- ・初めて建設仕事で働いてみたいと思いました。

株式会社エムデジ

<1年生>

- ・お客さんにもっと買って欲しいから、お客さんにかかる言葉もすごく大事だとわかりました。
- ・スマホなどの会社で、お客様への対応を知れて良かった。
- ・映像を使って説明してもらえたので、わかりやすかった。
- ・企業についてよくわかった。
- ・モバイルショップでの仕事とかはちょっとやってみたい。
- ・楽しそうな職場だと思った。
- ・職場の雰囲気がいいと聞いたので楽しく仕事ができそう。
- ・接客業なので楽しそうだったし、若者が多いから楽しそうだなと思った。

<2年生>

- ・困っているお客様の役に立てるし、働いていううちにスマホの使い方・ネットワークなど自分も知れる一石二鳥の職場だと思いました。レクがあり雰囲気が良いなと思いました。
- ・スマホの色々な機能がすごい。
- ・携帯について知れました。
- ・あまりスマホの機能とか詳しくは知れていなかったので、聞いて良かったです。
- ・スマホだけではなく、フィットネスなどもやっていたので凄いなと思いました。
- ・色々な機械の話を聞けて良いなと思いました。
- ・派遣会社との関わりを知れた。
- ・残業などを多くしたら給料がプラスになるというのがわかった。
- ・結構難しそうな仕事だけど、やりがいがありそう。
- ・イベントとか行事が楽しそうだなと思いました。
- ・とても裏側の仕事という感じで良かった。大変そうだった。

小樽市役所

<1年生>

- ・幅広い種類の仕事があり、自分の能力に合った仕事に就くことができる。
- ・市役所の仕事は自分が想像しているよりも多くの仕事があった。
- ・話を聞いていく中で、色々な職種があると知れた。
- ・色々な種類の仕事内容があって楽しそうだった。
- ・特別資格が必要な仕事ではないので、そこが良いと思った。
- ・自分はパソコンに向かう仕事は好きじゃないけど、市役所は色々できそうで良かった。
- ・色々な部署があってびっくりした。
- ・小樽の市民の人を支えているすごいなと思いました。

・声が小さくてあまり聞こえなかった。枝状に仕事に分かれており、色々な仕事ができるとわかった。公務員で安定していた。

<2年生>

- ・公務員について詳しく知ることができ、とても自分のためになった。
- ・市役所ではデスクの仕事だけでなく、幅広いことを仕事でしていることを知れて良かった。
- ・事務以外にも、ボランティアや様々な分野で活躍されているんだなと知ることができました。
- ・自分の将来就きたい職業が公務員なので、この話を活かしていきます。
- ・市役所にも色々な部署があるんだなと思いました。
- ・市役所にも色々な部署があり、デスクワークだけでなく自分の特性を活かした技術職があることを知りました。
- ・こういう仕事やりたくないと思った。
- ・地元のために働くのもいいなと思った。
- ・人のために働けるのがすごく良いと思った。
- ・事務の仕事だけではなく、交通整備や水道工事など色々な仕事があって面白いと思った。
- ・公務員なので民間企業よりも安定した高水準の収入を得ることができる。
- ・市役所とは住民の安全・快適な暮らしを支える仕事だというのがわかったのと、仕事の内容や役割が幅広いという事がわかりました。ただ技術職が保育士で限定されている。土日休みで働きやすい。
- ・小樽市役所はデスクワークや市民を住みやすい町を作る仕事。デスクワークは自分には向いていないと思った。
- ・組織の量がたくさんあり、それぞれの役職が色々なテーマを持ってやっていた。
- ・色々な役割があったり、専門をとらなきゃつけない職業があるので、やりがいがあり楽しそうだった。
- ・色々な仕事内容を知れて良かった。市役所の中でも色々な仕事があり大変そうだった。
- ・住民の安全・安心を確立させた仕事で、事務職と技術職に分かれていて、良い仕事・やりがいのありそうな仕事だなと思った。

小樽典礼株式会社

<1年生>

- ・仕事内容は葬儀全般が仕事と聞いて、詳しく聞いたら仕事内容の幅がとても広がった。
- ・仕事内容が多く大変な仕事で、でも資格を取る条件が普通車の免許を持っていれば取れるというのはとてもいいと思いました。
- ・お花を並べたり、難しい仕事なので大事さが物凄くわかりました。
- ・退勤時間が早くて良いと思った。
- ・みんなすごく明るい人だった。
- ・死んだ後について学べた。
- ・話を聞いていて、この仕事をやっている人はすごいなと思った。
- ・説明してくれる人に就職する時の話を色々聞かせてもらって、色々な所の話を聞いた方が良いと思

った。

- ・すごくわかりやすく会社の雰囲気も良いんだと感じた。

<2年生>

- ・他と比べて普通のお仕事ではないし、お客様の悲しい気持ちまで背負うと思うので、不安などが多い分、やりがいも感じそうだなと思いました。
- ・命や責任の重さについてを知らながら、相手への思いやりなどを学んだり、それを仕事としていくというのは凄いと感じました。聞けて良かったです。
- ・お客様の思いやりがすごいと思った。
- ・お客様への寄り添い方や思いやりが素晴らしかった。
- ・人が亡くなってそれを火葬する仕事。色々な綺麗な車に乗れたり、心が清くなったりできそうな仕事だなと思いました。
- ・あまりやりたい人がいないから、やりがいを感じる。誰かがやらないといけないから、大切だと感じた。
- ・典礼は亡くなった人をお葬式から火葬までサポートする企業。人には好まれますが、必要な仕事だと思いました。

株式会社かま栄

<1年生>

- ・創業から100年強で売上が20億も超えているのが凄いと思った。
- ・かまぼこの作り方を見て、手作りで一つずつ作っていたので驚いた。
- ・一つ一つ手作りで昔ながらの味を出しているのがすごい。
- ・どの時期によく売れて、何のかまぼこが売れているかがわかった。全て手作業で行っているのがすごいと思った。
- ・簡単そうに作っていたけど何年もかけてやらないとあのスピード感では作れないんだなと思いました。

<2年生>

- ・声があまり聞こえなかった。
- ・すべて機械ではなく手作りというところに、長年のこだわりを感じました。かまぼこを作り、商品としてもたくさんあり、人の手で行うというのが難しそうだなと思いました。
- ・難しい内容が一部あったと感じましたが、かま栄についてよく知ることが出来たので良かったです。
- ・機械に頼らず人の手でやっていることに魅力を感じた。
- ・機械に頼らず、人の手で作っていることに魅力を感じた。お客様からの信頼を保つためにも工場見学無料など素晴らしいと思った。
- ・製造している映像を見せてもらいながら説明してもらったので、面白かった。
- ・すべて手作業で作っているのを知り、すごい時間をかけて作っているのを知りました。
- ・動画を見たり話を聞いたりして食品関係の仕事に興味を持つことが出来ました。

- ・他の企業よりお金が貰える回数が多いのは良いなと思った。
- ・仕事量がとても多く大変そうだった。
- ・美味しそうでした。
- ・かまぼこが美味しそうでした。
- ・店舗が少ないのに売上が億を超えてるなんて凄いと思った。
- ・機械のデカさがとんでもなかったですけど、手作りですっかり作られていて感激しました。
- ・かまぼこの作り方や採用の仕方について、年間の休み日数について知った。とてもわかりやすく説明してもらえたので、参考の一つになった。

株式会社北一硝子

<1年生>

- ・プラスチックなどの石油製品がでてきたことにより、ガラス製品が使われなくなってきた中で、ガラスの良さを伝えるため工夫して製品を作っていることがすごいと思った。
- ・季節に合わせた商品を作るなどの工夫をしていてすごいと思った。
- ・難しそうだった。
- ・コップやガラスについて詳しい話をしてくれた。
- ・レストランがあったのが知らなくて行ってみたいと思った。
- ・ガラスを売るためにお客さんのことをたくさん考えていた。どうやったらお客さんに気に入ってもらえるかなどたくさん考えていた。
- ・ガラス工場で製造販売だけではなく宣伝して客を集めていて、人気商品も変わりがらだがある。
- ・北一硝子のガラスは小樽の色々な場所で作られていると初めて知った。年々ガラスが使われているところが少なくなっているのに、必要とされることが思っていたより多かった。
- ・小樽といえばガラスと思わせるような綺麗なガラスのランプや、小樽駅にも北一硝子のものがあったり、とてもすごいと思いました。

<2年生>

- ・自分でデザインを考えたり、接客や販売など様々な仕事できて良いなと思いました。
- ・硝子のデザインや広告を作るのが面白そうだった。将来販売業や接客業に就きたいと思っていたから良いなと思った。
- ・昔は電気がなくランプが使うことが多くて売っていたが、今では電気があるので売れなくなったのに、そこから視点を変えて綺麗なものなど色を使って、欲しいと思わせられるように作り上げていてすごいと思った。
- ・ガラスがとても綺麗だと思いました。
- ・色々なものを作ったり、販売できて色々なやりがいがある。
- ・高い値段でずっと続けられる方法を知れた。
- ・ガラスについて知れて嬉しかった。ガラスのコップを見させてもらったら、めちゃめちゃ綺麗で良いなと思いました。
- ・仕事内でも自分のオリジナルのビンだったり作れる。伝統的なものがあったってよかった。

クリロン化成株式会社

<1 年生>

- ・使っている袋について説明するだけでなく、実際に使わせてもらえたから効果がすごく感じられてよかった。
- ・あまり目立つ仕事ではないが、一つ一つの食品や物を引き立てるような物を作っていて、こんな仕事もあるんだなと思いました。
- ・商品に合わせて光沢がある袋にしたり、工夫がされていてすごいと思った。
- ・においが漏れない袋があって、その袋に入れると何のにおいも漏れないので、野球の時に使いたいと思いました。
- ・クリロン化成では食品フィルムなどを作っていて、食べ物の硬さなどに合わせてフィルムを作っていることがわかりました。
- ・においを感じなくなる袋はとても便利だと思った。
- ・圧縮の作業のことを細かいところまで聞けたり、会社の中のことまで聞けたので、これからすごく役立つと思いました。
- ・フィルムについて詳しくなった。
- ・クリロン化成では食品フィルムを作っていて、そのフィルムは一枚に見えて何枚も薄いフィルムで張り合わせているのだと知った。
- ・袋のありがたみがわかった。
- ・身の回りにある有名な物の袋を作っていて、楽しく話を聞くことができた。
- ・自分達が身近に使っている物がここで作られているんだと思った。

<2 年生>

- ・色々な種類の袋があるんだと知った。
- ・少し声が小さく聞こえなかった部分もあるが、説明を聞く限りだと業績が右肩上がりの景気がいい会社だと思った。
- ・科学の部分が全くわかりませんでした。

株式会社健康倶楽部

<1 年生>

- ・小樽市内に 4 つの施設があり、地域の人たちに多く利用されていることがわかった。また、保育園との交流もあるため、多くの年齢層とも関われる仕事だとわかった。
- ・すごく丁寧に説明してくれて、内容がわかりやすかった。車椅子の体験もできて、良い経験になった。
- ・色々な人が仕事できるようにしたよりよい物だと思いました。
- ・お年寄りのことをどうやって健康で楽しく暮らせるかたくさん考えていてすごかった。
- ・パンフレットに写っているお年寄りの方々が楽しそうで、いい会社だと思った。
- ・車椅子体験をさせてもらった。

- ・とてもいいことを知った。
- ・車椅子大変そうだった。
- ・おばあちゃんなど幅広い年齢の方と接することができる。とても良い社会経験になると思う。
- ・お年寄りの人を面倒見るのが大変そうだった。

<2年生>

- ・季節などに合わせて色々な行事をやっていて楽しそうだなと思いました。手先の訓練としてゲームをやったり、楽しめることがたくさんあってためになることばかりだと思いました。
- ・車椅子に乗れる体験があって、話を聞いているだけではなくて体験があるのは良いなと思いました。地域の子どもたちや犬と触れ合えるという制度はすごいなと思いました。
- ・介護の仕事は大変だと思うけど、とてもやりがいがある仕事だと思った。
- ・大変な仕事だと思うが、新卒でディズニーに行けたりレクがあったり、行事がありキツイだけではないんだなと思いました。
- ・こういう仕事があるから小樽市が平和になってくれる。
- ・介護について詳しく知ることができ、聞いていてとてもわかりやすかった。
- ・楽しそうだった。
- ・お年寄りを支える仕事、遊んだりイベント系がたくさんある。ディズニーなどにいって会話をして話す時間がある。
- ・介護の仕事についてみたいと思いました。
- ・高齢者の介護は大変そうだけど行事などのイベントは楽しそうだと思った。

株式会社産鋼スチール

<1年生>

- ・とても高度な技術でやっているから、難しそうだと思った。
- ・家から通いやすくて雰囲気がとても良かったと思います。鉄にはあまり触れ合ったことがないので、新しい発見があるのかなと思いました。
- ・たくさんの仕事があることを知った。
- ・新商品を発明したりとすごくやりがいがありそうだなと思った。

<2年生>

- ・工場の仕事は危ないなと思った。
- ・企業説明をしてくれた方がとてもフランクな感じで話してくれて、緊張せず話を聞けた。説明がわかりやすく、少し興味が湧いた。
- ・興味深い仕事があったのでやってみたいと思った。
- ・仕事をこれから先も続けられるようにするために、若い世代の人達も仕事をしやすいような環境を作るために、たくさんの意見を求めている、それを改善するためにたくさん考えていて、社員思いな会社だと思った。
- ・色々な物や鉄や道具があり、興味がありました。

- ・色々な物や鉄を作っていて、ガソリンスタンドの下の部分の物を作っているのを聞いて驚いた。

西條産業株式会社

<1年生>

- ・建設するのにあたって、紙以外にも VR で実際にリアルで（好みを）選べるのに驚いた。
- ・西條産業は、今時の VR 映像で自分好みの家に出来ることもわかった。
- ・震災の時に活躍していてすごいと思った。
- ・自分には難しい話だった。
- ・詳しくスライドショーと一緒に紹介してくれた。
- ・仮設宿舍などを建築していて生活の補助をしていたり、VR で家を見ることもできていて、とても近代的だと感じた。
- ・VR で家を見れた。
- ・幅広い仕事内容、自分のやりたい部門を選んで就職できる。人の人生設計に協力できる仕事。
- ・お客のことを考えた VR などを取り入れていて驚いた。会社の中でもたくさんの種類の職があった。
- ・お話を聞いて、とても興味深かった。特に家を建てる前に VR で完成したものを立体的に見れる。
- ・建築業でも色々な種類があるのだなと思った。

<2年生>

- ・説明がまとまっており、わかりやすかった。発注者に家のデザインを VR で見せるシステムがあり、新しい発想だと思った。
- ・VR で実際に家を見に行っているかのようにできるのがすごいと思いました。
- ・建築・プレハブ・商事部門と3つあり、それぞれの仕事内容がわかりました。
- ・小樽・札幌・銭函の3つに出店。建築に興味なかったが、西條産業さんのお話を聞いてやってみると興味が出た。

新日本海フェリー株式会社

<1年生>

- ・客を大切にしていると思った。
- ・災害などがあると、みんな新日本海フェリーを使うことがわかりました。とても大事な役目をしていることを物凄く感じた。
- ・難しそうだった。
- ・仕事内容などフェリーのことを詳しく話してくれた。
- ・独身寮もしっかりとあって素晴らしいと感じた。
- ・会社から出るご飯や部屋があって、生活面に困らなさそうだなと思った。
- ・面白そうだった。
- ・一人で生活するなら全然問題なさそうだなと思った。
- ・少し興味が湧いた。
- ・新日本海フェリーとはどういう企業なのか詳しく説明してくれてとてもよかった。そして、仕事の

中で事務やフェリーに乗る人など、様々な種類があった。

- ・フェリーに乗ったことはあるけれど、仕事内容はわからなかったから知れて良かった。
- ・すごい面白そうだった。
- ・会社の規模を知れた。
- ・フェリーの人は船に乗る人と受付をする人がいて驚いた。近くに住む所があり、朝食も出て快適そうだった。人2割・物8割の売上に驚いた。

<2年生>

- ・自分に向いているかわかりません。
- ・遠征などで利用していましたが、まだまだ知らない設備やサービスがあり、興味深かったです。
- ・長時間でネットも繋がらず暇な人も多いと言っていたが、フェリーの中でも楽しめるところがたくさんあって工夫がすごいと思った。
- ・フェリーだけではなく、ホテル・運搬などもやっているのがわかった。
- ・フェリーについて知れて良かった。
- ・フェリーの中にいる従業員の人がどのようなことを行っているのか、お客様へのサービスなど満足できるように工夫していてすごいと思った。
- ・将来船についての仕事に就きたいと思いました。
- ・遠征などでいつも使っているフェリーがとても奥深くてびっくりしました。
- ・たくさんの人を船に乗せて海の上を走るには、たくさんの方の協力が必要で、その中でも家族サービスをする時間を取ってくれるなどとても関心が湧きました。
- ・フェリーの中のご飯やルームなどがすごい良くて安定した働きが出来るというのがよかった。

株式会社トーモク

<1年生>

- ・動画でダンボールの製作過程や会社の規模もわかったから良かった。
- ・海外にも会社があってすごいと思った。段ボールを作る工程が面白かった。
- ・手作業でなく、機械を人が操作して作っていることがわかった。
- ・トーモクは主にダンボールを扱っていると知った。
- ・段ボール会社で世界にも二か所だが支店がある。
- ・カップ麺やビールや Amazon などの段ボールがここで作られていることを初めて知った。
- ・あまり聞いたことがなかった企業だったけど、大きい会社で色々なところに会社があってすごいと思った。
- ・自分達が普段使っている段ボールが日常生活にあって、色々な人が自分達の身の周りで役に立っているんだなと思いました。

<2年生>

- ・機械で段ボールを作っていてすごいと思いました。
- ・会社がでかい、世界的に有名、札幌駅から約30分のところにある。大きい規模で意外とやりがいがある。

ある。

道央エンジニアリング株式会社

<1年生>

- ・街の水を循環させるために、下水から綺麗な水になるまで、色々な苦労があることを初めて知った。
- ・結構表に出ない仕事でつまらなそう。
- ・下水道の大切さを知った。
- ・汚そうだったけど、すごくやりがいがあった。
- ・当たり前を実現させるのがすごいと思った。
- ・下水道処理場など身近であまり見ることのできない職場であまり知らなかったが、話を聞いてすごいと思った。
- ・山にある水などをきれいにして、町にある家に水が行き渡っていることがわかった。
- ・SDGsに取り組んでいて、表に出る仕事ではないが、陰でしっかりと市民のために働いているのがすごいと思った。
- ・水道会社でどんな仕事やどのような内容かを知れた。いつも自分達の生活を支えてくれている。
- ・表では目立たない職業だけど、この会社がないと成り立たないということが、今回の説明を聞いてわかりました。
- ・普段、水道水が綺麗に出てくるのは、この会社が綺麗にしてくれているから過ごせているんだなと思いました。

<2年生>

- ・人生で一番使う水を綺麗にする仕事。汚い水を何気なく使っている水道水にする。このことは絶対に必要だから大切な仕事だなと思った。
- ・あまり知られていない仕事だけど、みんなが使っている水道水を作ってくれていることを知りました。
- ・とても大変そうでした。
- ・水を綺麗にする話を聞きました。小樽の水は綺麗なので感心しました。
- ・みんなが当たり前で飲んでいる水のことは水道局の人たちが毎日 365 日 24 時間管理してくれているのを聞いてとても興味を持つ事ができた。

株式会社新倉屋

<1年生>

- ・会社の特色やモットー、仕事内容について詳しく説明してくれて、わかりやすくてよかった。
- ・お客さんにどう商品をみせるのかと工夫がしてあってこだわっているなと思いました。
- ・団子が1日しかもたないことから、毎日団子をつくらなきゃいけなくて、とても大変だと思いました。
- ・自分はもちが大好きで、もちのことも味付けのことも細かいところまで聞けたのですごく良かったです。

- ・団子が1日しかもたないから毎日作っているんだと知れた。
- ・近くにお店があるので、行ってみたいと思った。
- ・歴史のある素晴らしい企業だと思った。

<2年生>

- ・この色々な一人ひとりの役割と工程を経て、色々なお菓子や花園だんごなどが作られるんだなと思いました。
- ・パートやアルバイトさんの方が多いのがびっくりしました。働きやすいと感じました。
- ・美味しそうに見えた。
- ・季節毎にお菓子が変わるのはいいと思った。説明や働いている人たちの声を聞いて働きやすそうだなと思った。
- ・小樽は和菓子やレトロな感じのお店が多くあり、その代表的なお店が色々な工夫をして、店を成り立たせていることがとてもすごいなと思いました。
- ・朝の仕込み作業が大変そうだなと思いました。
- ・すごくおいしくて、また行ってみたいと思った。
- ・あまり興味が湧かなかった。
- ・おだんごが美味しそうでした。色々な和菓子がありました。会社の組織の形がよくわかりました。
- ・だんごの作り方を見れた。
- ・応募から約一週間で説明会に参加できるので、動きが早いと思った。
- ・前日の仕込みや発注作業やお土産としての考え方の工夫など、とても丁寧な仕事だと思った。

北海道技建株式会社

<1年生>

- ・仕事量や仕事をする時間によって休みの数が増えたりと、働く人にとって嬉しいなと思いました。
- ・道路に引かれている線は、その日の天候や、人口密度に合わせて作業している事を聞いて、自分の知らなかったことがわかったのですごく良かったです。
- ・道路の線やオリンピックマラソンで使う線を引いていて、今度から引いてある線を見るようにする。
- ・技術が評価されるのが良いと思った。
- ・道路の安全を陰ながら保ってくれている。道の修理や補強。
- ・道路の白線を引く仕事と聞いたりして、でも自分はコミュニケーション能力が低いので難しいと思いました。
- ・交通インフラ整備で社会の役に立つことや、資格を取るサポートをしてくれたりして良いと思いました。

<2年生>

- ・ここなら人の役に立って、やりがいがありそうです。
- ・自分達が生活する上で、目立たないけど絶対に必要なことをしていたので、こういう仕事もあるんだなと思いました。

- ・小樽だけでなくオリンピックとかでもやっているのはすごい。
- ・道路を直すのもあって労働時間は長いけど、やりがいがある仕事だなと思った。

社会福祉法人北海道宏栄社

<1年生>

- ・障がい者だからといって働けないのではなく、その人達にも出来るように工程を教えて、共に支えながら仕事をしているところがあるということを初めて知ったから良い経験になった。
- ・障がいをもっている方でも働ける場があるのはとても良いと思った。
- ・説明の仕方がとても丁寧だった。
- ・障がいを持っている人でも、働いてお金をもらったりすることができるのはいいなと思いました。
- ・説明してくれた人もすごくいい人で仕事が楽しそうでした。

<2年生>

- ・やりがいを感じていて良い仕事だなと思いました。どうやったらできるようになるかを考えるというのはすごいなと思ったし、楽しそうだなと思いました。
- ・自分にはあまり関係ないことだけど、色々な仕事があるんだなと思いました。
- ・自分がやりたい仕事に近い話が聞けた。

株式会社北源

<1年生>

- ・独自のブランドで商品を作り、全国に広めているのがすごいなと思いました。
- ・セコマグループで作っている商品の味の源となるつゆなどを作っていることがわかった。
- ・セイコーマートの食品のことを聞いて、意識していなかったこともすごくこだわっていることがわかって、細かいことも意識してみようと思いました。
- ・セコマは北海道にしかないことを初めて知った。
- ・セイコーマートのホットシェフや商品を考えていてすごいと思った。

<2年生>

- ・もう少し給料上げてほしいです。
- ・セイコーマートの食品を作っている企業だということを知り、企業の中でも3つの工場があることを知りました。
- ・お客さんに商品を売るまでの行程を理解することができました。また、工場の場所が自分の家から近かったので、見てみたいと思いました。
- ・セイコーマートの他に3つのコンビニをやっているのがわかった。
- ・一番身近にあるセイコーマートで知らない部分を知れたり、自分達のもとに届くまでにどれだけの人がたくさん苦労しているのかを知れた。
- ・色々知らないことを学べました。
- ・食品を作ったり、箱に詰めたり、色々な仕事があって楽しそうだった。

- ・自分の作ったものが地域の人に貢献していてやりがいがある。
- ・色々な仕事があり、若い人からお年寄りまで色々な人が働けていいなと思いました。
- ・給料面や休日日数が充実している。
- ・北限は工場でセイコーマートでよくみる食品を作っている企業。自分には食品を袋に詰める作業などは向いていないと思った。
- ・説明がわかりやすかったです。何をしているのか、どんな仕事をしているかわかりやすく教えてくれました。
- ・セイコーマートに並んでいる弁当一つ一つに色々な工夫などがされていて、考えられている仕事だと思った。
- ・セコマは 175 市町村が出店されていて、栄えてない町にもあるというのが顧客ランキング一位の理由なのかなと思った。

北海道中央バス株式会社

<1 年生>

- ・運転するだけが仕事かと思っていたけど、自動車整備もあると聞いてびっくりした。
- ・定年が 65 歳と言っていたので 5 年くらい多く働いて稼げるのはいいなと思いました。若い人が多いと言っていて良いと思いました。
- ・従業員の数に驚いた。
- ・面白そうだった。
- ・バスの整備士という裏で支える仕事もあることを知れて勉強になった。
- ・個人の能力によって立場が大きく変わるので、仕事量や給料は個々の技術力や能力などで変わる。
- ・バス会社だけでもその中に修理専門などがあって、その中にある待遇も良かった。
- ・自動車整備士 2 級の資格を取るためにお金を出してくれたり、またプライベートでバスに乗る時無料になるのがすごいと思った。
- ・運転手や整備士の仕事や、会社にどのくらいの人数がいるのかわかって良かった。仕事内容がわかりやすかった。
- ・どういう免許が取れるのかがわかった。

<2 年生>

- ・お仕事での給料の仕組みなどについてたくさん聞けて良かった。
- ・バスの代車・乗務員の不足で大変な中、一人ひとりの運転が大事だなと思った。自分も乗っているので迷惑かけないよう気をつけたい。
- ・資格を取る費用を会社が出してくれるのはすごいと思いました。日頃から利用しているので興味を持つことができました。
- ・運転手だけの仕事だと思っていましたが、整備の仕事もあるんだなと思いました。
- ・シフトの工夫がとてもわかりやすかった。
- ・いつも使用している中央バスで詳しくどのようなことをしているのか、取らなければいけない資格など、それを取得するために会社がどれだけサポートしてくれるかなどを知れた。

- ・とても話を聞いて興味が湧いてくる会社でした。事業内容などとても良いなと思った。資格などもたくさん取れておいしい話がたくさんあったと思いました。
- ・色々な免許を取れることを知った。
- ・免許取得費用が免除されるのがとても魅力的だった。
- ・バスの乗務員が千人以上いて、整備員が百人もいないことに驚いた。
- ・色々聞けて嬉しかった。バスの運転手はとても大変そうでしたが、やってみると面白そうだなと思いました。
- ・1日のスケジュールがしっかりしていたり、家族がバス無料で乗れるということにびっくりした。
- ・意外と年収の高いしバス乗り放題はとても良いと思いました。
- ・企業の仕事内容、お金について、大学の金の支援サービスについて知った。免許を取れるというメリットや、国家資格を取れるので5年後の参考になった。

医療法人社団 青優会 南小樽病院

<1年生>

- ・患者の9割が内科の人だと聞いて驚いた。
- ・人との関わりが重要になってくる仕事で楽しそうだった。
- ・安定した収入や仕事ではあり需要はあるが、仕事内容があまり自分には適さないと思った。
- ・仕事の内容や流れなどがわかった。
- ・自分が怪我した時に行く場所だから説明を聞こうと思い、行って、とても綺麗でスタッフも優しいのですごい場所だと思った。
- ・高齢者の介護やリハビリなど、入院している人やリハビリに来ている人が満足して生活できていそうな病院だと思った。
- ・病院で働くのは大変だと思った。
- ・病院の1日の流れなどがわかった。
- ・入院している人がたくさんいて、一人ひとりのことを心配しながらご飯の準備とかおむつの交換とかをされていてすごいなと思いました。
- ・主な仕事の内容がわかって大変だと思った。命を預かっていてすごい仕事だと思った。

<2年生>

- ・色々な仕事内容があるんだなと思いました。
- ・もう少し他の話も聞きたかったです。看護師についてとかどんな科があるとか知れたら良かったなと思いました。高齢者の人が多いのだなと思いました。
- ・日勤・夜勤があって大変な仕事だと思った。
- ・資格取得を目指しながら働ける制度など、その会社により様々な制度があることを知れた。
- ・休みの無いイメージだったが、かなり休みが多くて驚きました。
- ・人の体で命が関わっている中で、その与えられた場所を一生懸命が伝わってきた。シフト制でいいなと思った。
- ・病院での仕事内容を知れた。

- ・体的にきつい所はあるが休みもある、夜勤があつて 16:30～9:15 まで働くことになっている。
- ・仕事内容が多く大変そうだけど、なかなか潰れないと聞いたので安定した職業だなと思った。

株式会社ミツウマ

<1 年生>

- ・休みが多かったり、職場の雰囲気が良さそうだった。
- ・会社が小樽にあり、近いというのが利点で、冬になってくるほど忙しくなると思っていたので、仕事のやりがいがあるかなと思います。
- ・ミツウマは、今年で創業 105 年も続いていることに驚きました。とても歴史が深いと思ったのと、日本で最初にゴムを作ったのはミツウマだということもわかりました。
- ・日本で最初のゴム長靴を作ったと聞いて驚いた。
- ・プライベートの時間が多くて、いい会社だと思った。
- ・面白そうだった。
- ・日本の中でもでかい会社で、休みが多くすごくホワイトな会社だった。
- ・昔からゴム長靴を作っていて、社員の働きやすさを重視しているのが伝わった。
- ・日本で一番にゴム長靴を作った会社。ほとんど残業がないことを知ってびっくりしました。
- ・プライベートの時間を確保できるから、休みを充実できそう。
- ・スタッフが優しく、喋りやすく、仕事内容も楽しめそうで良かった。
- ・職場で働いている人のプライベートの時間もあっていいと思ったし、働いている人の健康状態などの管理などがしっかりしているのでいいと思った。
- ・話す人が元気で聞きやすかった。休日もいっぱいあり、残業がゼロでホワイトだった。夏は暑いが、のんびりできると言っていた。

<2 年生>

- ・とても仕事しやすい環境だと思った。
- ・小樽の歴史・有名人などに携わっていてすごいなと思いました。
- ・日本で初めての長靴メーカーで、現在もたくさんの人が使っていることがわかりました。ミツウマには特許を取得している技術があり、札幌ドームの移動式天然芝を支えているのもミツウマということを知りました。
- ・しっかり技術を活かしていて良いなと思いました。
- ・長靴について知ることができた。話しやすかった。
- ・休みなども充実していて、自分のしたいことをやりながら働けるから良いと思いました。
- ・色々な長靴を作っていて、日ハムの新庄監督など有名な人の長靴も作っていて、いいお店だなと思いました。
- ・日本で最初にゴム長靴を作ったゴム製品の総合メーカーだから、歴史のある会社だと感じた。
- ・ミツウマはゴム製品などを多数取り扱っている企業。お給料や休日の多さなどを聞いてやってみていいと思った。

ワタキューセイモア株式会社

<1年生>

- ・手術の道具を扱ったりしていることがわかりました。とても大事な役目ということもわかった。
- ・ホテルや医療関係で活躍していてすごいと思った。
- ・すごいやりがいがある仕事だと思った。福利厚生がすごいと思った。特に子育て応援がいいなと思った。
- ・リネン類のものを洗濯をして貸していて、手術道具の洗浄滅菌も行っていてさすが業界一位だと思いました。
- ・企業として安定していて、覚えることもあるがそこは頑張れるので、4つの中で一番自分に適していると思う。あと会社からの紙オムツの支援が大きい。
- ・病院やホテルなどのサポートをしているところすごい大変だと感じた。縁の下の力持ちだと思った。
- ・裏方が大事だと思った。
- ・大手企業ということがわかった。

<2年生>

- ・病院でのサポートとして様々な仕事があってすごいなと思いました。資格も取れたりして良いなと思いました。
- ・病院や宿泊施設に布団などを貸し出ししたり医療器具などの洗浄などとても大切なお仕事だなと思いました。福利厚生も自分的には優しいし、働きやすいなと思いました。
- ・話を聞いた企業の中で一番良いと思った。病院をサポートする仕事の話聞いてみて、とても気になった。
- ・病院に関することについてとても興味があるので、聞いていて興味が増しました。丁寧でわかりやすく、とても良いと思いました。
- ・色々な仕事があると思った。
- ・8:30～17:30 勤務。入社後は、三ヶ月研修を行い、工場内のすべての部署を回ります。その後、本人と面談を行い配属部署を決定します。
- ・認知していなかったが、全国を支えているすごい企業ということを知った。育児のサポートも魅力的だった。
- ・病院などのシーツは病院の物ではないのがびっくりした。
- ・長く続いている会社ですごいと思った。ホテルなどのタオルはここから来ていると知った。
- ・リネンとは何かと聞いたところ、布類の物で、152年の創業で凄いと思った。

質問 8. 今回の説明会に関するご意見・ご感想をご記入ください。(記述回答)

<1年生>

- ・今回の説明会で、色々なことを学べたので将来に活かしていきたいと思った。
- ・いい体験ができて良かったです。
- ・それぞれの企業での仕事が知れて良かったです。

- ・知らない企業を知れて良かったです。
- ・今回説明を受けて、正直声が聞こえない時があったので、もっと工夫が必要だと思いました。
- ・どの仕事にも様々なやりがいがあって、話を聞くのが楽しかった。
- ・とても勉強になった。
- ・選択肢が広がって良い企業説明会になりました。
- ・社会について少し知れた。
- ・それぞれの企業で色々な特徴や違いがあると知れた。
- ・自分のことについて考えることができた。
- ・色々な企業がやっていることがわかった。
- ・貴重な話を聞けて良かったです。
- ・今は色々な職業があった。一つ一つの職業が社会に貢献していて、必要のない職業なんてないのだなと思った。
- ・あまりない体験をさせてもらって良かったし、いい話を聞いたと思う。
- ・今回の説明会で自分の身になった。今回の説明会を自分のこれからに活かしていきたい。
- ・色々な会社の説明を聞いて、小樽の会社にも目を向けることができた。
- ・色々な会社の話を聞けて良かった。
- ・とても参考になった。
- ・小樽だけで色々な仕事があるのだなと思いました。
- ・色々な仕事があり、それぞれのやりがいを持っていて、その仕事をしている方々のおかげで自分達が生活できていると思った。
- ・どの企業さんも丁寧に教えていただいたので、とてもわかりやすく楽しい時間になりました。
- ・あまり今後のことは考えてなかったけど、今回の色々な話を聞いて少し実感が湧きました。
- ・色々な企業さんの話を聞いて、将来働くための参考になった。
- ・色々な仕事があるということが知れて良かった。
- ・今回の説明会で、自分の将来の選択肢が広がったと思った。
- ・すごく今後の未来に繋がるお話でした。
- ・小樽の企業がいっぱいあることがわかりました。
- ・色々な仕事があって、どんな仕事をしようかなと思いました。普段、普通だと思っていることも誰かの支えがなかったら普通に使えたりしないのだなと思いました。
- ・自分が思っていた仕事以外に色々な仕事があり、可能性が広がった。

<2年生>

- ・将来参考になる説明会だと思いました。
- ・色々な企業について知れて良かったです。市役所の話を聞けなかったので少し残念でした。
- ・とてもいいお話を聞かせていただきました。
- ・自分の将来の参考になった。
- ・ダンスにしか興味がなかったですが、聞いて視野が広がりました。
- ・とても参考になった。

- ・また今度こういう機会があればぜひ受けない。
- ・全体的に時間がないと思った。説明はわかりやすかったが、給料や年何日休日があるかなどの説明が欲しかった。
- ・色々な企業があって選択肢の多さに迷った。
- ・もう少し自分で向いているところを調べます。
- ・今回の説明会を通して、自分が将来就職活動をするときに役立つ情報を学べて良かったです。
- ・色々仕事の話聞いて、普段自分達は何気なく使っている水道水や道路に書いてある白線など、その道のプロの人たちがいてこそ、自分達が不便なく過ごせているなと思いました。
- ・職業の説明の中で、自分達に対して気になる分野など聞いてもらってから話していただいた方が自分達が望んでいる分野について聞くことができますと思います。(例：医療系だったらどの分野(看護なのか薬剤なのか))
- ・色々な仕事があることを知りました。
- ・どうすればわかりやすく理解してくれるのかなどすごく工夫していてすごいと思った。ペンなどプレゼントなどあって嬉しかったし良かった。
- ・進路・就職を決めるにあたってとても参考になる話を聞くことができたので、この経験を活かしてこれから将来のことを考えていきたいです。
- ・色々な企業の様子を見て、とても自分のためになったなと思いました。
- ・色々な企業の話聞いて、今後の自分のためになる話を聞いた。
- ・もっと色々な企業を知りたいと思いました。
- ・自分の知らないことが学べたので良かった。
- ・新しい発見をすることができて良かった。
- ・「自分のために」より「人のために」働くのが大切だと思った。
- ・たくさんの企業さんのお話を聞くことができ、これからの自分の人生を決めるにあたってとてもプラスになったと思いました。
- ・良い経験になった。
- ・とても良い勉強になりました。
- ・言葉がハキハキしていてとても聞きやすかったです。
- ・面白かった。教員以外の仕事にも興味が湧いた。
- ・とても良かったと思いました。
- ・色々な企業の話聞いて良かった。
- ・ためになった。
- ・もっと色々な事を聞きたいと思いました。
- ・より自分の進路に対する知識が深まりました。
- ・一つ一つ説明が細かくわかりやすく教えてくれました。
- ・自分の行きたいところがなかった。
- ・色々将来について良い事が聞けたので良かったです。この話をこれからの人生に活かしたいと思います。
- ・説明がわかりやすく、意見も言いやすいし相手側から話をしてくれるし、その説明も細かく話し

てくれて聞きやすかったです。

- ・どの企業も素晴らしい企業説明をしてくれ、自分も選択肢が広がったと思いました。
- ・進学した後のことを考えていきたいです。
- ・あまり質問できなかった。
- ・説明がわかりやすかったです。また行きたいと思いました。
- ・4つの説明会を聞いてどの仕事もやりがいがあって楽しそうと思った。
- ・自分の将来の職業選択の幅が増えてとても良い経験だった。これからもその幅を増やし続けたいと思った。
- ・資料もとても面白くて良い人ばかりで楽しかったです。職業の幅が広がりました。
- ・自分の将来の幅が広がった気がして良かった。
- ・もっと他の社会のことについても聞いたり質問していきたいです。

〈第4回〉企業アンケート 参加企業数 計21社 うち集計数13社

【問1】今回の企業出前説明会において、御社を受けた生徒数とその際の企業説明の内容を簡潔にご記入ください。

企業名	生徒数	企業説明内容
株式会社かま栄	22名	・弊社の歴史、仕事の案内、休日等の福利厚生の説明等
株式会社ミツウマ	24名	・会社の概要と大まかな業務内容について。
クリロン化成 株式会社	16名	パワーポイントに沿って会社説明、実包サンプルを手にとって貰い製品の説明。臭わない袋 BOS のにおい体験など。
ワタキューセイモア株式会社	18名	・リネンサプライ事業とは ・ワタキューセイモアとは ・職種、福利厚生
小樽市役所	28名	・市役所の業務について ・市役所職員に採用されるまでの流れについて
道央エンジニアリング 株式会社	20名	・資料：会社案内、PRパンフ、参考資料（水の循環、下水処理場のはたらき） ・浄水場、下水処理場の維持管理を通して、目立たないが、24時間、365日皆さんの暮らしを支える「縁の下での力持ち」のような仕事。業務に必要な資格等の取得を勧める。
株式会社北一硝子	10名	・会社の説明：創業時より硝子で日用品を製造販売。灯油ランプ、漁業用の浮き球など。現在は、硝子を通して「豊かな暮らしの提案」を行っている。 ・「総合職」の仕事内容：接客を大切に、お客様の声を聞き、商品開発、販売促進策の強化改善。経験を積んでいき、【商品担当】を持ち在庫管理。商品の発注案 発注数だし 販売方法の検討・実行。【展示】【広告】企画立案・実行・改善を行う。更に経験を

		積んで【マネジメント】を行う。
北海道技建株式会社	17 名	会社の概要、仕事内容、福利厚生、1 日の流れ、現場見学会から入社後の研修までの流れなど。
社会福祉法人北海道 宏栄社	12 名	・福祉についての説明 ・会社概要
新日本海フェリー 株式会社	24 名	・会社概要（設立年月・業務内容・売上高・従業員数・営業拠点等） ・入社した場合に従事する業務内容 ・独身寮、社食等の福利厚生内容
小樽典礼株式会社	15-20 名	葬儀の流れ、仕事内容等
北海道中央バス 株式会社	24 名	整備員職と養成乗務員職の仕事について、待遇について、会社概要
医療法人社団青優会 南小樽病院	23 名	当院の病院案内と介護職員の日勤業務及び夜勤業務の流れについての説明

【問 2】 今回の企業出前説明会に参加した感想をご記入ください。

- ・まだ、進路等も決まっていない段階の生徒さんが多かったので、通常通りの会社説明をして、終わった感じでした。（株式会社かま栄）
- ・現役の高校生と話す機会が中々無いので今の高校生がどんなことを考えているかなど身をもって感じる事が出来ましたのでとても良い経験になりました。また、小樽市内の地元企業様ともご挨拶が出来ましたのでとても感謝しております。（株式会社ミツウマ）
- ・業界や企業について知っていただく良い機会となった。参加できない生徒がいて残念でした。（ワタキューセイモア株式会社）
- ・普段、高校生と話す機会があまり無いので、市役所に対してどういった認識でいるのか、興味や関心、疑問点を直接聞くことができ、非常に有意義でした。また、意見交換会において、生徒の進路の傾向など実態を知ることができ、大変参考となりました。（小樽市役所）
- ・若い人たちと話す機会があまり無いので、会社の PR 等、貴重な時間をいただいたと思っています。高校 1、2 年生の段階では、まだ、就職することに「あまり興味がない」ように感じました。また、本市出身の生徒が少ない中で、次の進路後、小樽での就職は極めて少ないものと考えられ、どのような PR 又は説明が効果的なのか検討が必要と思いました。（道央エンジニアリング株式会社）
- ・多くの学生に説明を聞いて頂けた。しかし、進路がまだ定まっていなかったためか、真剣さが伺えなかった。そのため、学生に伝える内容については、もっとかみ砕いた内容が良かったかもしれません。（株式会社北一硝子）
- ・ブースに着席してくれた生徒が多かったので、会社のことを伝えることができたのは良かったです。冬は何をしているのか、との質問もあり、関心があることは分かりました。正直、真面目に聞く姿勢ではない生徒もいたので、まだ自分事として捉えていないのかな、という印象もありました。（北海道技建株式会社）
- ・参加した企業に比べ、障がい福祉の分野は人気がなかったのかなというのが率直な意見です。そ

の中でもブースにきてくれた生徒さんとは個別に色々なお話ができて良かったと思います。色々なお話をする中で、就職は地元に戻りたいという意見が多く、小樽で働きたいという意見は少なかった印象でした。(社会福祉法人北海道宏栄社)

- ・道外出身の生徒さんが多く、弊社に関心が薄い様子でした。(新日本海フェリー株式会社)
- ・これから社会に出ていく若い世代に、少しでも興味を持って頂き、将来の糧にしていいただければと思います。(小樽典礼株式会社)
- ・部活が生活の中心にある高校生なので、予想通り(就職に対して関心が薄い)反応であった。(北海道中央バス株式会社)
- ・就職を希望されている方が少ないのか、説明を聞くだけで反応が少なかった。

【問3】 今後同様の出前説明会を実施する場合に、改善した方が良いと思われることをご記入ください。

- ・現状で満足しております。(株式会社ミツウマ)
- ・現在の学生さんの進学、就職の状況などを知り、クリロン化成を知っていただくいい機会になりました。(クリロン化成株式会社)
- ・生徒に事前に質問を準備していただくとよい(どのようなことに興味があり、知りたいのか)。(ワタキューセイモア株式会社)
- ・今回、1回の説明時間が15分以内でしたが、説明のほか、質疑応答も15分以内で行うと考えると、短い設定時間のように感じました。1回の説明時間が25分以内であると、十分に説明も質問等にもお答えができると思うので、もう少し長めの設定時間であると有難いです。(小樽市役所)
- ・全体の90%の方が進学という状況とお聞きしました。生徒たちとの会話では、個別に将来のこと(就職)を考え決めること、その時期に達していいないように感じています。一般的な働くことの意義(社会貢献、自分の価値観・可能性、役割など)を十分に理解していただく機会を設けた方が良いと思います。(道央エンジニアリング株式会社)
- ・事前にスクリーンの有無を確認すればよかったです。(株式会社北一硝子)
- ・話を聞いて頂き、内容等について一人一問でも質問いただければありがたいです。(小樽典礼株式会社)
- ・1回15分の時間が長い。10分で良い。15分話すには、仕事内容の細かいところに触れなくてはならないが、生徒は興味がない。また、学年によって聞く目的が違うと思うので、1年生と2年生を分けた方が良い。分けていただければ、聞き手の目的によって説明する内容を変える事が可能になります。(北海道中央バス株式会社)

【問4】 今後同様の出前説明会に、また参加したいと思いますか。

- ・参加したい：9件
- ・どちらとも言えない：3件
- ・無回答：1件

【問5】本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

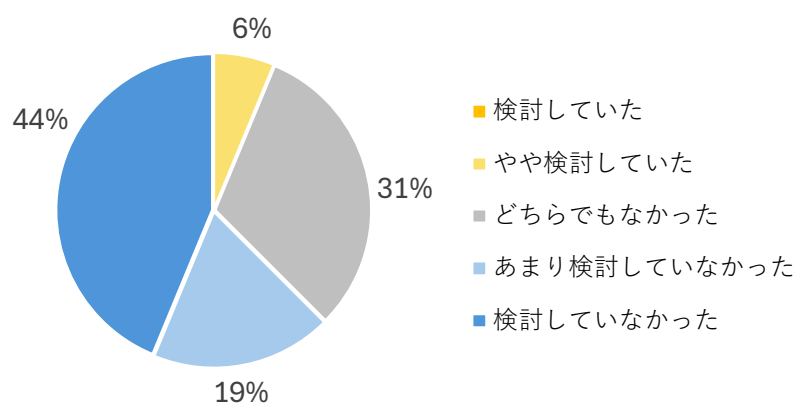
- ・特にございませんが、生徒が地元に残ってくれるための工夫を行政とともに行いたい。この度は大変お世話になりました。有難うございます。（ワタキューセイモア株式会社）
- ・真に興味を持たれる方を対象に、事業展開されることを望みます。（道央エンジニアリング株式会社）
- ・高校生の皆様に地元小樽にある企業をPRする良い機会と感じます。目先の応募ではなく、将来的に自社を認知してもらう機会と捉えるべきかと思いました。（株式会社北一硝子）

〈第5回〉2024.11.05 実施 参加者アンケート

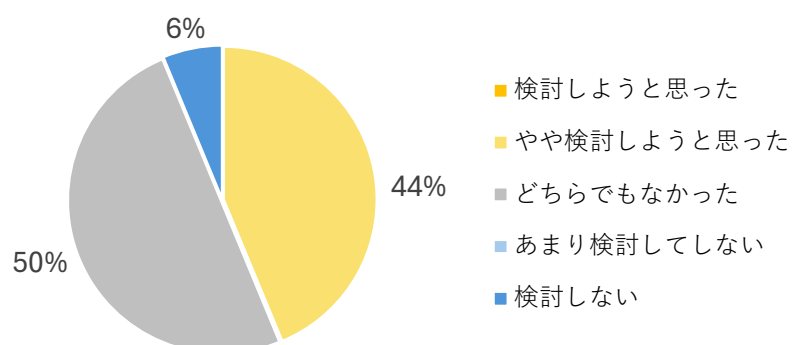
北海道職業能力開発大学校 機械分野 応用課程 生産機械システム技術科 1年生（16名）

うち集計数 16名

質問1-1. 【説明会前】小樽市内の企業への就職を検討していましたか？



質問1-2. 【説明会后】小樽市内の企業への就職を検討しようと思いましたか？

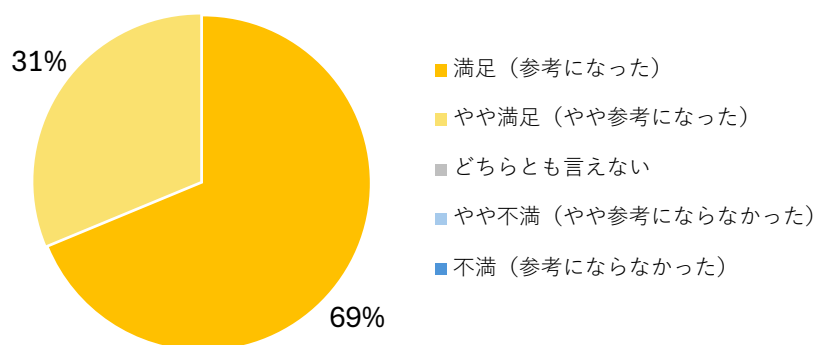


質問 1-2. 「あまり検討しない」「検討しない」とお答えした方は理由をご記入ください。

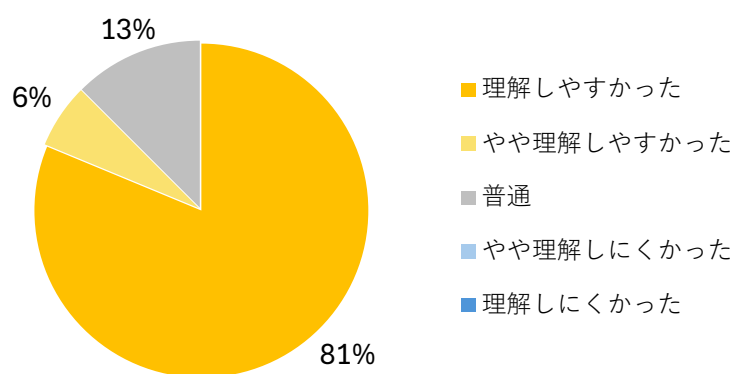
(記述回答)

- ・地元での就職希望。

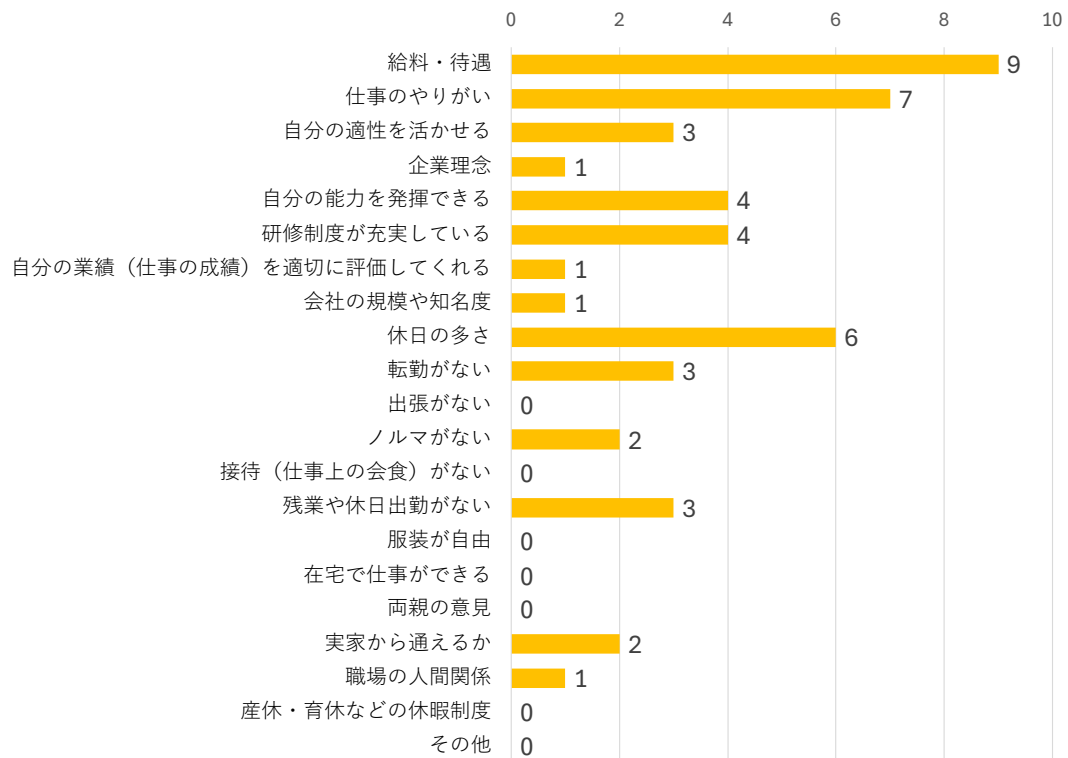
質問2. 本日の説明会はどの程度参考になり、満足しましたか？



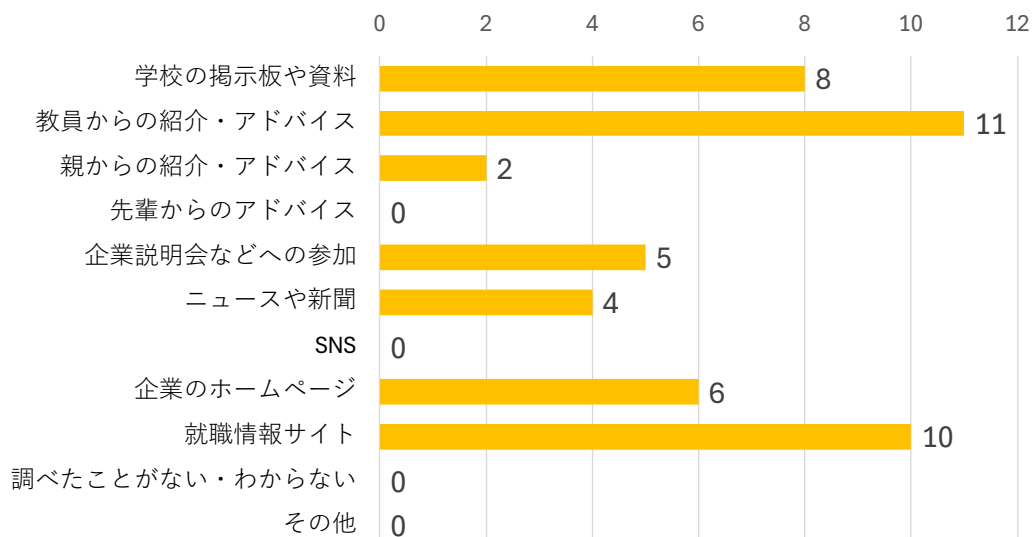
質問3. 本日の説明会の内容は理解しやすかったですか？



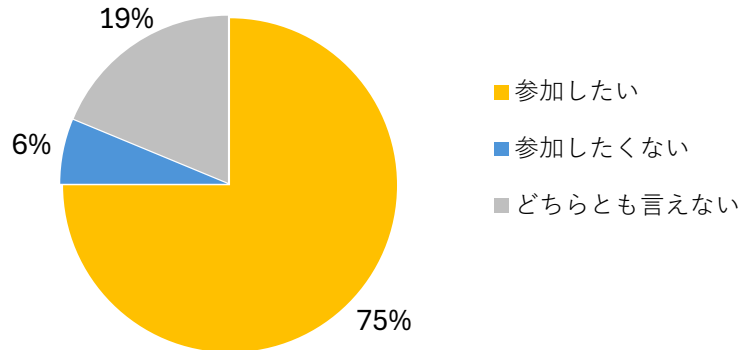
質問4. 就職先を考える時に、重要視していることは
何ですか？（最大3つまで）



質問5. 就職先を探す方法として当てはまるものをお選びください。（複数回答可）



質問6. このような形式の企業説明会には
今後も参加したいですか？



質問 6. 「参加したくない」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

- ・急に入って頭の準備ができていない。

質問 7. 質問を聞いた企業の感想をお書きください。（記述回答）

株式会社システムウォール製作所

- ・建物の外壁をデザインすることを主に行っていることがすごいと思った。そういうデザインなどは建物を建てる会社が社内でデザインするものだと思っていたので、外から仕事を依頼されるというのは高い能力がある企業なのだったと思った。
- ・建築関係の会社の話を聞くのは初めてだったのでとても勉強になった。また、海外などにも受注していると聞いたので、とてもグローバルに活動しているのだなと思いました。
- ・会社名を今まで聞いたことがなかったが、自分の身近なビルや駅・空港などで使用されているパネルを製作しているということを知った。また、顧客から紙一枚でざっくりともらった案から、理想のものを作り上げているということに感動した。
- ・これからは新幹線の時代が来るので、その度に各駅にシステムウォール様のステンレス板やアルミ複合板などがたくさん使われるのだなと思いました。
- ・金属パネルを用いた建造物はこれからも需要があると思う。
- ・街で見かける建物の外壁のパネルがどのような会社で作っているのか知れて良かったです。
- ・株式会社システムウォール製作所の製品が色々な場所で使われていることに驚きました。自分が知っている場所もあったので、行った時に見てみたいと思います。
- ・自社で製作した製品がどのような建物に使用されているかを説明してくださったので、わかりやすかったです。
- ・建設分野のことなので、自分で調べたりしてもなかなか辿り着かない会社だと思いますが、今回の機会を知ることができて良かったです。
- ・壁材の会社だった。
- ・会社の規模に対して事業がとても大きくてロマンを感じました。自分もそんな大きな事をする所に

就職したいと思いました。

- ・個人的に建設業界が身近なので、外壁の建材に関する会社として興味深く知ることができた。
- ・金属パネルは様々な建築物に使われていて、身近に感じました。特に旭川駅に使われていることを聞き、私は旭川駅がとてもきれいでかっこいいと思っていたので、このお話を聞いてとても興味が沸きました。ビルの外壁もオシャレで、そのパネルを作ったときにやりがいを感じる会社なのだろうなと思いました。
- ・札幌駅など自分達の身近な所に製品が多く使われているのを知ってすごいなと思った。海外にも使われていてマーケットが広いのだなと感じた。
- ・新しく建設が始まるたびに発注等があると思うので、需要がなくなることはなさそうだと感じた。

株式会社田中工業

- ・鋳造でマンホールが作られていることを初めて知った。また、機械による自動化も行われており、新しい技術を積極的に取り入れているすごい企業だと思った。
- ・鋳造の業界事情や、製品がどのような過程を経て出来るのかを学ぶことができました。また、機械科で学んだことを活かせる職種（加工・シミュレーションなど）を紹介していただき、就活への意欲をより強めることができました。
- ・3社の中で一番興味があった。社内説明がわかりやすく、福利厚生もしっかりしていたし、社長本人からの説明であったため説得力があった。また、事業自体も1つに絞らず、複数の界限にも携わっているのもよかったと思った。自動化も積極的に工程に組み込んでいることに驚いた。
- ・身近で見たことがあるものが結構ありました。関係あるのかわかりませんが、水難などの災害の際にマンホールが水に押されている映像を見たことがあったので、それはどう対策されるのかなと思いました。
- ・どれほど高度な加工技術を持った工作機械が登場したとしても、鋳造業界はなくなることはないと感じた。
- ・鋳物の製造でもCADが使用されていることに驚きました。
- ・鋳造をするのに月の電気代があんなにかかるとは思いませんでした。製品に巣ができないようにCADを使っていて、鋳造でもCADを使うのだなと思いました。
- ・自社の製作した製品のマンホールや鋳造についての説明がわかりやすかったです。
- ・自社製品のみならず、幅広い事業を扱っているから会社が安定していることがよくわかった。鋳造についての資料も多く、わかりやすかった。
- ・鋳造の会社。マンホールなどを作っている。
- ・鋳物に対してなんとなくアナログな印象を持っていたのですが、最新の鋳造技術を聞いてそのイメージが変わりました。
- ・マンホールから、電動機、工作機械の部品等幅広く製品を手掛ける会社で、道内にこのような企業があるとは知らなかった。
- ・マンホールは生きていく中で必ず見るものなので面白かった。CADなどを使いシミュレーションをして、あらかじめどのような不良が起こるか予想をしていて、学校の授業でもやったことなので、日々の授業に対して身がひきしまると思った。

- ・ 鋳造の作業を自動化できているのがすごいと感じた。エスコンやご当地の特注品のマンホールを作っているのを聞いてすごいなと感じた。
- ・ 鋳造用の型をつくれば、多くの品種を作る事ができることがわかった。

株式会社光合金製作所

- ・ 北海道などの寒冷地にはなくてはならない水抜栓を作る会社の一つの会社だと聞いて、高い技術力がある企業だと思った。また、福利厚生や休日なども充実していて働きやすそうだった。
- ・ 一般家庭などで使用されている水抜栓などの設計、製造の一連のプロセスの説明を聞き、機械的ではなく自然法則を使い水抜きしていると聞き、とても興味深かったです。
- ・ 不凍給水栓を専門に製造している会社があることを初めて知った。不凍給水栓は主に雪国か高地でしか売りに出せないのに、年間を通して売り上げが下がらないことと、全国に 5 社しかないことに驚いた。また、もし働くなら OB の方が多くいらっしゃるようなのであまり気を張らずにいられると思った。
- ・ 北海道はすごく水道管などが凍れるので、光合金製作所様の話がとても身近に感じました。凍結などを起こすと生活にすごく影響されるので、水抜栓という生活を守る物を作ってくれているので感謝しています。
- ・ 不凍給水栓は寒冷地に生活する人々がいる限り必要とされるので、これからも良いものが開発されることを願っている。
- ・ 自分が想像していたより多くの地域で水抜栓が使用されていることに驚きました。
- ・ 水道が凍結で破損しないようにするバルブを今回初めて見ました。簡単に水抜きができていい製品だなと今回の説明を聞いて思いました。
- ・ 水抜栓の仕組みの説明がわかりやすかったです。
- ・ 同業が数社であるため、安定している会社であると知った。会社の組織説明も詳しくわかりやすかった。
- ・ 鋳造の会社。水抜きやバルブの水道管系のものを作っている。同じ製品を扱っている会社が 5 社しかない。説明が一番聞きやすくわかりやすかった。
- ・ とてもやりがいのありそうな仕事だと思いました。また、会社の福利厚生がしっかりしていそうな印象を受けました。
- ・ 水道用機材、特に水抜栓の製作をしていて、地域性が高い製品を使っている会社ということがわかった。
- ・ 水抜栓は一人暮らしをしてからとても大切なものだと感じていたので、実際に製作しているメーカーさんに話を聞く事ができ、機械系の学校として誇りを持って頑張りたいと思った。
- ・ 自分の住んでいるところは帰省する時は水抜きをしないと水道管が破裂してしまうため、毎年水抜きをしているので、話を聞いていて身近に感じられた。
- ・ 同業の企業が少ない事が安定した業績に繋がっているのだと思った。

質問 8. 今回の説明会に関するご意見・ご感想をご記入ください。(記述回答)

- ・ 扱っている仕事や内容は異なっているものの、3 社とも高い技術力がある企業であり、様々な話を聞

くことができたので貴重な経験になった。

・今回は様々な業界の話聞くことができ、自分の進路の視野を広げることができたいい機会でした。

今後あまり関わらないような珍しい業種の話聞いてみたいと思いました。

・自分の住んでいる周辺の会社の説明会を受けられるのはありがたかった。また、自分が考えにも入れなかった分野の仕事内容が知れる機会があるのは、視野を広げられるので大変ありがたいです。

・三社ともなぜ小樽に会社を設立したのかという点だけ気になります。

・次回はロボットに関する企業の説明も聞いてみたい。

・鋳物や金属パネルがどのような会社でどのように作られているのかを知れて良かった。

・今回の説明会で3社の話を聞けてとても良かったです。普段は聞けない話も聞けたりして、少し興味が出てきました。

・色々な企業の説明を聞けて勉強になりました。

・小樽市にどんな会社があるか、まだ調べられていなかったため、今回の説明会はとてもためになった。

・部屋が暑くて空気が悪かった。

・どの会社も知らない業界だったので、知る事ができ、自分の就職に対する視野が広がったように感じます。また、どの企業もプレゼンが上手く、とても参考になりました。

・各企業のパンフレットの配布があると良いなと思った。

・貴重な話を聞けて就活の参考になった。学校を通して将来のビジョンを持つことができた。視野の広がる貴重な体験だった。ありがとうございました。

・色々な企業の話聞いてよかった。銭函近辺にも面白い企業があると知れて視野が広がった。

・進路について考えるきっかけになった。

〈第5回〉企業アンケート 参加企業数 計3社 うち集計企業数2社、回答数3件

【問1】今回の企業出前説明会に参加した感想をご記入ください。

・個人としては初参加でしたが、小樽市の中小企業の人材確保に繋がればいいと思います。(株式会社田中工業)

・初めての機会でしたが、能開大の学生は、ものづくり企業では即戦力として使えるので、地元企業を知っていただける良い機会になったと思います。(株式会社田中工業)

・たくさんの生徒さんに弊社の仕事内容や活動を聞いていただく機会をいただき大変感謝しております。また、他社様の会社説明を聞く機会は初めてでしたので新鮮でしたし、これからの課題が盛りだくさんであることに気づかせていただきました。是非、これからの参考にさせていただきたいと思います。改善していきたいと思います。(株式会社システムウォール製作所)

【問2】今後同様の出前説明会を実施する場合に、改善した方が良くと思われることをご記入ください。

・学生側が何を重要視しているかアンケート等で情報を取り、事前に教えていただければプレゼンしやすいと思います。(株式会社田中工業)

- ・学生からの質問は、企業の発表ごとに実施した方が良いような気がしました。今回は特にテーマなどの設定がなかったので、学生側の立場で考えた場合、「仕事のやりがい」「福利厚生」「待遇」など企業側に聞いてみたいテーマ設定があった方が良かったような気がしました。（株式会社田中工業）
- ・パソコンから映し出されるスクリーンが少し見えにくかった（薄い感じ）のでモニターを使って見ていただけると良いなと感じました。（株式会社システムウォール製作所）

【問3】 今後同様の出前説明会に、また参加したいと思いますか。

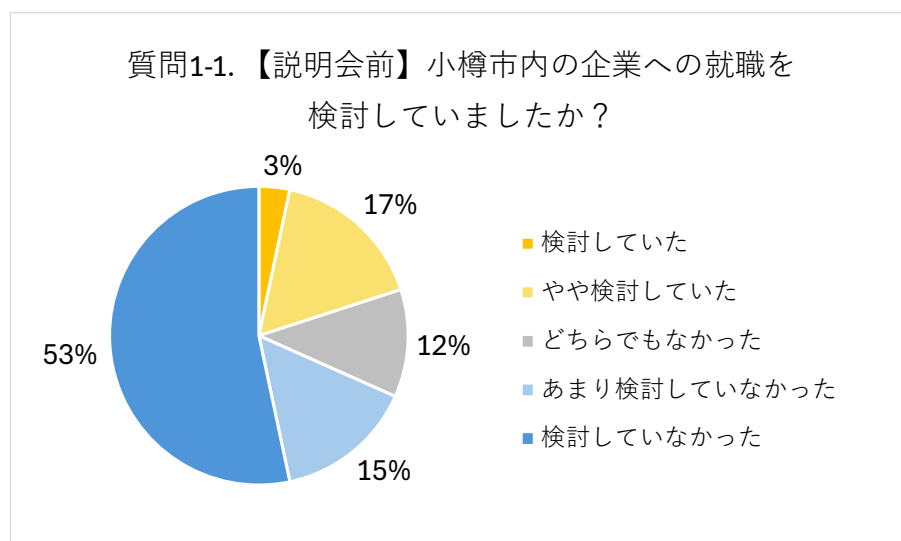
- ・参加したい：3 件

【問4】 本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

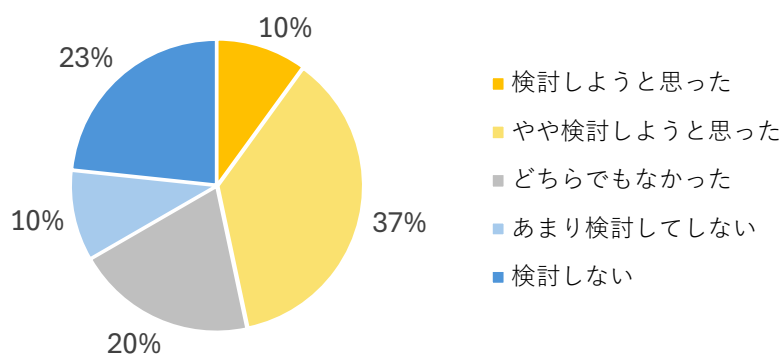
- ・説明会以外にも、会社（工場）見学で働く姿を想像して、将来の選択肢に入れてほしいと思います。（株式会社田中工業）

〈第6回〉2025.02.10 実施 参加者アンケート

小樽双葉高等学校 1 年生（80 名）うち集計数 60 名



質問1-2. 【説明会后】小樽市内の企業への就職を検討しようと思いましたが？

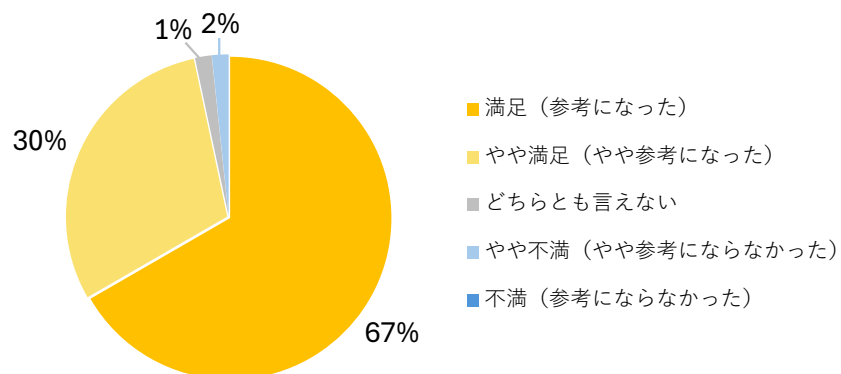


質問 1－2. ※「あまり検討しない」「検討しない」とお答えした方は理由をご記入ください。

(記述回答)

- ・今まで小樽だった分、札幌などに出たい。
- ・札幌で働きたいから。
- ・小樽の企業の話だけで決めたくないから。
- ・小樽住みではないから。(同回答 2 件)
- ・家が遠いから。
- ・地元で働きたい。
- ・自分の興味ある仕事なかったから。
- ・やりたいことがあるから。(同回答 2 件)
- ・北海道以外の世界を知りたいから。
- ・小樽に引っ越してきたばかりで慣れないから
- ・自分の進みたい進路が小樽にない。
- ・道外に行くから。
- ・地元もしくは札幌市内で就職したいと思っているから。
- ・自分が将来なりたい CA の専門学校は小樽にはないから。
- ・住んでいる場所と小樽が遠いから。
- ・海外に行きたいから。
- ・石狩に住んでいるから。

質問2. 本日の説明会はどの程度参考になり、
満足しましたか？



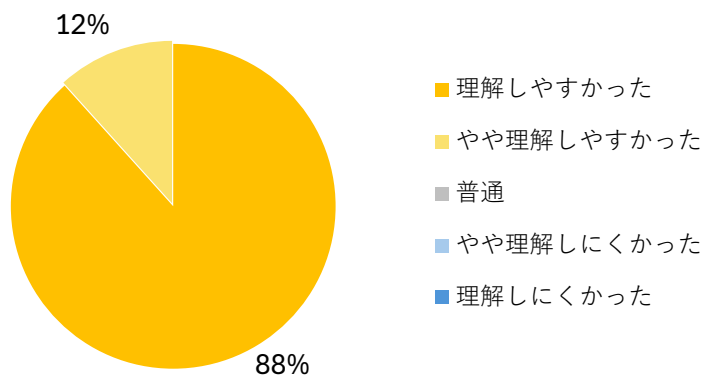
質問 2. ※「やや不満」「不満」とお答えした方は理由をご記入ください。(記述回答)

- ・自分の行きたい所の話を聞けなかったから。
- ・企業さんの説明は参考になったが、説明会の制度が良くないと思った。

質問 2 に対して「やや満足」と答えた方の具体解答 (記述回答)

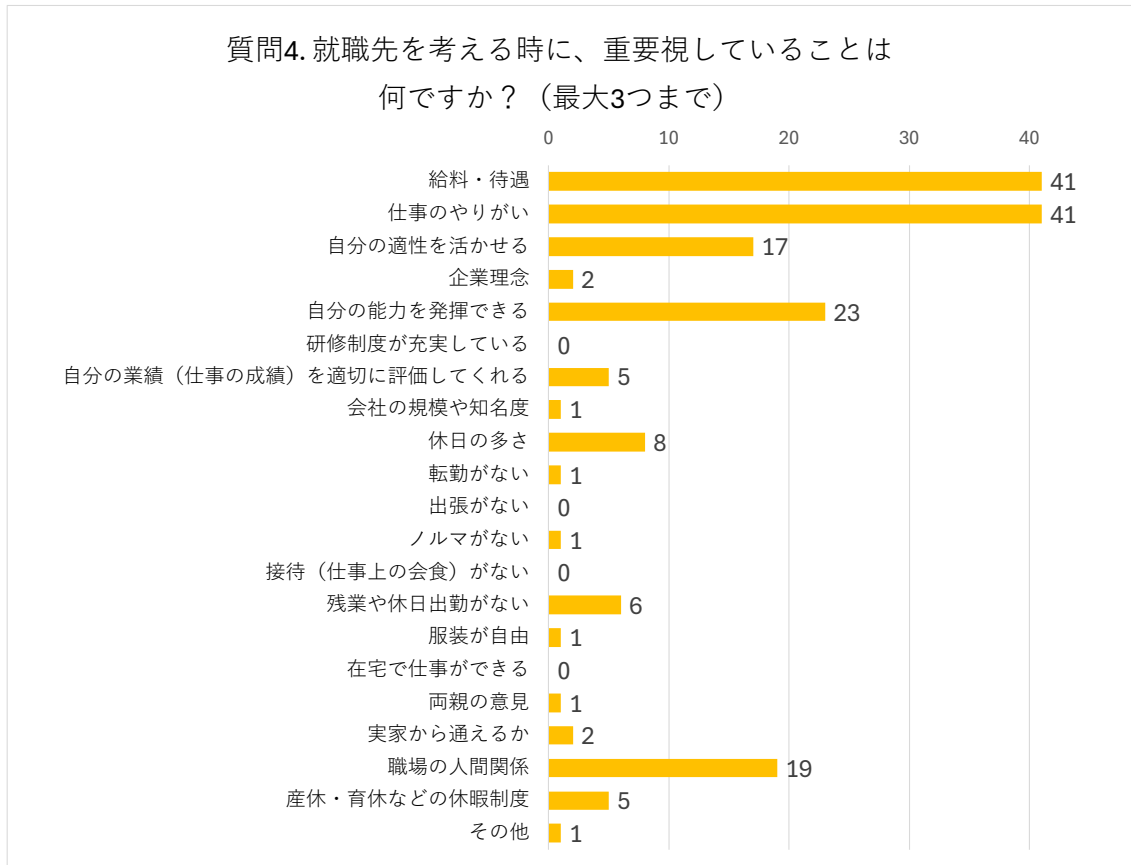
- ・気になる分野の会社の説明を聞いたから。

質問3. 本日の説明会の内容は
理解しやすかったですか？



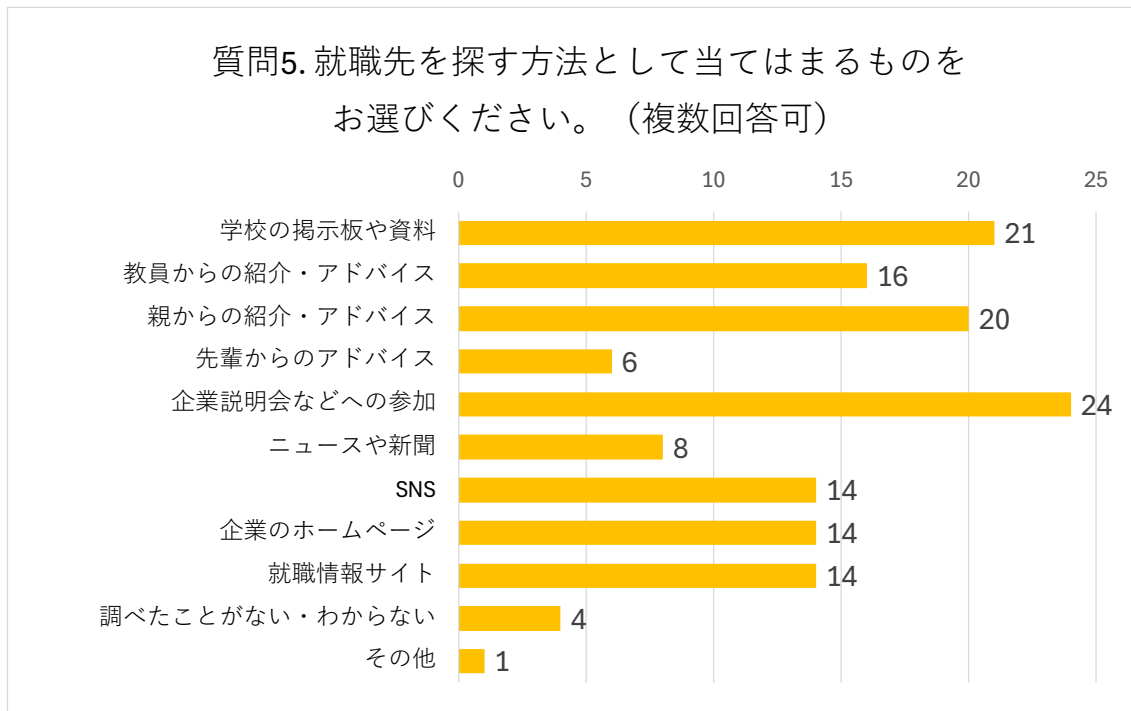
質問 3 に対して「満足」と答えた方の具体解答 (記述回答)

- ・丁寧に話して下さったから。



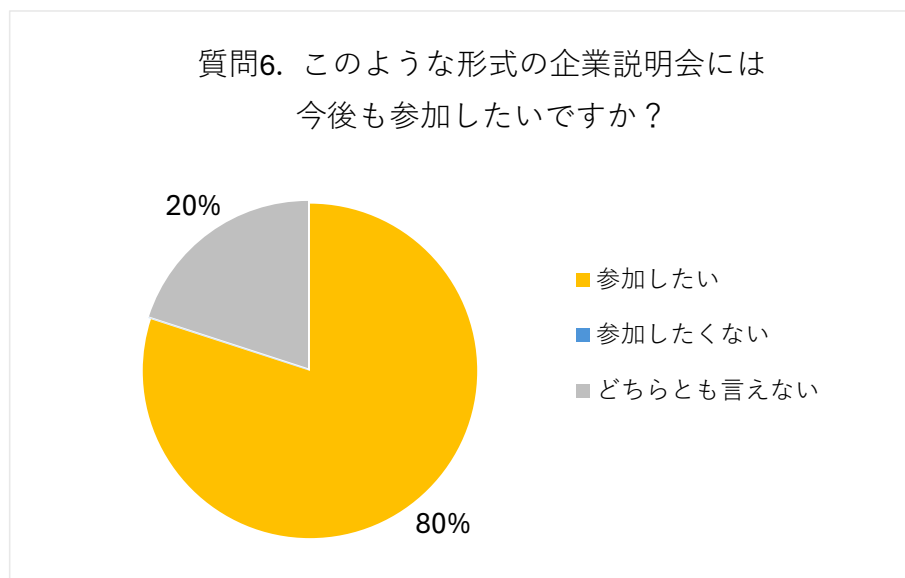
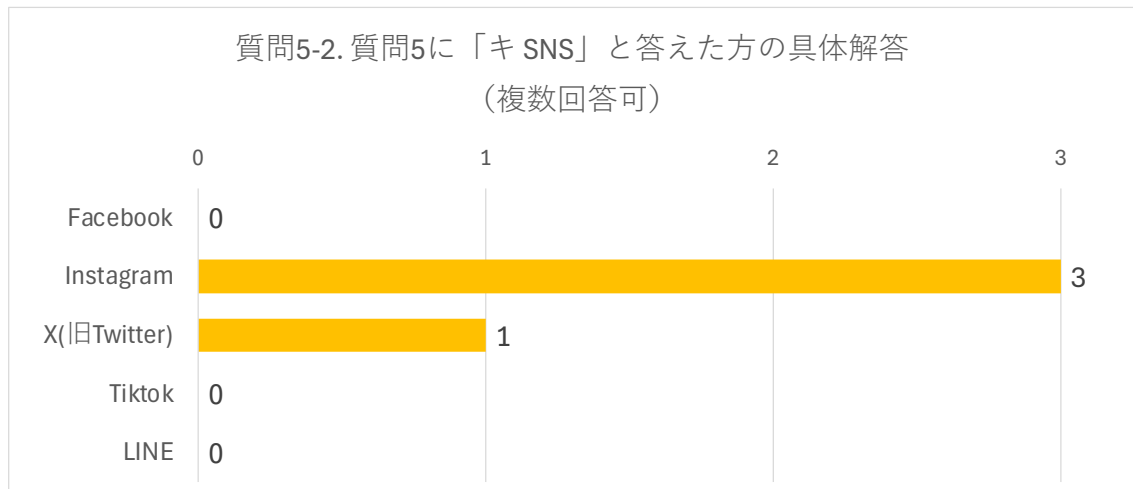
質問 4. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

- ・比較的自由なところ。



質問 5. 「その他」と答えた方は詳細をお書きください。（記述回答）

・ Google。



質問 7. 質問を聞いた企業の感想をお書きください。(記述回答)

阿部建設株式会社

- ・あまり興味がなかったけど、面白そうだなと思った。
- ・一つの建物ができるまでの簡単な順序を知れた。
- ・普通に生活している地域の建物に関わっていることを知れた。例え方がわかりやすかった。
- ・どんな仕事なのかわかった。説明がわかりやすかった。
- ・自分達が普段何気なく利用している施設だったが、どのように誰が作ってくれていたのかがわかった。
- ・「建設会社」は、家・公共施設などの建物建設だけだと思っていたけれど、土木もやっているのを初めて知った。安全管理・品質管理・原価管理・工程管理などの施工管理をした上で、下請け会社をお願いするというのも仕事なのだと初めて知った。人の目に残る物の建築に関われるというのが、なん

かすごいなと思った。

・衣食住の住を支え、自分の生きている間は関わってきたモノが残り、やりがいのある職業だと思った。

小樽市役所

- ・具体的にどのような仕事をしているのか改めて知ることができた。
- ・堅いイメージだったけど、説明を聞いて柔らかいイメージになった。
- ・聞きながらメモをしていたので質問の内容がぐちゃぐちゃだったが、最後に長めの質問タイムを取っていただけたので、しっかりと質問できた。
- ・机にずっと座ってパソコンの仕事をずっとするものだと思っていたら、想像と異なり他の色々な仕事をするのだと思いました。
- ・市役所へ行くことがあまりないけど、その町でのイベントの運営など、自分が知らないところでサポートみたいな形で仕事しているのかなと感じました。
- ・話を聞く前までに持っていたイメージより、幅広い業務内容があって面白そうと感じた。潮祭り・雪あかりの路等のイベントの運営といった業務があり、市役所の外に出て行う仕事に興味を持った。
- ・小樽市のインフラ整備や保険関係など、身近なたくさんものものと関わっていて、小樽市の中心の役割なのだなと思った。除排雪も助かっているので、ありがたいなと思います。
- ・様々な仕事があり、今の自分達も多く関わるものばかりだった。仕事の内容がよくわかった。
- ・公務員についての仕事や、どのように役立っているのかがわかった。
- ・市役所でやっている仕事色々あって、その中でも住民の安心・安全が一番と言っていて、とてもわかりやすい説明だった。
- ・自分が住んでいる小樽市のこと全てに関わっていると思った。市役所の人たちがいないと生活することができないので、ありがたさを知ることができた。

小樽典礼株式会社

- ・私は結婚式場で働きたいので、その逆の葬式会場について知りたくて行きました。人の心に寄り添うのが一番大切だと思いました。
- ・祭壇を組み立てるのが大変そうだった。でも一番気になっていたし、やりがいがあったし、最期をまかせてもらうのは素敵だなと思った。
- ・年中無休でやりがいがとてもあるなと思ったし、その分の給料も貰えるとわかり、少し惹かれました。勉強もたくさんしないといけないけれど、それだけお客様と向き合っているのだと思いました。
- ・葬儀に関係する話をしっかり聞けて、良い経験になった。
- ・祭壇の花を一本一本向きまで考えて刺すなど、仕事がすごく丁寧だなと思った。
- ・小樽の年間死者数の 2000 人のうち 6 割を担当しているのがすごいと思った。葬式をする会場を設営する上で、花の向きなども大切になることがびっくりした。
- ・普段知れないことを知れた。
- ・全然お葬式関係の仕事について今まで一度も説明を聞いたことがなかったけど、たくさん知れることがあった。

- ・納棺師という仕事について興味があったので、とても参考になりました。
- ・すごく忙しい仕事だと思っていたけれど、楽しく真剣にやっていて、この仕事はもしかしたら自分に合っているのではと思った。
- ・お葬式の仕事は怖かったり何をするのかとか、役に立つのかとか思ったりしたけど、花にも思いを込めて一本一本置いていることを知った。

北一化学株式会社

- ・逆流を防ぐ弁の逆止弁を作る機械が、北一科学に世界に一台しかないということに驚いた。
- ・フルカラー印刷の資料・PC の画面を使用していて、どのような企業なのか理解しやすかった。PC のみの画面だと少し見にくかったのが少し残念に思いました。説明の方は、明るく笑顔に説明してもらったのですごく楽しかったです。ありがとうございました。
- ・農業・流通・日用品・水産・産業用・食品用・環境用品の袋をオーダーメイドで作っていることに驚いた。
- ・ゴミ袋のことがわかった。
- ・ビニール袋の中に逆止弁をつける機械が世界に一台しかないということに驚いた。

株式会社健康倶楽部

- ・介護の嫌なイメージとか偏見が無くなって、楽しそうなこととかやってみたいと思うものがあつた。
- ・無資格 OK で働きながら取得できるところがすごいと思いました。とても面白くてわかりやすかったです。
- ・この企業は各地域で様々な取り組みを行っていることがわかり、1 日の仕事のスケジュールも聞けたので、わかりやすかったです。
- ・明るくて、仕事がすごく楽しそうだなと思ったし、説明がとてもわかりやすかった。
- ・色々なやりがいなども楽しくお話してくれて、良いお仕事だなという風に感じました。大変だけど、やりがいのある、その仕事の大切さをよく理解できました。
- ・とてもやりがいのある仕事ばかりで、大変な面もあることもわかったが、働いている方々に感心した。

西條産業株式会社

- ・小樽で唯一のプレハブ建設会社で、北海道で唯一ということにびっくりした。また、VR 視聴を取り入れていて最先端だと思った。
- ・ここも建築だけのイメージだったけど、意外と色々なことをしているのを知った。ただ、建築するだけなのかなと思っていたら、資材の販売だったり、木材加工もしたりしているのだなと思った。『見る』から『体験する』というのがすごく新しいなと思ったし、技術の進化を感じた。
- ・ハウス部門や商事部門、建設部門、それぞれの部門で役割分担をして支えているから、すごいと思った。
- ・建築のことがわかった。
- ・住宅 VR を見て家を決めることで、家が完成した後のイメージとのギャップに不満を持つことが減

っていてすごいと思った。

・近年では、住宅を建てる際に VR を使用して思い通りの家が建てられるのがすごいと思った。建築部門だけでなく、家作りや建物作りに関わる資材なども取り扱っていて、多くの分野で活躍していると思った。

・人の好みは人それぞれだが、その好みに合わせられるように最善を尽くしていることが良いと思った。

・VR を使ったりして、大工さんが近年減っていることから、色々な工夫をしているのがわかった。

・建築はすごく難しそうで、大変そうだなって思いました。

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 北海道済生会 老人保健施設はまなす

・介護は汚い、きついというイメージがあるかもしれないけど、やりがいがあるし、今後のためにもやるといいなと思った。

・健康倶楽部とはまた違う介護で、同じ業種でもやっていることが違うのだなと思った。

・ただキツイというだけでなく、やりがいも他の職以上にあると思いました。

・老健の役割は地域にとってすごく重要なことがわかった。

・病院に近いスタッフがたくさんいて、一日でも早く治して家に帰れるようにする仕事はすごいなと思った。

・老健とはどのような場所なのかを詳しく知ることができました。

・老健という仕組みを初めて知ることができ、メリットだけでなく、デメリットも聞くことができたので、色々考えられて良かったです。

・こんな資格を持っていたら、あんなことができて、将来有利になると学べて良かった。

・リハビリに特化した資格を持つ理学療法士、作業療法士などが入居者を支え、最後まで治療して、笑顔や感謝される場所はやりがいがあると思った。

・資料などがあり、とてもわかりやすかったです。

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 北海道済生会 小樽病院

・親が働いているので、その病院のことを知れてよかった。

・看護師の始まりや仕事内容についてよくわかりました。これからについても知ることができました。

・看護師の仕事について、知らないことを知ることができ、小樽で行っている取り組みも知ることができたので、とても学びになりました。

・テーマは「人を看る」。看護の勉強は昔の本から学ぶ。手術の流れを覚えて、スムーズに行えるようにする。社会・精神・身体のケアも行う。

・地域がやっている取り組みに参加していることがわかり、取り組みを知ることができ、興味を持つことができた。

・看護師になりたいという夢があるので、一番聞きたい所だったので行けて良かったです。短い時間だったのですが、聞きたいことが聞けて良かったです。

・看護師の仕事の役割や、看護師にしかできない仕事などを知れたのでとても良かった。

・看護師の人が手術の器具を考えたり、血管の位置を全部把握したりしているのがすごいと思った。

- ・患者さん一人一人に合わせた援助をして、小樽の事業に参加していて、人と接する機会が多いから、良い信頼関係を築くことができそうだなと思った。
- ・医療の元になったことや根本を大切にしている、そこを自分も大切にしようと思った。
- ・思っていたよりもたくさん色々な仕事があって、色々な場面で活躍していてすごいと思った。

新日本海フェリー株式会社

- ・説明をしてくれた方がおじいちゃん（元々フェリーの船長！）の知り合いで、おじいちゃんが元々働いていた職場・仕事を知れて良かった。
- ・自分はフェリーについて全く知らなかったのも、今回の説明会でフェリー以外にもたくさんを知ることができた。
- ・企業の人が面白い人で、話もわかりやすかった。
- ・毎日決まったルーティンではない生活をしているのはすごいと思った。
- ・交通機関の大変さを知った。
- ・今回の企業で一番気になった。福利厚生がしっかりしていて、就職しようか迷っている。
- ・説明がとても丁寧でわかりやすく、楽しかったです。

中央バス観光開発株式会社

- ・会社紹介資料に話の内容をまとめていただいていたので、メモをして聞き取れなかったことも資料でまとめることができたから良かった。
- ・私も天狗山には何回も行ったことがあるので、改めてすごくお客様を大切にしている安全に運んでくれているのだと感じました。会話が出来るくらい英語を話せるのもすごいなと思いました。
- ・小樽の観光を守るために様々なスタッフが働いているのだなと思いました。索道スタッフという言葉は初めて聞いたので、知れて良かったです。
- ・自分のチームのホームの山の観光業のことをより深く知れた。
- ・小樽の観光スポットとして有名な天狗山ロープウェイの業務はあまり考えたことがなく、興味が湧いた。
- ・山の管理が大変そうだった。
- ・天狗山の管理・ロープウェイの運営をしている。
- ・レストランなど、ロープウェイもやっていてすごいと思いました。
- ・中央バス観光開発で、どのような観光の開発をしているか、どのようなことをしているかなどが知れたので良かったです。
- ・企業の方の声がすごく聞き取りやすく、すごく頭に残った。

道央エンジニアリング株式会社

- ・下水道では微生物を飼育していて、微生物が汚れを食べたら水より重くなって沈み、上の方の水が綺麗になるということに驚いたし、初めて知った。
- ・この企業はあまり目立たない仕事だけど、人々にとってとても大切な仕事だと思いました。
- ・小樽市内やその周辺の水を水道水へと変えてくれたりして、綺麗な水にするということが日々街の

人々のためになっていることがとてもすごいと思いました。

- ・浄水場と下水場で維持管理の仕方が違った。
- ・何をどのようにしているか、どんなことに役立っているかわかりやすく、気さくに語ってくれてとてもありがたかった。

株式会社新倉屋

- ・どら焼きやお団子など、四季のお菓子を作っていて、企業理念がすごくよかった。お客様のために頑張っていて素敵だった。
- ・お菓子を通した出会いを大切にされていて、従業員が目標を持ってやっている。
- ・私も和菓子を作ってみたいと思った。
- ・身近にあるお団子や和菓子のお店で、季節を先取りする等の工夫がされていたり、どら焼きやカステラを作る人、お団子を作る人で入社と退勤時間が全然違ったりするのだなと思いました。
- ・小樽で育った人が進学などで離れてしまった後、故郷に帰った後に食べてほしいなど、お客様思いの会社だと思いました。年中無休や 6:30 の出勤など、とてもやりがいのある会社だなと思いました。
- ・働くための方法、働いてからの業務内容、お給料など、細かいことを知れた。
- ・仕事内容や職場環境など内部のことを知れたから良かった。スライドが見やすくてわかりやすかった。
- ・お団子やどら焼きを作れるまでの期間が違うことを知った。
- ・資料に載っていない情報も教えてくれた。
- ・企業理念の通りの企業で感心した。
- ・お団子の歴史を知れて、とても良い経験になりました。

ノイシュロス・オペレーション株式会社

- ・ホテルマンという人をあまり知っていなかったけど、この説明会で話を聞いてみて、「お客様を通してホテルマンもわくわくしている」ことや「ホテルマンは思い出を作る職業」ということを知り、やりがいがあって素敵な仕事なのだなと思いました。
- ・企業理念「お客様の人生の 1 ページの記憶に残るホテルでありたい」というところにすごく感動しました。ホテルマンの説明もとてもわかりやすくて良かったです。
- ・話が聞きやすかったし、わかりやすかった。どんな想いでお客様と向き合っているか知れた。
- ・ホテルマンとして大切にしていることがよくわかった。ホテルの仕事に興味を持つようになった。
- ・自分は宿泊したことがないからわからないが、ホテルマンがどんな想いでお客さんに接しているかわかった。
- ・お客様に喜んでもらえるよう努力している会社だと思った。プロポーズの時はサービスとかもして喜ばせるのはすごいと思った。
- ・チェーン店ではなかったため、一般のホテルとは違ってサービスなどのできる範囲がデカかった。
- ・ホテルマンになりたいので、とても勉強になりました。
- ・非日常を売る企業というのが良かった。
- ・お客様のために全力を尽くす姿勢が素晴らしくて、とても感激した。

- ・お客さんを喜ばせ、やりがいを感じられる仕事なのだなと思ったし、やりがいを感じられる仕事に就きたいなと思った。
- ・お客様により寄り添っていて素敵な仕事だと思った。ホテルのイメージを守っていてすごいと思った。

社会福祉法人北海道宏栄社

- ・高齢者・障がい者の介護がすばらしいと思った。
- ・すごく社員に協力的で、ここで働いている人たちは安心して何でも挑戦できるだろうなと思った。
- ・社福が生まれた理由、そしてどのような人と関わる現場なのかを知ることができました。
- ・身障者に更生の道を、という企業のモットーでやっていて、色々な景色や未来を見せていくということがとても魅力的に感じました。
- ・社福の会社だと、退職金が2倍になると聞いてびっくりした。
- ・どんな人にも働く場所を作っていることがすごいと思った。
- ・話が面白くてすぐに終わってしまいました。
- ・人を助けるために毎日頑張っていてすごいなって思ったし、誰にでも同じ対応をされていてすごいと思った。

北海道信用金庫

- ・信用金庫とはどのようなものなのか知る事ができ、北海道信用金庫さんが地域貢献しているということを知ることができた。
- ・お話を聞いた感じ、とても働きやすそうな企業さんだと思った。「地域密着型」という部分に少し興味を持った。地域貢献活動も行っていて、潮祭り等に参加しているという事も興味を持った。
- ・まだ金融関係に詳しくはないけれど、個人・中小企業に特化しているということで、将来的にお世話になるのかなと思った。よくわかっていなかった信用金庫についても理解できました。
- ・これから使う金融機関の内容も、働く場合のやりがいも知れた。
- ・金融業には元々あまり興味がなかったけれど、話を聞いたことで少し興味を持てて良かった。銀行は全部同じだと思っていたけれど、「株式会社」と「共同組織」の二つに分かれていることを知った。人と関わる職業だからこそ、説明してくれた2人の話し方が落ち着いていて、聞きやすい感じだった。これも、仕事に必要な能力なのかなと改めて思った。
- ・銀行と信用金庫の違いを知ることができた。信用金庫は中小企業と個人に特化した企業だと知り、地域密着型の金融機関だと教えてもらった。
- ・金融機関ということで、会社説明の内容が少し難しかった。しかし、経営理念の「仕事を通じて幸せを」という言葉は、これから働いていく上で必要だと感じた。
- ・お金関係の仕事は集中力と責任感が重要だと思った。
- ・とても難しい話が多くてすごいなと思った。仕事以外にもボランティアなどに取り組んでいて、とても信用できる場所だなと思った。
- ・企業の強みや求める人材を知ることができて、就職の参考になった。

北海道中央バス株式会社

- ・わかりやすい資料とともに説明してもらった。今は高校卒業してすぐ就職する人はなかなかいないと思い、その問題から出てくる人手不足が問題だと思った。
- ・様々な事業を行っているということが意外だった。福利厚生が手厚いなどしっかりと説明して下さった。
- ・フルカラー印刷の資料を使用していて、とてもわかりやすかった。大切な部分等を強調していたので、今こういった状況なのか理解しやすかった。プレゼントとしてハンカチとマスキングテープ、缶バッジも配布していただいたのがすごくよかったです。ありがとうございました。
- ・いつも乗っているバスだから、仕事の裏を知れて面白かった。
- ・通勤しやすい職場へ配属される上に収入が安定しており、転勤が少ないという、とても生活が豊かに過ごせる会社だと思いました。
- ・バスの運転中は転勤がほぼないことを知った。
- ・安心・安全。地域のこと、職場のことを考えてやっている職業なのだと思いました。地域のことを支えている重要な仕事だと思いました。
- ・中央バスという企業の中にも沢山の種類の役割があって、多いと思っていたバスガイドさんが1%しかいないことにびっくりした。
- ・これから運転手が少なくなると予想されている中で、早くに養成しているのが良いと思った。
- ・社内教育が徹底されており、教育中の環境も良いと感じた。
- ・専門学校に入学してから中央バスに就職すると、中央バスから奨学金が最大250万円支給される！
- ・色々なサービスがあって良かった。
- ・北海道中央バスの転勤の話、バスの仕事などについてしっかり知れたので良かった。

株式会社北源

- ・今回一番好きな会社だった。企業のお話をしてくださる前から声を掛けてコミュニケーションをとってくれたし、話をしている最中も目を見てくれて、とても雰囲気良くて快かった。
- ・普段からよく使っているし、見たことあるもの多くて、企業名は知らなくても商品を知っている、ということがたくさんあるのだなと思った。
- ・安心・安全な食品を作っていて、お手頃価格で人の少ない地域にもセイコーマートがある。
- ・セイコーマートと繋がりがあるとは思っていませんでした。どうやったらお客様に喜んでもらえるかを本気で考えているのだなと思いました。
- ・いつもお世話になっているセイコーマートの裏側について知れて面白かった。
- ・セイコーマートの味をずっと支えていてすごかった。
- ・ただ製造をするのかと思っていたら、もっとたくさんの仕事があるとわかりました。自分達で作った食品が次の日には並んでいて、食べてもらうって素敵な職業だと思った。
- ・道内にあるコンビニの中で一番セイコーマートが多いことを知り、その中に色々な企業が協力したり、食品を一つ一つ丁寧に作ったりしていることがわかり、人との繋がりというものを知れた。
- ・セコマグループの一員として働いている会社だとわかった。会社の行事も充実していて楽しそう。
- ・セコマの美味しいご飯がどんな会社でできているのかを学ぶことができた。始まる前に話しかけて

くれて、説明を聞きやすかった。

- ・セイコーマートの味になっていることが知れて良かった。

株式会社ミツウマ

- ・札幌ドームにもミツウマのゴムが使用されていて驚いた。
- ・モニターのみの資料(パワポ)での説明で、少し画面が小さく見にくいところがありましたが、とてもわかりやすく説明してくれたので良かったです。時間が余った際の雑談が楽しくて、緊張がほぐれました。ありがとうございました。
- ・すごく会社の中で働きやすい環境を作っていると思った。
- ・身近なモノや施設にミツウマさんのゴムが使われていることを知り、地域に貢献しようとしているのだなと思った。
- ・資格なしでも働ける点や、社員も良い人が多い点で働くやりがいを感じやすいと思えた。
- ・長い歴史のある企業ということで、ミツウマにしかない技術があり、商品を通して人と触れ合っていくというところに感心した。
- ・ミツウマのブーツが有名で知っていたが、長靴などゴム製品がはじまりだったということを知った。近年では、札幌ドームとの関わりがあり、幅広い分野を手掛けているということがわかって、すごいと思った。
- ・小樽に向き合って仕事をしているのが良いと思った。
- ・ゴム製品を主体的に作っていると思っていたら、色々力を入れていて、新しいことにチャレンジしていてすごいなと思った。

ワタキューセイモア株式会社

- ・地域や医療を支えていて、なくてはならない存在だと知った。
- ・病院の物の洗濯や手術の器具を滅菌して安心安全に生活しやすいようにしている。
- ・話してくれる人が、とても話が上手くて、とても興味を持った。
- ・ワタキューセイモアと病院の BtoB になっていて、153 年目ですすごいと思った。
- ・病院や看護のシーツの工程がわかった。
- ・企業の歴史や一番力の入れていることなどをわかりやすく説明していただき、楽しく説明を聞くことができたので、20 分間がとても有効な時間になりました。
- ・今年で 153 年目になる企業で、ホテルは営業面の仕事が多くて、福祉は洗濯とか滅菌の仕事が多い。縁の下の力持ちだった。

質問 8. 今回の説明会に関するご意見・ご感想をご記入ください。(記述回答)

- ・あまり目を向けていなかった企業でも、話を聞いてみるとすごく勉強になって面白かった。新しいことが知れて、すごく自分の為になったから、これからは自ら物事の情報を知りたいと思った。
- ・気になったところトップ 3 全部行けてよかった。美容系について知りたかった。
- ・今回の説明会で、私が気になった企業はどのようなことをしているのかということがよく理解できた。

- ・この説明会を活かして、今後の進路の視野を広げていきたいと思った。
- ・とてもステキな機会を作っていただき、したいことが見えました。色々な企業のことを知れて良かったです。
- ・教室に暖房が入ってなくて、来てくれた企業さんが寒がっていた。
- ・どの企業も説明がわかりやすかったし、「やってみたい」と思うものが多かった。他の企業の話も聞きたかったけど、この3つの企業の話聞いて良かった。
- ・全体的に時間が短く、企業の方々も満足に説明できていない感じだったので、少し残念に思った。どこに何の企業があるのか、とてもわかりにくかった。
- ・企業についてあまり知らなかったが、今回の体験を通して企業についてたくさんを知れたので、このような行事はとても大事だと思いました。
- ・色々な種類の仕事の内容を知れて面白かった。仕事の体験をしてみたいと思った。
- ・何年先になるかわかりませんが、自分が職を探すのに参考になりました。
- ・地域の企業の話が聞けて、すごくこれからの参考になった。
- ・自分自身の将来の仕事とは関係なかったかもしれないけど、この3つ以外にももっと色々なお仕事へ視点を向けてみたいと思いました。
- ・改めて今回の説明会に参加して、仕事を選ぶための選択の幅が広がったし、小樽にもこんなに多くの会社があることも知れて、少しずつ未来のことも考えられたと思いました。
- ・興味あるところを聞けて良かったです。参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・今回みたいな説明会があると、今後の就職についての考えも深まると思った。
- ・働いている人に話を聞く機会は結構あるけど、企業や色々な仕事の話聞く機会はあまりないから貴重だった。楽しかった。
- ・意外と知らなかった身近な職業について知ることができたし、将来を考える上でとても貴重な時間になったと思います。
- ・自分の知りたい分野についてたくさんお話を聞くことができ、とても大事な経験でした。
- ・教室取り合い戦争が大変だった。
- ・小樽の色々な企業を知れて、小樽で働くことを少し検討するようになった。貴重な体験ができて良かった。
- ・多くの企業が説明しに来てくださってとても学びになったし、また来てほしいと思いました。
- ・色々な企業のお話を聞けて、知らなかったことも知ることができて面白かった。
- ・色々な企業の努力や理念をそれぞれ聞いて良かった。
- ・色々な企業の説明を聞いて、どんな想いでこの仕事と接しているのかがよくわかった。勉強になった。
- ・色々な仕事に触れ合うことができた。良い仕事ややりがいなどを聞けて、他の職業に興味を持つことができた。
- ・あまり関わらない職業に関われて、知ることができて嬉しかった。
- ・将来のことにに関して、深く考えることができた。
- ・全く興味のなかった仕事の話聞くことで、新しい進路の選択肢が広がったなと思った。また、知らない分野の話を知りたいと思った。

- ・ 知れないことを知れて良かった。
- ・ 将来の就職に役立つから良いと思った。
- ・ 参考になることやためになる話が多く、有益な話だったと感じた。
- ・ 色々な企業さんたちと接する機会があり、企業ごとにしか存在しない工夫などがとても面白かった。
- ・ 就職のことも考えようと思った。
- ・ 将来の自分のためになった。
- ・ わかりやすく説明をしてくれたので理解が深まった。
- ・ これからも色々な会社の説明を聞きたいです。
- ・ 就職先を考えるとときに必要なことがよくわかった。
- ・ 自分の知らない職業や仕事内容とかを知れたので、とても良かったなと思いました。
- ・ どの企業もとてもわかりやすい資料と説明だった。
- ・ もっとたくさんの企業の話を聞いてみたいと思った。自分の将来をもう少し真剣に考えていきたいです。
- ・ 今回全部初めて聞いた企業名で、どんな仕事をしているのかわからなかったけど、話を聞いて自分にも他の人を支える仕事をしていきたいと思った。
- ・ どの企業・職業もやりがいがあって、自分の将来を考える良いきっかけの場だなと思った。
- ・ 小樽の企業限定の説明で、自分が知らない企業ばかりだったが、どの企業も企業理念がしっかりしている印象でした。
- ・ 自分は大学に進学したい。でも大学後の職業も今から考えたりしていくことが大切だと思った。
- ・ 将来のためにととても参考になった。また機会があったら参加したい。
- ・ もうちょっと説明会の制度を変えないと、本当に行きたいところに行けなかったりするので、もうちょっと頑張ってもらいたい。みんな見たいところがあるのだから「走るな」と言っても走るに決まっているのもわかっていたと思う。資料などは貰えなくてもいいので、話だけでも聞かせてください。お願いしますね。
- ・ 様々な企業について知れて、将来について考えられた。
- ・ 色々なことが知れて面白かったです。
- ・ 普段あまり聞けない話を聞けて楽しかった。
- ・ 小樽にこんなに素敵な職業があると知って、小樽への就職も頭に入れようと思った。
- ・ 将来に役立つことがいっぱい聞けた。
- ・ 一つ一つの企業がやりがいや目標を持って、誰かのために働いていることがわかった。自分も将来やりがいや目標を掲げて仕事に取り組みたいと思った。
- ・ 将来の考え方が改めて変わりました。とても良い勉強になりました。
- ・ 勉強になりました。

〈第 6 回〉企業アンケート 参加企業数 計 19 社 うち集計数 9 社

【問 1】今回の企業出前説明会において、御社を受けた生徒数とその際の企業説明の内容を簡潔にご記入ください。

企業名	生徒数	企業説明内容
阿部建設株式会社	9 名	・総合建設業についての説明 ・施工管理の仕事の説明 ・会社概要の説明
小樽市役所	12 名	・市役所の業務について ・市役所職員に採用されるまでの流れについて
株式会社新倉屋	12 名	会社概要、働く環境、製造職と販売職の 1 日の仕事の流れ、1 年目の目標など。
新日本海フェリー株式会社	12 名	会社概要をパワーポイントの資料で説明しました。 また動画にて、フェリーターミナル内のお客様待合所・従業員事務所、小樽本店での業務内容（予約受付・窓口対応・改札・トラック車両の積み込み等）を紹介しました。
西條産業株式会社	10 名	事業紹介、関連会社紹介、社内行事等
北海道信用金庫	11 名	・金融機関、信用金庫の仕事内容について ・当金庫の概要について ・実際に職場で勤務している職員から仕事のやりがい、職場の雰囲気などを説明
北一化学株式会社	7 名	製品が出来上がるまでの過程・種類などの説明と、会社設立などの資料説明、工場内動画視聴
株式会社北源	12 名	・セイコーマートグループであること ・セイコーマートで販売している製品の製造を行っていること
小樽典礼株式会社	12 名	・普段葬儀社がどんな仕事をしているのか？ ・小樽典礼株式会社の歴史などを説明しました。

【問 2】 今回の企業出前説明会に参加した感想をご記入ください。

・今回は 1 ターンの定員を 4 名としていましたが、希望企業に説明を聞きに行けなかった生徒もいたようです。参加企業側に配慮をしていただいた運営だと思いますが、学生ファーストの運営でも良いかと思います。（阿部建設株式会社）

・普段、高校生と話す機会があまり無いので、市役所に対してどういった認識でいるのか、興味や関心、疑問点を直接聞くことができ、非常に有意義でした。また、意見交換会において、生徒の進路の傾向や、どのように就職先の情報を取得しているのかなどの実態を知ることができ、大変参考となりました。（小樽市役所）

・企業ごとに教室を割り当てられたので、話しやすかったです。プロジェクター・スクリーンの持ち込みをしなかったのですが、教室にセッティングされていた機材を使用できたので、とても助かりました。（株式会社新倉屋）

・1 回当たり 20 分での説明は丁度良かったです。また、説明会開催前の企業概要をお示しし、生徒さんがイメージし易いように出来ますか。（新日本海フェリー株式会社）

・明るい生徒さんが多く、受け答えもしっかりとしてくださってやりやすかったです。また、建設業に

関心があるとおっしゃってくださった生徒さんもいてうれしく思いました。(西條産業株式会社)

- ・時間は 20 分間で問題ありません。20 分以下は短いかと思います。(北海道信用金庫)
- ・少人数だったこともあり「ザワザワ」する事なく最後まで説明を聞いてくれた。(北一化学株式会社)
- ・学生に北源という会社を知ってもらえる良い機会でした！(株式会社北源)
- ・生徒の皆さん明るくきちんと話を聞いてくれて、今までで一番話がしやすかったです。(小樽典礼株式会社)

【問 3】 今後同様の出前説明会を実施する場合に、改善した方が良いと思われることをご記入ください。

- ・学生ファーストの運営で良いと思います。(阿部建設株式会社)
- ・今回の説明回数は計 3 回でしたが、全体の生徒の人数を考えると、少ない設定回数のように感じました。説明回数が多いと、さらに多くの生徒に企業説明を行えるので、もう 1 回分(計 4 回)の説明回数を設定いただけると有難いです。(小樽市役所)
- ・初参加で、各教室に分かれた後の流れがよく分かっておらず、1 組目はフライングで説明をスタートしました。タイムテーブルに変更がある場合は、先に知らせていただきたかったです。校内放送で案内があることも分かっておらず、開始前の時間は、少々不安を感じていました。企業向けに、時間の案内方法など事前に説明があると良かったと思います。(株式会社新倉屋)
- ・弊社でもあった事例ですが、1 回当たり 4 名の制限がかかっていたため、辞退してもらう生徒さんがおり改善策を考えて頂きたいです。(新日本海フェリー株式会社)
- ・教室の確認は事前にしていただけたらと思いました。今年は、同じ階の向かいの教室は鍵がかかっていて、ご担当者さんが入室できず、困っていました。昨年参加した時は弊社割り当ての教室で生徒さんがお休みされていて、準備がギリギリでした。(西條産業株式会社)
- ・2 年生にも参加いただきたいと感じました。(北海道信用金庫)
- ・やはり、生徒が自身の興味ある企業のブースへ行ってもらう方が良いと思います。(北一化学株式会社)
- ・各教室で行う際に移動で 10 分取られてしまうのはもったいないので、体育館で良いと思います。各生徒が椅子を持ち、自分の聞きたい会社を選べた方が、学生の為に良いと思います。(株式会社北源)
- ・時間も 20 分でちょうど良かったと思います。4 人の説明も生徒の意見も聞けて良かったと思います。ただ、行きたい企業のところに行けない生徒がいたのが気になりました。(小樽典礼株式会社)

【問 4】 今後同様の出前説明会に、また参加したいと思いますか。

- ・参加したい：9 件

【問 5】 本事業全体について、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・本事業の運営お疲れ様でした。今後も同様の事業には参加させていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。(阿部建設株式会社)
- ・札幌から通学されている生徒さんも多いようなので、先に生徒さんの情報(進学割合や住んでいる地域)が先に分かれば札幌支店の情報などもお伝えできたかなと思いました。(西條産業株式会社)

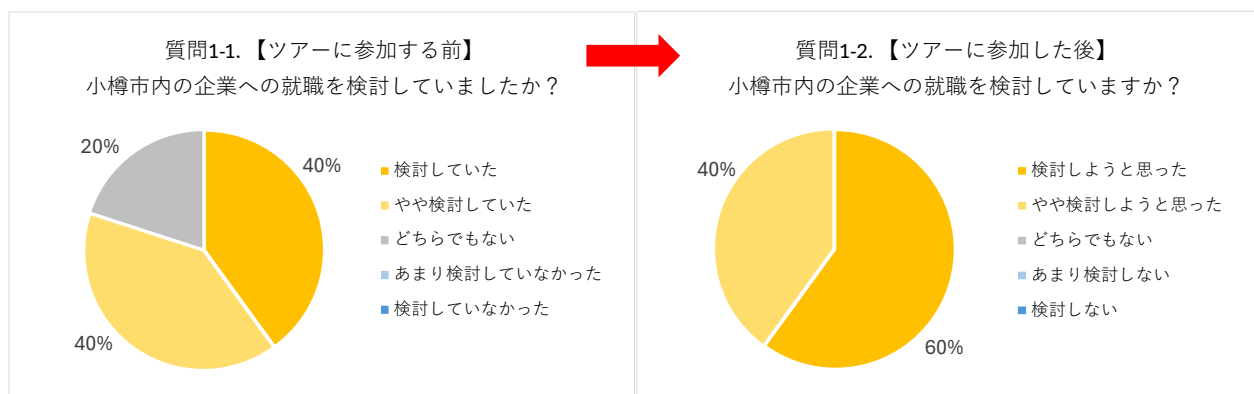
- ・いつもご案内いただき、ありがとうございます。当金庫を PR する機会を作っていただき誠にありがとうございます。おかげさまで、令和 7 年度は小樽市内の高等学校から 2 名が入庫いたします。令和 8 年度の採用活動につきましても、意欲的に活動してまいりたいと思っておりますので、今後共、お誘いいただきますよう、よろしくお願いいたします。（北海道信用金庫）
- ・また参加させてください。ありがとうございました。（株式会社北源）
- ・小樽の地域活性化の為、少しでも小樽に若者が残れるように頑張ってもらえれば、ありがたいと思います。（小樽典礼株式会社）

(2) 分析・評価と考察

各事業後、参加者にアンケートを行い、回答を得た。

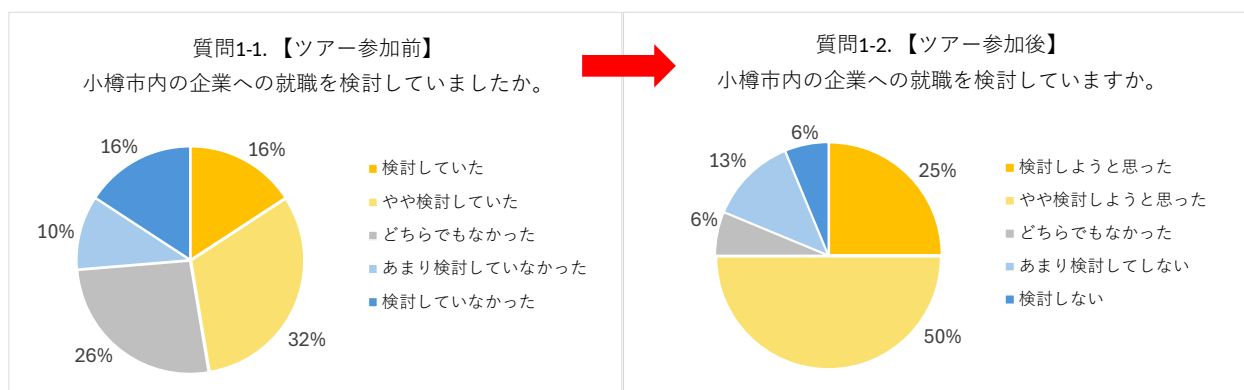
① たくさん企業見学ツアーについて

1回目5名、2回目20名の計25名からの回答を得た。1回目のツアー参加者において、「小樽市内の企業への就職を検討していたか」という質問について見てみると、ツアー参加前は40%がそれぞれ「検討していた」「やや検討していた」とすでに就職を検討している層が80%であり、「どちらでもない」が20%であったが、ツアー参加後は「どちらでもない」と回答する層が0%となり、「検討しようと思った」が60%、「やや検討しようと思った」が40%と、就職の検討を視野に入れる層が100%となり、より強く検討しようと思う層も増加した。第1回は参加者が5名と少なかったからこそ、一人ひとりへの対応をより手厚く行うことができ、企業の良さを明確に伝えることができたのではないかと考えられる。



(第1回たくさん企業見学ツアー アンケート結果より)

2回目のツアー参加者においては「小樽市内の企業への就職を検討していたか」という質問について、参加前は「検討していた」が16%、「やや検討していた」が32%だったが、ツアー参加後は「検討しようと思った」が25%、「やや検討しようと思った」が50%に増加し、参加者全体の75%が市内企業の就職を視野に入れ始めたと回答した。アンケートでも「今まで知らなかった・興味がなかった業界や企業について理解が深まり、良い経験となった」と回答する参加者が多かったことから、実際に企業に赴き、五感を通して企業見学・業務体験して業界のあり方や企業の良さ・特徴を知ることが、市内企業への就職意欲の上昇に繋がるということが分かる。



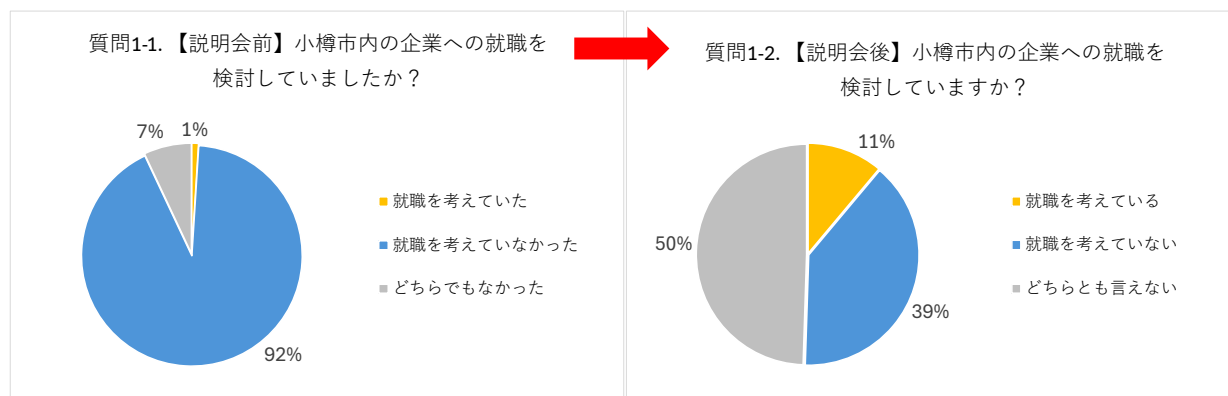
(第2回たくさん企業見学ツアー アンケート結果より)

② 企業出前説明会について

企業出前説明会で実施した6校のうち、5校で得られたアンケートを分析すると、すべての説明会において市内就職を検討する層が増加し、市内就職を検討しない層が減少した。市内学校はいずれも市外・道外から通学している学生が多く、市内企業の存在をそもそも知らなかったと回答する参加者も少なくなかった。どの学校も就職において地元志向が強い学生が多いことが学校教諭からの聞き取り調査で明らかになっていたが、実際に働く企業の担当者から直接情報を得ることで、参加者の市内企業への理解や興味が深まり、市内就職への意識が高まったことが推察できる。また、参加企業からは「直接高校生と話す機会がほとんどないので、今の高校生の考えを聞いたり、自社の業界や事業内容等を伝えたりする機会があって良かった」との回答もあり、「企業出前説明会」は市内企業の認知度や理解・関心を深める機会としても有効であると考えられる。

〈第1回企業出前説明会〉

小樽商科大学では、「小樽市内の企業への就職を検討していたか」という質問に対して、説明会前は92%もの参加者が「就職を考えていなかった」と回答したが、説明会後には同項目で39%と大幅に減少した。同大学は市外から通っている学生が最も多く「そもそも小樽にこのような企業があることを知らなかった」と回答する参加者も多かったため、市内就職を考える層は依然として多くはないものの、今回の説明会で市内企業の存在を知り、企業の特徴や魅力を知ることによって、市内就職が一つの選択肢として検討できるきっかけになったのではないかと考えられる。

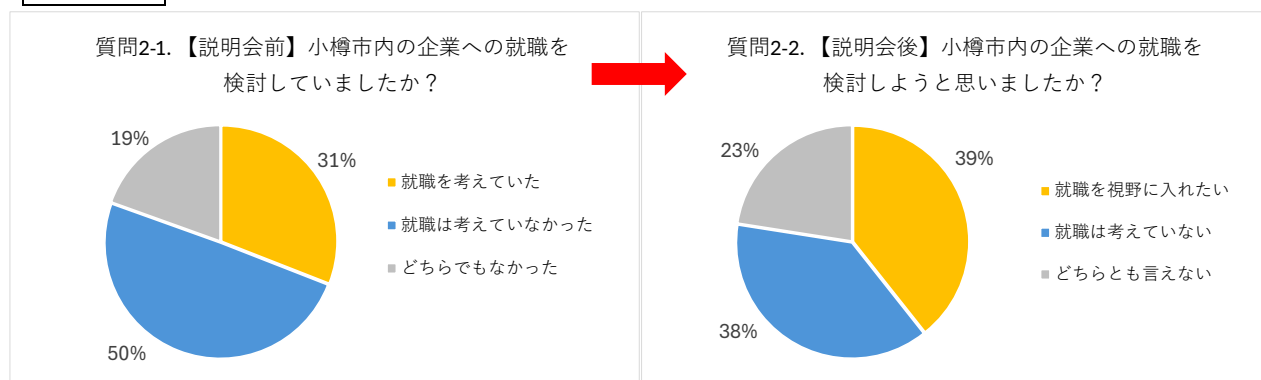


(第1回企業出前説明会 小樽商科大学 アンケート結果より)

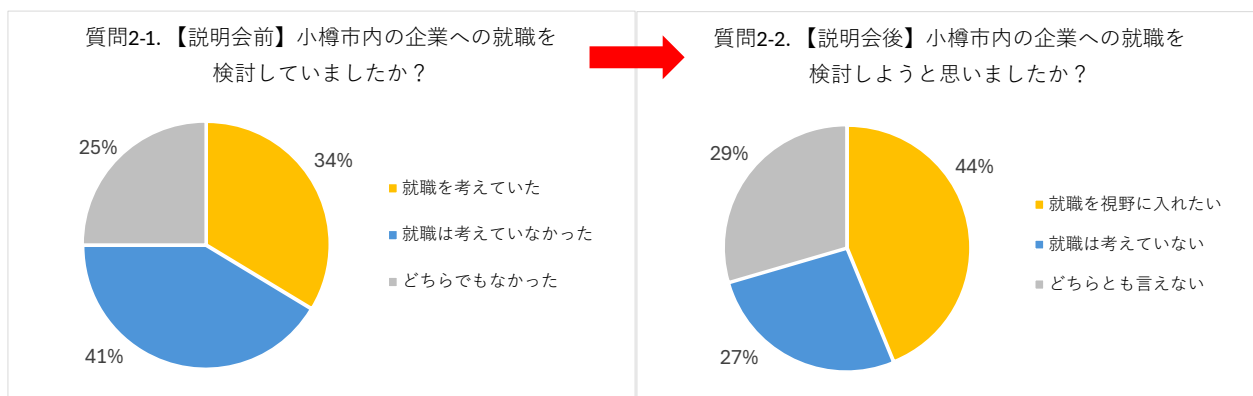
〈第2回企業出前説明会〉

北海道小樽水産高等学校では、「小樽市内の企業への就職を検討していたか」という質問に対して、説明会前は「就職を考えていた」が31%、「就職を考えていなかった」が50%だったのに対し、説明会後は「就職を視野に入れたい」が39%、「就職は考えていない」が38%と回答に変化が見られた。「就職を視野に入れたい」の回答について最も大きな変化が見られた学年は2年生で、「就職を考えていた」22%→「就職を視野に入れたい」37% (+15%)、「就職は考えていない」57%→40% (-17%)、次いで1年生の「就職を考えていた」34%→「就職を視野に入れたい」44% (+10%)、「就職は考えていない」41%→27% (-14%)、最も変化が見られなかった学年は3年生で、「就職を考えていた」37%→「就職を視野に入れたい」38% (+1%)、「就職は考えていない」50%→46% (-4%)となった。説明会を行った7月には3年生のほとんどが卒業後の進路を決めているため説明会の効果が薄かったようだが、1・2年生は説明会を行うことで市内就職への意欲が高まるという結果が見られ、高校1・2年生に向けたアプローチが如何に重要であるかが明らかになった。

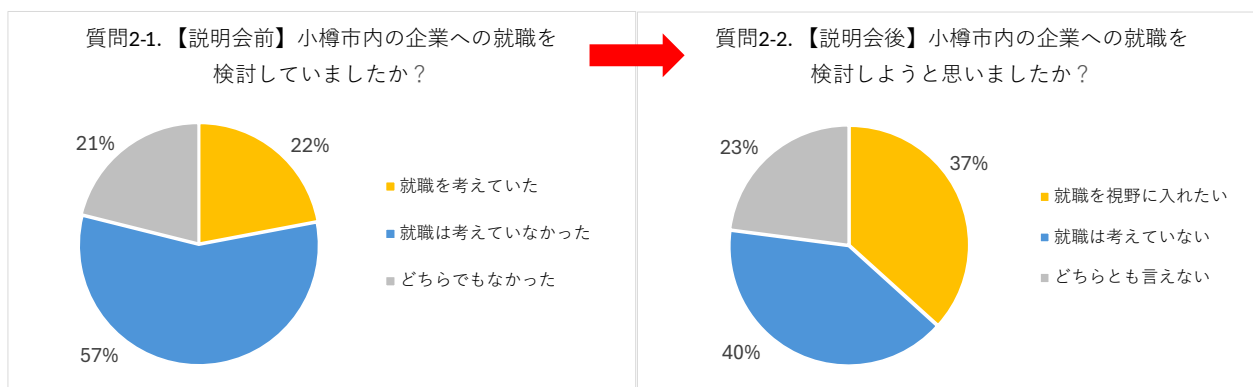
学年全体



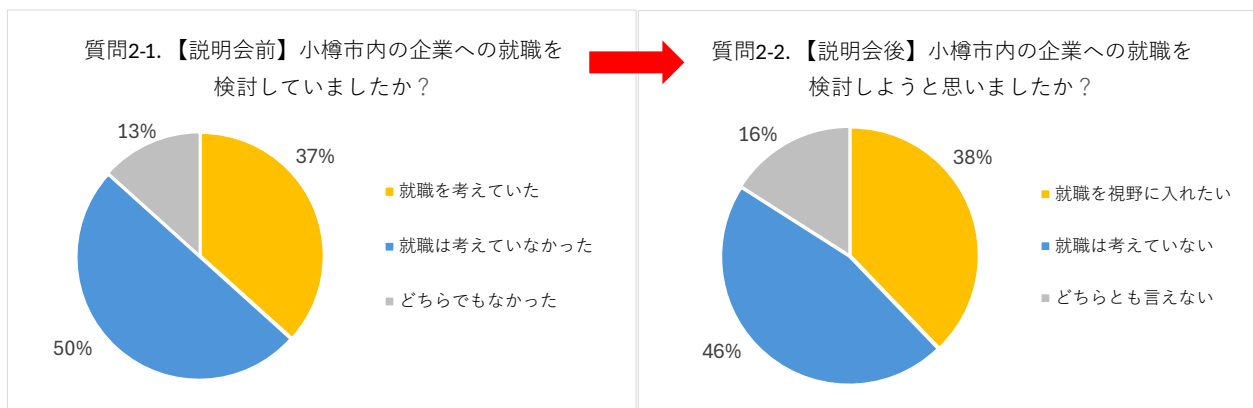
1年生



2 年生



3 年生

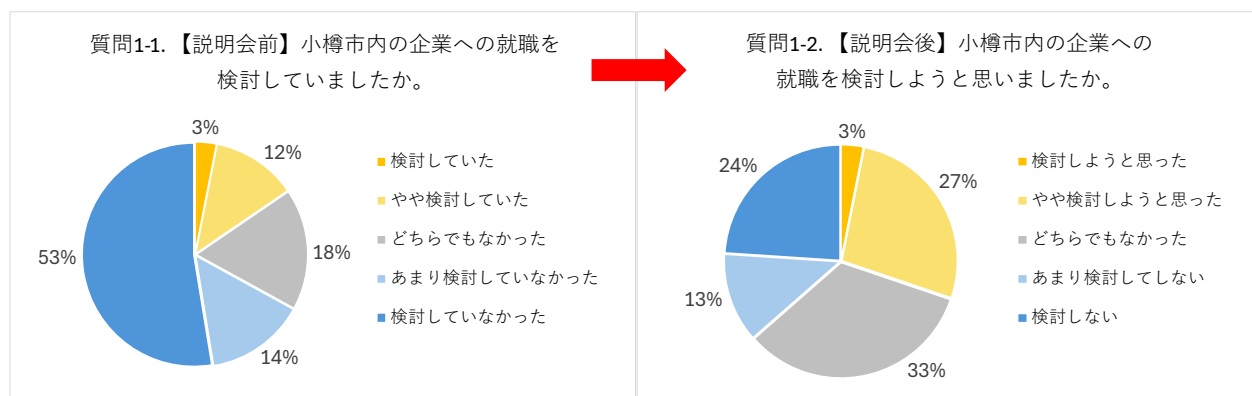


(第 2 回企業出前説明会 北海道小樽水産高等学校 アンケート結果より)

〈第 4 回企業出前説明会〉

北照高等学校では、「小樽市内の企業への就職を検討しているか」という質問に対して、説明会前は「検討していない」が 53%、「あまり検討していなかった」が 14%と、67%の生徒が市内就職を検討していなかったと回答したが、説明会後は「検討しない」が 24%、「あまり検討していない」が 13%と、37%の生徒が検討をしないと回答し、検討しない層は 30%減少した。一方で「やや検討していた」に

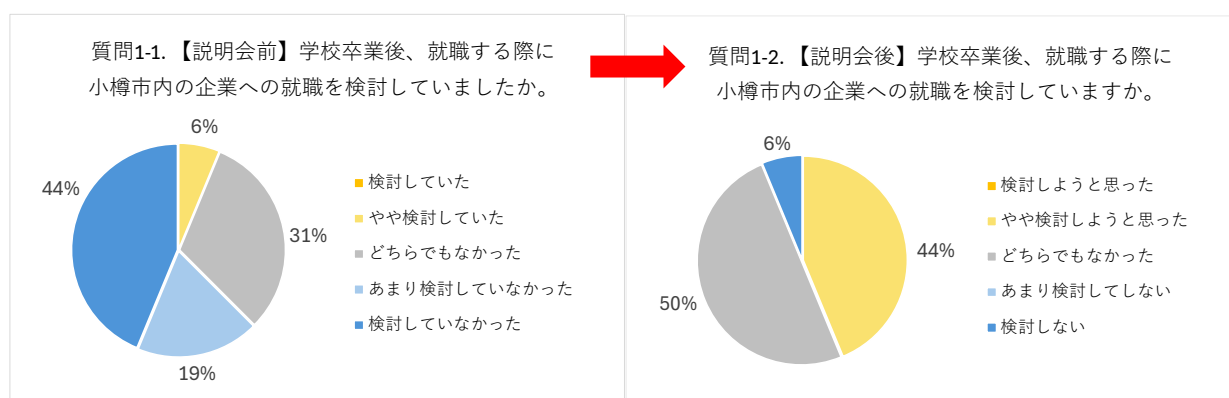
については説明会后 12%→説明会后 27%と、検討を視野に入れ始めた生徒は微増に留まった。1 年生・2 年生ともにこの傾向は変わらなかった。同校は市外・道外から通学している生徒が多く、なおかつ地元志向が強い「地元に戻って就職したい」と考えている生徒が多数を占めていることが理由として挙げられる。しかし、説明会を行うことで、市内就職の強い動機づけまでは至らないものの、市内就職の検討を促す一定の効果は得られることが分析できる。



(第 4 回企業出前説明会 北照高等学校 アンケート結果より)

〈第 5 回企業出前説明会〉

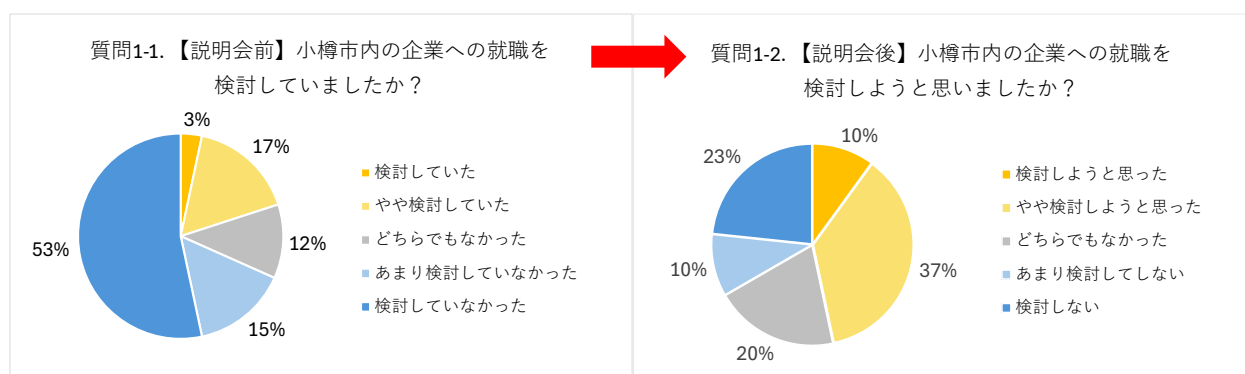
北海道職業能力開発大学校では、「小樽市内の企業への就職を検討しているか」という質問に対して、説明会前は「やや検討している」が 6%だったところ、説明会後は同項目で 44%と大幅に増加した。また、同質問に対して説明会前は「検討しない」が 44%、「あまり検討しない」が 19%だったが、説明会後は「検討しない」が 6%、「あまり検討しない」が 0%と、検討しない層が大幅に減少した。同校も市外・道外から通学している学生が多いものの、専攻分野と類似した業界の企業の話聞き、学校で学んでいる技術が実際に業務で活かされることを知って、市内企業への関心を深め、検討を視野に入れ始める学生が増えたことがアンケートからも見てとれる。



(第 5 回企業出前説明会 北海道職業能力開発大学校 アンケート結果より)

〈第6回企業出前説明会〉

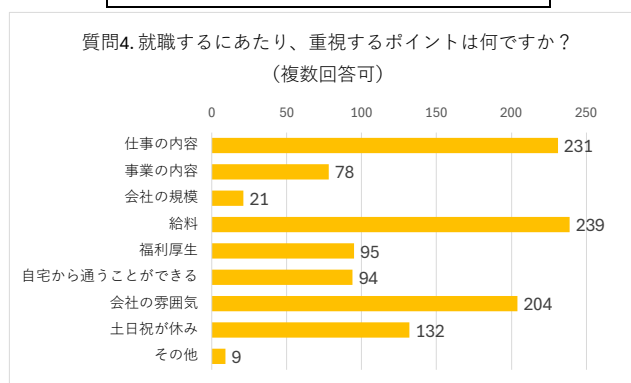
小樽双葉高等学校では、「小樽市内の企業への就職を検討しているか」という質問に対して、説明会前は「検討していた」3%・「やや検討している」17%で検討している層が20%だったところ、説明会後は「検討しようと思った」10%・「やや検討しようと思った」37%と検討を視野に入れる層が47%になり、前後を比較すると27%増加した。また、説明会前は「検討しない」53%・「あまり検討しない」16%と検討しない層が69%だったが、説明会後は「検討しない」23%・「あまり検討していない」10%で検討しない層が33%と、前後を比較すると36%減少した。同校においては市外から通学している生徒が6割と半数以上を占めており、「検討しない」の具体解答には「小樽市外に住んでいるから」検討しないと答える生徒も多かった。一方で、「説明会は理解しやすかったか」という質問に対して「理解しやすかった」「やや理解しやすかった」を合計すると100%となり、理解度の高さから市内企業への理解・関心が深まり、市内就職も一つの選択肢として視野に入れ始めた生徒が増えたことがわかった。



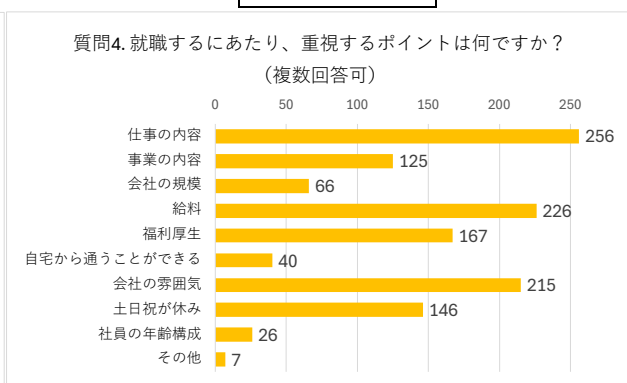
③ 事業全体のアンケート集計結果について

アンケートで回答を得た「就職を検討する際に重視していること」では、北海道小樽水産高等学校では「給料」が最も高く、次いで「仕事の内容」「会社の雰囲気」の項目が続いた。一方、小樽商科大学では、「仕事の内容」が最も高く、次いで「給料」「会社の雰囲気」という結果となった。いずれも僅差ではあるが、高校生の方が給料を重視する傾向があり、大学生は専攻分野を仕事に活かしたいという希望などから、仕事内容を重視する傾向にあることが推察できる。

北海道小樽水産高等学校(全学年)



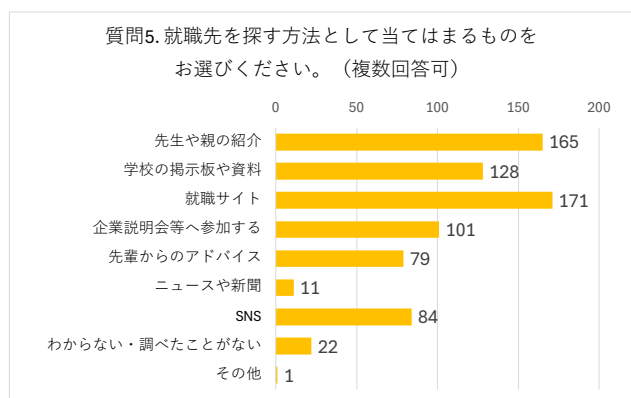
小樽商科大学



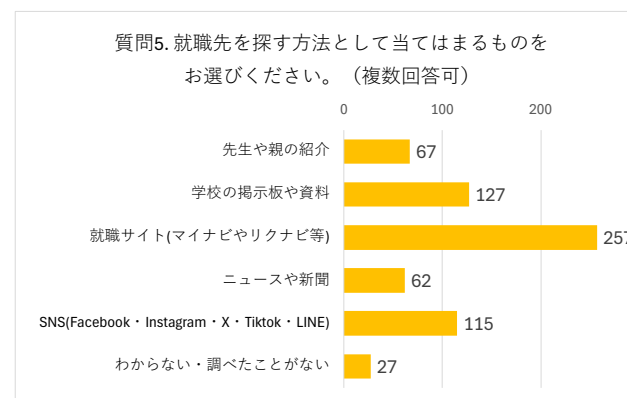
(企業出前説明会 アンケート結果より)

また、「就職先を探す方法として当てはまるもの」では、北海道小樽水産高等学校と小樽商科大学の両学校で「就職サイト」が最も高く、次いで北海道小樽水産高等学校が「先生や親の紹介」「学校の掲示板や資料」と続き、小樽商科大学では「学校の掲示板や資料」「SNS」と続いた。小樽商科大学については、「大学生のほとんどが就職サイト等を利用して自力で就職活動を進めている」という学校の聞き取り調査と合致する結果となった。一方、北海道小樽水産高等学校において留意すべきなのは、学年によって結果が異なっている点である。1年生では「就職サイト」を活用している層が最も多かったが、2年生では「就職サイト」と「先生や親の紹介」が同数となり、3年生では「先生や親の紹介」の項目が逆転している。このことから、就職活動がまだ始まっていない期間は就職サイトなどを活用して情報を収集するが、実際に就職活動が始まるにつれて先生や親の意見を重要視する傾向があることが明らかになった。

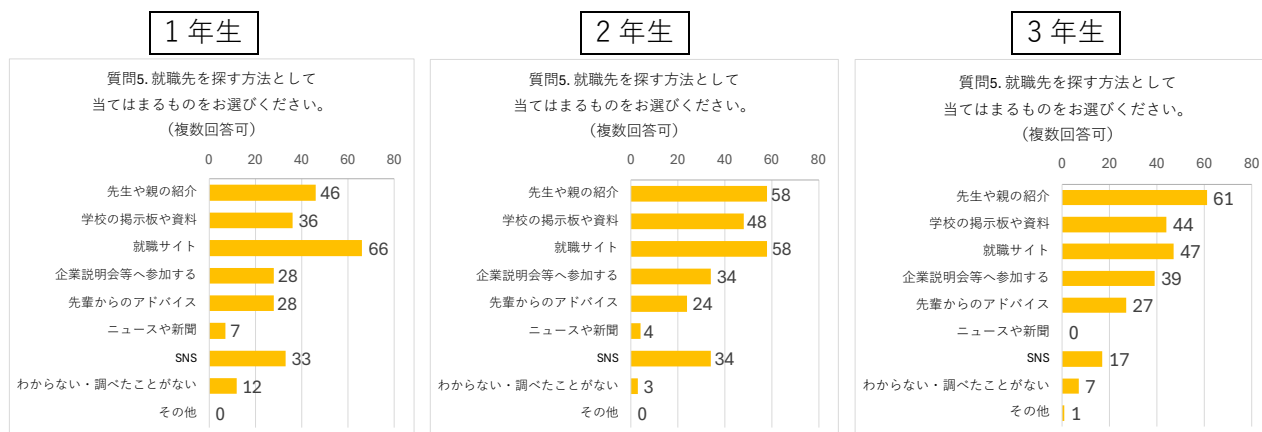
北海道小樽水産高等学校(全学年)



小樽商科大学

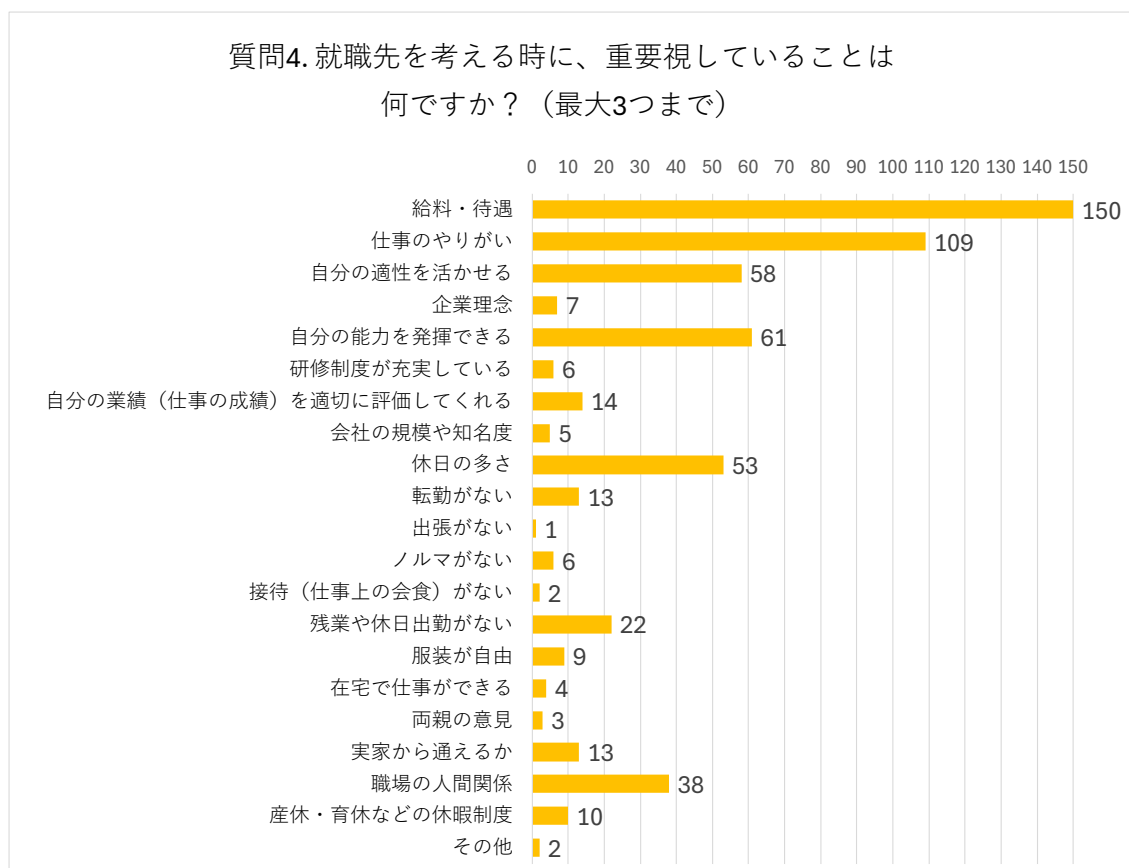


(企業出前説明会 アンケート結果より)



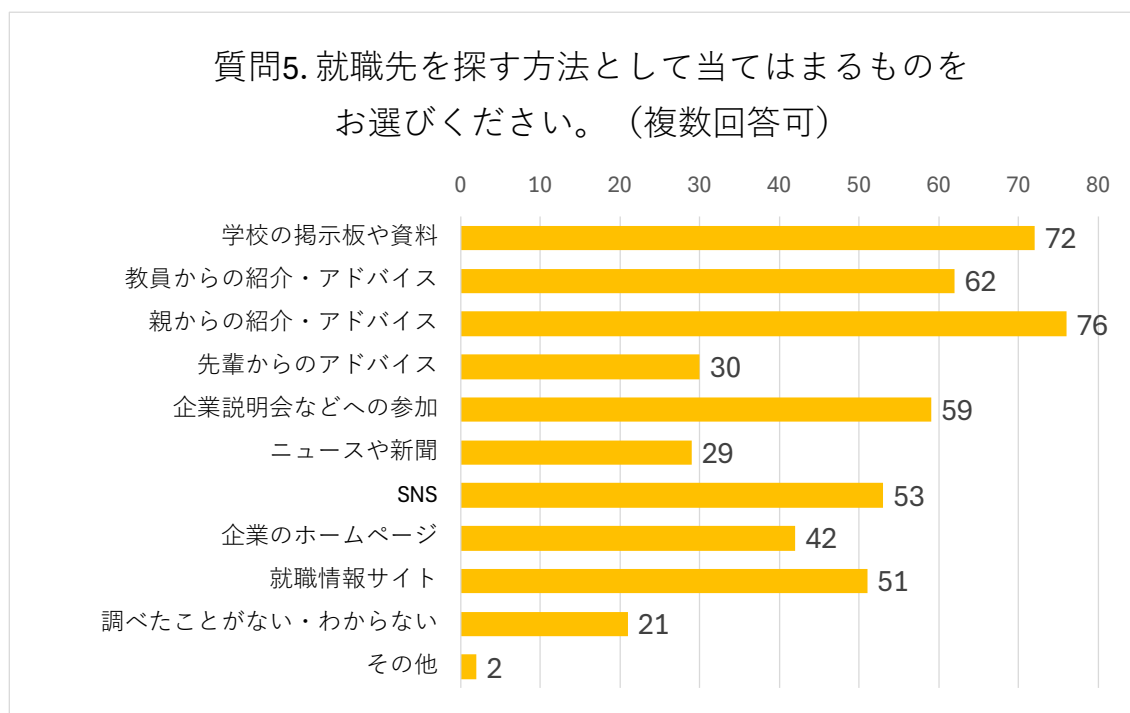
(北海道小樽水産高等学校 企業出前説明会 アンケート結果より)

「たくさん企業見学ツアー」第1・2回、「企業出前説明会」第3～6回においては同項目でアンケートを収集した。その結果を全て集計すると、「就職を検討する際に重視していること」では、「給料・待遇(150)」が最も高く、次いで「仕事のやりがい(109)」の項目が続き、例年と同様の傾向となった。次点で「自分の能力を發揮できる(61)」「自分の適性を活かせる(58)」「休日の多さ(53)」の項目が続いた。

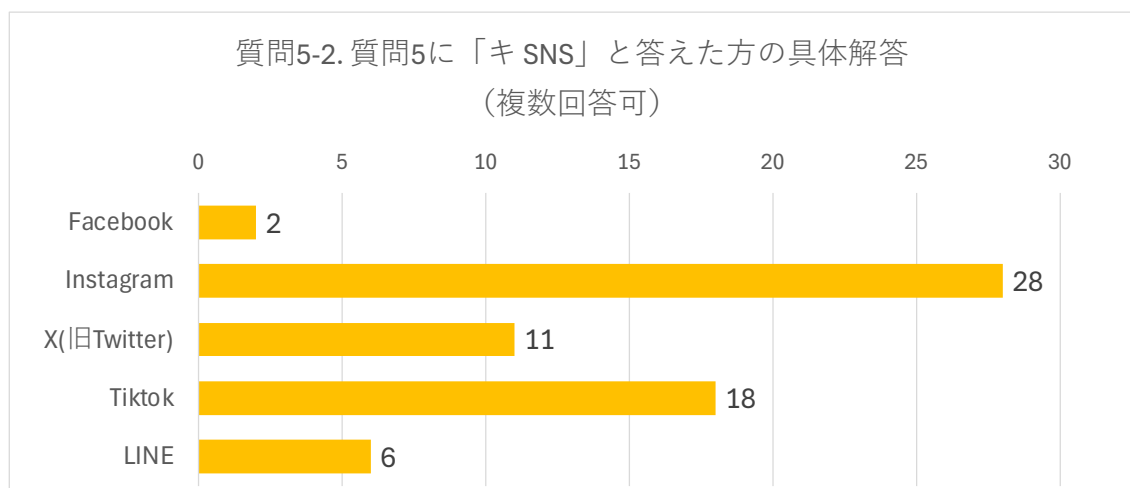


(「たくさん企業見学ツアー」第1・2回、「企業出前説明会」第3～6回 アンケート結果より)

また、「就職先を探す方法として当てはまるもの」については「親からの紹介・アドバイス」「学校の掲示板上資料」「教員からの紹介・アドバイス」が多く、インターネットの情報収集よりも身近にいる人からの情報を重要視する傾向が明らかとなり、各学校のヒアリング内容と合致する結果となった。「SNS」での情報収集については「Instagram」を使用している学生が多く、次いで「Tiktok」「X」と項目が続いた。



（「たくさん企業見学ツアー」第1・2回、「企業出前説明会」第3～6回 アンケート結果より）



（「たくさん企業見学ツアー」第1・2回、「企業出前説明会」第2～6回 アンケート結果より）

(3) 検討課題

事業へ新規参加する企業は 10 社と増えた一方で、例年参加していた企業が辞退されることもあった。辞退した企業からは「説明会等の活動における費用対効果が薄いため」という理由が挙げられていた。近年どの業界からも人材不足問題が聞かれる中で、小樽の求人倍率は 2.5 倍、道内求人率は 3.77 倍と依然として高く(厚生労働省北海道労働局「令和 7 年 3 月新規高等学校卒業生の職業紹介状況」より)、いわゆる「売り手市場」が続いている。高校 1・2 年生のうちから市内企業に対する興味・関心を高める活動が続けるとともに、高校 3 年生に対して就職活動が始まる前により具体的なアプローチを図るなど、市内就職者を増やしていく方法を更に検討していくことが必要である。

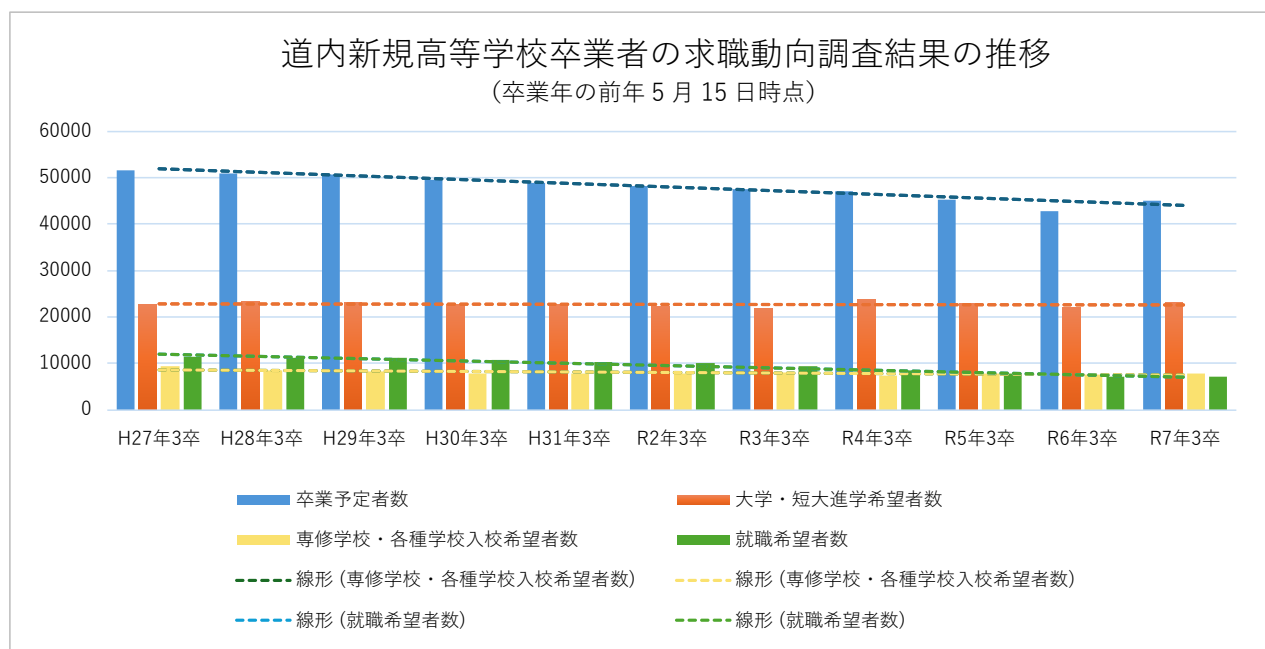
また、ハローワークを所管する厚生労働省北海道労働局の「令和 6 年 3 月新規高等学校卒業生の求職動向調査結果」を見ると、道内全域において進学傾向が高まっていることが明らかになっている。しかし、今年度のほとんどの市内高校においては就職予定者が微増しており、コロナ禍の影響により高まりつつある進学傾向が少々緩やかになっているようだ。

学校名	卒業予定者数	進学者数	就職予定者数	うち小樽市内就職者数	進路未定者数	その他
桜陽	166(-30)	152(-24)	14(-6)	4(±0)	0	0
水産	136(+7)	55(-1)	72(+2)	25(-10)	9	0
双葉	76(+4)	56(-10)	14(+8)	3(+2)	6	0
北照	63(+12)	49(+5)	9(+6)	3(+2)	0	5 (留学など)
未来創造	130(-2)	67(進学活動中 1) (-17)	63(就活中 2) (+15)	22(±0)	0	0
合計(名)	571	350	173	57	15	5

能開大	70	0	70	0	0	0
-----	----	---	----	---	---	---

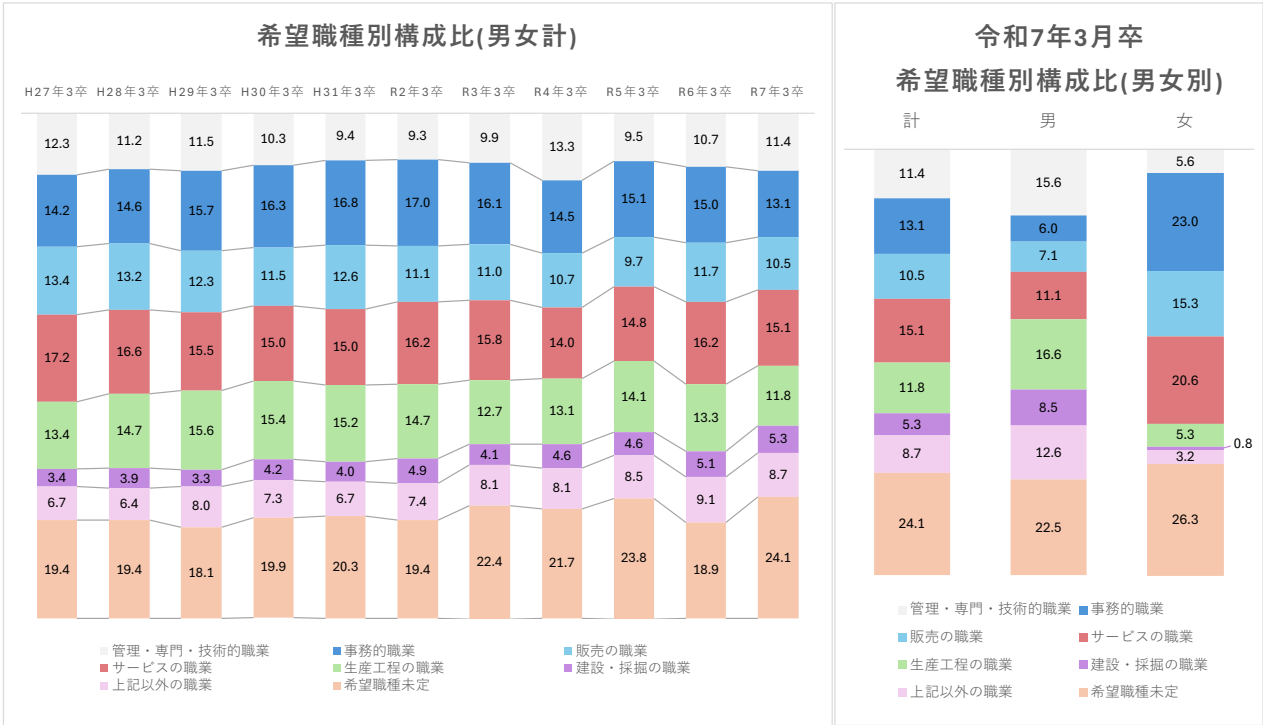
※()内の数字は前年度比

(進路状況調査結果 2025 年 1 月末時点)



(厚生労働省北海道労働局 令和 7 年 3 月新規高等学校卒業者の求職動向調査結果より)

今年度、厚生労働省北海道労働局の「令和 7 年 3 月新規高等学校卒業者の求職動向調査結果」について大きな変化が見られたのは、卒業月の前年 5 月 15 日時点での希望職種未定者数である。同調査により集計された「希望職種別構成比」を見ると、令和 7 年 3 月卒業予定の高校生のうち希望職種未定者数が 24.1%と平成 27 年以降の統計の中で最も高く、男性 22.5%・女性 26.3%と、特に女性の希望職種未定者数が突出していた。また、厚生労働省北海道労働局の「令和 7 年 3 月新規高等学校卒業者の職業紹介状況の月別推移」を見ると、令和 6 年 7 月末まで 5,587 名存在していた求職者が、同年 9 月末には 4,995 名、12 月末には 4,817 名と大幅に減少している。コロナ禍を経て売り手市場が続く一方で、様々な情勢不安から、本当に就職すべきなのか、就職するとしたらどの職種を選ぶべきなのか将来の進路を決めかねて、就職希望から別の進路を選ぶ高校生が増えている現状が垣間見える結果となった。逆説的に考えれば、高校 1・2 年生のうちから市内企業の魅力を積極的にアピールし、市内就職に対する意識を高めていけば、将来的に市内就職を選択する学生を増加させられる余地を秘めているとも言える。高校 1・2 年生のうちから市内企業に興味・関心を持たせ、市内企業に就職するように促す施策が引き続き重要になってくると考えられる。



(厚生労働省北海道労働局 新規高等学校卒業生の求職動向調査結果(平成27年～令和7年)より)

	令和7年3月卒						令和6年3月卒					
	卒業予定者数 45,128						卒業予定者数 42,784					
	求職者数		道内求人数		就職内定者数		求職者数		道内求人数		就職内定者数	
		対前月差		対前月差		対前月差		対前月差		対前月差		対前月差
7月末	5,587		15,751				5,346		15,630			
8月末	5,587	0	16,614	863			5,346	0	16,605	975		
9月末	4,995	△ 592	17,269	655	2,072		4,996	△ 350	17,226	621	2,121	
10月末	4,991	△ 4	17,754	485	3,401	1,329	5,007	△ 11	17,700	474	3,414	1,293
11月末	4,902	△ 89	17,976	222	3,923	522	4,949	△ 58	17,297	227	3,888	474
12月末	4,817	△ 85	18,148	172	4,197	274	4,897	△ 52	18,114	187	4,189	301

(厚生労働省北海道労働局 新規高等学校卒業生の職業紹介状況(12月末現在)より)

また、札幌圏の大学・専門学校にヒアリングをしたところ、「学校を通してではなく、就職支援サイトなどを活用して自力で就職活動を行う学生がほとんどで、近年はスカウトサービスなどを活用して、企業から学生にスカウトを送る『逆求人型就活』もかなり増えてきた」との話を伺うことができた。その傾向から「学校側が企業出前説明会等のイベントを開催しても、参加者が集まらない」という現状があるようだ。引き続き、各就職関係機関や学校、市内企業にご協力いただき、学校の就職に関する授業内で説明会を開催したりするなど、市内企業の認知度を高める機会を設けていただくような施策が必要ではないかと考えられる。また、より市内企業の周知を図るため、事業範囲を後志～札幌の高等学校や第二新卒などの転職活動中の若者に広げることも検討できる。

IV. 参考

(1) 事業の実施状況について

① 小樽市との打ち合わせ

令和 6 年 4 月 2 日(火) 第 1 回 (事業計画等打ち合わせ)

令和 6 年 4 月 26 日(金) 第 2 回 (事業計画等打ち合わせ)

令和 6 年 7 月 9 日(火) 第 3 回 (事業進捗状況等打ち合わせ)

② 小樽市内高校への事業説明

〈学校訪問 令和 6 年 4 月 17 日(水)〉

- ・ 北海道小樽桜陽高等学校
- ・ 北海道小樽未来創造高等学校 (全日制・定時制)
- ・ 小樽明峰高等学校
- ・ 北照高等学校
- ・ 小樽双葉高等学校

〈学校訪問 令和 6 年 4 月 19 日(金)〉

- ・ 小樽潮陵高等学校 (定時制)

〈学校訪問 令和 6 年 4 月 25 日(木)〉

- ・ 小樽水産高等学校

③ 小樽市内大学等への事業説明

〈学校訪問 令和 6 年 4 月 19 日(金)〉

- ・ 小樽商科大学
- ・ 北海道職業能力開発大学校

④ 札幌圏の大学・専門学校への事業説明

〈学校訪問 令和 6 年 5 月 17 日(金)〉

- ・ 北海道教育大学

② 企業出前説明会

	場所	実施日時	参加人数・内訳
第1回	小樽商科大学 4号館160番講義室	令和6年7月10日(水) 10:30～12:00 (2講目)	経営学原理Ⅱ履修生 2年生以上 297名
第2回	北海道小樽水産高等学校 体育館	① 令和6年7月17日(水) 9:45～10:35 ② 令和6年7月18日(木) 8:45～9:35 ③ 令和6年7月18日(木) 9:45～10:35	① 3年生 137名 ② 1年生 113名 ③ 2年生 122名 計 372名
第3回	北海道小樽桜陽高等学校 第1体育館	令和6年9月18日(水) 13:30～15:05 (4～6(7)校目)	2年生 196名
第4回	北照高等学校 体育館	令和6年10月10日(木) 11:25～13:00	1年生 50名・2年生 47名 計 97名
第5回	北海道職業能力開発大学校 J棟206教室	令和6年11月5日(火) 10:50～12:30 (2講目)	応用課程生産機械 システム技術科 16名 (2026年3月卒業予定)
第6回	小樽双葉高等学校 第1体育館・教室(2～4階)	令和7年2月10日(月) 13:25～15:15 (5～6校時)	1年生 80名

	参加企業数	参加企業名
第1回 小樽商科大学	3社	・西條産業株式会社 ・田中酒造株式会社 ・北海道信用金庫
第2回 北海道小樽 水産高等学校	3社	① ・阿部建設株式会社 ・株式会社小樽ゴルフ場 (小樽カントリー倶楽部) ②・③ ・株式会社小樽ゴルフ場 (小樽カントリー倶楽部) ・株式会社北日本消毒
第3回 北海道小樽 桜陽高等学校	8社	・阿部建設株式会社 ・株式会社エムデジ ・小樽市役所 ・北海道技建株式会社 ・伊藤ハム米久プラント株式会社 ・株式会社温泉宏楽園 ・新日本海フェリー株式会社 ・北海道信用金庫

第4回 北照高等学校	21 社	・阿部建設株式会社 ・小樽市役所 ・株式会社かま栄 ・クリロン化成株式会社 ・株式会社産鋼スチール ・新日本海フェリー株式会社 ・株式会社トーモク ・株式会社新倉屋 ・社会福祉法人北海道宏栄社 ・北海道中央バス株式会社 ・ワタキューセイモア株式会社 ・株式会社エムデジ ・小樽典礼株式会社 ・株式会社北一硝子 ・株式会社健康倶楽部 ・西條産業株式会社 ・医療法人社団 青優会 南小樽病院 ・道央エンジニアリング株式会社 ・北海道技建株式会社 ・株式会社北源 ・株式会社ミツウマ
第5回 北海道職業 能力開発大学校	3 社	・株式会社システムウォール製作所 ・株式会社田中工業 ・株式会社光合金製作所
第6回 小樽双葉 高等学校	19 社	・阿部建設株式会社 ・小樽市役所 ・小樽典礼株式会社 ・北一化学株式会社 ・株式会社健康倶楽部 ・西條産業株式会社 ・社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 北海道済生会 老人保健施設はまなす ・社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 北海道済生会 小樽病院 ・新日本海フェリー株式会社 ・中央バス観光開発株式会社 ・道央エンジニアリング株式会社 ・株式会社新倉屋 ・ノイシュロス・オペレーション株式会社 ・社会福祉法人北海道宏栄社 ・北海道信用金庫 ・北海道中央バス株式会社 ・株式会社北源 ・株式会社ミツウマ ・ワタキューセイモア株式会社

(3) 参考文献

- ・厚生労働省北海道労働局 令和7年3月新規高等学校卒業者の求職動向調査結果
<https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/content/contents/001893898.pdf>
- ・厚生労働省北海道労働局 令和7年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況（12月末現在）
<https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/content/contents/002124973.pdf>

(4) 謝辞

最後に、事業にご協力いただいた学校・企業及び各担当者の皆様に、心より御礼申し上げます。